
香美市のよってたかってアンケート
～第2期香美市教育振興基本計画の策定に向けて～
【調査結果報告書】

令和5年3月

目次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査の実施について	1
3. 配布件数	1
4. 報告書の見方	1
II 住民調査の結果	2
1. 回答者について	2
2. 生涯学習(自主的な学習活動)について	5
3. インターネットの利用について	18
4. 公民館や市内の施設について	27
5. スポーツについて	42
6. 文化財について	51
7. 図書館について	60
8. 香美市の教育について	66
9. 自由記述	84
III 保護者調査の結果	89
1. 回答者について	89
2. 香美市の教育施策について	96
3. 回答者の子どもについて	106
4. 子育てについて	123
5. 教育について	128
6. 家庭でのお子さんとのかかわりについて	139
7. 教育と地域のかかわりについて	144
8. 自由記述	157
IV 小中学生調査の結果	161
1. 回答者について	161
2. 学校生活について	163
3. 家庭での生活について	168
4. 地域について	176
5. 学校が休みの日の過ごし方の希望について	180
V 調査票	184
1. 住民調査	184
2. 保護者調査	192
3. 小中学生調査	200

I 調査概要

1. 調査目的

香美市における教育の基本的な方針と取組の方向性を示す「香美市教育振興基本計画」が令和5年度に計画期間が終了することから、新たに「第2期香美市教育振興基本計画」を策定することとなりました。

本調査は、新計画の策定にあたり、市民や小中学生とその保護者の教育に関する考えや意見を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2. 調査の実施について

	住民調査	保護者調査	小中学生調査
調査対象者	18歳以上の市民 2,000人	小学校1・5年生、 中学校2年生の保護者 549人	児童生徒(小学校4年生～ 中学校3年生) 1,028人
調査期間	令和4年11月21日 ～令和4年12月9日	令和4年11月14日 ～令和4年11月28日	令和4年10月31日 ～令和4年11月11日
調査方法	郵送による配付、郵送 またはインターネット による回答	学校経由での配付、 郵送またはインターネット による回答	学校経由での配付、 インターネットによる回答

3. 配布件数

	住民調査	保護者調査	小中学生調査
調査対象者数 (配布数)	2,000件	549件	1,028件
有効回収数 (回収数)	839件(843件)	255件(257件)	811件(811件)
回収率 (有効回収率)	42.0%(42.2%)	46.4%(46.8%)	78.9%(78.9%)

4. 報告書の見方

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

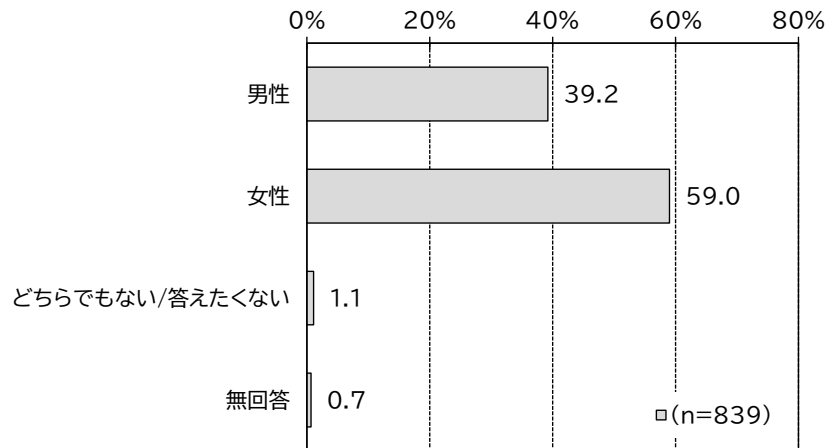
- (1) 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- (2) 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- (3) 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。

II 住民調査の結果

1. 回答者について

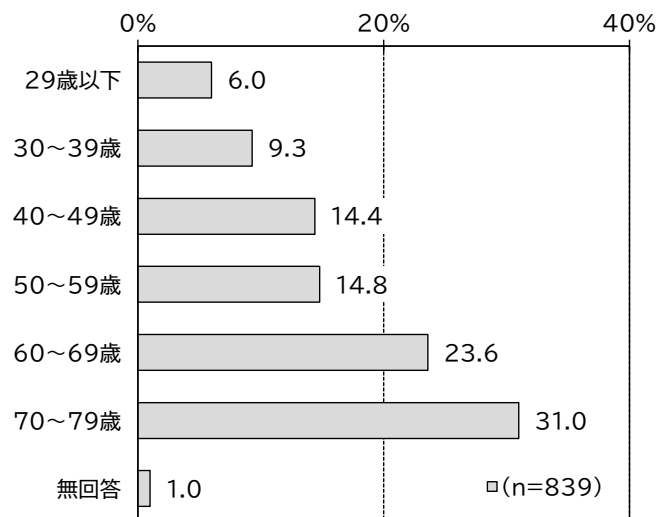
■性別

性別については、「女性」が59.0%、「男性」が39.2%、「どちらでもない/答えたくない」が1.1%となっています。



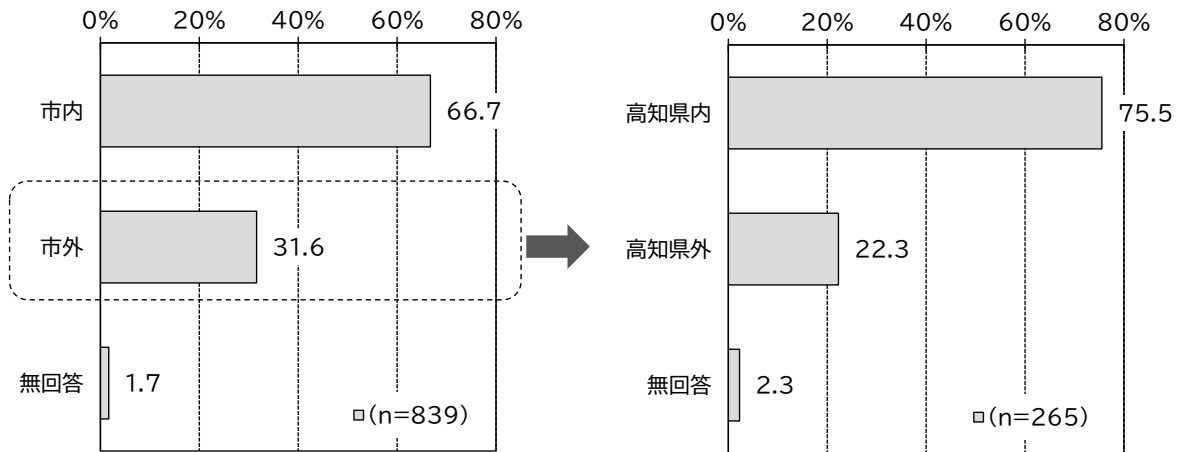
■年齢

年齢については、「70～79歳」が31.0%で最も高く、次いで「60～69歳」が23.6%、「50～59歳」が14.8%、「40～49歳」が14.4%となっています。



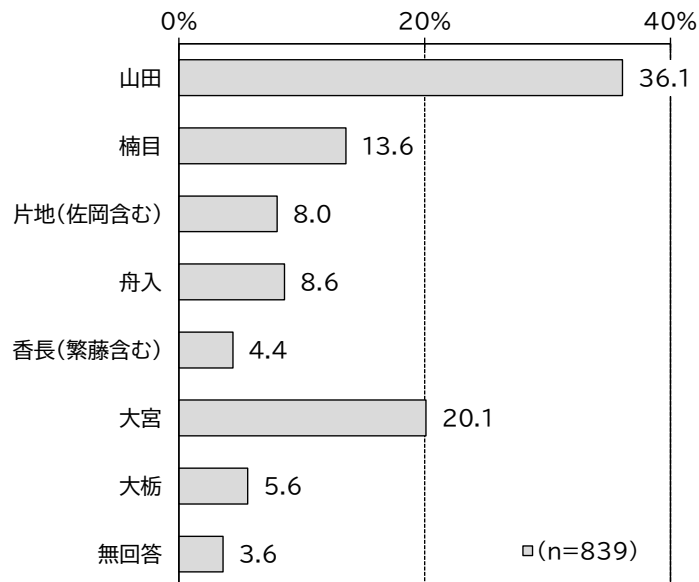
■出身地

出身地については、「市内」が66.7%、「市外」が31.6%となっています。
 また、「市外」と回答した人の内訳については、「高知県内」が75.5%、「高知県外」が22.3%となっています。



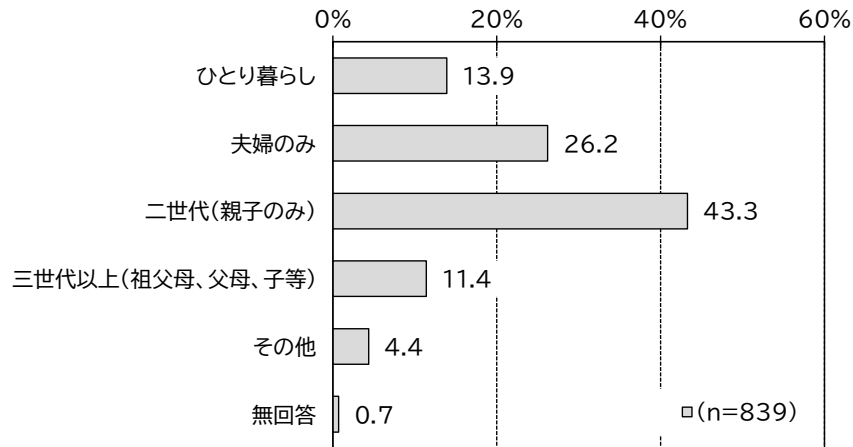
■住んでいる小学校区

住んでいる小学校区については、「山田」が36.1%で最も高く、次いで「大宮」が20.1%、「楠目」が13.6%となっています。



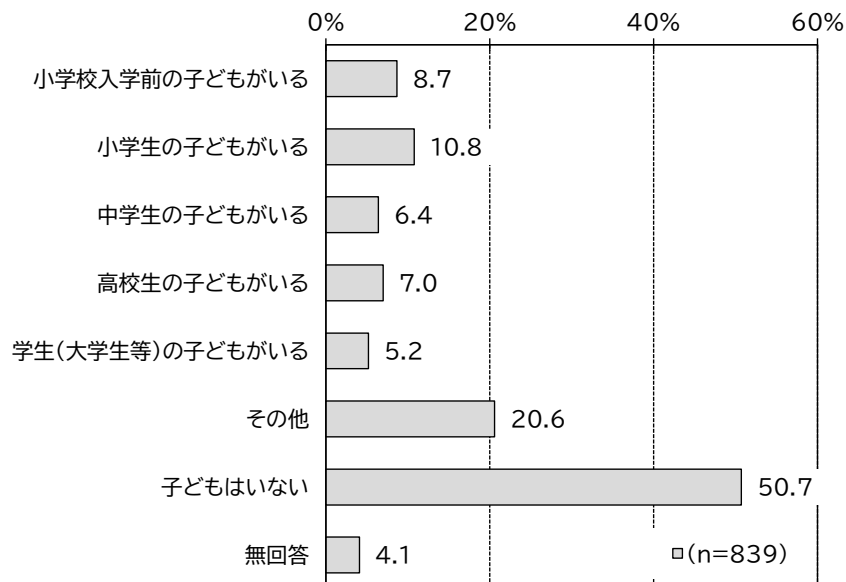
■ 家族構成

家族構成については、「二世代(親子のみ)」が43.3%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が26.2%、「ひとり暮らし」が13.9%、「三世代以上(祖父母、父母、子等)」が11.4%となっています。



■ 子どもの有無

子どもの有無については、「子どもはいない」が50.7%で最も高く、次いで「その他」が20.6%、「小学生の子どもがいる」が10.8%、「小学校入学前の子どもがいる」が8.7%、「高校生の子どもがいる」が7.0%となっています。



2. 生涯学習(自主的な学習活動)について

■問1 あなたは、この1年間くらいの中に、どのような方法で学習したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

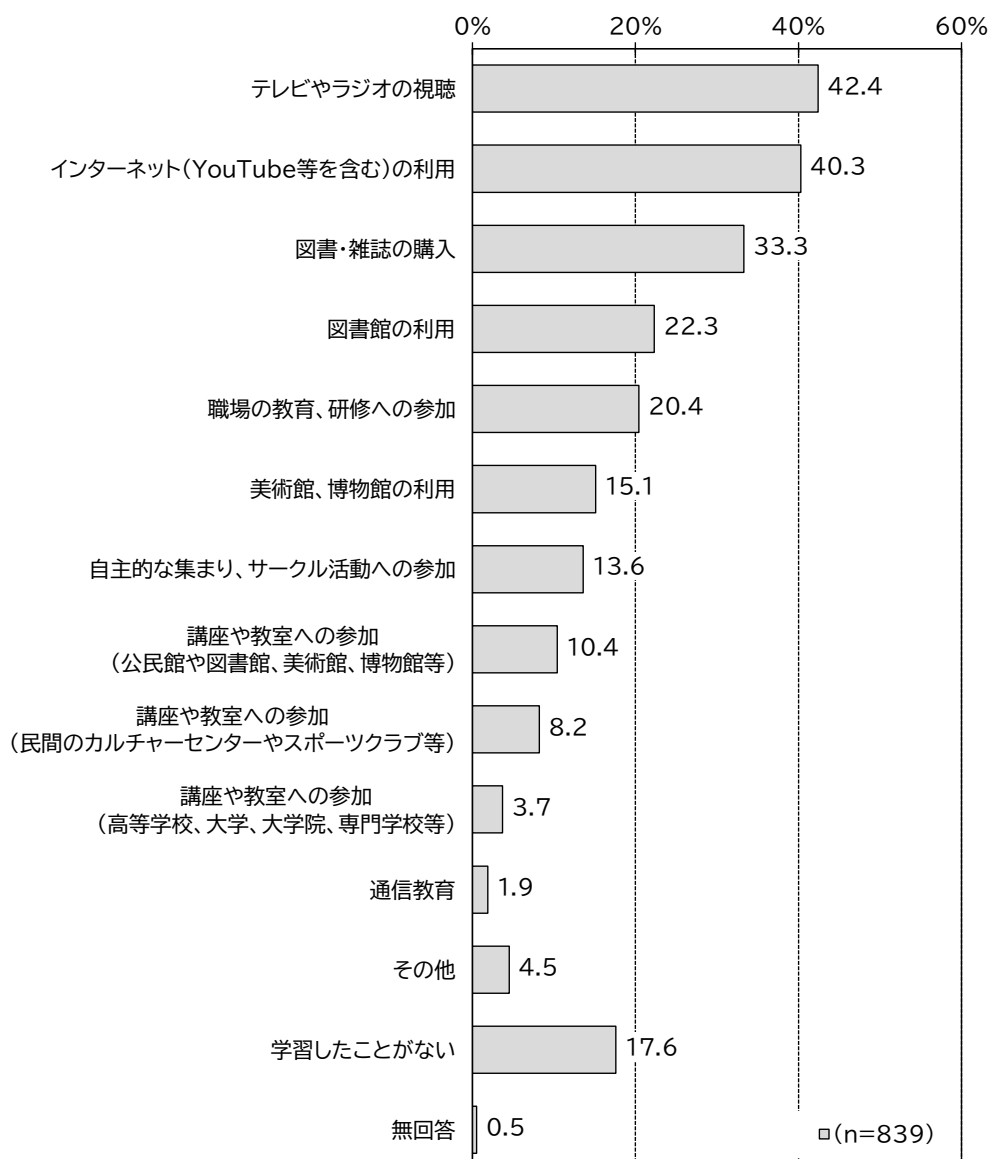
生涯学習の学習方法については、「テレビやラジオの視聴」が42.4%で最も高く、次いで「インターネット(YouTube等を含む)の利用」が40.3%、「図書・雑誌の購入」が33.3%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「図書・雑誌の購入」は女性の方が男性を11.1ポイント上回っています。

年齢別で見ると、年齢が低くなるほど「インターネット(YouTube等を含む)の利用」の割合が高くなる傾向にあります。また、70～79歳で「テレビやラジオの視聴」が53.1%と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、山田、片地(佐岡含む)、香長(繁藤含む)、大栃は「インターネット(YouTube等を含む)の利用」、楠目、舟入、大宮は「テレビやラジオの視聴」が最も高くなっています。舟入では「テレビやラジオの視聴」「自主的な集まり、サークル活動への参加」が他の小学校区と比べて特に高くなっています。



	回答者数 (n)	テレビやラジオの視聴	インターネット(YouTube等を含む)の利用	図書・雑誌の購入	図書館の利用	職場の教育、研修への参加	美術館、博物館の利用	自主的な集まり、サークル活動への参加	講座や教室への参加(公民館や図書館、美術館、博物館等)	講座や教室への参加(民間の講師やセンターやスポーツクラブ等)
全体	839	42.4	40.3	33.3	22.3	20.4	15.1	13.6	10.4	8.2
性別	男性	329	39.8	42.9	26.7	18.5	21.6	11.6	12.8	6.7
	女性	495	44.8	39.0	37.8	25.1	20.0	17.8	14.1	10.7
	どちらでもない/答えたくない	9	▼22.2	33.3	△44.4	22.2	11.1	11.1	11.1	-
年齢別	29歳以下	50	▼16.0	△58.0	34.0	28.0	28.0	6.0	4.0	8.0
	30~39歳	78	44.9	△61.5	33.3	28.2	△34.6	23.1	10.3	10.3
	40~49歳	121	▼32.2	49.6	26.4	28.1	△35.5	13.2	14.0	10.7
	50~59歳	124	33.9	46.0	37.1	21.8	29.0	12.9	8.9	8.1
	60~69歳	198	44.9	43.4	32.3	21.2	18.7	14.6	11.1	6.6
	70~79歳	260	△53.1	▼21.5	35.4	18.1	▼4.6	16.9	20.4	15.0
小学校区別	山田	303	40.3	41.3	37.0	23.4	21.5	16.2	11.9	10.9
	楠目	114	48.2	39.5	35.1	28.9	28.1	16.7	13.2	8.8
	片地(佐岡含む)	67	40.3	44.8	28.4	13.4	14.9	16.4	7.5	13.4
	舟入	72	△56.9	45.8	37.5	25.0	22.2	25.0	△23.6	11.1
	香長(繁藤含む)	37	40.5	45.9	32.4	27.0	18.9	8.1	13.5	16.2
	大宮	169	43.8	36.7	31.4	17.8	17.2	11.2	14.8	10.7
	大栃	47	34.0	40.4	25.5	27.7	17.0	12.8	17.0	4.3

	回答者数 (n)	講座や教室への参加(高等学校等)	通信教育	その他	学習したことがない	無回答	
全体	839	3.7	1.9	4.5	17.6	0.5	
性別	男性	329	4.6	1.5	4.6	19.5	-
	女性	495	3.0	2.2	4.2	16.4	0.4
	どちらでもない/答えたくない	9	-	-	△22.2	22.2	-
年齢別	29歳以下	50	△34.0	10.0	6.0	10.0	-
	30~39歳	78	2.6	2.6	7.7	11.5	-
	40~49歳	121	2.5	4.1	0.8	20.7	0.8
	50~59歳	124	1.6	3.2	3.2	18.5	-
	60~69歳	198	1.5	-	4.0	17.7	0.5
	70~79歳	260	1.2	-	6.2	19.6	0.8
小学校区別	山田	303	4.3	3.0	5.6	15.5	-
	楠目	114	2.6	0.9	4.4	18.4	-
	片地(佐岡含む)	67	1.5	3.0	9.0	23.9	-
	舟入	72	4.2	1.4	1.4	9.7	-
	香長(繁藤含む)	37	8.1	2.7	2.7	18.9	5.4
	大宮	169	2.4	1.2	3.6	18.9	-
	大栃	47	6.4	-	2.1	17.0	-

■問1-1 (問1で、1～12と答えた方に)学習した理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

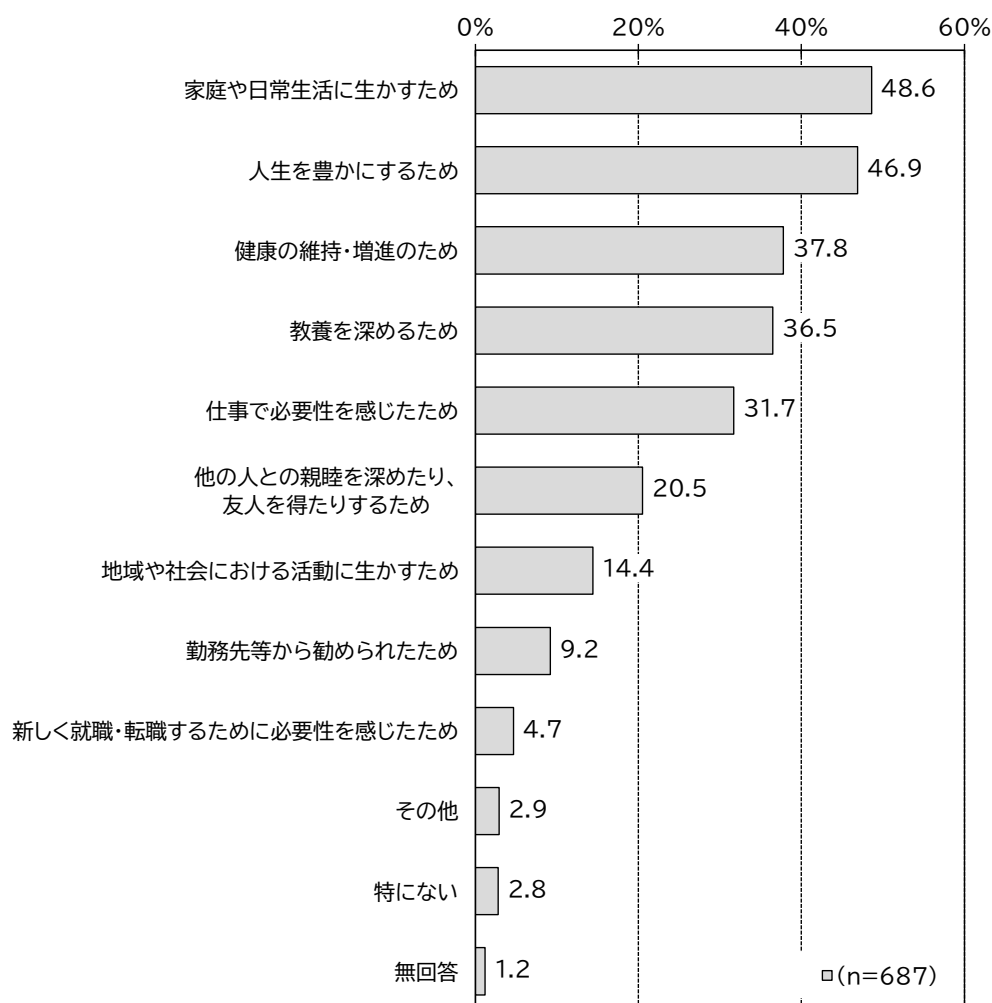
生涯学習を学習した理由については、「家庭や日常生活に生かすため」が48.6%で最も高く、次いで「人生を豊かにするため」が46.9%、「健康の維持・増進のため」が37.8%、「教養を深めるため」が36.5%、「仕事で必要性を感じたため」が31.7%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「仕事で必要性を感じたため」は男性の方が女性を10.0ポイント上回っています。

年齢別でみると、40～49歳で「仕事で必要性を感じたため」が半数近く、70～79歳で「健康の維持・増進のため」が半数以上と、他の年齢層と比べて特になくなっていきます。

小学校区別でみると、山田と大柘は「人生を豊かにするため」、楠目、片地(佐岡含む)、舟入、大宮は「家庭や日常生活に生かすため」が最も高くなっています。香長(繁藤含む)は「家庭や日常生活に生かすため」、「人生を豊かにするため」、「健康の維持・増進のため」が同率で最も高くなっています。



	回答者数 (n)	め家庭や日常生活に生かすため	人生を豊かにするため	健康の維持・増進のため	教養を深めるため	仕事で必要性を感じたため	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	地域や社会における活動に生かすため	め勤務先等から勧められたため	新しく就職・転職するため	
全体	687	48.6	46.9	37.8	36.5	31.7	20.5	14.4	9.2	4.7	
性別	男性	265	45.7	44.5	37.0	37.7	19.2	17.7	7.2	5.7	
	女性	412	50.7	48.5	38.8	36.2	27.7	21.6	12.4	10.2	
	どちらでもない/答えたくない	7	42.9	42.9	▼14.3	28.6	△42.9	14.3	14.3	△28.6	△28.6
年齢別	29歳以下	45	▼35.6	42.2	▼13.3	42.2	40.0	11.1	8.9	△26.7	△26.7
	30~39歳	69	49.3	49.3	31.9	40.6	△46.4	▼7.2	7.2	15.9	10.1
	40~49歳	95	41.1	45.3	30.5	40.0	△49.5	16.8	10.5	16.8	5.3
	50~59歳	101	42.6	41.6	▼27.7	33.7	39.6	20.8	9.9	13.9	1.0
	60~69歳	162	50.0	46.9	38.3	36.4	35.2	19.8	15.4	3.7	3.7
	70~79歳	207	56.5	50.7	△53.6	34.8	▼10.6	29.5	21.3	1.4	-
小学校区別	山田	256	46.5	46.9	35.5	41.0	32.8	18.0	12.1	10.5	7.0
	楠目	93	51.6	44.1	37.6	39.8	35.5	11.8	8.6	11.8	3.2
	片地(佐岡含む)	51	45.1	39.2	31.4	35.3	39.2	27.5	13.7	5.9	5.9
	舟入	65	52.3	49.2	41.5	33.8	32.3	23.1	△27.7	15.4	4.6
	香長(繁藤含む)	28	39.3	39.3	39.3	32.1	35.7	17.9	10.7	3.6	-
	大宮	137	56.9	51.8	43.1	32.1	26.3	27.7	17.5	5.8	-
	大栃	39	41.0	48.7	43.6	33.3	23.1	23.1	15.4	5.1	10.3

	回答者数 (n)	その他	特にない	無回答	
全体	687	2.9	2.8	1.2	
性別	男性	265	3.0	3.0	0.4
	女性	412	2.4	2.7	1.7
	どちらでもない/答えたくない	7	△28.6	-	
年齢別	29歳以下	45	2.2	-	-
	30~39歳	69	5.8	2.9	1.4
	40~49歳	95	2.1	2.1	1.1
	50~59歳	101	2.0	2.0	-
	60~69歳	162	2.5	2.5	1.9
	70~79歳	207	3.4	4.3	1.4
小学校区別	山田	256	3.9	3.9	1.2
	楠目	93	2.2	2.2	-
	片地(佐岡含む)	51	2.0	2.0	-
	舟入	65	-	3.1	-
	香長(繁藤含む)	28	7.1	-	3.6
	大宮	137	2.9	1.5	1.5
	大栃	39	-	-	5.1

■問1-2（問1で、「13. 学習したことがない」と答えた方に）
学習したことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

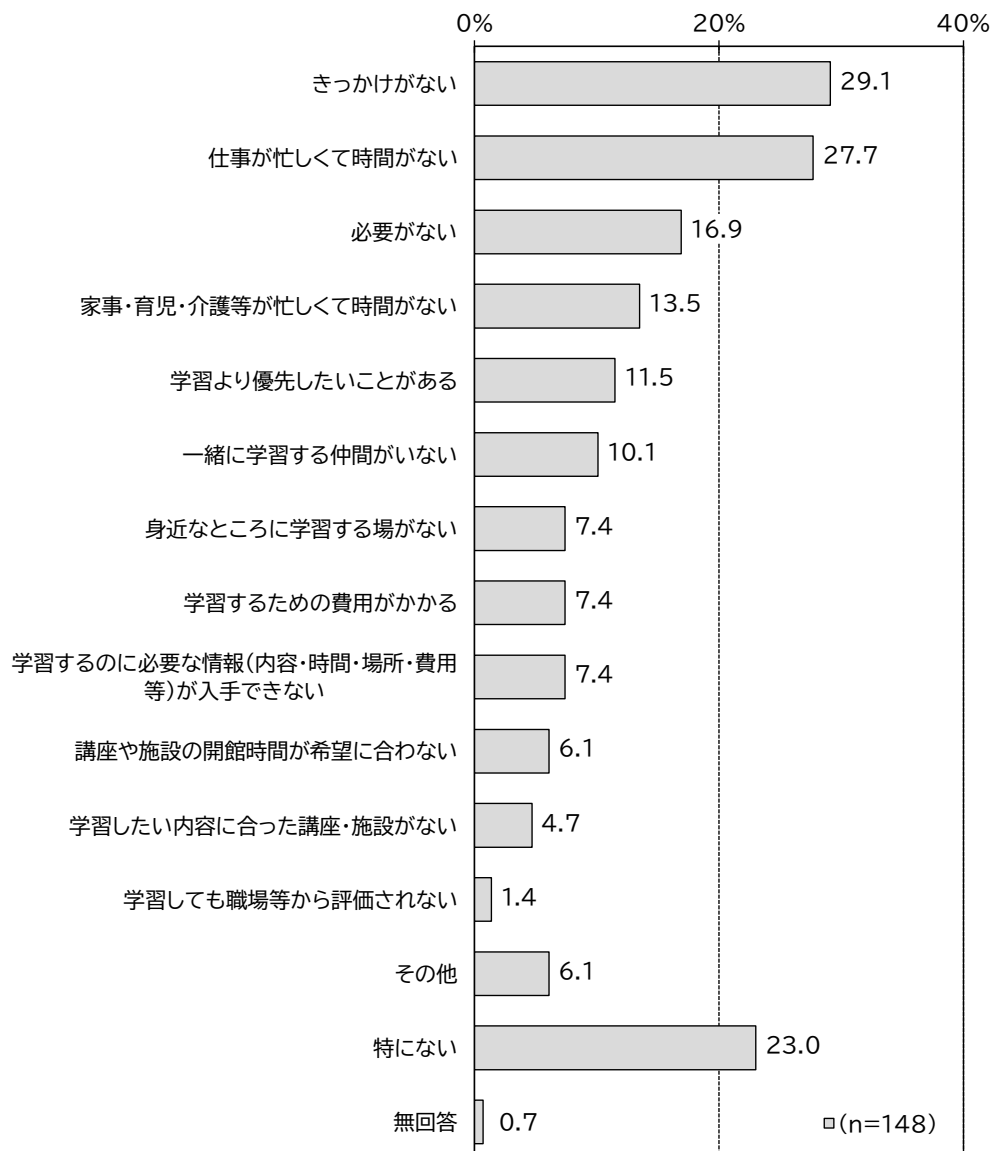
生涯学習を学習したことがない理由については、「きっかけがない」が29.1%で最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がない」が27.7%、「特にない」が23.0%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「必要がない」は男性の方が女性を15.1ポイント上回っています。また、「仕事が忙しくて時間がない」は女性の方が男性を14.3ポイント上回っています。

年齢別でみると、40～49歳で「きっかけがない」が4割、50～59歳で「仕事が忙しくて時間がない」が半数近くと、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、山田は「仕事が忙しくて時間がない」、楠目、舟入、香長（繁藤含む）は「きっかけがない」、片地（佐岡含む）と大栃は「特にない」、大宮は「きっかけがない」と「特にない」が最も高くなっています。



	回答者数 (n)	きっかけがない	仕事が忙しくて時間がない	必要がない	家事・育児・介護等が忙しくて時間がない	学習より優先したいことがある	一緒に学習する仲間がない	身近なところに学習する場がない	学習するための費用がかかる	学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用等)が入手できない
全体	148	29.1	27.7	16.9	13.5	11.5	10.1	7.4	7.4	7.4
性別	男性	64	29.7	20.3	25.0	6.3	17.2	3.1	4.7	6.3
	女性	81	25.9	34.6	9.9	18.5	7.4	14.8	9.9	8.6
	どちらでもない/答えたくない	2	△100.0	▼ -	△50.0	▼ -	▼ -	△50.0	-	-
年齢別	29歳以下	5	▼ -	△40.0	20.0	▼ -	20.0	▼ -	-	-
	30~39歳	9	22.2	22.2	11.1	△33.3	△22.2	▼ -	11.1	11.1
	40~49歳	25	△40.0	36.0	20.0	△24.0	8.0	4.0	12.0	-
	50~59歳	23	30.4	△47.8	8.7	13.0	8.7	8.7	4.3	13.0
	60~69歳	35	31.4	34.3	11.4	14.3	14.3	11.4	8.6	11.4
	70~79歳	51	25.5	▼ 9.8	23.5	5.9	9.8	15.7	5.9	5.9
小学校区別	山田	47	▼17.0	△38.3	14.9	△25.5	14.9	6.4	6.4	17.0
	楠目	21	△42.9	△38.1	▼ 4.8	19.0	9.5	14.3	4.8	4.8
	片地(佐岡含む)	16	31.3	▼ 6.3	△31.3	▼ -	6.3	12.5	6.3	-
	舟入	7	△57.1	△42.9	14.3	▼ -	▼ -	14.3	14.3	-
	香長(繁藤含む)	7	△42.9	▼14.3	▼ -	14.3	14.3	14.3	-	-
	大宮	32	31.3	25.0	18.8	6.3	9.4	12.5	12.5	6.3
	大栃	8	25.0	▼ -	25.0	▼ -	△25.0	▼ -	12.5	-

	回答者数 (n)	講座や施設の開催時間が希望に合わない	学習したい内容に合った講座・施設がない	学習しても職場等から評価されない	その他	特にない	無回答
全体	148	6.1	4.7	1.4	6.1	23.0	0.7
性別	男性	64	4.7	7.8	3.1	4.7	26.6
	女性	81	7.4	2.5	-	7.4	21.0
	どちらでもない/答えたくない	2	-	-	-	▼ -	-
年齢別	29歳以下	5	-	-	-	△20.0	20.0
	30~39歳	9	11.1	-	11.1	-	22.2
	40~49歳	25	-	8.0	-	4.0	24.0
	50~59歳	23	8.7	4.3	-	8.7	▼13.0
	60~69歳	35	14.3	2.9	2.9	5.7	17.1
	70~79歳	51	2.0	5.9	-	5.9	31.4
小学校区別	山田	47	8.5	2.1	4.3	6.4	21.3
	楠目	21	-	4.8	-	4.8	▼ 9.5
	片地(佐岡含む)	16	-	6.3	-	6.3	△37.5
	舟入	7	-	-	-	14.3	▼ -
	香長(繁藤含む)	7	-	-	-	-	14.3
	大宮	32	15.6	6.3	-	3.1	31.3
	大栃	8	-	12.5	-	-	△37.5

■問2 あなたが今後やってみたい学習はありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

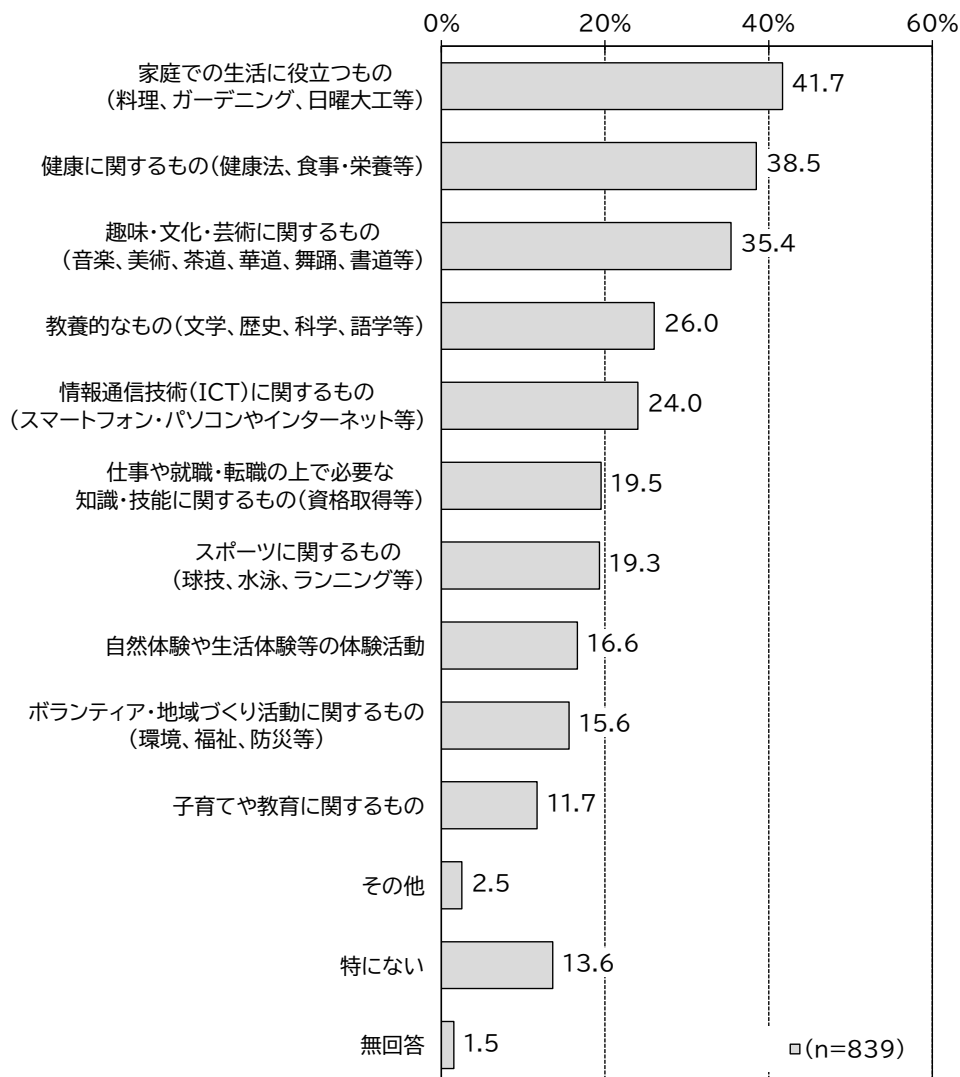
今後やってみたい学習については、「家庭での生活に役立つもの(料理、ガーデニング、日曜大工等)」が41.7%で最も高く、次いで「健康に関するもの(健康法、食事・栄養等)」が38.5%、「趣味・文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道等)」が35.4%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「趣味・文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道等)」は女性の方が男性を12.3ポイント上回っています。また、「スポーツに関するもの(球技、水泳、ランニング等)」は男性の方が女性を11.7ポイント上回っています。

年齢別で見ると、年齢が高くなるほど「健康に関するもの(健康法、食事・栄養等)」の割合が高くなる傾向にあります。また39歳以下で「仕事や就職・転職の上で必要な知識・技能に関するもの(資格取得等)」が半数程度と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、山田と香長(繁藤含む)を除くすべての小学校区は「家庭での生活に役立つもの(料理、ガーデニング、日曜大工等)」、山田は「趣味・文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道等)」、香長(繁藤含む)は「健康に関するもの(健康法、食事・栄養等)」が最も高くなっています。



	回答者数 (n)	家庭での生活に役立つもの(料理、ガーデニング、日曜大工等)	健康に関するもの(健康法、食事・栄養等)	趣味・文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道等)	学教的なもの(文学、歴史、科学、語学等)	情報通信技術(ICT)に関するもの(スマートフォン・パソコンやインターネット等)	知識・技能に関するもの(資格取得等)	スポーツに関するもの(球技、水泳、ランニング等)	自然体験や生活体験等の体験活動	ボランティア(環境づくり活動等)	
全体	839	41.7	38.5	35.4	26.0	24.0	19.5	19.3	16.6	15.6	
性別	男性	329	36.5	34.7	28.3	27.4	24.0	26.4	15.2	17.0	
	女性	495	46.1	41.2	40.6	25.1	16.6	14.7	17.6	14.7	
	どちらでもない/答えたくない	9	▼22.2	33.3	▼22.2	33.3	▼11.1	11.1	22.2	11.1	
年齢別	29歳以下	50	32.0	▼18.0	42.0	34.0	24.0	△52.0	28.0	16.0	14.0
	30~39歳	78	37.2	29.5	35.9	30.8	20.5	△46.2	26.9	21.8	15.4
	40~49歳	121	38.8	32.2	40.5	31.4	16.5	△36.4	△30.6	24.8	17.4
	50~59歳	124	49.2	41.9	△46.0	24.2	△34.7	19.4	21.8	14.5	15.3
	60~69歳	198	47.0	39.4	36.9	28.8	30.3	13.1	19.7	17.7	19.2
	70~79歳	260	38.5	45.0	▼25.4	18.5	18.1	▼1.9	▼9.2	11.9	12.7
小学校区別	山田	303	35.6	36.6	37.6	29.4	23.8	25.7	26.7	15.5	13.5
	楠目	114	42.1	36.8	37.7	31.6	21.1	15.8	15.8	15.8	18.4
	片地(佐岡含む)	67	41.8	37.3	26.9	23.9	22.4	22.4	13.4	14.9	11.9
	舟入	72	△56.9	47.2	44.4	23.6	27.8	13.9	18.1	20.8	22.2
	香長(繁藤含む)	37	37.8	43.2	29.7	24.3	21.6	24.3	10.8	13.5	8.1
	大宮	169	48.5	44.4	34.3	20.7	26.0	11.2	19.5	16.6	16.6
大栃	47	51.1	29.8	34.0	21.3	29.8	23.4	▼6.4	25.5	23.4	

	回答者数 (n)	子育てや教育に関するもの	その他	特にない	無回答	
全体	839	11.7	2.5	13.6	1.5	
性別	男性	329	7.0	2.1	16.4	0.3
	女性	495	14.7	2.6	11.7	2.2
	どちらでもない/答えたくない	9	11.1	11.1	22.2	-
年齢別	29歳以下	50	20.0	4.0	▼2.0	2.0
	30~39歳	78	△35.9	5.1	10.3	-
	40~49歳	121	△25.6	-	10.7	0.8
	50~59歳	124	9.7	2.4	8.1	0.8
	60~69歳	198	6.1	3.0	10.6	-
	70~79歳	260	▼1.5	2.3	23.5	3.8
小学校区別	山田	303	12.5	3.6	12.2	1.3
	楠目	114	14.0	2.6	12.3	-
	片地(佐岡含む)	67	9.0	4.5	11.9	1.5
	舟入	72	13.9	1.4	8.3	1.4
	香長(繁藤含む)	37	16.2	-	13.5	8.1
	大宮	169	10.1	0.6	13.0	0.6
大栃	47	8.5	4.3	21.3	2.1	

■問3 香美市における生涯学習環境の満足度と重要度について、どうお考えでしょうか。
(満足度・重要度について、ア～カのそれぞれの項目に1つずつ〇)

【全体】

香美市における生涯学習環境の満足度と重要度については、満足度をみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、「カ 図書館サービスの充実」で3割台、それ以外の分野は1割台となっています。重要度をみると、「非常に重要」と「重要」を合わせた『重要』は、いずれの分野も5～6割程度となっています。

前回調査と比べると、「カ 図書館サービスの充実」の満足度で『満足』は、今回調査の方が前回調査を17.4ポイント上回っています。

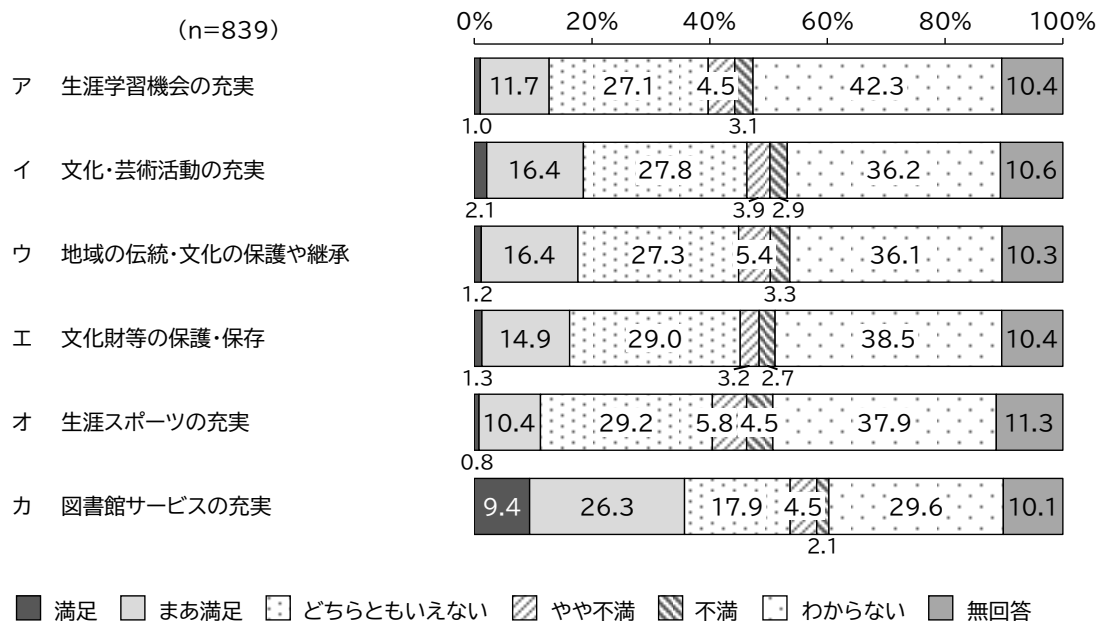
【属性ごと】

性別でみると、「カ 図書館サービスの充実」は女性の方が男性よりも、満足度で『満足』が7.7ポイント、重要度で『重要』が5.8ポイント高くなっています。

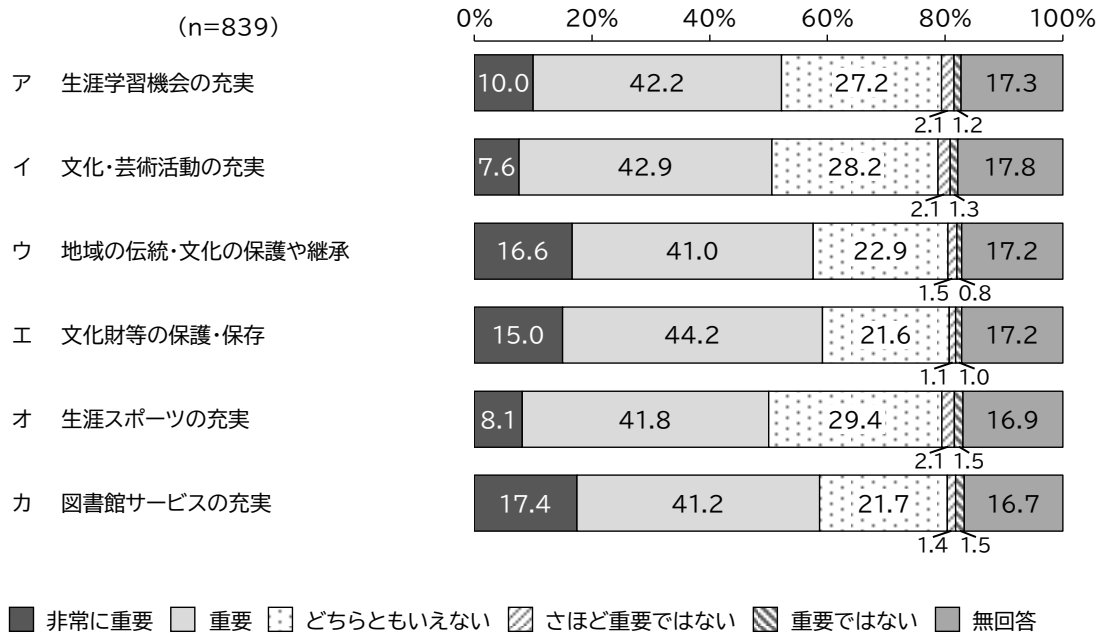
年齢別でみると、39歳以下は「カ 図書館サービスの充実」の満足度で『満足』が半数以上と、他の年齢層と比べて高くなっています。また、29歳以下は「ウ 地域の伝統・文化の保護や継承」と「エ 文化財等の保護・保存」を除くすべての分野の重要度で『重要』が、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、満足度では香長(繁藤含む)で「イ 文化・芸術活動の充実」と「カ 図書館サービスの充実」の『満足』が、他の小学校区と比べて高くなっています。重要度では大柝で「ア 生涯学習機会の充実」と「カ 図書館サービスの充実」の『重要』が、他の小学校区と比べて低くなっています。

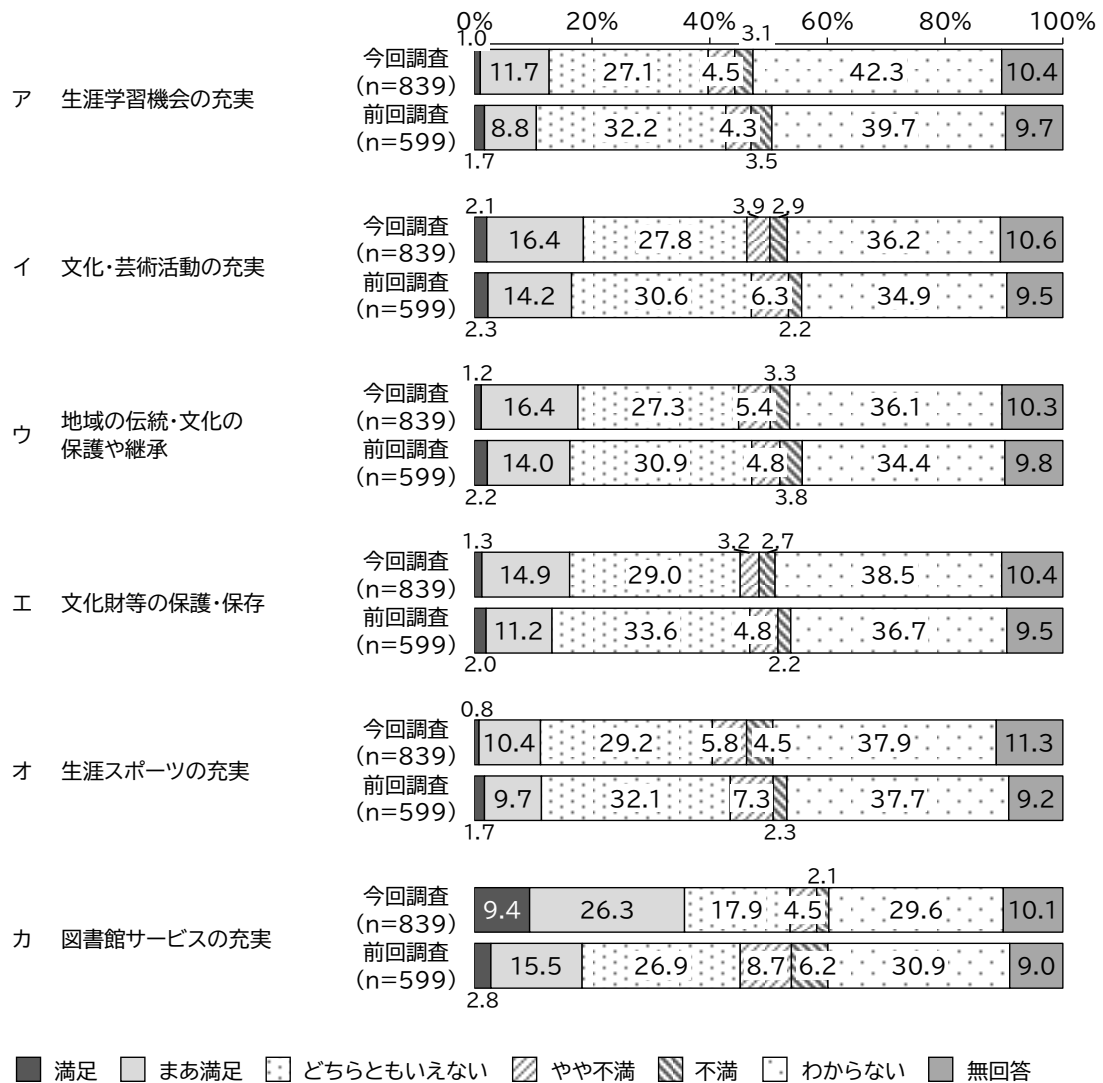
【満足度】



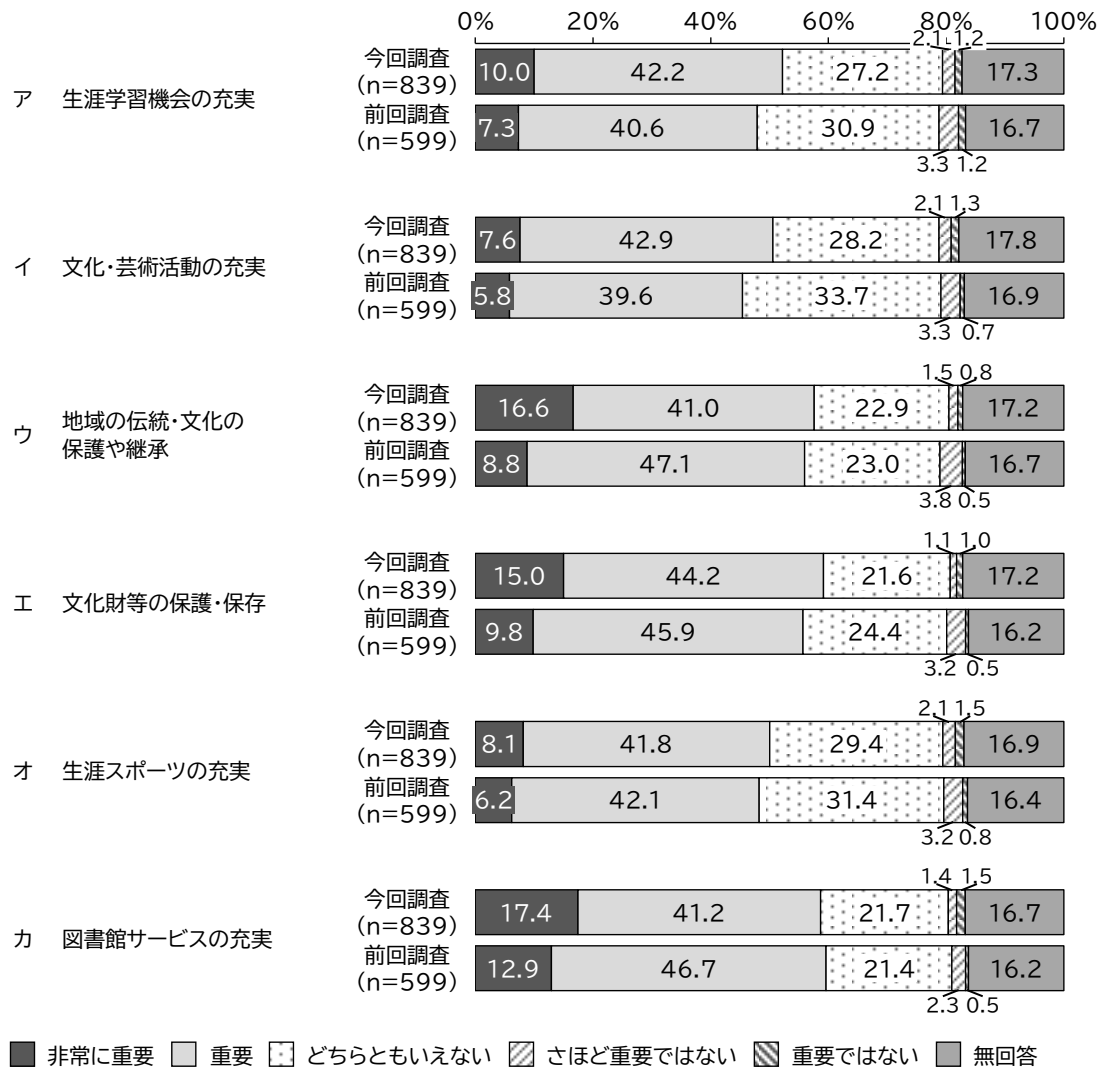
【重要度】



【前回調査との満足度の比較】



【前回調査との重要度の比較】



【属性別「満足」と「まあ満足」の合計】

単位:%

		回答者数 (n)	ア 生涯学習 機会の充 実	イ 文化・芸 術活動の 充実	ウ 地域の伝 統・文化 の保 護や継承	エ 文化財等 の保護・ 保存	オ 生涯スポ ーツの充 実	カ 図書館サ ービスの 充実
全体		839	12.7	18.5	17.6	16.2	11.2	35.7
性別	男性	329	13.1	17.3	17.3	15.2	10.3	31.3
	女性	495	12.5	19.6	17.8	17.0	11.7	39.0
	どちらでもない/答えたくない	9	11.1	22.2	△33.3	11.1	11.1	33.3
年齢別	29歳以下	50	20.0	24.0	24.0	18.0	18.0	△50.0
	30~39歳	78	12.8	20.5	19.2	18.0	15.4	△53.8
	40~49歳	121	7.4	14.1	18.2	11.6	6.6	43.0
	50~59歳	124	12.1	14.5	19.3	16.1	9.7	29.9
	60~69歳	198	10.1	20.2	16.7	12.6	10.6	34.4
	70~79歳	260	15.7	20.0	15.8	19.6	11.6	27.7
小学校区別	山田	303	13.6	18.8	17.1	15.2	12.9	38.6
	楠目	114	14.1	21.1	14.9	15.8	12.3	44.7
	片地(佐岡含む)	67	11.9	20.9	14.9	10.5	4.5	26.9
	舟入	72	11.1	22.2	19.4	19.4	12.5	41.6
	香長(繁藤含む)	37	10.8	△29.7	16.2	16.2	8.1	△45.9
	大宮	169	15.4	16.6	22.5	22.5	12.4	29.6
大栃	47	4.3	10.6	21.2	10.6	6.4	▼25.5	

【属性別「非常に重要」と「重要」の合計】

単位:%

		回答者数 (n)	ア 生涯学習 機会の充 実	イ 文化・芸 術活動の 充実	ウ 地域の伝 統・文化 の保 護や継承	エ 文化財等 の保護・ 保存	オ 生涯スポ ーツの充 実	カ 図書館サ ービスの 充実
全体		839	52.2	50.5	57.6	59.2	49.9	58.6
性別	男性	329	51.0	49.5	59.3	60.5	50.1	55.6
	女性	495	53.5	51.8	57.2	59.2	50.7	61.4
	どちらでもない/答えたくない	9	▼33.3	55.6	▼33.3	▼33.3	▼22.2	▼44.4
年齢別	29歳以下	50	△70.0	△64.0	64.0	66.0	△66.0	△70.0
	30~39歳	78	56.4	55.2	61.6	59.0	△60.3	65.4
	40~49歳	121	52.1	53.7	58.6	57.0	56.2	67.0
	50~59歳	124	53.2	51.7	62.9	64.5	49.2	62.1
	60~69歳	198	55.1	53.0	59.1	64.1	54.1	60.6
	70~79歳	260	45.0	43.5	51.2	53.1	▼39.2	▼47.7
小学校区別	山田	303	55.8	54.1	59.1	60.1	54.2	64.0
	楠目	114	48.2	45.6	49.1	54.4	47.4	58.8
	片地(佐岡含む)	67	56.7	55.3	65.7	59.7	53.7	62.7
	舟入	72	56.9	56.9	62.5	68.1	55.6	63.9
	香長(繁藤含む)	37	54.0	54.0	56.7	62.2	59.5	62.1
	大宮	169	51.5	50.3	63.3	64.5	46.7	53.2
大栃	47	▼40.4	44.7	53.1	53.1	40.4	▼46.8	

3. インターネットの利用について

■問4 あなたは、オンラインミーティングツール(Zoom、Google Meet、Skype等)、YouTube、SNSを利用していますか。(1つに○)

【全体】

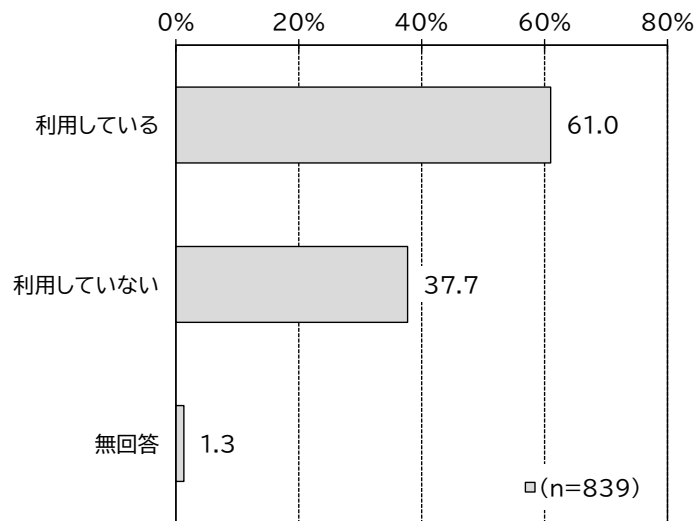
オンラインミーティングツール、YouTube、SNSの利用の有無については、「利用している」が61.0%、「利用していない」が37.7%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、男女で大きな差はありません。

年齢別で見ると、70～79歳を除いたすべての年齢層は「利用している」が高くなっています。一方で、70～79歳は「利用していない」が6割台となっています。

小学校区別で見ると、山田、舟入、香長(繁藤含む)、大栃は「利用している」の割合が65%を超えています。



単位:%

	(n 回答者数)	利用 している	利用 して いな	無 回 答	
全体	839	61.0	37.7	1.3	
性別	男性	61.7	36.8	1.5	
	女性	60.8	38.2	1.0	
	どちらでもない/答えたくない	9	55.6	44.4	-
年齢別	29歳以下	△84.0	▼14.0	2.0	
	30～39歳	△88.5	▼10.3	1.3	
	40～49歳	△88.4	▼10.7	0.8	
	50～59歳	△74.2	▼25.0	0.8	
	60～69歳	60.6	39.4	-	
	70～79歳	260	▼30.4	△66.9	2.7
小学校区別	山田	303	66.3	33.0	0.7
	楠目	114	57.0	43.0	-
	片地(佐岡含む)	67	59.7	38.8	1.5
	舟入	72	66.7	33.3	-
	香長(繁藤含む)	37	67.6	29.7	2.7
	大宮	169	54.4	43.2	2.4
大栃	47	66.0	34.0	-	

■問4-1 (問4で「1. 利用している」と答えた方に)それぞれのツールをどのように使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

オンラインミーティングツール、YouTube、SNSの利用形態についてみると、オンラインミーティングツールは、「講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)」が32.2%で最も高く、次いで「オンラインミーティングツールを利用していない」が30.7%、「打ち合わせや会議への参加(仕事で使う場合を含む)」と「友人との交流」がともに25.2%となっています。

YouTube等の動画は、「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」が67.2%で最も高く、次いで「ニュース動画の視聴」が29.7%、「講座・講演会等の視聴、eラーニングの受講(仕事で使う場合を含む)」が22.5%となっています。

SNS(LINE)は、「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」が89.1%で最も高く、次いで「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」が25.8%、「仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信」が23.6%となっています。

SNS(Facebook、Instagram、Twitter等)は、「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」が40.6%で最も高く、次いで「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」が35.2%、「SNSを利用していない」が32.2%となっています。

【属性ごと】

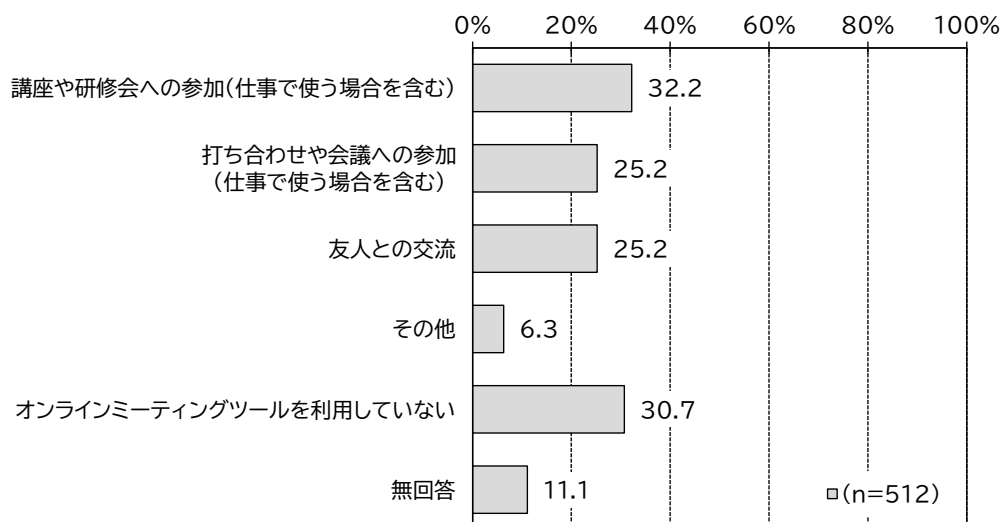
オンラインミーティングツールについて、性別でみると、「打ち合わせや会議への参加(仕事で使う場合を含む)」は男性の方が女性を14.7ポイント上回っています。年齢別でみると、49歳以下は「講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)」、50～69歳は「オンラインミーティングツールを利用していない」、70～79歳は「友人との交流」が最も高くなっています。小学校区別でみると、山田と楠目は「講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)」、片地(佐岡含む)と香長(繁藤含む)は「友人との交流」、舟入は「講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)」と「オンラインミーティングツールを利用していない」、大宮と大栃は「オンラインミーティングツールを利用していない」が最も高くなっています。

YouTube等の動画について、性別でみると、「スポーツの試合観戦」は男性の方が女性を16.8ポイント上回っています。年齢別でみると、いずれの年齢層も「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」が最も高くなっています。小学校区別でみると、いずれの小学校区も「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」が最も高くなっています。

SNS(LINE)について、性別でみると、「保護者間での連絡・交流」は女性の方が男性を15.9ポイント上回っています。年齢別でみると、いずれの年齢層も「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」が最も高くなっています。小学校区別でみると、いずれの小学校区も「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」が最も高くなっています。

SNS(Facebook、Instagram、Twitter等)について、性別でみると、「仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信」は男性の方が女性を5.5ポイント上回っています。年齢別でみると、29歳以下は「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」と「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」、30～59歳は「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」、60～79歳は「SNSを利用していない」が最も高くなっています。小学校区別でみると、舟入と大栃を除くすべての小学校区は「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」、舟入と大栃は「SNSを利用していない」が最も高くなっています。

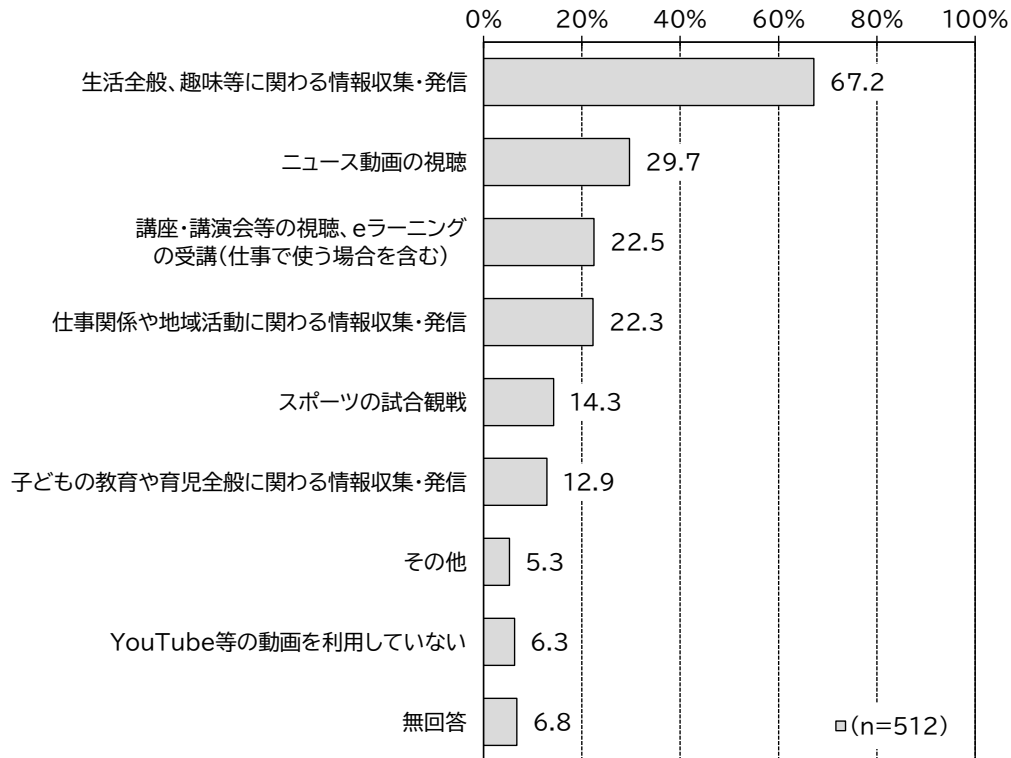
【オンラインミーティングツール】(Zoom、Google Meet、Skype等)



単位:%

	回答者数 (n)	講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)	打ち合わせや会議への参加(仕事で使う場合を含む)	友人との交流	その他	オンラインミーティングツールを利用していない	無回答	
全体	512	32.2	25.2	25.2	6.3	30.7	11.1	
性別	男性	203	30.0	34.0	27.6	5.9	26.6	11.3
	女性	301	33.2	19.3	22.9	6.3	34.2	11.0
	どちらでもない/答えたくない	5	△60.0	20.0	△40.0	△20.0	▼ -	20.0
年齢別	29歳以下	42	△57.1	31.0	28.6	2.4	23.8	2.4
	30~39歳	69	33.3	27.5	27.5	7.2	30.4	5.8
	40~49歳	107	△47.7	34.6	21.5	5.6	25.2	7.5
	50~59歳	92	30.4	25.0	18.5	5.4	33.7	15.2
	60~69歳	120	▼20.8	22.5	22.5	6.7	38.3	12.5
	70~79歳	79	▼16.5	▼11.4	△36.7	8.9	27.8	19.0
小学校区別	山田	201	34.3	26.9	25.4	6.5	30.8	7.0
	楠目	65	△47.7	33.8	21.5	6.2	30.8	7.7
	片地(佐岡含む)	40	22.5	20.0	30.0	15.0	27.5	12.5
	舟入	48	37.5	22.9	16.7	2.1	37.5	8.3
	香長(繁藤含む)	25	28.0	24.0	△48.0	8.0	24.0	12.0
	大宮	92	▼21.7	21.7	22.8	5.4	31.5	19.6
	大栃	31	22.6	16.1	22.6	3.2	29.0	△25.8

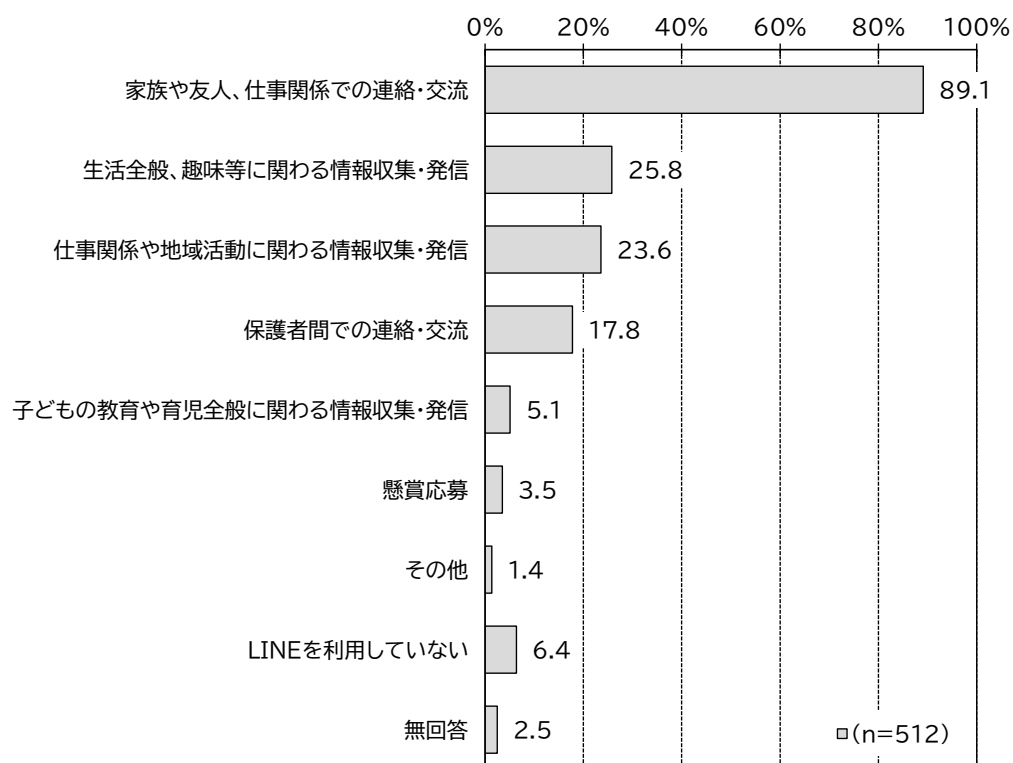
【YouTube等の動画】



単位:%

		回答者数 (n)	生活全般、趣味等に関する情報収集・発信	ニュース動画の視聴	講座・講演会等の視聴、eラーニングの受講(仕事で使う場合を含む)	仕事関係や地域活動に関する情報収集・発信	スポーツの試合観戦	子どもの教育や育児全般に関する情報収集・発信	その他	YouTube等の動画を利用していない	無回答
全体		512	67.2	29.7	22.5	22.3	14.3	12.9	5.3	6.3	6.8
性別	男性	203	65.5	37.4	22.2	31.0	24.1	4.9	6.4	4.4	4.9
	女性	301	68.4	24.6	21.9	16.6	7.3	18.6	4.3	7.6	8.3
	どちらでもない/答えたくない	5	△80.0	▼ -	△40.0	▼ -	20.0	▼ -	-	-	-
年齢別	29歳以下	42	71.4	31.0	31.0	△38.1	16.7	11.9	7.1	-	-
	30~39歳	69	75.4	20.3	23.2	27.5	13.0	△33.3	4.3	2.9	-
	40~49歳	107	72.9	24.3	29.9	27.1	16.8	△24.3	4.7	1.9	3.7
	50~59歳	92	66.3	23.9	27.2	21.7	12.0	5.4	6.5	6.5	9.8
	60~69歳	120	65.0	36.7	14.2	17.5	13.3	4.2	3.3	10.0	8.3
	70~79歳	79	▼55.7	39.2	12.7	▼10.1	13.9	▼2.5	6.3	12.7	15.2
小学校区別	山田	201	68.2	29.9	23.4	24.4	16.9	12.9	5.5	7.0	3.5
	楠目	65	70.8	32.3	30.8	20.0	12.3	20.0	4.6	4.6	6.2
	片地(佐岡含む)	40	60.0	27.5	27.5	20.0	15.0	▼2.5	2.5	12.5	7.5
	舟入	48	72.9	25.0	20.8	25.0	10.4	16.7	6.3	6.3	10.4
	香長(繁藤含む)	25	68.0	24.0	24.0	20.0	20.0	12.0	12.0	8.0	8.0
	大宮	92	67.4	30.4	17.4	17.4	14.1	14.1	4.3	4.3	8.7
	大栃	31	▼51.6	35.5	▼6.5	29.0	▼3.2	6.5	3.2	3.2	16.1

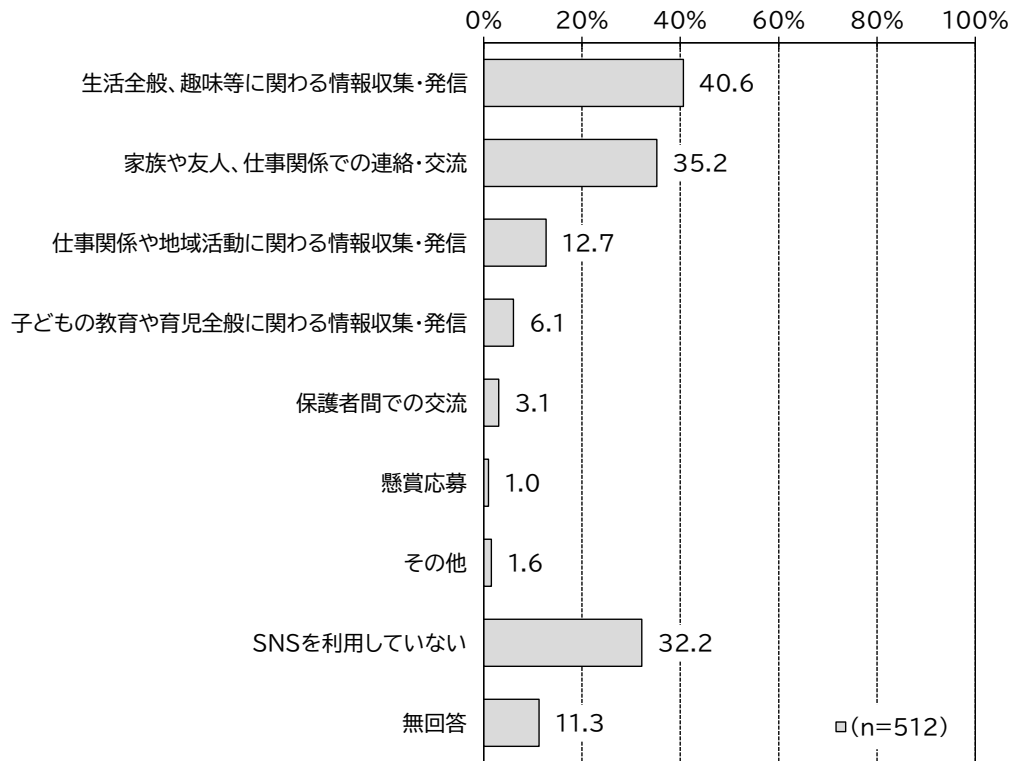
【SNS】(LINE)



単位:%

	回答者数 (n)	家族や友人、仕事関係での連絡・交流	生活全般、趣味等に関する情報収集・発信	仕事関係や地域活動に関する情報収集・発信	保護者間での連絡・交流	子どもの教育や育児全般に関する情報収集・発信	懸賞応募	その他	LINEを利用していない	無回答
全体	512	89.1	25.8	23.6	17.8	5.1	3.5	1.4	6.4	2.5
性別	男性	203	80.3	23.2	22.7	8.4	1.5	2.5	11.3	4.4
	女性	301	94.7	27.9	24.3	24.3	7.6	4.3	3.3	1.3
	どちらでもない/答えたくない	5	△100.0	20.0	20.0	▼ -	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	42	95.2	21.4	31.0	14.3	7.1	2.4	-	-
	30~39歳	69	91.3	▼14.5	29.0	△31.9	5.8	1.4	1.4	4.3
	40~49歳	107	93.5	28.0	29.0	△39.3	13.1	4.7	1.9	4.7
	50~59歳	92	90.2	30.4	20.7	14.1	3.3	3.3	1.1	5.4
	60~69歳	120	88.3	28.3	23.3	▼ 1.7	1.7	5.0	0.8	8.3
	70~79歳	79	▼77.2	26.6	▼11.4	▼ 6.3	-	2.5	2.5	12.7
小学校区別	山田	201	89.1	26.9	23.9	13.4	4.0	3.0	1.5	8.0
	楠目	65	90.8	18.5	30.8	△33.8	7.7	7.7	-	6.2
	片地(佐岡含む)	40	90.0	35.0	20.0	10.0	5.0	5.0	-	5.0
	舟入	48	93.8	18.8	20.8	16.7	4.2	2.1	-	4.2
	香長(繁藤含む)	25	△100.0	24.0	28.0	△36.0	△16.0	-	-	-
	大宮	92	87.0	27.2	23.9	16.3	4.3	3.3	3.3	5.4
	大柘	31	▼71.0	35.5	▼12.9	16.1	3.2	3.2	3.2	12.9

【SNS】(Facebook、Instagram、Twitter等)



単位:%

	回答者数 (n)	生活全般、趣味等に関する情報収集・発信	家族や友人、仕事関係での連絡・交流	仕事関係や地域活動に関する情報収集・発信	子どもの教育や育児全般に関する情報収集・発信	保護者間での交流	懸賞応募	その他	SNSを利用していない	無回答	
全体	512	40.6	35.2	12.7	6.1	3.1	1.0	1.6	32.2	11.3	
性別	男性	203	38.4	33.0	15.8	3.4	2.5	0.5	2.5	35.5	12.3
	女性	301	41.9	35.2	10.3	8.0	3.7	1.3	1.0	30.6	11.0
	どちらでもない/答えたくない	5	△60.0	△80.0	20.0	-	-	-	▼20.0	▼	-
年齢別	29歳以下	42	△61.9	△61.9	21.4	14.3	-	2.4	2.4	▼11.9	2.4
	30~39歳	69	△58.0	40.6	7.2	15.9	10.1	1.4	2.9	▼20.3	4.3
	40~49歳	107	△55.1	44.9	20.6	11.2	7.5	-	0.9	31.8	▼0.9
	50~59歳	92	34.8	30.4	13.0	1.1	1.1	1.1	1.1	33.7	14.1
	60~69歳	120	▼30.0	26.7	10.0	0.8	-	0.8	-	△42.5	14.2
	70~79歳	79	▼17.7	▼19.0	5.1	-	-	1.3	3.8	38.0	△29.1
小学校区別	山田	201	41.8	40.8	11.4	5.0	3.0	1.0	1.0	33.8	7.0
	楠目	65	△50.8	33.8	13.8	15.4	4.6	3.1	3.1	30.8	6.2
	片地(佐岡含む)	40	50.0	37.5	20.0	5.0	-	-	5.0	▼12.5	17.5
	舟入	48	39.6	▼25.0	8.3	2.1	2.1	-	-	41.7	8.3
	香長(繁藤含む)	25	44.0	36.0	△24.0	8.0	8.0	-	-	32.0	12.0
	大宮	92	34.8	28.3	9.8	4.3	2.2	1.1	1.1	31.5	20.7
	大栃	31	▼25.8	29.0	16.1	6.5	6.5	-	-	35.5	△22.6

■問4-2（問4で「2. 利用していない」と答えた方に）その理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

【全体】

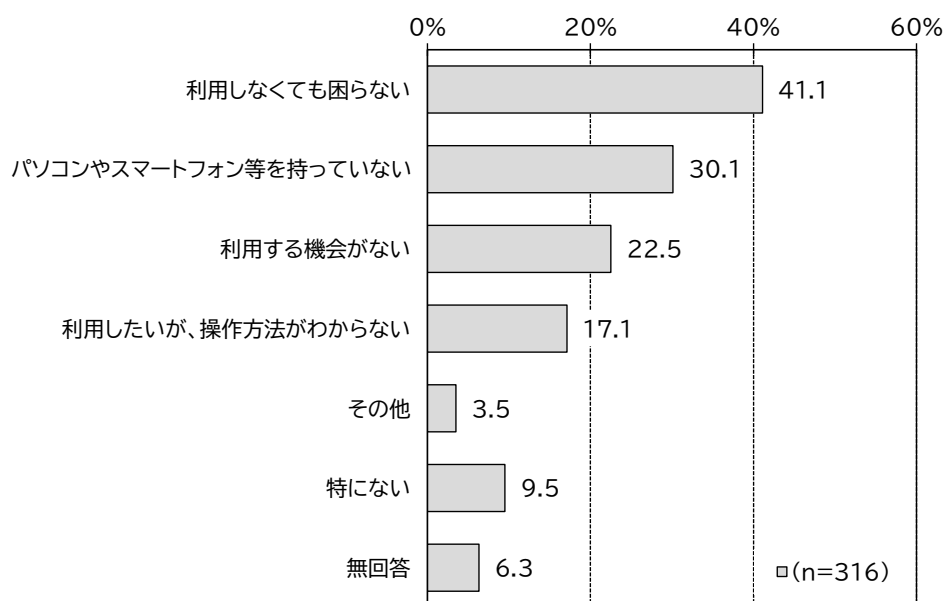
オンラインミーティングツール、YouTube、SNSを利用していない理由については、「利用しなくても困らない」が41.1%で最も高く、次いで「パソコンやスマートフォン等を持っていない」が30.1%、「利用する機会がない」が22.5%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「パソコンやスマートフォン等を持っていない」は女性の方が男性を7.7ポイント上回っています。

年齢別で見ると、30～49歳を除くすべての年齢層は「利用しなくても困らない」、30～49歳は「利用する機会がない」が最も高くなっています。また、40～49歳で「利用する機会がない」が7割近くと、他の年齢層と比べて特に高くなっています。

小学校区別で見ると、片地(佐岡含む)を除くすべての小学校区は「利用しなくても困らない」、片地(佐岡含む)は「パソコンやスマートフォン等を持っていない」が最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	利用しなくても困らない	パソコンやスマートフォン等を持っていない	利用する機会がない	利用したいが、操作方法がわからない	その他	特にな	無回答	
全体	316	41.1	30.1	22.5	17.1	3.5	9.5	6.3	
性別	男性	121	37.2	25.6	25.6	16.5	0.8	12.4	5.8
	女性	189	43.4	33.3	20.1	18.0	5.3	7.9	6.9
	どちらでもない/答えたくない	4	△75.0	25.0	▼ -	▼ -	-	-	-
年齢別	29歳以下	7	42.9	▼14.3	28.6	▼ -	-	14.3	-
	30~39歳	8	▼25.0	25.0	△37.5	▼ -	-	-	12.5
	40~49歳	13	▼23.1	▼15.4	△69.2	23.1	-	7.7	-
	50~59歳	31	38.7	22.6	19.4	22.6	3.2	9.7	3.2
	60~69歳	78	34.6	20.5	△33.3	20.5	5.1	12.8	5.1
	70~79歳	174	46.0	36.8	14.4	16.1	3.4	8.6	8.0
小学校区別	山田	100	42.0	31.0	22.0	14.0	2.0	8.0	10.0
	楠目	49	44.9	28.6	28.6	14.3	6.1	8.2	2.0
	片地(佐岡含む)	26	▼30.8	△42.3	19.2	△30.8	3.8	3.8	-
	舟入	24	37.5	33.3	25.0	16.7	4.2	4.2	-
	香長(繁藤含む)	11	△54.5	▼18.2	▼9.1	▼ -	-	18.2	△18.2
	大宮	73	42.5	26.0	24.7	24.7	4.1	11.0	4.1
	大栃	16	37.5	▼18.8	▼12.5	12.5	6.3	18.8	△18.8

■問5 あなたは、オンラインミーティングツール(Zoom、Google Meet、Skype等)、YouTube、SNSの操作・活用についての講座が開催されたら参加したいと思いますか。(1つに○)

【全体】

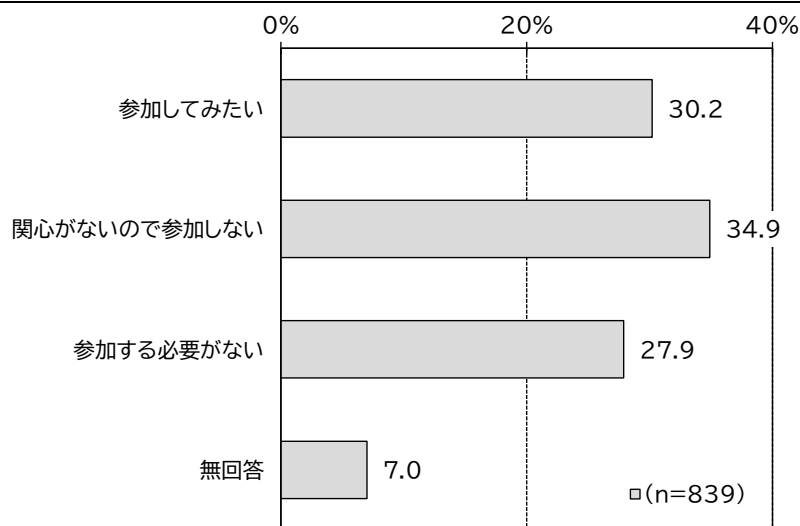
オンラインミーティングツール、YouTube、SNSの操作・活用についての講座への参加意向については、「関心がないので参加しない」が34.9%で最も高く、次いで「参加してみたい」が30.2%、「参加する必要がある」が27.9%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「参加してみたい」は男性の方が女性を3.7ポイント上回っています。

年齢別でみると、49歳以下で「参加する必要がある」が4割近くとなっています。また、70～79歳で「関心がないので参加しない」が4割以上と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、山田、楠目、舟入、大栃は「関心がないので参加しない」、片地(佐岡含む)と大宮は「参加してみたい」、香長(繁藤含む)は「参加する必要がある」が最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	参加してみたい	関心がないので参加しない	参加する必要がある	無回答	
全体	839	30.2	34.9	27.9	7.0	
性別	男性	32.8	33.1	28.9	5.2	
	女性	29.1	35.4	27.3	8.3	
	どちらでもない/答えたくない	9	▼ -	△66.7	33.3	-
年齢別	29歳以下	▼20.0	34.0	△38.0	8.0	
	30～39歳	78	30.8	26.9	△38.5	3.8
	40～49歳	121	32.2	26.4	37.2	4.1
	50～59歳	124	36.3	33.9	27.4	2.4
	60～69歳	198	33.3	33.8	26.3	6.6
	70～79歳	260	25.8	41.9	20.4	11.9
小学校区別	山田	303	30.7	33.3	30.7	5.3
	楠目	114	26.3	36.8	28.9	7.9
	片地(佐岡含む)	67	37.3	32.8	23.9	6.0
	舟入	72	26.4	37.5	29.2	6.9
	香長(繁藤含む)	37	27.0	27.0	35.1	10.8
	大宮	169	34.9	33.1	24.9	7.1
	大栃	47	31.9	38.3	19.1	10.6

4. 公民館や市内の施設について

■問6 市内には、中央公民館と地区公民館(コミュニティセンターを含む)を併せて13の公民館がありますが、あなたはいずれかの公民館を利用したことがありますか。
(1つに○)

【全体】

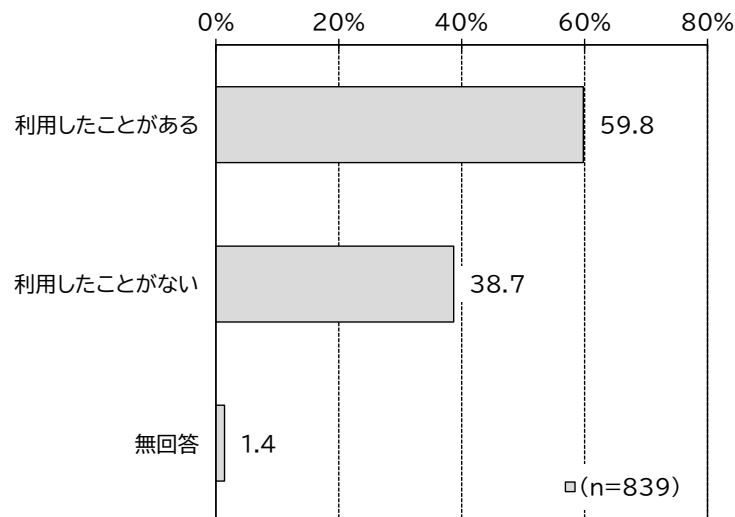
市立公民館の利用の有無については、「利用したことがある」が59.8%、「利用したことがない」が38.7%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「利用したことがある」は女性の方が男性を10.9ポイント上回っています。

年齢別で見ると、30～39歳を除くすべての年齢層は「利用したことがある」が高くなっています。

小学校区別で見ると、「利用したことがある」が特に高いのは舟入と香長(繁藤含む)です。一方大栃は「利用したことがない」が半数を超えています。



単位:%

	回答者数 (n)	利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	839	59.8	38.7	1.4
性別	男性	53.5	45.6	0.9
	女性	64.4	33.9	1.6
	どちらでもない/答えたくない	9	▼44.4	△55.6
年齢別	29歳以下	54.0	46.0	-
	30～39歳	▼47.4	△51.3	1.3
	40～49歳	63.6	36.4	-
	50～59歳	62.9	37.1	-
	60～69歳	61.6	38.4	-
	70～79歳	59.6	36.2	4.2
小学校区別	山田	60.4	38.6	1.0
	楠目	56.1	43.0	0.9
	片地(佐岡含む)	56.7	41.8	1.5
	舟入	△75.0	▼23.6	1.4
	香長(繁藤含む)	△81.1	▼18.9	-
	大宮	60.9	37.3	1.8
大栃	▼42.6	△53.2	4.3	

■問6-1（市立公民館を「1. 利用したことがある」と答えた方に）どのようなことで利用されましたか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

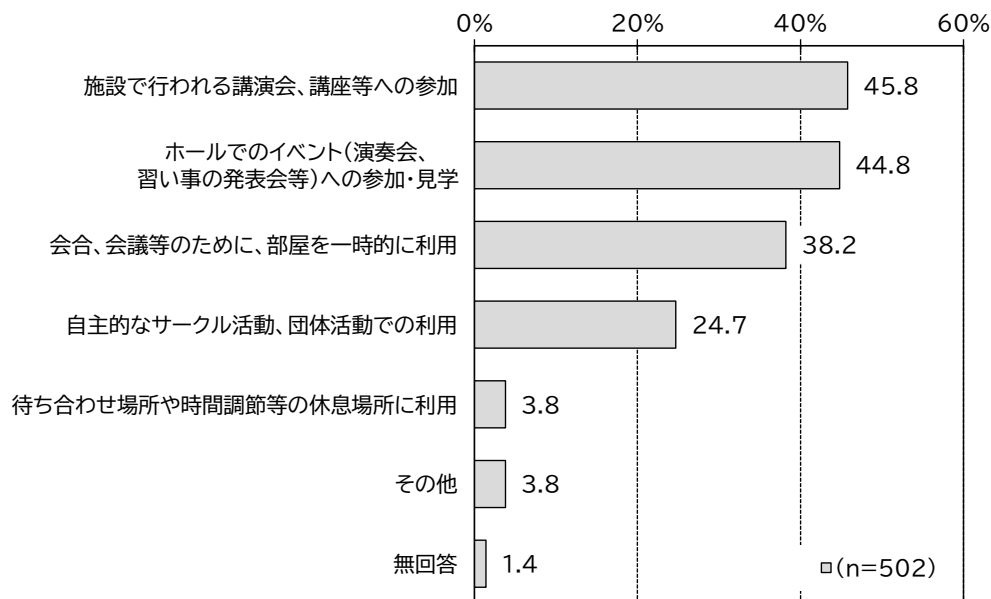
市立公民館の利用形態については、「施設で行われる講演会、講座等への参加」が45.8%で最も高く、次いで「ホールでのイベント(演奏会、習い事の発表会等)への参加・見学」が44.8%、「会合、会議等のために、部屋を一時的に利用」が38.2%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「会合、会議等のために、部屋を一時的に利用」は男性の方が女性を20ポイント以上上回っています。

年齢別でみると、30～39歳で「ホールでのイベント(演奏会、習い事の発表会等)への参加・見学」が6割近く、60～69歳で「会合、会議等のために、部屋を一時的に利用」が約半数と、他の年齢層と比べて特に高くなっています。

小学校区別でみると、山田、香長(繁藤含む)、大栃は「ホールでのイベント(演奏会、習い事の発表会等)への参加・見学」、楠目、片地(佐岡含む)、大宮は「施設で行われる講演会、講座等への参加」、舟入は「会合、会議等のために、部屋を一時的に利用」が最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	施設で行われる講演会、講座等への参加	ホールでのイベント(演奏の参加・見学)	会合、会議等のために、部屋を一時的に利用	自主的なサークル活動、団体の活動での利用	待ち合わせ場所や時間調節等の休息場所に利用	その他	無回答	
全体	502	45.8	44.8	38.2	24.7	3.8	3.8	1.4	
性別	男性	176	38.6	▼34.1	△52.3	18.8	6.8	5.1	1.7
	女性	319	50.2	51.1	31.0	27.6	1.9	2.8	1.3
	どちらでもない/答えたくない	4	50.0	▼25.0	▼25.0	△50.0	△25.0	-	-
年齢別	29歳以下	27	48.1	△55.6	▼18.5	22.2	3.7	7.4	-
	30~39歳	37	▼35.1	△59.5	▼18.9	27.0	-	2.7	2.7
	40~49歳	77	▼35.1	50.6	45.5	26.0	5.2	2.6	-
	50~59歳	78	50.0	53.8	35.9	17.9	6.4	-	1.3
	60~69歳	122	50.0	35.2	△50.8	23.0	2.5	5.7	-
	70~79歳	155	48.4	40.0	34.2	28.4	3.2	4.5	3.2
小学校区別	山田	183	43.7	48.1	29.0	19.1	3.8	3.3	-
	楠目	64	51.6	42.2	40.6	25.0	3.1	3.1	4.7
	片地(佐岡含む)	38	50.0	▼34.2	34.2	23.7	7.9	13.2	-
	舟入	54	48.1	50.0	△57.4	31.5	1.9	1.9	-
	香長(繁藤含む)	30	▼26.7	53.3	36.7	26.7	-	-	6.7
	大宮	103	52.4	43.7	46.6	29.1	2.9	3.9	1.9
	大栃	20	▼35.0	40.0	30.0	△35.0	10.0	-	-

■問6-2（市立公民館を「1. 利用したことがある」と答えた方に）どのくらいの頻度で利用されますか(されましたか)。(1つに○)

【全体】

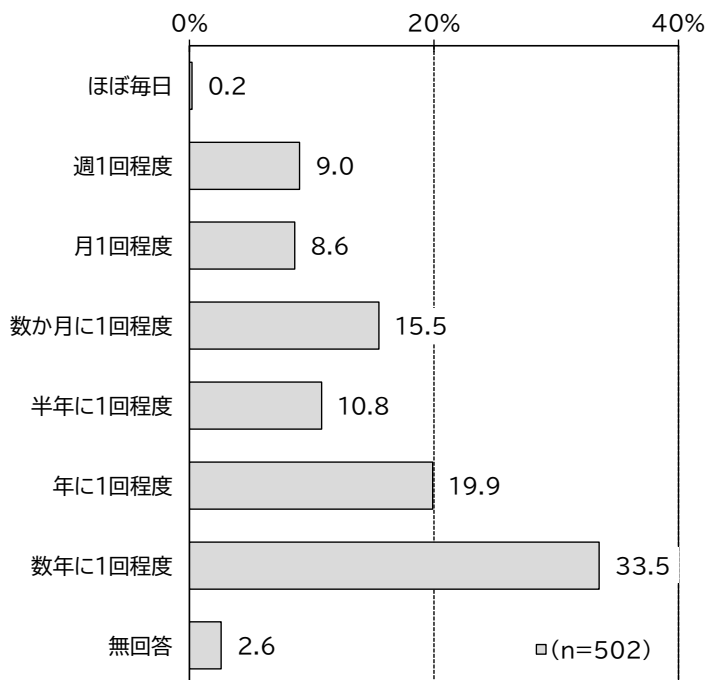
市立公民館の利用頻度については、「数年に1回程度」が33.5%で最も高く、次いで「年に1回程度」が19.9%、「数か月に1回程度」が15.5%、「半年に1回程度」が10.8%、「週1回程度」が9.0%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「年に1回程度」は男性の方が女性を6.5ポイント上回っています。

年齢別で見ると、30～39歳を除くすべての年齢層は「数年に1回程度」が最も高くなっています。30～39歳は「年に1回程度」と「数年に1回程度」が、同率で最も高くなっています。

小学校区別で見ると、舟入と大宮を除くすべての小学校区は「数年に1回程度」が最も高くなっています。舟入は「年に1回程度」と「数年に1回程度」、大宮は「数か月に1回程度」と「数年に1回程度」が、同率で最も高くなっています。



Ⅱ 住民調査の結果

単位：%

	回答者数（n）	ほぼ毎日	週1回程度	月1回程度	数か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	数年に1回程度	無回答	
全体	502	0.2	9.0	8.6	15.5	10.8	19.9	33.5	2.6	
性別	男性	176	0.6	5.1	8.5	16.5	14.2	24.4	29.0	1.7
	女性	319	-	11.3	8.8	14.7	8.8	17.9	35.4	3.1
	どちらでもない/答えたくない	4	-	-	-	25.0	△25.0	▼ -	△50.0	-
年齢別	29歳以下	27	-	3.7	7.4	18.5	3.7	14.8	△44.4	7.4
	30～39歳	37	-	10.8	5.4	18.9	5.4	29.7	29.7	-
	40～49歳	77	-	5.2	7.8	14.3	11.7	19.5	41.6	-
	50～59歳	78	-	6.4	11.5	15.4	10.3	10.3	△44.9	1.3
	60～69歳	122	0.8	5.7	8.2	11.5	13.1	25.4	33.6	1.6
	70～79歳	155	-	15.5	9.0	17.4	11.6	19.4	▼21.9	5.2
小学校区別	山田	183	-	8.2	8.2	9.8	9.3	21.9	41.0	1.6
	楠目	64	1.6	6.3	1.6	21.9	10.9	17.2	35.9	4.7
	片地(佐岡含む)	38	-	2.6	18.4	13.2	5.3	21.1	31.6	7.9
	舟入	54	-	7.4	9.3	20.4	13.0	24.1	24.1	1.9
	香長(繁藤含む)	30	-	10.0	10.0	▼ -	10.0	△30.0	36.7	3.3
	大宮	103	-	14.6	10.7	21.4	14.6	16.5	▼21.4	1.0
	大栃	20	-	15.0	5.0	25.0	10.0	▼ 5.0	35.0	5.0

■問6-3（市立公民館を「2. 利用したことがない」と答えた方に）利用しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

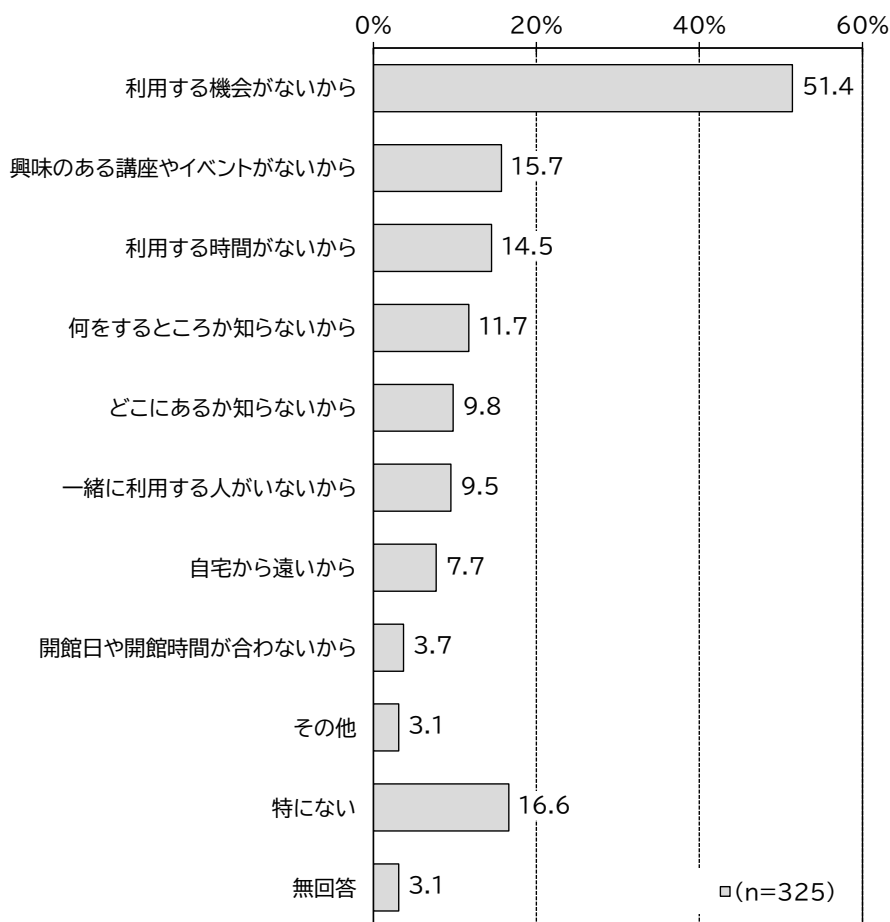
市立公民館を利用しない理由については、「利用する機会がないから」が51.4%で最も高く、次いで「特にない」が16.6%、「興味のある講座やイベントがないから」が15.7%、「利用する時間がないから」が14.5%、「何をするとところか知らないから」が11.7%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「利用する機会がないから」は男性の方が女性を7.7ポイント上回っています。また、「利用する時間がないから」は女性の方が男性を7.2ポイント上回っています。

年齢別で見ると、29歳以下を除くすべての年齢層は「利用する機会がないから」が最も高く、30～39歳で7割台となっています。一方で、29歳以下は「利用する機会がないから」と「どこにあるか知らないから」が、同率で最も高くなっています。

小学校区別で見ると、「利用する機会がないから」は舟入で特に高く64.7%となっています。



II 住民調査の結果

単位:%

	回答者数 (n)	利用する機会がないから	興味のある講座やイベントがないから	利用する時間がないから	何をするとところか知らないから	どこにあるか知らないから	一緒に利用する人がいないから	自宅から遠いから	開館日や開館時間が合わないから	その他	
全体	325	51.4	15.7	14.5	11.7	9.8	9.5	7.7	3.7	3.1	
性別	男性	150	55.3	15.3	10.7	12.0	6.0	6.7	7.3	2.0	2.7
	女性	168	47.6	16.7	17.9	11.3	13.1	12.5	8.3	5.4	3.0
	どちらでもない/答えたくない	5	60.0	▼ -	▼ -	▼ -	△20.0	-	-	-	△20.0
年齢別	29歳以下	23	▼30.4	13.0	13.0	△26.1	△30.4	13.0	8.7	4.3	4.3
	30~39歳	40	△75.0	17.5	15.0	17.5	10.0	10.0	-	-	2.5
	40~49歳	44	59.1	20.5	15.9	15.9	9.1	4.5	4.5	4.5	2.3
	50~59歳	46	52.2	13.0	17.4	17.4	4.3	4.3	6.5	6.5	2.2
	60~69歳	76	56.6	17.1	13.2	9.2	6.6	15.8	9.2	7.9	6.6
	70~79歳	94	▼39.4	12.8	12.8	3.2	10.6	8.5	11.7	-	1.1
小学校区別	山田	117	52.1	12.0	17.9	17.1	12.0	12.0	1.7	2.6	3.4
	楠目	49	59.2	△26.5	12.2	2.0	8.2	16.3	-	2.0	4.1
	片地(佐岡含む)	28	▼35.7	▼ -	14.3	17.9	△21.4	14.3	10.7	10.7	-
	舟入	17	△64.7	17.6	23.5	17.6	11.8	5.9	-	5.9	5.9
	香長(繁藤含む)	7	57.1	△28.6	14.3	▼ -	-	-	-	-	-
	大宮	63	44.4	15.9	7.9	7.9	6.3	4.8	17.5	3.2	1.6
	大栃	25	60.0	24.0	▼ 4.0	8.0	-	-	△28.0	4.0	8.0

	回答者数 (n)	特にない	無回答	
全体	325	16.6	3.1	
性別	男性	150	20.0	2.7
	女性	168	14.3	3.6
	どちらでもない/答えたくない	5	▼ -	-
年齢別	29歳以下	23	17.4	-
	30~39歳	40	7.5	-
	40~49歳	44	9.1	4.5
	50~59歳	46	17.4	-
	60~69歳	76	13.2	3.9
	70~79歳	94	△26.6	5.3
小学校区別	山田	117	12.0	4.3
	楠目	49	18.4	2.0
	片地(佐岡含む)	28	17.9	3.6
	舟入	17	11.8	-
	香長(繁藤含む)	7	▼ -	△14.3
	大宮	63	25.4	-
	大栃	25	16.0	4.0

■問7 あなたは次の施設を知っていたり、利用したりしたことがありますか。
(ア～ウのそれぞれの項目について、1つに○)

【全体】

美術館・記念館の利用の有無については、「利用したことがある」は「ウ アンパンマンミュージアム」が71.0%、「ア 市立美術館」が55.7%、「イ 吉井勇記念館」が18.7%となっています。

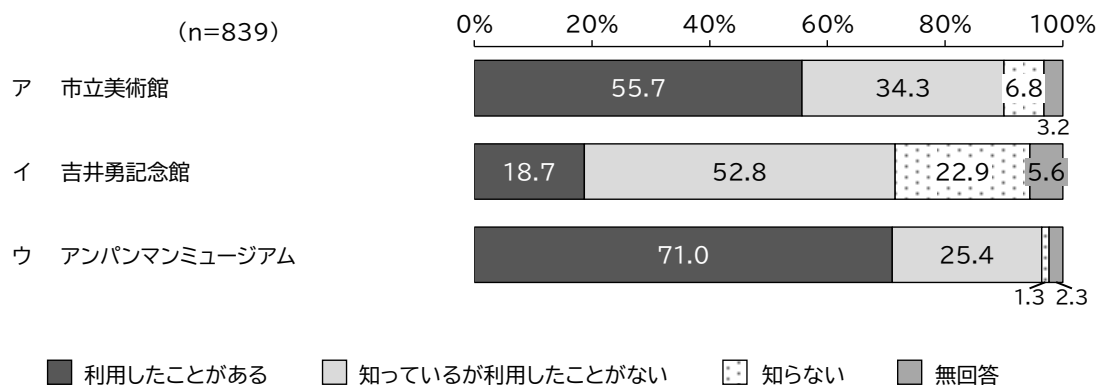
前回調査と比べると、「ウ アンパンマンミュージアム」で「利用したことがある」は、今回調査の方が前回調査を3.2ポイント上回っています。

【属性ごと】

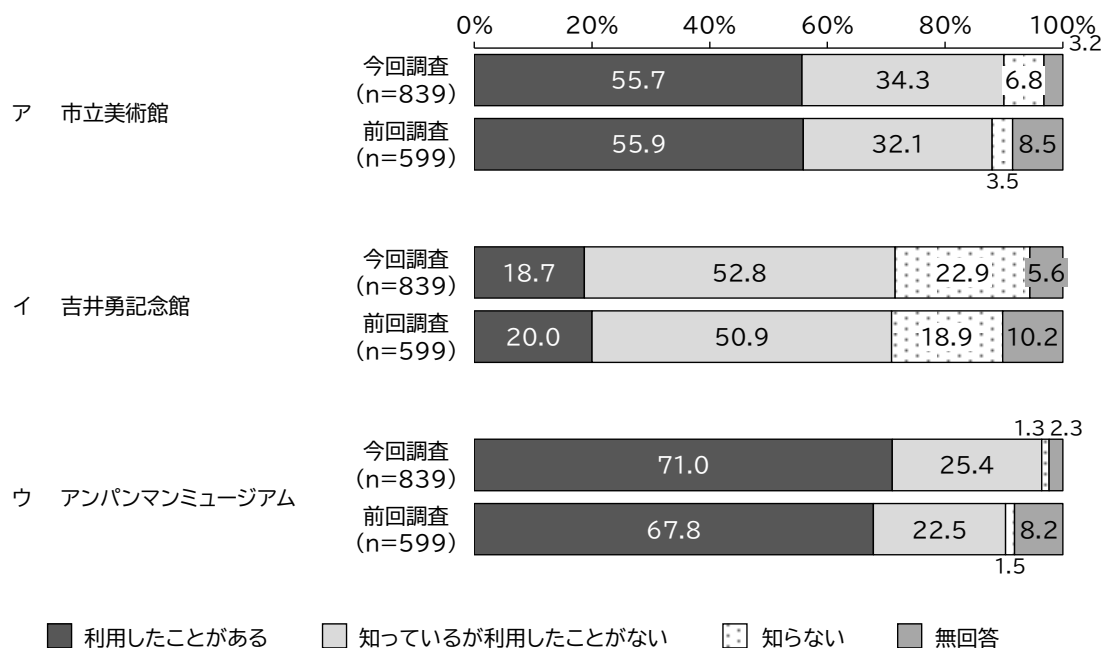
性別でみると、いずれの施設も「利用したことがある」は、女性の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「ア 市立美術館」と「ウ アンパンマンミュージアム」は、いずれの年齢層も「利用したことがある」が最も高くなっています。「イ 吉井勇記念館」は、29歳以下で「知らない」が6割以上を占めています。

小学校区別でみると、「ア 市立美術館」と「ウ アンパンマンミュージアム」は、大栃を除くすべての小学校区で「利用したことがある」が最も高く、特に香長(繁藤含む)で高くなっています。「イ 吉井勇記念館」は、大栃では「知っているが利用したことがない」が7割を超えています。



【前回調査との比較】



単位:%

	回答者数 (n)	市立美術館				
		利用したことがある	が知っているが利用したこと	知らない	無回答	
全体	839	55.7	34.3	6.8	3.2	
性別	男性	329	▼44.7	△45.3	8.2	1.8
	女性	495	63.8	27.1	5.3	3.8
	どちらでもない/答えたくない	9	▼44.4	▼11.1	△44.4	-
年齢別	29歳以下	50	46.0	26.0	△28.0	-
	30~39歳	78	▼44.9	43.6	7.7	3.8
	40~49歳	121	62.0	29.8	7.4	0.8
	50~59歳	124	62.9	33.9	3.2	-
	60~69歳	198	52.0	41.9	2.5	3.5
	70~79歳	260	57.3	29.6	7.3	5.8
小学校区別	山田	303	61.4	28.1	9.2	1.3
	楠目	114	61.4	31.6	3.5	3.5
	片地(佐岡含む)	67	47.8	△44.8	4.5	3.0
	舟入	72	63.9	29.2	4.2	2.8
	香長(繁藤含む)	37	△73.0	▼21.6	2.7	2.7
	大宮	169	50.9	42.0	1.8	5.3
	大栃	47	▼29.8	△51.1	△17.0	2.1

単位:%

吉井勇記念館				
利用したことがある	が知っているが利用したこと	知らない	無回答	
18.7	52.8	22.9	5.6	
15.8	57.1	23.4	3.6	
20.8	50.5	22.0	6.7	
22.2	▼33.3	△44.4	-	
▼4.0	▼30.0	△66.0	-	
▼7.7	50.0	△38.5	3.8	
12.4	52.9	32.2	2.5	
16.1	60.5	21.8	1.6	
22.2	60.1	13.6	4.0	
26.2	50.0	13.1	10.8	
15.5	48.8	32.0	3.6	
17.5	47.4	29.8	5.3	
13.4	59.7	22.4	4.5	
23.6	51.4	18.1	6.9	
16.2	45.9	27.0	10.8	
△29.0	60.9	▼3.0	7.1	
12.8	△72.3	▼12.8	2.1	

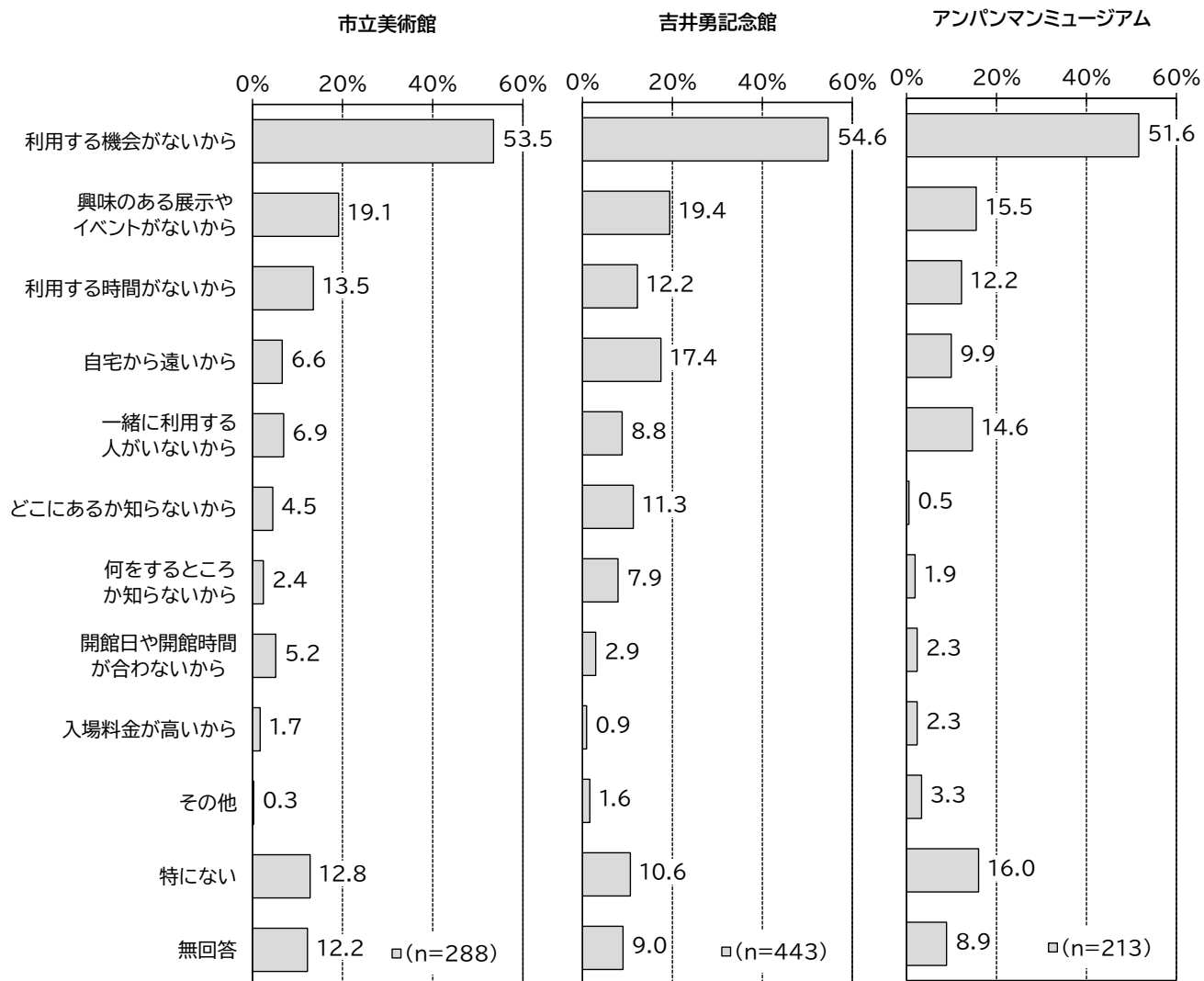
単位:%

	回答者数 (n)	アンパンマンミュージアム				
		利用したことがある	が知っているが利用したこと	知らない	無回答	
全体	839	71.0	25.4	1.3	2.3	
性別	男性	329	61.7	34.7	2.1	1.5
	女性	495	77.4	19.2	0.8	2.6
	どちらでもない/答えたくない	9	77.8	22.2	-	-
年齢別	29歳以下	50	74.0	18.0	8.0	-
	30~39歳	78	△84.6	▼14.1	-	1.3
	40~49歳	121	△81.0	18.2	0.8	-
	50~59歳	124	74.2	25.0	0.8	-
	60~69歳	198	71.7	26.8	0.5	1.0
	70~79歳	260	▼60.8	32.3	1.5	5.4
小学校区別	山田	303	73.9	21.8	2.3	2.0
	楠目	114	74.6	22.8	-	2.6
	片地(佐岡含む)	67	68.7	29.9	-	1.5
	舟入	72	76.4	22.2	-	1.4
	香長(繁藤含む)	37	△81.1	16.2	-	2.7
	大宮	169	73.4	24.3	-	2.4
	大栃	47	▼44.7	△51.1	4.3	-

■問7-1 (問7で「2. 知っているが利用したことがない」と答えた方に)施設を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

美術館・記念館を利用しない理由については、いずれの施設も「利用する機会がないから」が最も高くなっています。



【属性ごと】

性別でみると、いずれの施設も「利用する機会がないから」は、男性の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、いずれの施設も、すべての年齢層で「利用する機会がないから」が最も高く、40～49歳で割合が最も高くなっています。

小学校区別でみると、「ア 市立美術館」は香長(繁藤含む)では「利用する機会がないから」が特に高くなっています。「イ 吉井勇記念館」は、片地(佐岡含む)では「どこにあるか知らないから」が2割を超えています。「ウ アンパンマンミュージアム」は、楠目で「利用する機会がないから」が特に高く、香長(繁藤含む)は「自宅から遠いから」が最も高くなっています。

単位:%

	回答者数 (n)	市立美術館												
		利用する機会がないから	が興味のある展示やイベント	利用する時間がないから	自宅から遠いから	一緒に利用する人がいないから	どこにあるか知らないから	何をするとところか知らないから	開館日や開館時間が合わないから	入場料が高いから	その他	特にない	無回答	
全体	288	53.5	19.1	13.5	6.6	6.9	4.5	2.4	5.2	1.7	0.3	12.8	12.2	
性別	男性	149	57.7	22.8	10.1	3.4	5.4	2.7	1.3	2.0	2.0	0.7	13.4	8.7
	女性	134	50.0	14.9	16.4	10.4	9.0	6.7	3.0	9.0	1.5	-	12.7	14.9
	どちらでもない/答えたくない	1	▼ -	▼ -	△100.0	-	-	-	-	-	-	▼ -	▼ -	
年齢別	29歳以下	13	61.5	15.4	7.7	7.7	7.7	△15.4	-	-	-	-	7.7	15.4
	30～39歳	34	61.8	17.6	17.6	2.9	8.8	11.8	5.9	5.9	5.9	-	17.6	2.9
	40～49歳	36	△69.4	27.8	11.1	5.6	8.3	8.3	5.6	2.8	-	-	5.6	2.8
	50～59歳	42	54.8	19.0	21.4	-	14.3	-	2.4	9.5	2.4	-	16.7	7.1
	60～69歳	83	54.2	16.9	13.3	8.4	2.4	3.6	2.4	7.2	-	1.2	12.0	9.6
	70～79歳	77	▼41.6	18.2	9.1	10.4	6.5	1.3	-	2.6	2.6	-	14.3	△23.4
小学校区別	山田	85	58.8	22.4	15.3	1.2	8.2	3.5	2.4	3.5	-	1.2	14.1	12.9
	楠目	36	△63.9	16.7	13.9	-	11.1	-	-	-	2.8	-	16.7	5.6
	片地(佐岡含む)	30	▼43.3	▼ 6.7	13.3	6.7	10.0	3.3	3.3	10.0	-	-	13.3	16.7
	舟入	21	47.6	28.6	△28.6	-	9.5	14.3	-	4.8	4.8	-	4.8	14.3
	香長(繁藤含む)	8	△75.0	12.5	▼ -	12.5	-	-	△12.5	12.5	-	-	▼ -	12.5
	大宮	71	46.5	19.7	8.5	15.5	2.8	5.6	2.8	8.5	1.4	-	15.5	9.9
	大栃	24	62.5	25.0	8.3	8.3	4.2	4.2	4.2	4.2	8.3	-	8.3	8.3

単位:%

	回答者数 (n)	吉井勇記念館													
		利用する機会がないから	興味のある展示やイベントがないから	利用する時間がないから	自宅から遠いから	一緒に利用する人がいないから	どこにあるか知らないから	何をするとところか知らないから	開館日や開館時間が合わないから	入場料が高いから	その他	特にな	無回答		
全体	443	54.6	19.4	12.2	17.4	8.8	11.3	7.9	2.9	0.9	1.6	10.6	9.0		
性別	男性	188	55.9	16.0	12.2	11.7	6.9	10.6	5.3	1.6	1.1	2.1	13.3	8.0	
	女性	250	54.0	21.6	11.6	22.0	10.4	12.0	10.0	4.0	0.8	1.2	8.8	10.0	
	どちらでもない/答えたくない	3	▼33.3	△33.3	△33.3	▼	-	-	-	-	-	-	▼	-	
年齢別	29歳以下	15	△66.7	26.7	△40.0	13.3	6.7	13.3	△20.0	6.7	6.7	-	13.3	-	
	30~39歳	39	59.0	28.2	15.4	10.3	12.8	12.8	△17.9	2.6	2.6	2.6	10.3	2.6	
	40~49歳	64	△68.8	△31.3	9.4	12.5	9.4	14.1	12.5	1.6	-	1.6	3.1	4.7	
	50~59歳	75	52.0	20.0	13.3	9.3	10.7	12.0	10.7	5.3	-	2.7	10.7	10.7	
	60~69歳	119	58.0	16.8	10.1	13.4	7.6	12.6	5.0	3.4	1.7	1.7	12.6	5.0	
	70~79歳	130	▼43.8	11.5	10.0	△30.8	7.7	7.7	2.3	1.5	-	0.8	12.3	16.9	
小学校区別	山田	148	57.4	19.6	12.8	20.3	8.8	14.9	10.8	2.0	0.7	2.0	8.1	10.8	
	楠目	54	61.1	24.1	7.4	18.5	13.0	16.7	7.4	-	-	1.9	13.0	5.6	
	片地(佐岡含む)	40	▼40.0	10.0	10.0	17.5	17.5	△22.5	12.5	5.0	-	-	12.5	12.5	
	舟入	37	45.9	24.3	18.9	24.3	8.1	13.5	8.1	5.4	-	-	13.5	5.4	
	香長(繁藤含む)	17	47.1	17.6	11.8	23.5	11.8	▼	-	11.8	-	-	5.9	▼	-
	大宮	103	56.3	18.4	10.7	12.6	4.9	1.9	2.9	5.8	1.0	1.0	11.7	6.8	
	大栃	34	61.8	20.6	8.8	▼2.9	2.9	5.9	5.9	-	5.9	2.9	14.7	8.8	

単位:%

	回答者数 (n)	アンパンマンミュージアム												
		利用する機会がないから	興味のある展示やイベントがないから	利用する時間がないから	自宅から遠いから	一緒に利用する人がいないから	どこにあるか知らないから	何をするとところか知らないから	開館日や開館時間が合わないから	入場料が高いから	その他	特にな	無回答	
全体	213	51.6	15.5	12.2	9.9	14.6	0.5	1.9	2.3	2.3	3.3	16.0	8.9	
性別	男性	114	57.0	13.2	9.6	7.0	14.0	0.9	0.9	2.6	0.9	3.5	16.7	6.1
	女性	95	47.4	17.9	14.7	13.7	15.8	-	2.1	2.1	4.2	2.1	15.8	11.6
	どちらでもない/答えたくない	2	▼	-	▼	-	▼	-	-	△50.0	-	-	△50.0	▼
年齢別	29歳以下	9	55.6	11.1	△33.3	△22.2	22.2	-	11.1	-	-	11.1	11.1	-
	30~39歳	11	54.5	△36.4	18.2	9.1	9.1	-	-	9.1	-	-	9.1	-
	40~49歳	22	△63.6	18.2	9.1	-	22.7	-	-	-	4.5	4.5	9.1	4.5
	50~59歳	31	54.8	16.1	16.1	3.2	19.4	-	-	6.5	-	-	19.4	6.5
	60~69歳	53	60.4	20.8	9.4	5.7	9.4	-	3.8	3.8	5.7	5.7	15.1	7.5
	70~79歳	84	42.9	8.3	8.3	16.7	14.3	1.2	1.2	-	1.2	2.4	19.0	13.1
小学校区別	山田	66	59.1	15.2	13.6	13.6	21.2	1.5	1.5	-	3.0	4.5	16.7	4.5
	楠目	26	△73.1	23.1	19.2	3.8	23.1	-	3.8	-	3.8	-	7.7	3.8
	片地(佐岡含む)	20	▼40.0	20.0	10.0	10.0	5.0	-	5.0	10.0	-	5.0	10.0	15.0
	舟入	16	50.0	18.8	△31.3	△25.0	12.5	-	-	6.3	-	-	12.5	6.3
	香長(繁藤含む)	6	▼33.3	△33.3	▼	-	△50.0	▼	-	△16.7	-	-	▼	-
	大宮	41	▼39.0	7.3	7.3	-	9.8	-	-	4.9	2.4	2.4	△26.8	14.6
	大栃	24	58.3	16.7	▼	-	8.3	-	-	-	4.2	4.2	16.7	4.2

■問8 香美市にある次の体育施設を知っていたり、利用したりしたことがありますか。
(ア～タのそれぞれの項目について、1つに○)

【全体】

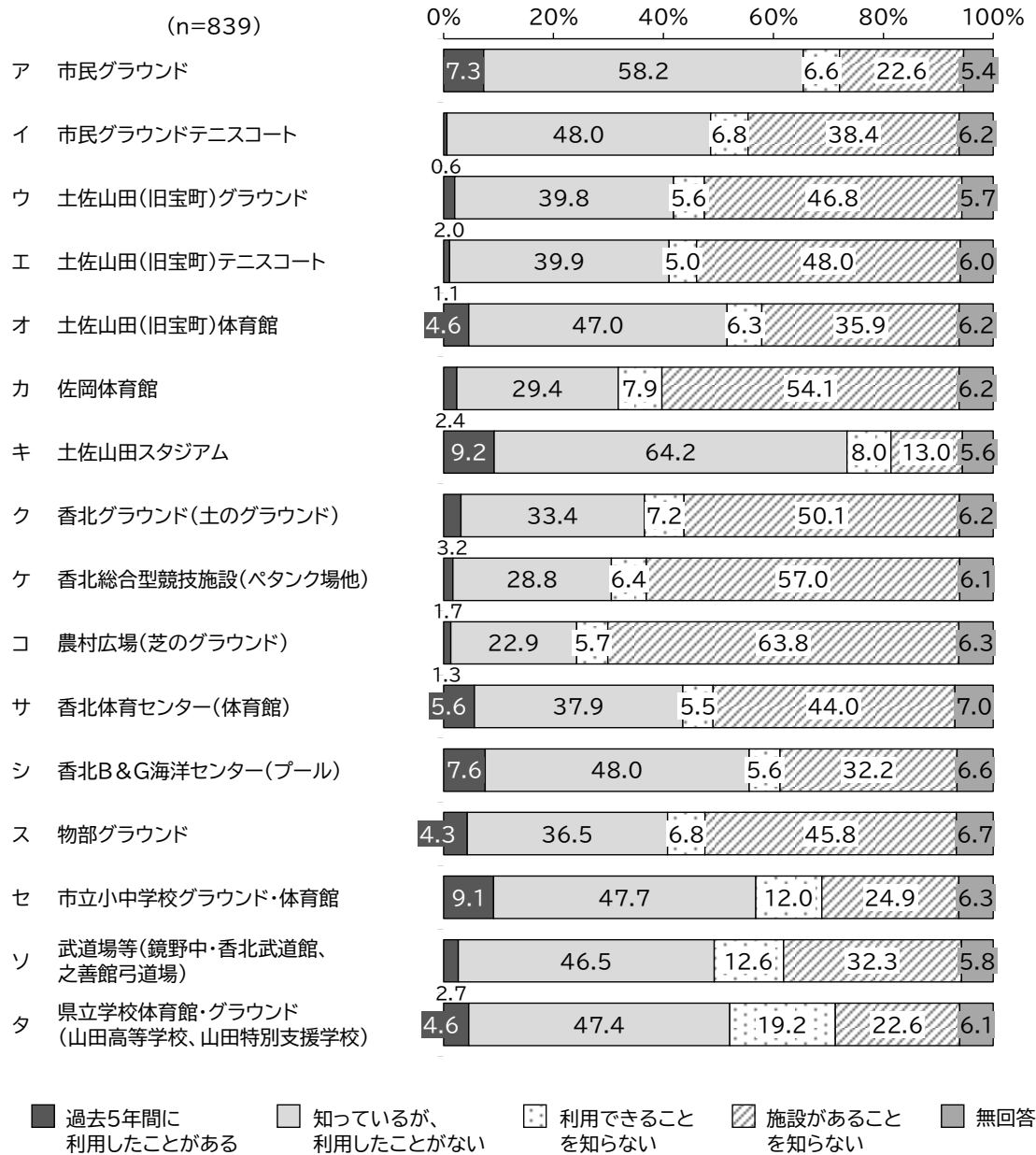
香美市にある体育施設の認知度・利用頻度については、「過去5年間に利用したことがある」は「キ 土佐山田スタジアム」が9.2%で最も高く、次いで「セ 市立小中学校グラウンド・体育館」が9.1%、「シ 香北B&G海洋センター(プール)」が7.6%となっています。一方で「施設があることを知らない」は、「コ 農村広場(芝のグラウンド)」が63.8%で最も高くなっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「ア 市民グラウンド」で「過去5年間に利用したことがある」は、男性の方が女性を8.9ポイント上回っています。

年齢別で見ると、29歳以下で「過去5年間に利用したことがある」は、「キ 土佐山田スタジアム」で22.0%、「ウ 土佐山田(旧宝町)グラウンド」で12.0%と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、「過去5年間に利用したことがある」は、香長(繁藤含む)で「ア 市民グラウンド」と「セ 市立小中学校グラウンド・体育館」、大栃で「ス 物部グラウンド」が、他の小学校区と比べて高くなっています。



【属性別「過去5年間に利用したことがある」の割合】

単位:%

		回答者数 (n)	ア 市民グラウンド	イ 市民グラウンドテニスコート	ウ 土佐山田(旧宝町)グラウンド	エ 土佐山田(旧宝町)テニスコート	オ 土佐山田(旧宝町)体育館	カ 佐岡体育館	キ 土佐山田スタジアム	ク 香北グラウンド(土のグラウンド)	ケ 香北総合型競技施設(ペタンク場他)
全体		839	7.3	0.6	2.0	1.1	4.6	2.4	9.2	3.2	1.7
性別	男性	329	12.5	1.2	3.6	2.1	5.2	2.7	9.7	4.6	1.8
	女性	495	3.6	0.2	1.0	0.4	4.2	2.0	8.5	2.0	1.4
	どちらでもない/答えたくない	9	11.1	-	-	-	11.1	11.1	△22.2	11.1	11.1
年齢別	29歳以下	50	14.0	2.0	△12.0	-	10.0	4.0	△22.0	6.0	4.0
	30~39歳	78	9.0	2.6	1.3	1.3	10.3	2.6	12.8	3.8	2.6
	40~49歳	121	10.7	-	2.5	0.8	7.4	2.5	13.2	5.8	2.5
	50~59歳	124	8.1	-	-	1.6	2.4	2.4	10.5	3.2	2.4
	60~69歳	198	6.6	0.5	2.0	1.0	2.0	2.0	7.1	2.5	1.0
	70~79歳	260	3.8	0.4	1.2	1.2	3.8	2.3	4.6	1.5	0.8
小学校区別	山田	303	7.6	1.0	2.3	1.0	6.6	2.6	14.5	2.6	1.0
	楠目	114	13.2	0.9	1.8	2.6	6.1	0.9	12.3	3.5	1.8
	片地(佐岡含む)	67	6.0	-	3.0	1.5	6.0	6.0	3.0	1.5	3.0
	舟入	72	6.9	1.4	6.9	2.8	4.2	2.8	12.5	-	-
	香長(繁藤含む)	37	△18.9	-	2.7	-	2.7	5.4	8.1	8.1	-
	大宮	169	2.4	-	-	-	1.2	1.8	2.4	5.3	4.1
	大栃	47	4.3	-	-	-	2.1	-	-	-	-

		回答者数 (n)	コ 農村広場(芝のグラウンド)	サ 香北体育センター(体育館)	シ 香北B&G海洋センター(プール)	ス 物部グラウンド	セ 市立小中学校グラウンド・体育館	ソ 武道場等(鏡野中・香北武道館、之善館弓道場)	タ 県立学校体育館・山田特別支援学校(山田高等学校)
全体		839	1.3	5.6	7.6	4.3	9.1	2.7	4.6
性別	男性	329	0.9	7.0	6.4	5.2	8.2	4.0	4.6
	女性	495	1.4	4.6	8.5	3.8	9.9	2.0	4.6
	どちらでもない/答えたくない	9	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-
年齢別	29歳以下	50	2.0	6.0	8.0	6.0	12.0	8.0	8.0
	30~39歳	78	-	6.4	7.7	7.7	10.3	6.4	7.7
	40~49歳	121	5.0	10.7	17.4	3.3	19.0	4.1	12.4
	50~59歳	124	1.6	2.4	6.5	3.2	8.1	1.6	4.0
	60~69歳	198	0.5	4.0	6.6	6.1	6.1	2.0	1.5
	70~79歳	260	0.4	5.8	4.6	2.7	6.5	1.2	1.9
小学校区別	山田	303	1.3	4.0	7.3	3.0	9.2	2.0	6.6
	楠目	114	0.9	7.0	10.5	3.5	9.6	1.8	5.3
	片地(佐岡含む)	67	-	6.0	4.5	1.5	9.0	-	1.5
	舟入	72	-	4.2	-	-	11.1	-	1.4
	香長(繁藤含む)	37	-	8.1	10.8	2.7	△21.6	5.4	8.1
	大宮	169	3.0	8.3	10.7	3.6	5.9	6.5	3.6
	大栃	47	-	6.4	8.5	△29.8	10.6	4.3	2.1

5. スポーツについて

■問9 あなたは1回30分以上の「軽く汗をかく運動」をどの程度していますか。(1つに○)

【全体】

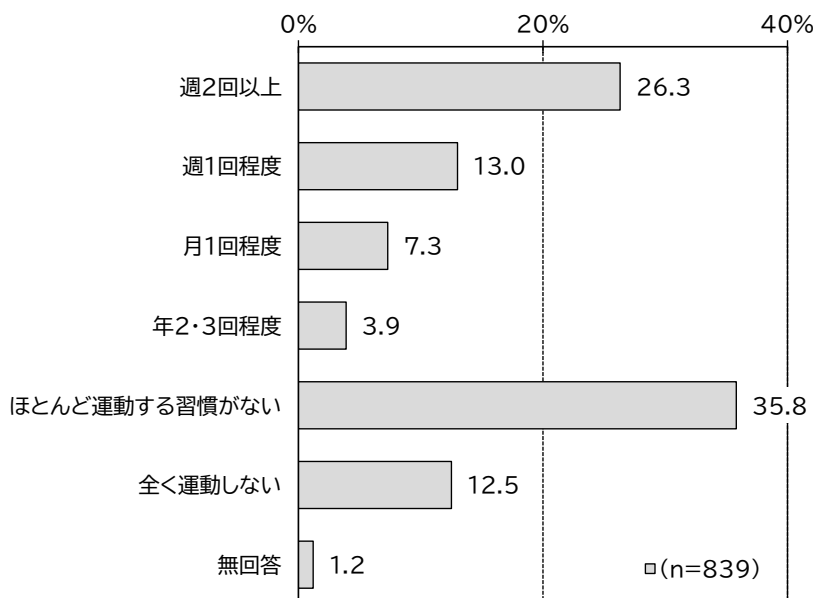
1回30分以上の運動(軽く汗をかく運動)の実施頻度については、「ほとんど運動する習慣がない」が35.8%で最も高く、次いで「週2回以上」が26.3%、「週1回程度」が13.0%、「全く運動しない」が12.5%となっています。「週2回以上」と「週1回程度」を合わせた『週1回以上』は39.3%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、『週1回以上』は男性の方が女性を12.7ポイント上回っています。

年齢別で見ると、29歳以下を除くすべての年齢層は「ほとんど運動する習慣がない」が最も高くなっています。また、29歳以下で「月1回程度」が18.0%と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、楠目、舟入、香長(繁藤含む)は『週1回以上』が4割を超えて特に高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	週2回以上	週1回程度	月1回程度	年2・3回程度	いほとんど運動する習慣がな	全く運動しない	無回答	
全体	839	26.3	13.0	7.3	3.9	35.8	12.5	1.2	
性別	男性	329	31.0	15.8	9.7	4.6	29.8	8.5	0.6
	女性	495	23.0	11.1	5.5	3.6	40.4	14.9	1.4
	どちらでもない/答えたくない	9	△44.4	11.1	△22.2	-	▼11.1	11.1	-
年齢別	29歳以下	50	22.0	16.0	△18.0	10.0	▼22.0	12.0	-
	30~39歳	78	20.5	12.8	12.8	5.1	33.3	15.4	-
	40~49歳	121	19.0	15.7	9.1	2.5	39.7	14.0	-
	50~59歳	124	25.0	10.5	7.3	4.0	37.1	15.3	0.8
	60~69歳	198	26.3	12.1	5.6	5.1	39.9	10.1	1.0
	70~79歳	260	32.3	13.1	4.2	2.3	33.5	11.9	2.7
小学校区別	山田	303	27.4	12.5	7.6	3.6	35.0	13.2	0.7
	楠目	114	31.6	14.9	5.3	3.5	30.7	14.0	-
	片地(佐岡含む)	67	20.9	6.0	9.0	6.0	40.3	16.4	1.5
	舟入	72	26.4	19.4	8.3	2.8	36.1	6.9	-
	香長(繁藤含む)	37	35.1	8.1	10.8	2.7	32.4	10.8	-
	大宮	169	23.7	14.8	5.3	4.1	40.2	9.5	2.4
	大栃	47	▼14.9	10.6	14.9	4.3	34.0	19.1	2.1

■問9-1 (問9で1~4と答えた方に)1回30分以上の「軽く汗をかく運動」をどのくらい前からしていますか。(1つに○)

【全体】

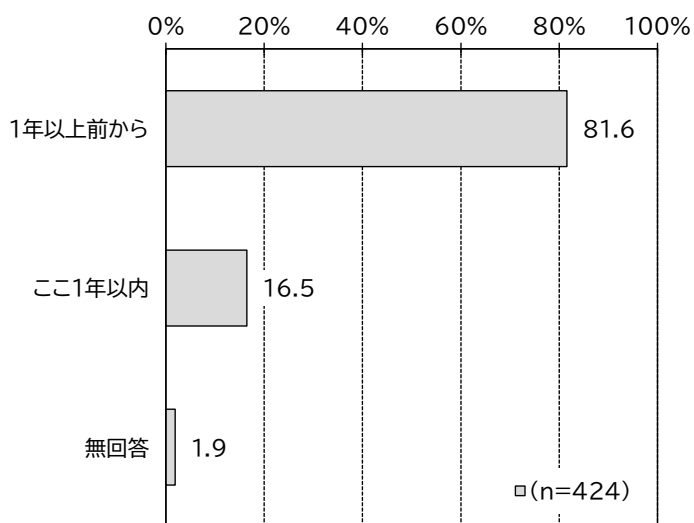
1回30分以上の運動(軽く汗をかく運動)の継続期間については、「1年以上前から」が81.6%、「ここ1年以内」が16.5%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「1年以上前から」は男性の方が女性を5.1ポイント上回っています。

年齢別で見ると、いずれの年齢層も「1年以上前から」が高くなっています。また、30~39歳で「ここ1年以内」が3割と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、舟入で「1年以上前から」が97.6%と大多数を占めています。



単位:%

		回答者数 (n)	1年以上前から	ここ1年以内	無回答
全体		424	81.6	16.5	1.9
性別	男性	201	84.1	13.9	2.0
	女性	214	79.0	19.2	1.9
	どちらでもない/答えたくない	7	85.7	14.3	-
年齢別	29歳以下	33	75.8	18.2	6.1
	30~39歳	40	▼67.5	△30.0	2.5
	40~49歳	56	78.6	17.9	3.6
	50~59歳	58	81.0	17.2	1.7
	60~69歳	97	90.7	9.3	-
	70~79歳	135	81.5	17.0	1.5
小学校区別	山田	155	79.4	19.4	1.3
	楠目	63	85.7	14.3	-
	片地(佐岡含む)	28	▼71.4	21.4	7.1
	舟入	41	△97.6	▼2.4	-
	香長(繁藤含む)	21	85.7	14.3	-
	大宮	81	79.0	19.8	1.2
大栃	21	81.0	9.5	9.5	

■問9-2 (問9で5～6と答えた方に)運動する習慣がない、または運動しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

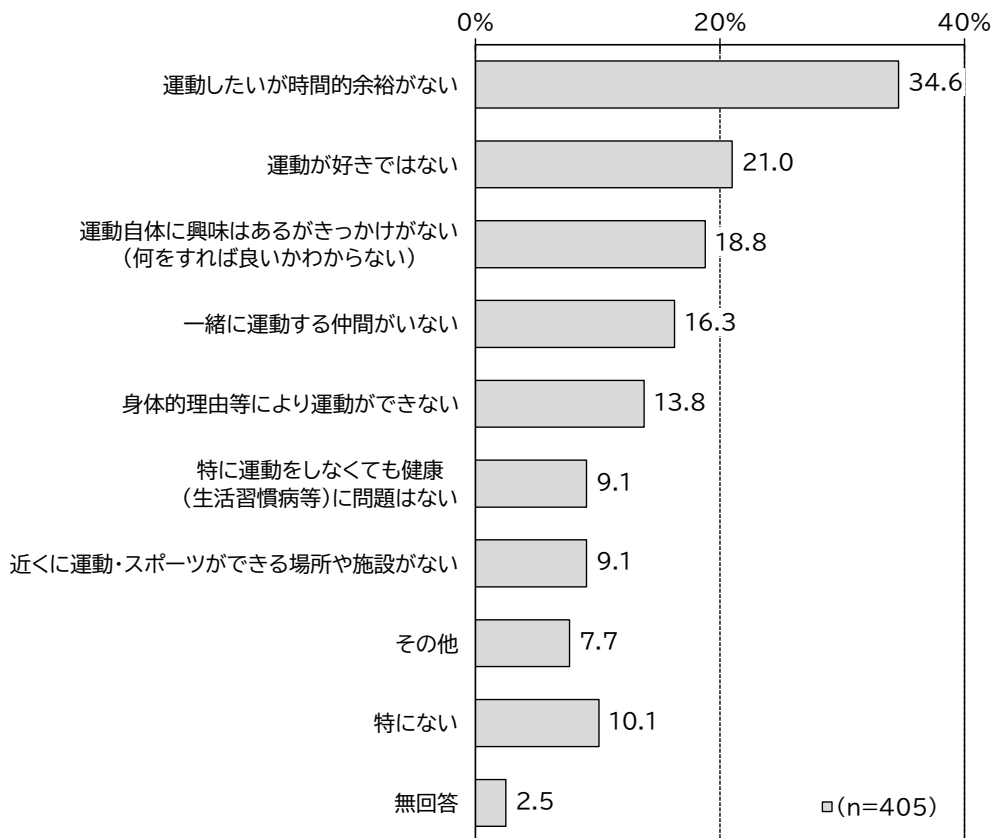
運動する習慣がない、運動しない理由については、「運動したいが時間的余裕がない」が34.6%で最も高く、次いで「運動が好きではない」が21.0%、「運動自体に興味はあるがきっかけがない(何をすれば良いかわからない)」が18.8%、「一緒に運動する仲間がいない」が16.3%、「身体的理由等により運動ができない」が13.8%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「運動したいが時間的余裕がない」は女性の方が男性を14.5ポイント上回っています。

年齢別で見ると、40～49歳で「運動したいが時間的余裕がない」が5割台、70～79歳で「身体的理由等により運動ができない」が2割台と、他の年齢層と比べて特になくなっていきます。

小学校区別で見ると、香長(繁藤含む)と山田は「運動したいが時間的余裕がない」が他の小学校区に比べて高く、「運動が好きではない」が片地(佐岡含む)では最も高くなっています。



	回答者数 (n)	い運動したいが時間的余裕がない	運動が好きではない	運動自体に興味はあるがきつかわからない(何をすれば良いかわからない)	一緒に運動する仲間がない	身体的理由等により運動がでない	特に運動をしなくても健康な(生活習慣病等)に問題はな	近くに運動・スポーツができる場所や施設がない	その他	
全体	405	34.6	21.0	18.8	16.3	13.8	9.1	9.1	7.7	
性別	男性	126	▼24.6	13.5	19.8	16.7	14.3	12.7	9.5	7.9
	女性	274	39.1	24.1	18.6	16.1	13.5	7.7	9.1	7.7
	どちらでもない/答えたくない	2	△50.0	△50.0	▼ -	△50.0	▼ -	-	-	-
年齢別	29歳以下	17	41.2	23.5	11.8	11.8	▼ -	17.6	11.8	5.9
	30~39歳	38	△47.4	26.3	23.7	10.5	▼ -	10.5	10.5	7.9
	40~49歳	65	△55.4	18.5	16.9	16.9	▼ 3.1	12.3	7.7	9.2
	50~59歳	65	43.1	21.5	21.5	7.7	9.2	4.6	10.8	7.7
	60~69歳	99	27.3	15.2	20.2	25.3	17.2	10.1	11.1	4.0
	70~79歳	118	▼19.5	24.6	16.9	16.1	△25.4	7.6	6.8	10.2
小学校区別	山田	146	40.4	19.2	21.9	20.5	10.3	8.2	8.9	10.3
	楠目	51	37.3	29.4	13.7	11.8	17.6	5.9	9.8	-
	片地(佐岡含む)	38	▼18.4	23.7	18.4	15.8	15.8	15.8	10.5	10.5
	舟入	31	38.7	16.1	22.6	16.1	16.1	9.7	6.5	3.2
	香長(繁藤含む)	16	△50.0	25.0	25.0	18.8	6.3	12.5	18.8	△18.8
	大宮	84	27.4	23.8	15.5	14.3	15.5	6.0	4.8	7.1
	大栃	25	▼24.0	12.0	20.0	16.0	16.0	16.0	16.0	4.0

	回答者数 (n)	特にな	無回答	
全体	405	10.1	2.5	
性別	男性	126	15.1	1.6
	女性	274	7.7	2.9
	どちらでもない/答えたくない	2	▼ -	-
年齢別	29歳以下	17	5.9	5.9
	30~39歳	38	5.3	-
	40~49歳	65	7.7	1.5
	50~59歳	65	6.2	1.5
	60~69歳	99	15.2	3.0
	70~79歳	118	11.9	3.4
小学校区別	山田	146	8.2	4.1
	楠目	51	7.8	2.0
	片地(佐岡含む)	38	5.3	2.6
	舟入	31	9.7	3.2
	香長(繁藤含む)	16	6.3	-
	大宮	84	17.9	1.2
	大栃	25	8.0	-

■問9-3 (問9で5～6と答えた方に)今後運動を始めるならどういった運動に興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

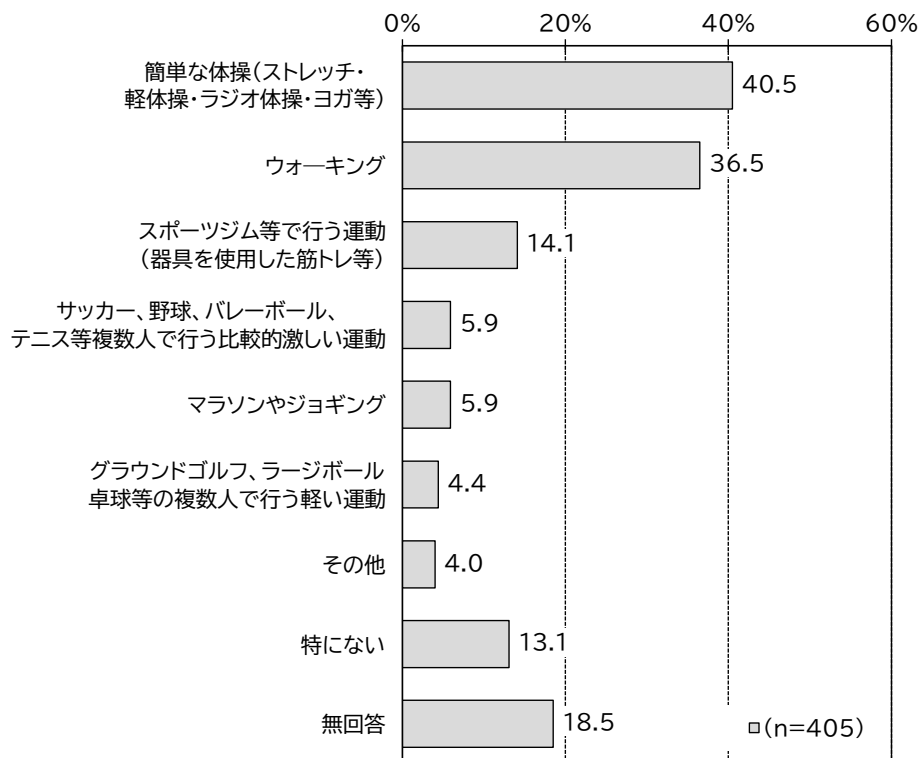
今後運動を始めるにあたって興味のある運動については、「簡単な体操(ストレッチ・軽体操・ラジオ体操・ヨガ等)」が40.5%で最も高く、次いで「ウォーキング」が36.5%、「スポーツジム等で行う運動(器具を使用した筋トレ等)」が14.1%、「特にない」が13.1%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「簡単な体操(ストレッチ・軽体操・ラジオ体操・ヨガ等)」は女性の方が男性を30ポイント以上上回っています。

年齢別でみると、29歳以下で「サッカー、野球、バレーボール、テニス等複数人で行う比較的激しい運動」と「マラソンやジョギング」がそれぞれ2割台、40～49歳で「簡単な体操(ストレッチ・軽体操・ラジオ体操・ヨガ等)」が半数以上と、他の年齢層と比べて特に高くなっています。

小学校区別でみると、山田、片地(佐岡含む)、香長(繁藤含む)、大宮は「簡単な体操(ストレッチ・軽体操・ラジオ体操・ヨガ等)」、楠目は「ウォーキング」、舟入と大栃は「ウォーキング」と「簡単な体操(ストレッチ・軽体操・ラジオ体操・ヨガ等)」が最も高くなっています。



	回答者数 (n)	簡単な体操・ラジオ体操・ヨガ等・軽	ウォーキング	スポーツジム等で行う運動 (器具を使用した筋トレ等)	サッカー、野球、バレーボール、テニス等複数人で行う比較的激しい運動	マラソンやジョギング	ゴルフ、卓球等の複数人で行う軽い運動	その他	特になし	無回答	
全体	405	40.5	36.5	14.1	5.9	5.9	4.4	4.0	13.1	18.5	
性別	男性	126	▼18.3	31.0	13.5	11.1	7.9	4.8	4.8	16.7	21.4
	女性	274	△50.7	38.7	14.2	3.6	4.7	4.4	3.6	11.7	16.8
	どちらでもない/答えたくない	2	50.0	△50.0	▼ -	-	-	-	▼ -	△50.0	
年齢別	29歳以下	17	35.3	35.3	17.6	△23.5	△29.4	11.8	-	▼ -	11.8
	30~39歳	38	39.5	28.9	18.4	13.2	△18.4	5.3	△15.8	7.9	10.5
	40~49歳	65	△52.3	32.3	16.9	12.3	9.2	6.2	4.6	15.4	▼ 6.2
	50~59歳	65	41.5	40.0	△24.6	3.1	3.1	1.5	-	9.2	20.0
	60~69歳	99	32.3	45.5	15.2	3.0	1.0	6.1	3.0	14.1	24.2
	70~79歳	118	40.7	32.2	▼ 3.4	1.7	1.7	2.5	3.4	16.9	22.9
小学校区別	山田	146	47.3	39.7	13.7	6.8	6.2	4.8	4.1	13.0	17.1
	楠目	51	▼29.4	43.1	13.7	7.8	7.8	3.9	-	19.6	15.7
	片地(佐岡含む)	38	42.1	31.6	18.4	2.6	-	5.3	10.5	7.9	21.1
	舟入	31	32.3	32.3	12.9	6.5	6.5	3.2	6.5	9.7	22.6
	香長(繁藤含む)	16	△75.0	31.3	12.5	-	6.3	12.5	-	▼ -	▼ 6.3
	大宮	84	38.1	35.7	15.5	6.0	7.1	2.4	3.6	9.5	19.0
	大栃	25	32.0	32.0	12.0	-	4.0	8.0	-	△24.0	24.0

■問10 あなたは、香美市におけるスポーツの振興のために市がどのような支援をすると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

スポーツの振興のためにあると良い支援については、「地域の誰もが気軽にスポーツができる場所(施設等)を提供すること」が50.3%で最も高く、次いで「スポーツ教室や行事の情報を提供すること」が36.7%、「スポーツ教室やスポーツイベントを開催すること」が32.9%となっています。

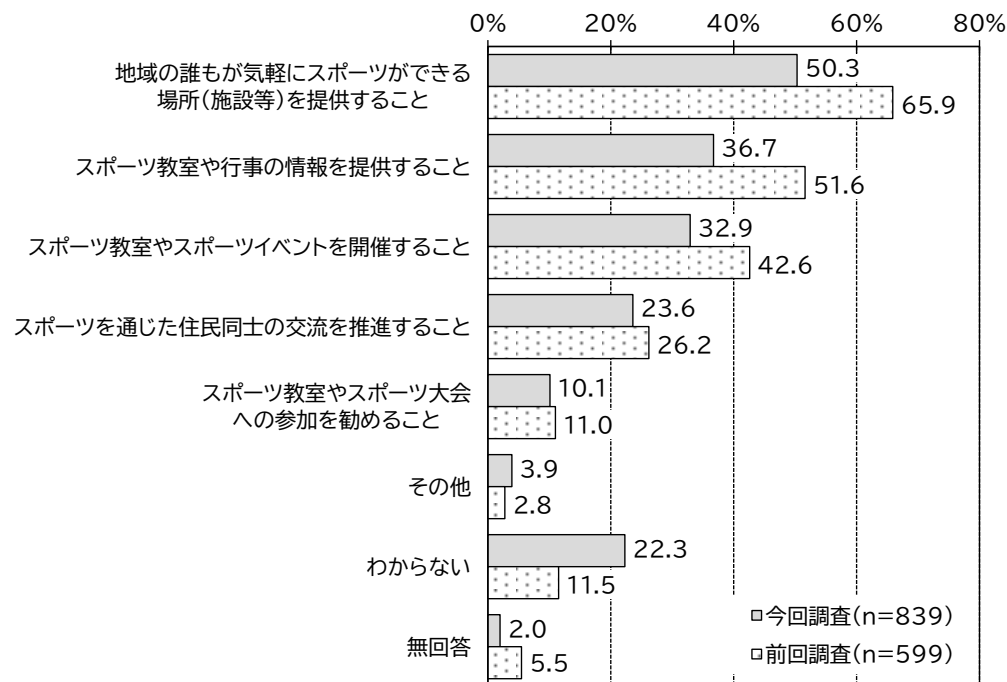
前回調査と比べると、「地域の誰もが気軽にスポーツができる場所(施設等)を提供すること」は今回調査の方が前回調査を15.6ポイント下回っています。

【属性ごと】

性別でみると、「スポーツを通じた住民同士の交流を推進すること」は男性の方が女性を8.8ポイント上回っています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「地域の誰もが気軽にスポーツができる場所(施設等)を提供すること」が最も高くなっています。また、30～49歳で「スポーツ教室やスポーツイベントを開催すること」が4割台と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区も「地域の誰もが気軽にスポーツができる場所(施設等)を提供すること」が最も高くなっていますが、舟入では「スポーツ教室や行事の情報を提供すること」「スポーツ教室やスポーツイベントを開催すること」が他の小学校区に比べて高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	地域の誰もが気軽にスポーツができる場所(施設等)を提供すること	スポーツ教室や行事の情報を提供すること	バスケット教室やスポーツイベントを開催すること	スポーツを通じた住民同士の交流を推進すること	スポーツ教室やスポーツ大会への参加を勧めること	その他	わからない	無回答	
全体	839	50.3	36.7	32.9	23.6	10.1	3.9	22.3	2.0	
性別	男性	329	49.5	34.0	35.9	29.2	12.2	4.0	21.6	1.2
	女性	495	51.3	39.0	31.1	20.4	9.1	3.8	22.2	2.4
	どちらでもない/答えたくない	9	44.4	33.3	△44.4	▼ -	▼ -	11.1	△33.3	-
年齢別	29歳以下	50	52.0	30.0	34.0	14.0	14.0	6.0	22.0	-
	30~39歳	78	52.6	44.9	△46.2	15.4	11.5	6.4	19.2	-
	40~49歳	121	59.5	39.7	△47.1	22.3	9.1	2.5	16.5	-
	50~59歳	124	50.0	37.9	33.1	19.4	8.9	3.2	23.4	-
	60~69歳	198	52.0	43.9	34.8	30.8	14.6	3.0	20.2	1.5
	70~79歳	260	44.2	28.1	▼20.8	25.4	6.9	4.2	26.5	5.4
小学校区別	山田	303	50.8	34.0	35.0	22.4	9.6	4.6	20.5	1.0
	楠目	114	57.0	36.0	32.5	14.9	8.8	2.6	21.1	-
	片地(佐岡含む)	67	49.3	43.3	31.3	25.4	11.9	3.0	20.9	1.5
	舟入	72	58.3	△48.6	△44.4	△34.7	13.9	2.8	12.5	1.4
	香長(繁藤含む)	37	54.1	43.2	32.4	△40.5	16.2	2.7	16.2	-
	大宮	169	46.2	40.2	30.8	24.3	10.7	4.1	26.6	4.7
	大栃	47	40.4	▼23.4	25.5	31.9	8.5	4.3	27.7	6.4

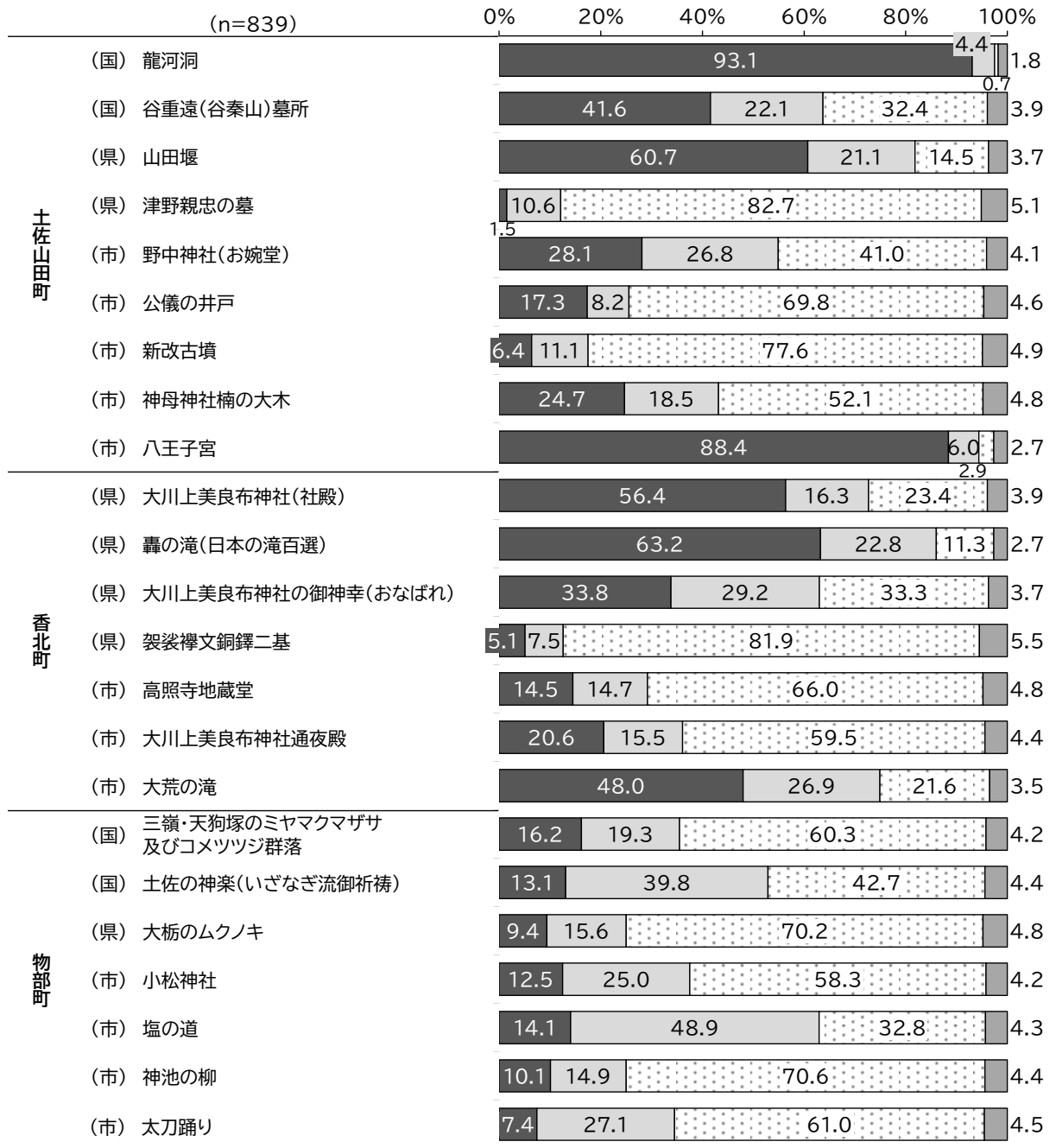
6. 文化財について

■問11 香美市の文化財(建造物・史跡・天然記念物・無形民俗)について、知っていたり、行ったりしたことがありますか。(それぞれの文化財について、1つに○)

【全体】

香美市の文化財(建造物・史跡・天然記念物・無形民俗)の認知度・訪問歴については、「行ったこと(見たこと)がある」が高い順に「龍河洞」(93.1%)、「八王子宮」(88.4%)、「轟の滝(日本の滝百選)」(63.2%)、「山田堰」(60.7%)、「大川上美良布神社(社殿)」(56.4%)となっています。

一方で「知らない」は、高い順に「津野親忠の墓」(82.7%)、「袈裟禪文銅鐸二基」(81.9%)、「新改古墳」(77.6%)となっています。



■ 行ったこと(見たこと)がある □ 行ったことはないが知っている ▨ 知らない □ 無回答

【属性ごと】

性別でみると、「行ったこと(見たこと)がある」は男性の方が女性よりも、「三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ及びコメツツジ群落」で7.4ポイント、「神母神社楠の大木」で5.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「行ったこと(見たこと)がある」は、29歳以下が複数の文化財で、他の年齢層と比べて低くなっています。

小学校区別でみると、大宮は香北町のすべての文化財、大栃は物部町のすべての文化財で「行ったこと(見たこと)がある」が、他の小学校区と比べて高くなっています。

【属性別「行ったこと(見たこと)がある」の割合】

単位:%

		回答者数(n)	土佐山田町								
			龍河洞	谷重遠(谷秦山)墓所	山田堰	津野親忠の墓	野中神社(お婉堂)	公儀の井戸	新改古墳	神母神社楠の大木	八王子宮
全体		839	93.1	41.6	60.7	1.5	28.1	17.3	6.4	24.7	88.4
性別	男性	329	93.6	44.7	63.8	2.1	29.2	18.8	9.1	28.0	87.8
	女性	495	93.1	40.0	59.2	1.2	27.5	16.6	4.8	22.8	89.7
	どちらでもない/答えたくない	9	88.9	44.4	▼33.3	-	22.2	11.1	-	22.2	▼66.7
年齢別	29歳以下	50	▼80.0	▼30.0	▼30.0	2.0	▼16.0	16.0	8.0	22.0	▼78.0
	30~39歳	78	83.3	▼11.5	▼39.7	-	▼14.1	11.5	2.6	▼12.8	82.1
	40~49歳	121	95.0	▼31.4	58.7	-	26.4	18.2	9.1	19.0	90.9
	50~59歳	124	95.2	△54.8	67.7	1.6	28.2	13.7	4.8	26.6	91.1
	60~69歳	198	96.0	49.0	△72.2	3.0	27.8	19.2	7.1	25.3	91.9
	70~79歳	260	94.6	45.4	61.5	1.5	35.0	19.6	6.5	30.4	87.3
小学校区別	山田	303	92.4	△53.8	62.7	1.0	△39.9	23.8	7.9	20.1	94.4
	楠目	114	94.7	△51.8	△73.7	3.5	27.2	20.2	8.8	△37.7	95.6
	片地(佐岡含む)	67	97.0	35.8	△73.1	-	22.4	13.4	4.5	△67.2	92.5
	舟入	72	95.8	48.6	△79.2	5.6	27.8	△27.8	5.6	22.2	95.8
	香長(繁藤含む)	37	94.6	△56.8	54.1	-	△45.9	21.6	△18.9	18.9	94.6
	大宮	169	95.3	▼24.3	51.5	0.6	▼14.2	▼5.9	3.0	▼14.2	▼74.6
大栃	47	87.2	▼2.1	▼21.3	-	▼2.1	▼6.4	2.1	▼8.5	▼72.3	

	回答者数 (n)	香北町							
		大川上美良布神社 (社殿)	轟の滝 (日本の滝百選)	大川上美良布神社の御神幸 (おなばれ)	袈裟禪文銅鐸二基	高照寺地藏堂	大川上美良布神社通夜殿	大荒の滝	
全体	839	56.4	63.2	33.8	5.1	14.5	20.6	48.0	
性別	男性	329	58.4	63.8	33.4	5.5	15.8	20.7	48.9
	女性	495	55.2	63.2	34.3	5.1	13.9	21.2	48.1
	どちらでもない/答えたくない	9	55.6	▼44.4	▼22.2	-	11.1	▼-	▼33.3
年齢別	29歳以下	50	▼26.0	▼38.0	▼16.0	4.0	▼4.0	▼6.0	▼22.0
	30~39歳	78	▼39.7	▼46.2	25.6	1.3	14.1	11.5	▼30.8
	40~49歳	121	56.2	62.0	35.5	1.7	8.3	20.7	43.8
	50~59歳	124	57.3	66.9	35.5	5.6	17.7	25.0	50.8
	60~69歳	198	63.1	68.7	37.9	5.1	12.1	22.7	55.6
	70~79歳	260	61.5	68.1	35.8	8.1	20.0	22.7	53.8
小学校区別	山田	303	▼40.3	54.1	▼16.2	1.7	7.3	▼8.6	▼36.6
	楠目	114	48.2	60.5	▼22.8	2.6	6.1	13.2	43.9
	片地(佐岡含む)	67	53.7	▼52.2	▼22.4	3.0	9.0	▼10.4	38.8
	舟入	72	48.6	62.5	▼20.8	5.6	5.6	11.1	50.0
	香長(繁藤含む)	37	▼35.1	▼48.6	▼13.5	-	▼2.7	▼5.4	▼35.1
	大宮	169	△95.9	△87.6	△89.9	△16.0	△45.0	△59.8	△78.7
大栃	47	△76.6	△83.0	29.8	4.3	8.5	17.0	53.2	

	回答者数 (n)	物部町							
		サ三嶺及びコメツツジ群マクマザ	土佐の神楽 (いざなぎ流御祈)	大栃のムクノキ	小松神社	塩の道	神池の柳	太刀踊り	
全体	839	16.2	13.1	9.4	12.5	14.1	10.1	7.4	
性別	男性	329	20.7	12.5	12.2	15.2	16.4	13.1	7.6
	女性	495	13.3	13.1	7.1	10.3	12.5	8.1	7.1
	どちらでもない/答えたくない	9	11.1	22.2	△22.2	△33.3	11.1	△22.2	△22.2
年齢別	29歳以下	50	▼4.0	8.0	8.0	8.0	10.0	8.0	4.0
	30~39歳	78	▼5.1	10.3	7.7	5.1	12.8	2.6	2.6
	40~49歳	121	9.1	10.7	3.3	7.4	10.7	3.3	5.0
	50~59歳	124	10.5	12.1	7.3	9.7	8.9	8.1	4.0
	60~69歳	198	20.2	13.6	9.1	14.1	14.1	11.6	7.1
	70~79歳	260	25.0	15.8	13.8	18.1	19.2	15.8	12.3
小学校区別	山田	303	12.2	8.3	6.6	8.9	9.6	6.9	5.3
	楠目	114	12.3	7.9	5.3	10.5	15.8	6.1	2.6
	片地(佐岡含む)	67	10.4	6.0	3.0	6.0	7.5	6.0	4.5
	舟入	72	11.1	5.6	2.8	5.6	9.7	4.2	1.4
	香長(繁藤含む)	37	10.8	10.8	5.4	10.8	16.2	5.4	2.7
	大宮	169	21.9	21.3	8.3	18.9	21.3	14.2	9.5
大栃	47	△55.3	△48.9	△61.7	△40.4	△29.8	△42.6	△42.6	

■問12 あなたが香美市のシンボルとして保存活用したら良いと思うものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

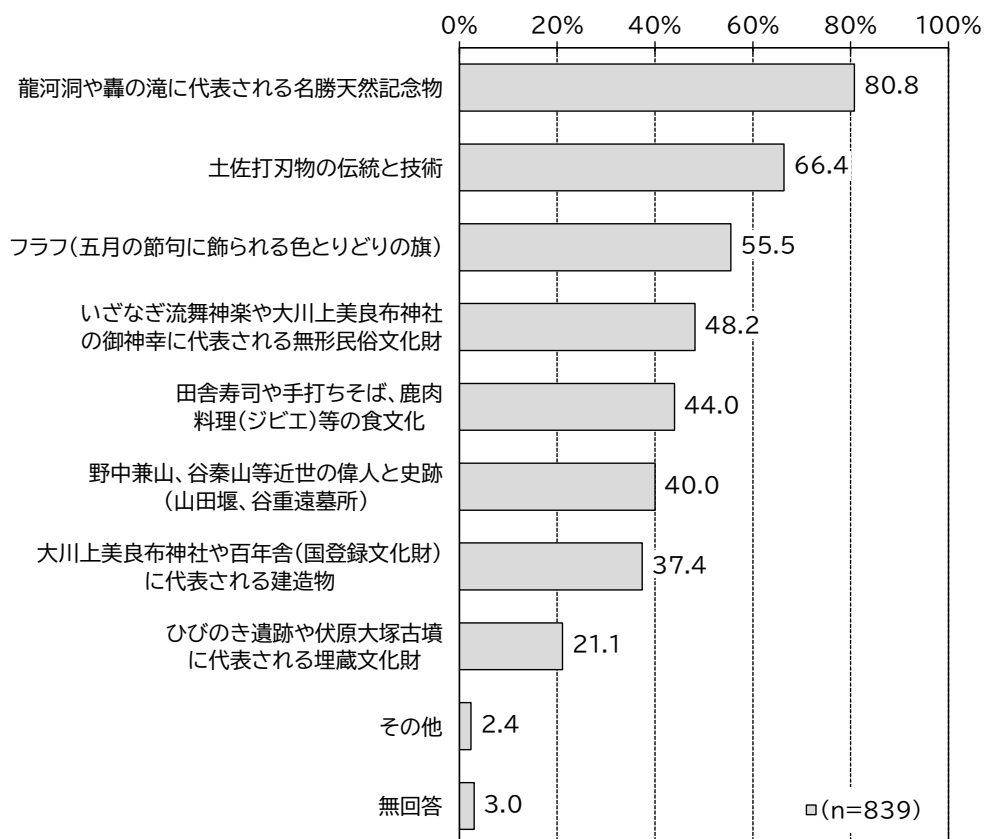
香美市のシンボルとして保存活用したら良いと思うものについては、「龍河洞や轟の滝に代表される名勝天然記念物」が80.8%で最も高く、次いで「土佐打刃物の伝統と技術」が66.4%、「フラフ(五月の節句に飾られる色とりどりの旗)」が55.5%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「フラフ(五月の節句に飾られる色とりどりの旗)」は女性の方が男性を7.4ポイント上回っています。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「龍河洞や轟の滝に代表される名勝天然記念物」が最も高くなっています。また、70～79歳で「野中兼山、谷秦山等近世の偉人と史跡(山田堰、谷重遠墓所)」が半数以上と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、「龍河洞や轟の滝に代表される名勝天然記念物」は舟入で特に高く、香長(繁藤含む)は「龍河洞や轟の滝に代表される名勝天然記念物」と「土佐打刃物の伝統と技術」が同率で最も高くなっています。「フラフ(五月の節句に飾られる色とりどりの旗)」「いざなぎ流舞神楽や大川上美良布神社の御神幸に代表される無形民俗文化財」「大川上美良布神社や百年舎(国登録文化財)に代表される建造物」などは校区によって回答傾向が異なります。



Ⅱ 住民調査の結果

単位:%

	回答者数 (n)	勝龍 天然洞 や轟の 滝に代 表され る名	土佐 打刃物 の伝統 と技術	フラフ （五月 の節句 に飾ら れる	形布い 民俗社 文化の 御流 幸舞 に神 幸神 樂 や大 川上 る美 良無	理田舎 （ジ寿 ビ工司 ）等や 手打 ちそば、 鹿肉 料	と野中 史兼山 （山、 田谷 堰秦 、山 谷等 重近 遠世 墓の 所偉 人	物登大 録川上 文化美 財良 ）に布 代社 表や 百 年 舎 建 造	代ひ 表び され るの き 遺 跡 や 伏 原 大 塚 古 墳 に	
全体	839	80.8	66.4	55.5	48.2	44.0	40.0	37.4	21.1	
性別	男性	329	82.4	70.5	51.4	46.2	43.5	37.4	18.5	
	女性	495	80.0	64.4	58.8	49.9	44.4	42.2	22.8	
	どちらでもない/答えたくない	9	77.8	▼33.3	▼44.4	44.4	44.4	33.3	▼22.2	
年齢別	29歳以下	50	82.0	68.0	▼38.0	▼30.0	▼34.0	▼16.0	▼24.0	▼4.0
	30~39歳	78	76.9	▼53.8	56.4	▼34.6	51.3	▼17.9	30.8	17.9
	40~49歳	121	81.8	60.3	50.4	40.5	40.5	▼24.0	28.1	15.7
	50~59歳	124	84.7	64.5	56.5	49.2	49.2	43.5	42.7	23.4
	60~69歳	198	82.3	70.2	59.1	55.1	45.5	46.5	38.9	25.3
	70~79歳	260	78.5	70.8	58.1	53.5	41.5	△51.9	42.7	23.5
小学校区別	山田	303	81.2	66.7	55.1	38.3	42.2	40.9	▼25.1	18.8
	楠目	114	80.7	69.3	58.8	38.6	36.0	42.1	▼27.2	23.7
	片地(佐岡含む)	67	79.1	62.7	55.2	50.7	49.3	34.3	29.9	20.9
	舟入	72	△91.7	70.8	△72.2	52.8	47.2	△56.9	43.1	23.6
	香長(繁藤含む)	37	78.4	△78.4	54.1	▼37.8	40.5	43.2	▼18.9	13.5
	大宮	169	82.8	66.3	53.3	△68.0	47.9	36.7	△69.8	24.9
	大栃	47	76.6	66.0	46.8	△72.3	△59.6	31.9	46.8	23.4

	回答者数 (n)	その他	無回答
全体	839	2.4	3.0
性別	男性	329	2.1
	女性	495	3.2
	どちらでもない/答えたくない	9	-
年齢別	29歳以下	50	2.0
	30~39歳	78	5.1
	40~49歳	121	2.5
	50~59歳	124	3.2
	60~69歳	198	2.0
	70~79歳	260	3.5
小学校区別	山田	303	2.6
	楠目	114	1.8
	片地(佐岡含む)	67	1.5
	舟入	72	-
	香長(繁藤含む)	37	2.7
	大宮	169	3.6
	大栃	47	4.3

■問13 文化財を活用するための香美市の取組の中で、参加したい、見てみたいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

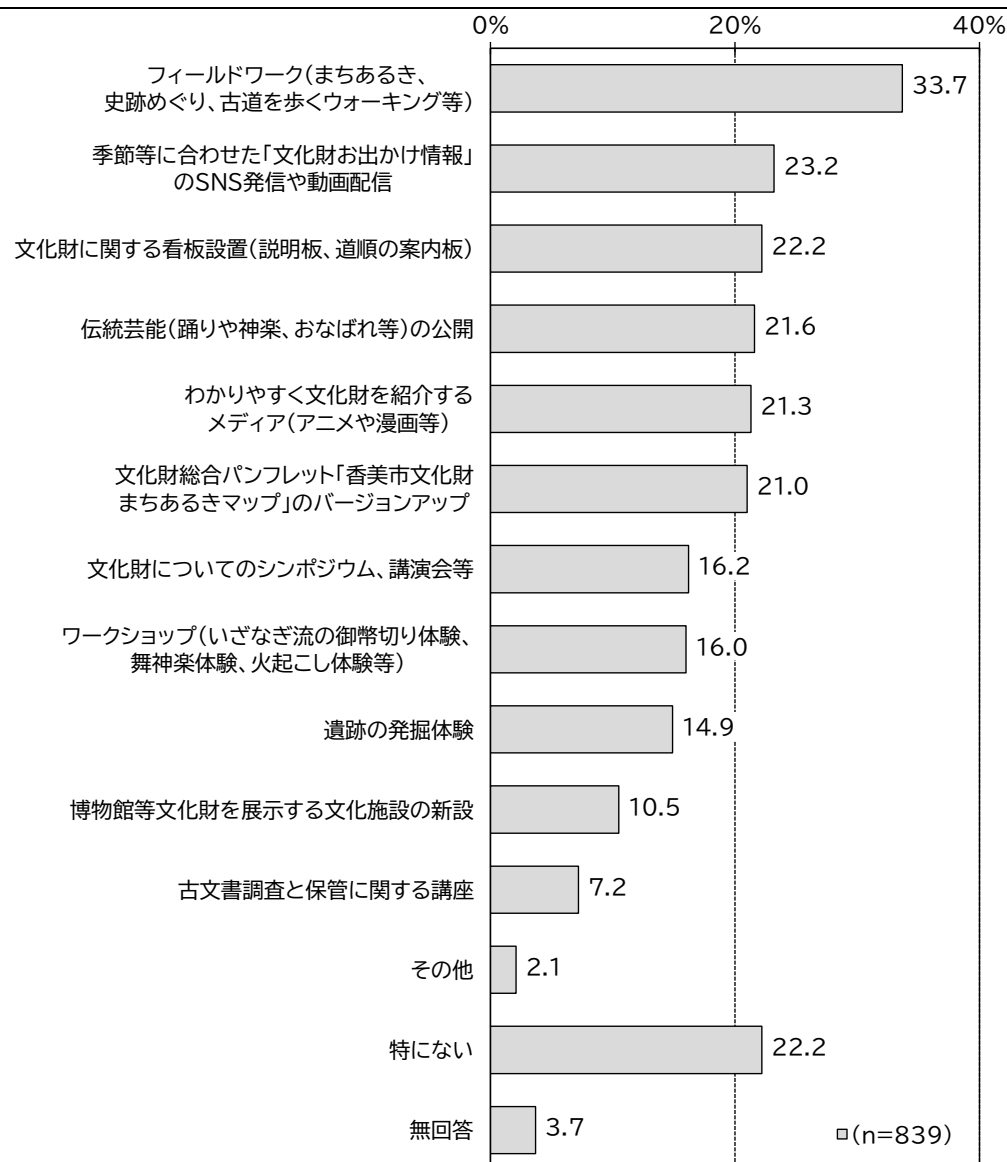
文化財を活用するための香美市の取組の中で、参加したい、見てみたいと思うものについては、「フィールドワーク(まちあるき、史跡めぐり、古道を歩くウォーキング等)」が33.7%で最も高く、次いで「季節等に合わせた『文化財お出かけ情報』のSNS発信や動画配信」が23.2%、「文化財に関する看板設置(説明板、道順の案内板)」と「特にない」がともに22.2%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「ワークショップ(いざなぎ流の御幣切り体験、舞神楽体験、火起こし体験等)」は女性の方が男性を10.9ポイント上回っています。

年齢別でみると、30～39歳を除くすべての年齢層は「フィールドワーク(まちあるき、史跡めぐり、古道を歩くウォーキング等)」、30～39歳は「季節等に合わせた『文化財お出かけ情報』のSNS発信や動画配信」が最も高くなっています。

小学校区別でみると、大柝を除くすべての小学校区は「フィールドワーク(まちあるき、史跡めぐり、古道を歩くウォーキング等)」、大柝は「ワークショップ(いざなぎ流の御幣切り体験、舞神楽体験、火起こし体験等)」が最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	フィールドワーク(跡めぐり、古道を歩くウォーキング等)	季節等に合わせた「SNS発信や動画配信情報」のSNS発信や動画配信	文化財に関する看板設置(説明板、道順の案内板)	伝統芸能(踊りや神楽、おなばれ等)の公開	わかりやすく文化財を紹介するメディア(アニメや漫画等)	文化財総合パンフレットの「香美市文化財まちあるきマップ」のバージョナアツプ	文化財についてのシンポジウム、講演会等	ワークショップ(いざなぎ流の御幣切り体験、舞神楽体験、火起こし体験等)	遺跡の発掘体験
全体	839	33.7	23.2	22.2	21.6	21.3	21.0	16.2	16.0	14.9
性別	男性	329	31.9	18.5	21.9	18.2	20.4	17.6	9.1	14.9
	女性	495	35.4	26.9	22.8	24.0	22.2	15.6	20.0	14.9
	どちらでもない/答えたくない	9	▼22.2	▼11.1	▼11.1	▼11.1	▼	11.1	△44.4	22.2
年齢別	29歳以下	50	26.0	20.0	14.0	22.0	24.0	▼10.0	8.0	24.0
	30~39歳	78	30.8	△37.2	▼11.5	30.8	23.1	12.8	6.4	23.1
	40~49歳	121	33.9	23.1	18.2	25.6	22.3	18.2	14.0	20.7
	50~59歳	124	33.9	29.0	22.6	19.4	27.4	21.8	12.9	16.9
	60~69歳	198	38.9	27.8	24.2	20.7	22.7	26.3	21.7	14.1
	70~79歳	260	31.9	14.2	27.3	18.5	15.8	22.7	19.2	10.8
小学校区別	山田	303	35.3	21.8	20.8	20.8	21.8	19.8	16.8	14.2
	楠目	114	36.8	26.3	26.3	18.4	19.3	25.4	18.4	14.0
	片地(佐岡含む)	67	28.4	26.9	22.4	14.9	16.4	16.4	14.9	16.4
	舟入	72	41.7	25.0	25.0	22.2	22.2	18.1	18.1	11.1
	香長(繁藤含む)	37	29.7	16.2	21.6	18.9	24.3	24.3	10.8	▼5.4
	大宮	169	34.9	27.2	20.1	31.4	23.7	25.4	17.2	21.3
	大栃	47	▼23.4	19.1	27.7	17.0	23.4	21.3	14.9	△29.8

	回答者数 (n)	博物館等文化財を展示する文化施設の新設	古文書調査と保管に関する講座	その他	特にない	無回答	
全体	839	10.5	7.2	2.1	22.2	3.7	
性別	男性	329	12.8	7.6	1.8	27.4	4.0
	女性	495	8.7	6.7	2.4	18.2	3.2
	どちらでもない/答えたくない	9	△22.2	△22.2	-	△44.4	-
年齢別	29歳以下	50	6.0	-	4.0	22.0	-
	30~39歳	78	10.3	5.1	5.1	23.1	5.1
	40~49歳	121	9.9	7.4	1.7	23.1	-
	50~59歳	124	7.3	4.0	0.8	22.6	1.6
	60~69歳	198	9.1	11.1	1.0	19.7	2.5
	70~79歳	260	14.2	7.7	2.7	23.5	7.3
小学校区別	山田	303	13.5	8.6	3.3	23.8	3.3
	楠目	114	7.0	3.5	-	21.1	-
	片地(佐岡含む)	67	14.9	4.5	1.5	17.9	3.0
	舟入	72	8.3	2.8	1.4	20.8	1.4
	香長(繁藤含む)	37	10.8	-	5.4	21.6	2.7
	大宮	169	8.9	11.8	1.8	19.5	4.7
	大栃	47	6.4	10.6	2.1	23.4	8.5

■問14 あなたは文化財を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか。
(1つに○)

【全体】

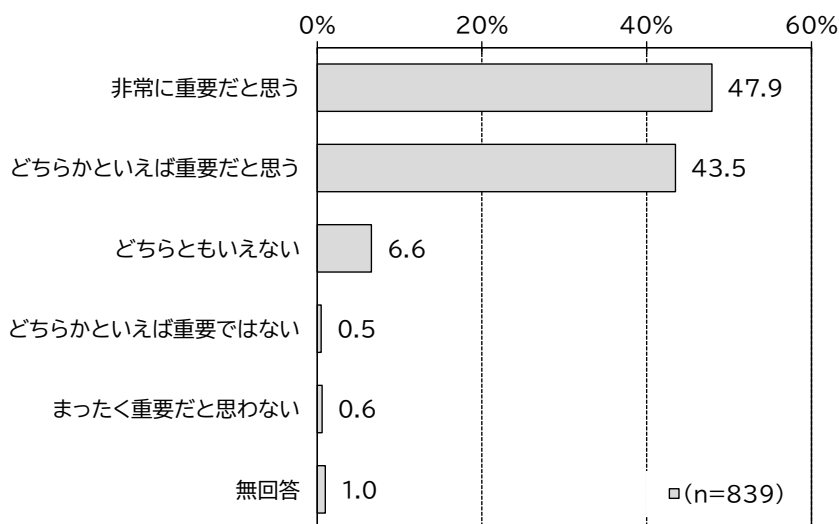
文化財を次世代に伝えていくことの重要性については、「非常に重要だと思う」が47.9%で最も高く、次いで「どちらかといえば重要だと思う」が43.5%、「どちらともいえない」が6.6%となっています。「非常に重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」を合わせた『重要だと思う』は91.4%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、男女で大きな差はありません。

年齢別で見ると、いずれの年齢層も『重要だと思う』が8～9割台となっています。

小学校区別で見ると、『重要だと思う』の割合は大きく変わりませんが、香長(繁藤含む)は「非常に重要だと思う」が特に高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	非常に重要だと思う	どちらかといえば重要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	まったく重要だと思わない	無回答
全体	839	47.9	43.5	6.6	0.5	0.6	1.0
性別	男性	329	48.3	42.6	7.6	0.9	0.3
	女性	495	48.1	44.2	5.7	0.2	0.8
	どちらでもない/答えたくない	9	44.4	▼33.3	△22.2	-	-
年齢別	29歳以下	50	52.0	38.0	8.0	-	2.0
	30~39歳	78	44.9	43.6	6.4	1.3	2.6
	40~49歳	121	46.3	39.7	13.2	-	0.8
	50~59歳	124	45.2	47.6	7.3	-	-
	60~69歳	198	47.0	47.5	3.0	0.5	0.5
	70~79歳	260	50.4	41.5	5.8	0.8	-
小学校区別	山田	303	44.2	45.5	7.6	0.3	1.7
	楠目	114	42.1	50.0	7.9	-	-
	片地(佐岡含む)	67	50.7	46.3	1.5	-	-
	舟入	72	56.9	37.5	4.2	1.4	-
	香長(繁藤含む)	37	△59.5	35.1	5.4	-	-
	大宮	169	51.5	40.2	5.9	1.2	-
	大栃	47	51.1	42.6	6.4	-	-

7. 図書館について

■問15 あなたの市立図書館(かみーる・香北分館・物部分館)の利用頻度はどのくらいですか。(1つに○)

【全体】

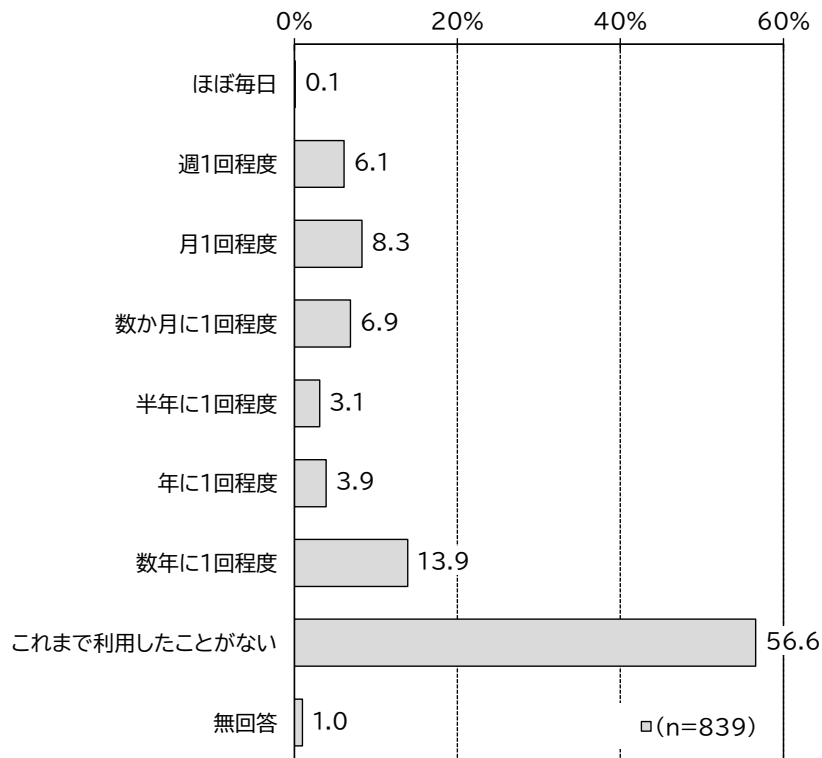
市立図書館の利用頻度については、「これまで利用したことがない」が56.6%で最も高く、次いで「数年に1回程度」が13.9%、「月1回程度」が8.3%、「数か月に1回程度」が6.9%、「週1回程度」が6.1%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「これまで利用したことがない」は男性の方が女性を11.3ポイント上回っています。

年齢別で見ると、50～59歳と60～69歳は「これまで利用したことがない」が6割を超えています。また、40～49歳で「月1回程度」が17.4%と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、「これまで利用したことがない」が特に高いのは片地(佐岡含む)で7割台となっています。



Ⅱ 住民調査の結果

単位:%

	回答者数 (n)	ほぼ毎日	週1回程度	月1回程度	数か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	数年に1回程度	いこれまで利用したことがない	無回答	
全体	839	0.1	6.1	8.3	6.9	3.1	3.9	13.9	56.6	1.0	
性別	男性	329	-	4.9	5.8	6.1	3.0	4.0	12.2	63.2	0.9
	女性	495	0.2	7.1	10.3	7.5	3.2	3.8	15.4	51.9	0.6
	どちらでもない/答えたくない	9	-	-	-	11.1	-	-	11.1	△77.8	-
年齢別	29歳以下	50	-	8.0	2.0	8.0	2.0	6.0	22.0	52.0	-
	30~39歳	78	-	7.7	10.3	7.7	9.0	6.4	11.5	▼46.2	1.3
	40~49歳	121	-	5.8	17.4	6.6	4.1	2.5	13.2	50.4	-
	50~59歳	124	-	2.4	8.1	4.8	2.4	4.0	16.9	61.3	-
	60~69歳	198	-	6.6	6.6	7.1	2.0	2.0	13.6	62.1	-
	70~79歳	260	0.4	6.5	6.5	7.7	2.3	4.6	12.3	57.3	2.3
小学校区別	山田	303	-	7.6	6.9	6.6	2.3	4.6	15.5	55.4	1.0
	楠目	114	0.9	6.1	14.0	10.5	7.9	4.4	10.5	▼45.6	-
	片地(佐岡含む)	67	-	1.5	7.5	6.0	-	-	11.9	△73.1	-
	舟入	72	-	5.6	11.1	11.1	2.8	1.4	13.9	54.2	-
	香長(繁藤含む)	37	-	2.7	16.2	5.4	8.1	2.7	10.8	51.4	2.7
	大宮	169	-	5.3	5.9	5.3	1.8	5.3	18.9	56.8	0.6
	大栃	47	-	8.5	6.4	4.3	4.3	4.3	6.4	66.0	-

■問16 あなたは図書館にどのような役割を望まれますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

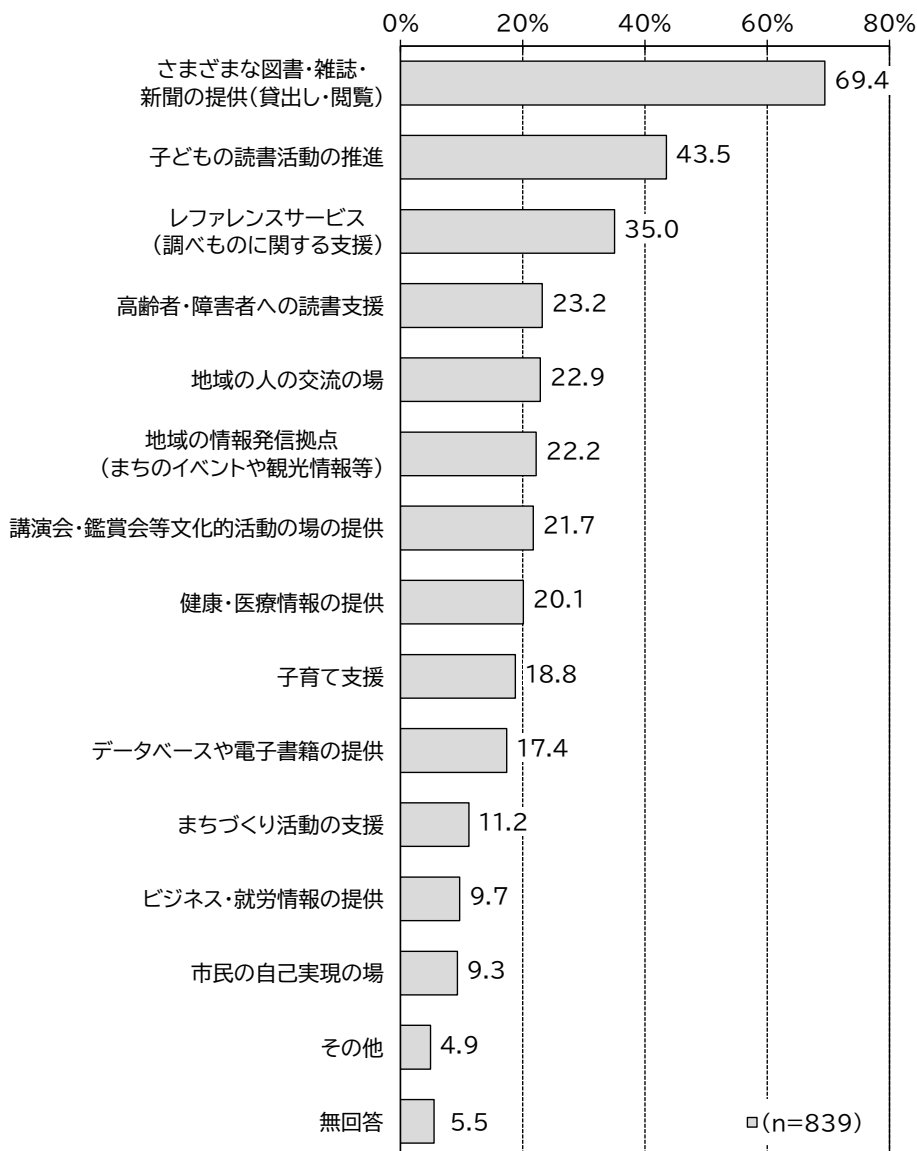
図書館に望む役割については、「さまざまな図書・雑誌・新聞の提供(貸出し・閲覧)」が69.4%で最も高く、次いで「子どもの読書活動の推進」が43.5%、「レファレンスサービス(調べものに関する支援)」が35.0%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「地域の情報発信拠点(まちのイベントや観光情報等)」は男性の方が女性を8.8ポイント上回っています。

年齢別で見ると、いずれの年齢層も「さまざまな図書・雑誌・新聞の提供(貸出し・閲覧)」が最も高く、40～59歳で8割以上となっています。また、30～39歳で「子どもの読書活動の推進」が6割台と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、「さまざまな図書・雑誌・新聞の提供(貸出し・閲覧)」が最も高く、舟入で約8割と特に高い一方で、大栃は5割以下となっています。



II 住民調査の結果

単位:%

	回答者数 (n)	さまざまな図書・雑誌・新聞の提供(貸出し・閲覧)	子どもの読書活動の推進	レファレンスサービス(調べものに関する支援)	高齢者・障害者への読書支援	地域の人の交流の場	地域の情報発信拠点(まちのイベントや観光情報等)	講演会・鑑賞会等文化的生活の場の提供	健康・医療情報の提供	子育て支援	
全体	839	69.4	43.5	35.0	23.2	22.9	22.2	21.7	20.1	18.8	
性別	男性	329	66.6	39.5	32.5	20.4	22.8	27.4	18.2	13.7	
	女性	495	71.7	46.5	36.6	25.7	23.2	18.6	24.6	22.0	
	どちらでもない/答えたくない	9	66.7	▼33.3	33.3	▼11.1	▼11.1	▼11.1	22.2	△33.3	
年齢別	29歳以下	50	78.0	34.0	32.0	20.0	24.0	16.0	18.0	△30.0	
	30~39歳	78	70.5	△62.8	35.9	15.4	21.8	17.9	▼11.5	10.3	26.9
	40~49歳	121	△82.6	50.4	△46.3	15.7	23.1	23.1	21.5	14.9	△28.9
	50~59歳	124	△81.5	43.5	42.7	25.0	22.6	24.2	23.4	17.7	17.7
	60~69歳	198	66.7	45.5	34.3	28.3	24.2	24.7	22.7	23.7	18.2
	70~79歳	260	▼57.3	34.2	25.8	25.0	21.5	20.0	24.2	23.5	10.4
小学校区別	山田	303	70.0	46.2	35.0	25.7	22.4	21.8	20.1	20.1	20.1
	楠目	114	76.3	43.9	34.2	17.5	22.8	15.8	25.4	19.3	16.7
	片地(佐岡含む)	67	68.7	37.3	34.3	19.4	▼10.4	17.9	23.9	20.9	13.4
	舟入	72	79.2	52.8	34.7	27.8	29.2	30.6	△34.7	27.8	23.6
	香長(繁藤含む)	37	62.2	48.6	35.1	21.6	21.6	21.6	18.9	▼8.1	18.9
	大宮	169	68.0	42.6	38.5	24.9	29.6	26.6	21.9	20.1	21.3
	大栃	47	▼48.9	▼31.9	29.8	14.9	21.3	21.3	▼10.6	17.0	▼8.5

	回答者数 (n)	データベースや電子書籍の提供	まちづくり活動の支援	ビジネス・就労情報の提供	市民の自己実現の場	その他	無回答	
全体	839	17.4	11.2	9.7	9.3	4.9	5.5	
性別	男性	329	21.9	12.8	10.3	11.2	5.5	4.0
	女性	495	14.3	10.1	9.1	8.1	4.0	6.5
	どちらでもない/答えたくない	9	22.2	△22.2	11.1	11.1	-	
年齢別	29歳以下	50	12.0	8.0	12.0	14.0	10.0	2.0
	30~39歳	78	19.2	15.4	5.1	9.0	7.7	1.3
	40~49歳	121	24.8	14.9	17.4	11.6	3.3	-
	50~59歳	124	23.4	10.5	8.9	8.9	3.2	1.6
	60~69歳	198	20.7	10.6	11.6	12.6	5.6	3.0
	70~79歳	260	8.5	8.1	5.4	5.0	4.2	13.8
小学校区別	山田	303	17.2	13.2	8.3	11.2	5.3	4.3
	楠目	114	15.8	7.0	6.1	8.8	1.8	2.6
	片地(佐岡含む)	67	11.9	1.5	13.4	4.5	4.5	6.0
	舟入	72	25.0	15.3	8.3	13.9	4.2	2.8
	香長(繁藤含む)	37	13.5	5.4	8.1	13.5	8.1	5.4
	大宮	169	17.8	15.4	13.0	6.5	4.7	6.5
	大栃	47	17.0	8.5	8.5	4.3	4.3	△17.0

■問17 今後、図書館で充実すべきと考える機能・サービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

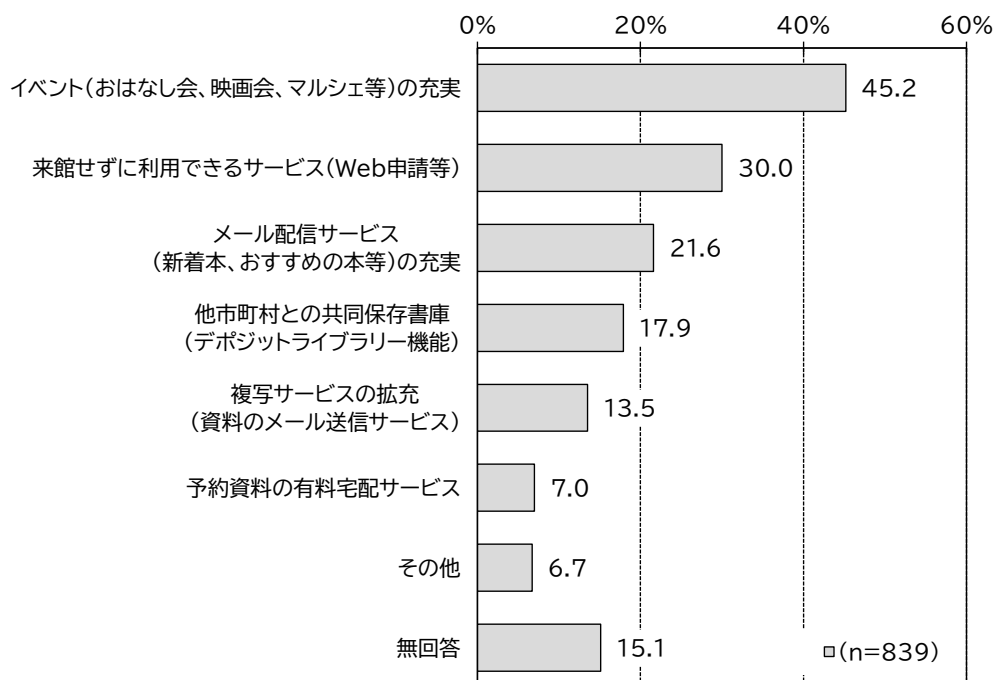
今後、図書館で充実すべきと考える機能・サービスについては、「イベント(おはなし会、映画会、マルシェ等)の充実」が45.2%で最も高く、次いで「来館せずに利用できるサービス(Web申請等)」が30.0%、「メール配信サービス(新着本、おすすめの本等)の充実」が21.6%となっています。

【属性ごと】

性別でみると、「イベント(おはなし会、映画会、マルシェ等)の充実」は女性の方が男性を15.1ポイント上回っています。

年齢別でみると、「イベント(おはなし会、映画会、マルシェ等)の充実」は、年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向にあります。また、30～39歳で「来館せずに利用できるサービス(Web申請等)」が4割台と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、「イベント(おはなし会、映画会、マルシェ等)の充実」は舟入、香長(繁藤含む)では5割を超える一方で、大栃では25.5%となっています。



Ⅱ 住民調査の結果

単位：%

	回答者数（n）	画イベント、マルシエ等）の会、映	来館せず（Web申請等）	実本、メールおすすめの本等）の（新	機（デボジツトライブラリー	他市町村との共同保存書庫	の複写サービス（資料	ス予約資料の有料宅配サ	その他	無回答
全体	839	45.2	30.0	21.6	17.9	13.5	7.0	6.7	15.1	
性別	男性	329	36.2	35.3	21.3	21.6	17.9	7.3	7.0	13.1
	女性	495	51.3	26.3	22.2	15.2	10.5	6.9	5.9	16.6
	どちらでもない／答えたくない	9	44.4	△55.6	▼11.1	△44.4	11.1	11.1	△22.2	▼ -
年齢別	29歳以下	50	△58.0	38.0	18.0	14.0	10.0	10.0	4.0	6.0
	30～39歳	78	50.0	△42.3	19.2	17.9	14.1	5.1	7.7	6.4
	40～49歳	121	52.1	37.2	19.8	22.3	19.8	5.0	7.4	9.1
	50～59歳	124	42.7	35.5	29.0	20.2	11.3	9.7	8.1	8.9
	60～69歳	198	42.9	30.3	23.7	20.2	13.1	7.6	6.6	12.6
	70～79歳	260	41.2	▼18.5	19.2	13.1	11.2	6.5	6.2	△27.3
小学校区別	山田	303	47.2	32.3	20.1	17.8	14.9	6.6	8.3	13.2
	楠目	114	49.1	31.6	22.8	20.2	10.5	5.3	2.6	13.2
	片地（佐岡含む）	67	41.8	35.8	26.9	20.9	14.9	10.4	6.0	9.0
	舟入	72	△59.7	33.3	20.8	19.4	18.1	5.6	2.8	11.1
	香長（繁藤含む）	37	54.1	▼13.5	29.7	8.1	13.5	2.7	5.4	21.6
	大宮	169	40.2	27.2	24.9	17.8	13.0	9.5	6.5	17.2
	大栃	47	▼25.5	25.5	▼10.6	17.0	6.4	6.4	8.5	△29.8

8. 香美市の教育について

■問18 香美市の子どもたちを見て、ここ5年くらいの間に香美市の教育や子どもを取り巻く環境はどのようになってきていると感じますか。
(ア～キのそれぞれの項目について、1つに○)

【全体】

直近5年間の香美市の教育や子どもを取り巻く環境の意識については、「良くなっている」と「どちらかといえば、良くなっている」を合わせた『良くなっている』は、「ア あいさつ等の礼儀やマナー」で33.2%、「イ 子どもたちの元気さ」で27.8%、「エ 子どもを取り巻く地域の安全性」で20.6%となっています。

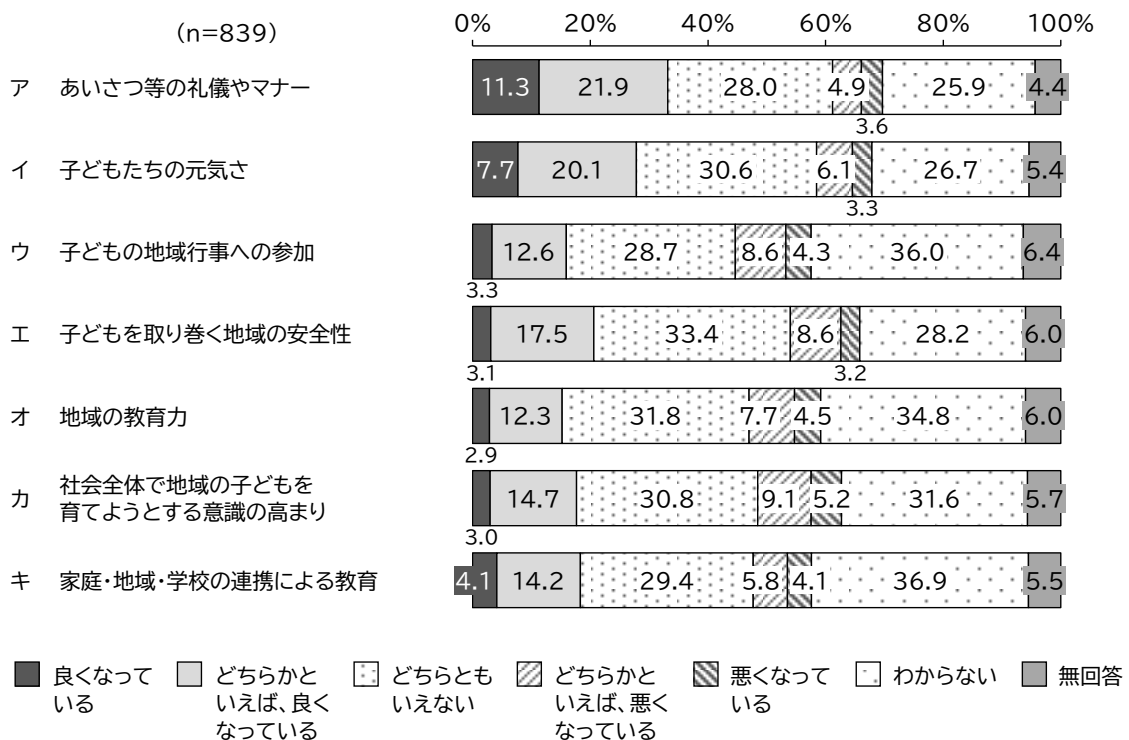
前回調査と比べると、いずれの項目も『良くなっている』は前回調査を下回っており、「イ 子どもたちの元気さ」「ウ 子どもの地域行事への参加」「カ 社会全体で地域の子どもの育てようとする意識の高まり」「キ 家庭・地域・学校の連携による教育」は10ポイント以上下回っています。「ウ 子どもの地域行事への参加」で『良くなっている』は今回調査の方が前回調査を18.5ポイント下回っています。

【属性ごと】

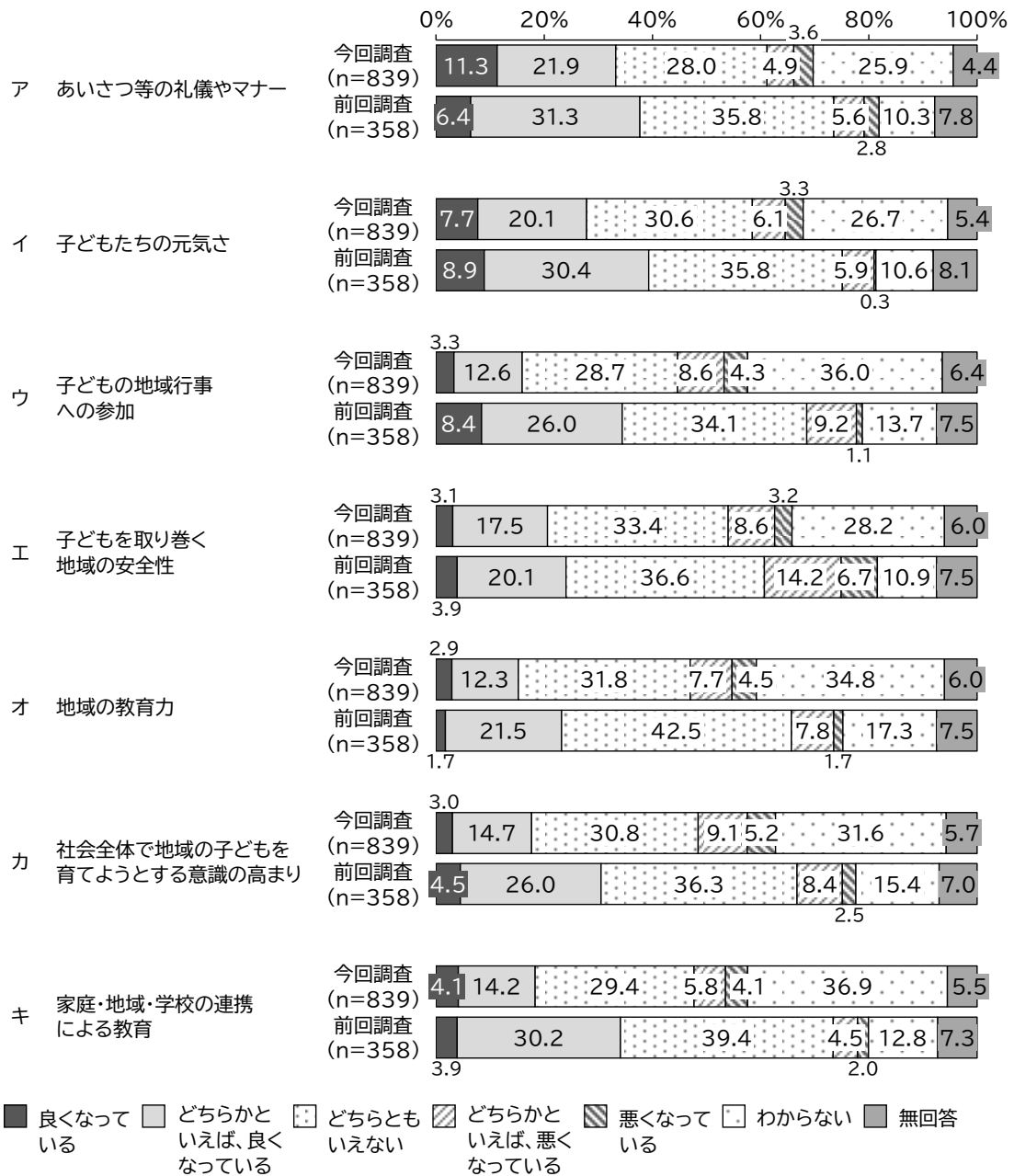
性別でみると、「エ 子どもを取り巻く地域の安全性」で『良くなっている』は男性の方が女性を5.7ポイント上回っています。

年齢別でみると、『良くなっている』は、29歳以下で「ウ 子どもの地域行事への参加」と「エ 子どもを取り巻く地域の安全性」、70～79歳で「イ 子どもたちの元気さ」が、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、大栃と楠目では「アあいさつ等の礼儀やマナー」は『良くなっている』が4割を超えて特に高くなっています。大栃では「ウ 子どもの地域行事への参加」「オ 地域の教育力」「カ 社会全体で地域の子どもの育てようとする意識の高まり」「キ 家庭・地域・学校の連携による教育」も他の小学校区に比べて高くなっています。



【前回調査との比較】



【属性別「良くなっている」と「どちらかといえば、良くなっている」の合計】

単位:%

		回答者数 (n)	ア あいさつ等の 礼儀やマナー	イ 子どもたちの 元気さ	ウ 子どもたちの 地域行事への 参加	エ 子どもを取り 巻く地域の 安全性	オ 地域の教育 力	カ 社会全体で 子育てようと する意識の 高まり	キ 家庭・地域・ 教育・学校の 連携
全体		839	33.2	27.8	15.9	20.6	15.2	17.7	18.3
性別	男性	329	36.5	29.2	18.2	24.0	14.6	17.0	18.8
	女性	495	31.1	27.3	14.3	18.3	15.3	17.7	17.3
	どちらでもない/答えたくない	9	33.3	▼11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	22.2
年齢別	29歳以下	50	32.0	32.0	△26.0	△32.0	24.0	20.0	22.0
	30～39歳	78	29.5	33.4	12.8	20.5	12.9	21.8	23.1
	40～49歳	121	27.3	23.1	17.4	22.3	23.1	19.1	24.8
	50～59歳	124	28.3	20.1	14.5	13.7	12.1	12.1	12.1
	60～69歳	198	28.3	18.7	11.6	19.2	12.1	15.6	15.6
	70～79歳	260	42.7	△38.1	18.1	21.6	14.2	18.5	16.9
小学校区別	山田	303	29.4	26.4	10.5	20.4	11.9	12.2	14.5
	楠目	114	42.1	34.2	14.9	23.7	15.8	17.5	21.0
	片地(佐岡含む)	67	26.8	22.4	19.4	20.9	19.4	26.9	17.9
	舟入	72	38.9	34.7	11.1	20.9	12.5	20.9	20.9
	香長(繁藤含む)	37	32.4	27.0	21.6	18.9	16.2	21.6	27.0
	大宮	169	33.2	27.2	20.7	19.0	17.1	18.4	17.2
	大栃	47	△44.7	25.5	△38.3	25.6	△27.7	△27.7	△29.8

■問19 あなたは、次のような香美市の教育の取組について知っていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

【全体】

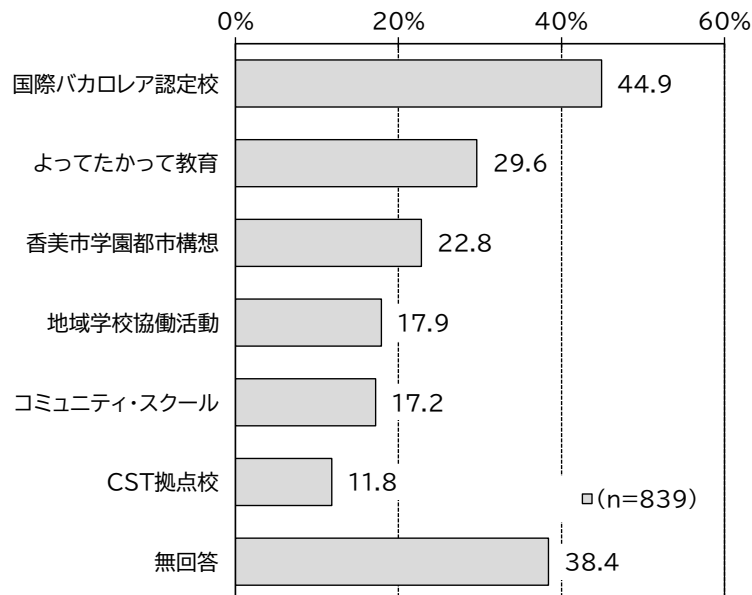
香美市の教育の取組の認知度については、「国際バカロレア認定校」が44.9%で最も高く、次いで「よってたかって教育」が29.6%、「香美市学園都市構想」が22.8%、「地域学校協働活動」が17.9%、「コミュニティ・スクール」が17.2%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「国際バカロレア認定校」は女性の方が男性を11.0ポイント上回っています。

年齢別で見ると、40～69歳は「国際バカロレア認定校」が最も高くなっています。特に40～49歳は「国際バカロレア認定校」が6割近く、「よってたかって教育」が4割台、「コミュニティ・スクール」が3割台と、認知度が高い年齢層となっています。

小学校区別で見ると、「国際バカロレア認定校」は大宮で特に高く、「よってたかって教育」は楠目、大栃で他の小学校区よりも高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	国際バカロレア認定校	よってたかつて教育	香美市学園都市構想	地域学校協働活動	コミュニティ・スクール	CST拠点校	無回答
全体	839	44.9	29.6	22.8	17.9	17.2	11.8	38.4
性別	男性	329	38.3	25.5	23.1	14.0	14.6	41.9
	女性	495	49.3	32.5	22.4	20.8	19.2	36.0
	どちらでもない/答えたくない	9	44.4	22.2	△33.3	▼ -	▼ -	44.4
年齢別	29歳以下	50	38.0	26.0	22.0	12.0	18.0	46.0
	30~39歳	78	42.3	25.6	15.4	14.1	16.7	44.9
	40~49歳	121	△57.0	△46.3	28.9	23.1	△34.7	28.9
	50~59歳	124	49.2	35.5	22.6	19.4	16.1	36.3
	60~69歳	198	50.5	23.2	26.8	17.2	11.1	34.3
	70~79歳	260	35.4	25.8	19.6	17.7	14.2	43.5
小学校区別	山田	303	36.3	28.7	19.5	14.9	13.5	46.2
	楠目	114	51.8	39.5	28.9	20.2	19.3	33.3
	片地(佐岡含む)	67	46.3	▼19.4	28.4	13.4	16.4	△37.3
	舟入	72	44.4	30.6	27.8	18.1	16.7	38.9
	香長(繁藤含む)	37	35.1	27.0	24.3	△32.4	27.0	18.9
	大宮	169	△65.7	29.0	20.7	18.3	18.3	▼24.9
	大栃	47	▼31.9	34.0	27.7	△31.9	△29.8	2.1

■問20 県立山田高等学校について、地域の高等学校として愛着はありますか。(1つに○)

【全体】

県立山田高等学校への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が36.9%で最も高く、次いで「愛着がある」が28.5%、「愛着はない」が17.2%、「どちらかといえば愛着はない」が14.7%となっています。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が65.4%となっています。

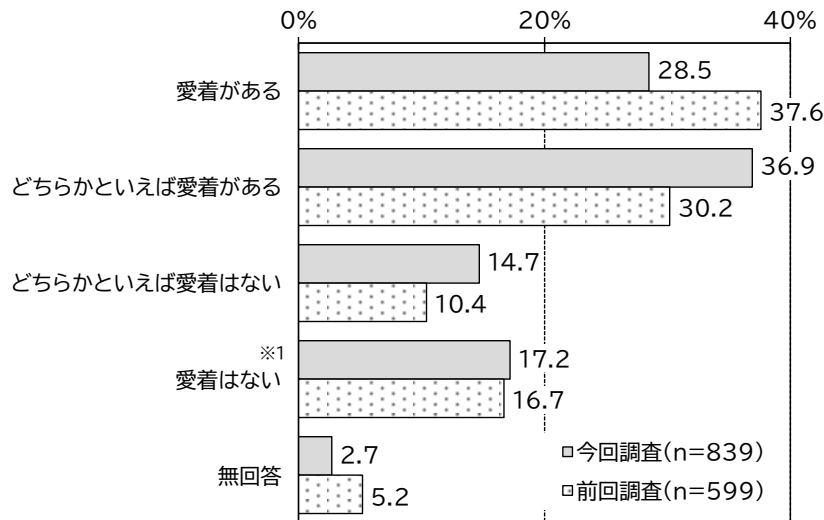
前回調査と比べると、「愛着がある」は今回調査の方が前回調査を9.1ポイント下回っています。

【属性ごと】

性別でみると、『愛着がある』は女性の方が男性を9.4ポイント上回っています。

年齢別でみると、年齢が高くなるほど『愛着がある』の割合が高くなる傾向にあります。一方で、39歳以下は「愛着はない」が3割台と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、舟入は『愛着がある』が約8割で特に高くなっています。一方、大栃は5割台にとどまっています。



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

単位:%

	回答者数 (n)	愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらかといえば愛着はない	愛着はない	無回答	
全体	839	28.5	36.9	14.7	17.2	2.7	
性別	男性	329	24.3	35.6	16.7	21.6	1.8
	女性	495	31.1	38.2	13.5	13.7	3.4
	どちらでもない/答えたくない	9	22.2	▼22.2	11.1	△44.4	-
年齢別	29歳以下	50	28.0	▼20.0	18.0	△32.0	2.0
	30~39歳	78	▼11.5	32.1	16.7	△38.5	1.3
	40~49歳	121	▼12.4	38.8	22.3	25.6	0.8
	50~59歳	124	23.4	41.9	17.7	15.3	1.6
	60~69歳	198	28.3	42.9	11.1	16.2	1.5
	70~79歳	260	△43.1	33.8	11.5	▼5.8	5.8
小学校区別	山田	303	28.4	33.7	17.2	17.2	3.6
	楠目	114	22.8	42.1	14.9	18.4	1.8
	片地(佐岡含む)	67	35.8	35.8	14.9	13.4	-
	舟入	72	△38.9	40.3	5.6	15.3	-
	香長(繁藤含む)	37	29.7	45.9	13.5	10.8	-
	大宮	169	29.0	38.5	14.2	15.4	3.0
	大栃	47	19.1	38.3	12.8	25.5	4.3

■問21 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

【全体】

高知工科大学への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が40.4%で最も高く、次いで「愛着がある」が25.3%、「どちらかといえば愛着はない」が17.8%、「愛着はない」が13.8%となっています。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が65.7%となっています。

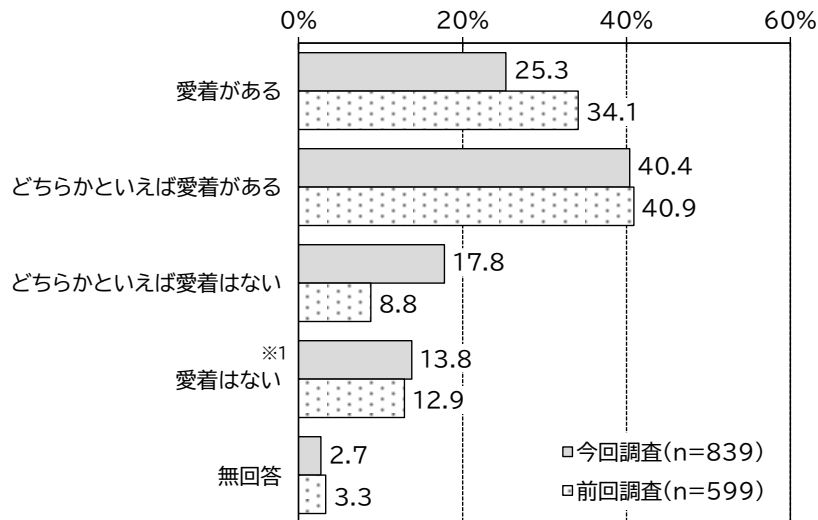
前回調査と比べると、「愛着がある」は今回調査の方が前回調査を8.8ポイント下回っています。

【属性ごと】

性別で見ると、「愛着はない」は男性の方が女性を9.2ポイント上回っています。

年齢別で見ると、30～39歳を除くすべての年齢層は『愛着がある』が半数以上となっています。一方で、30～39歳で「愛着はない」が約3割と、他の年齢層と比べて特に高くなっています。

小学校区別で見ると、県立山田高等学校と同様の傾向で『愛着がある』が舟入で8割近い一方、大栃では5割台となっています。



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

単位:%

	回答者数 (n)	愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらかといえば愛着はない	愛着はない	無回答	
全体	839	25.3	40.4	17.8	13.8	2.7	
性別	男性	329	22.8	39.2	17.0	19.1	1.8
	女性	495	26.9	41.8	18.0	9.9	3.4
	どちらでもない/答えたくない	9	▼11.1	▼11.1	△44.4	△33.3	-
年齢別	29歳以下	50	32.0	32.0	8.0	△26.0	2.0
	30~39歳	78	▼14.1	33.3	19.2	△30.8	2.6
	40~49歳	121	▼11.6	39.7	26.4	21.5	0.8
	50~59歳	124	16.9	46.0	22.6	12.9	1.6
	60~69歳	198	26.8	44.9	17.2	10.6	0.5
	70~79歳	260	△36.2	38.5	13.5	6.2	5.8
小学校区別	山田	303	22.8	39.9	21.5	12.5	3.3
	楠目	114	25.4	43.0	17.5	13.2	0.9
	片地(佐岡含む)	67	32.8	37.3	16.4	13.4	-
	舟入	72	△38.9	38.9	▼6.9	15.3	-
	香長(繁藤含む)	37	29.7	45.9	16.2	8.1	-
	大宮	169	23.1	45.0	17.2	11.2	3.6
	大栃	47	19.1	34.0	14.9	△25.5	6.4

■問22 幼児教育(小学校入学前までの教育)において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

【全体】

幼児教育において、これから力を入れてほしいことについては、「自分やまわりの人を大切にす
心や態度を育てる」が45.6%で最も高く、次いで「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」と
「基本的な生活習慣を身につけることを家庭と保育所や幼稚園が連携して行う」がともに37.8%と
なっています。

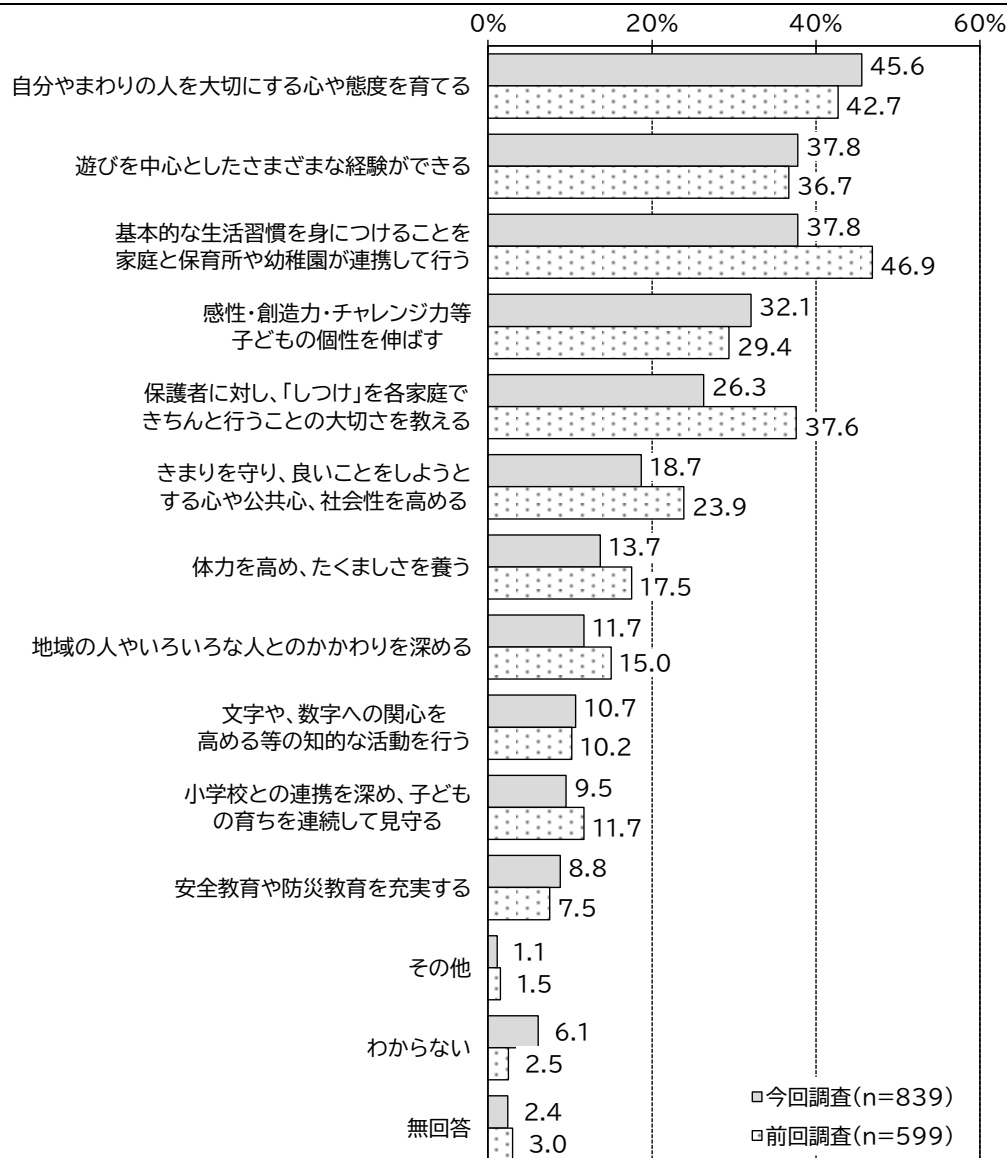
前回調査と比べると、「保護者に対し、「しつけ」を各家庭できちんと行うことの大切さを教える」は
今回調査の方が前回調査を11.3ポイント下回っています。

【属性ごと】

性別でみると、「自分やまわりの人を大切にす心や態度を育てる」は女性の方が男性を10.4ポ
イント上回っています。

年齢別でみると、39歳以下では「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」、40～79歳では
「自分やまわりの人を大切にす心や態度を育てる」が最も高くなっています。

小学校区別でみると、「自分やまわりの人を大切にす心や態度を育てる」が特に高いのは楠目
と香長(繁藤含む)で5割を超えています。香長(繁藤含む)では「遊びを中心としたさまざまな経験
ができる」も5割近くとなっています。



	回答者数 (n)	自分やまわりの人を大切に 心や態度を育てる	遊びを中心としたさまざま な経験ができる	基本的な生活習慣を身につ けることと家庭と保育所や 幼稚園が連携して行う	感性・創造力・チャレンジ 力等子どもの個性を伸ばす	保護者に対し、「しつけ」を 各家庭できちんと行うことの 大切さを教える	まわりを守り、良いことを しようとす心や公共心、社 会性を高める	体力を高め、たくましさ を養う	地域の人やいろいろな 人とのかわりを深める	文字や、数字への関心 を高める等の知的な活 動を行う	
全体	839	45.6	37.8	37.8	32.1	26.3	18.7	13.7	11.7	10.7	
性別	男性	329	39.5	35.6	36.5	32.8	30.7	20.7	17.6	9.1	12.8
	女性	495	49.9	39.4	38.4	31.7	22.8	17.6	11.5	13.5	9.3
	どちらでもない/答えたくない	9	▼33.3	33.3	▼22.2	33.3	33.3	22.2	▼ -	11.1	△22.2
年齢別	29歳以下	50	▼32.0	△48.0	32.0	40.0	24.0	24.0	8.0	6.0	△32.0
	30~39歳	78	44.9	△50.0	32.1	32.1	▼15.4	12.8	20.5	10.3	△23.1
	40~49歳	121	48.8	43.0	▼25.6	39.7	▼15.7	16.5	13.2	18.2	14.0
	50~59歳	124	48.4	28.2	37.1	32.3	30.6	18.5	12.9	6.5	10.5
	60~69歳	198	48.0	43.4	41.4	40.9	22.2	16.7	15.2	8.6	7.1
	70~79歳	260	44.2	30.4	43.1	▼20.4	35.8	22.3	12.7	15.0	4.2
小学校区別	山田	303	44.9	39.3	35.6	31.7	27.4	18.2	14.5	8.9	12.2
	楠目	114	50.9	45.6	36.8	30.7	22.8	21.1	12.3	10.5	13.2
	片地(佐岡含む)	67	43.3	29.9	37.3	32.8	23.9	23.9	14.9	9.0	7.5
	舟入	72	45.8	44.4	41.7	30.6	31.9	25.0	16.7	13.9	16.7
	香長(繁藤含む)	37	51.4	△48.6	43.2	35.1	21.6	10.8	△24.3	18.9	5.4
	大宮	169	43.8	33.7	41.4	35.5	26.0	16.6	11.2	15.4	7.7
	大栃	47	44.7	29.8	34.0	23.4	27.7	23.4	14.9	17.0	8.5

	回答者数 (n)	小学校との連携を深め、 子ども	安全教育や防災教育を 充実する	その他	わからない	無回答	
全体	839	9.5	8.8	1.1	6.1	2.4	
性別	男性	329	8.2	7.6	1.5	6.7	2.1
	女性	495	10.3	9.7	0.6	5.5	2.6
	どちらでもない/答えたくない	9	11.1	-	△11.1	△22.2	-
年齢別	29歳以下	50	10.0	2.0	2.0	8.0	-
	30~39歳	78	10.3	12.8	2.6	5.1	1.3
	40~49歳	121	12.4	12.4	0.8	6.6	-
	50~59歳	124	13.7	8.1	0.8	7.3	1.6
	60~69歳	198	6.6	12.1	1.5	6.1	0.5
	70~79歳	260	7.7	5.4	0.4	5.4	6.2
小学校区別	山田	303	10.2	10.2	1.3	6.3	3.3
	楠目	114	10.5	7.0	0.9	4.4	0.9
	片地(佐岡含む)	67	11.9	7.5	1.5	10.4	1.5
	舟入	72	8.3	8.3	-	1.4	-
	香長(繁藤含む)	37	5.4	5.4	-	2.7	-
	大宮	169	7.7	10.7	1.2	5.3	1.8
	大栃	47	10.6	6.4	-	6.4	8.5

■問23 あなたは、地域の子どもたちの教育にかかわることで、協力できる機会があれば協力したいと思いますか。(1つに○)

【全体】

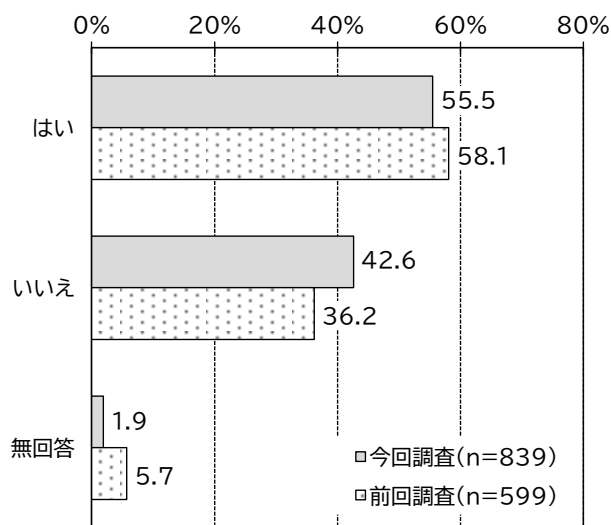
地域教育への協力意向については、「はい」が55.5%、「いいえ」が42.6%となっています。
 前回調査と比べると、「はい」は今回調査の方が前回調査を2.6ポイント下回っています。

【属性ごと】

性別で見ると、「はい」は男性の方が女性を3.6ポイント上回っています。

年齢別で見ると、50～59歳を除くすべての年齢層は「はい」が高くなっています。

小学校区別で見ると、いずれの小学校区も「はい」が高く、片地(佐岡含む)、舟入、香長(繁藤含む)、大宮では約6割なっています。



単位:%

	(n) 回答者数	はい	いいえ	無回答	
全体	839	55.5	42.6	1.9	
性別	男性	329	58.1	40.1	1.8
	女性	495	54.5	43.6	1.8
	どちらでもない/答えたくない	9	▼33.3	△66.7	-
年齢別	29歳以下	50	58.0	40.0	2.0
	30～39歳	78	65.4	33.3	1.3
	40～49歳	121	57.0	42.1	0.8
	50～59歳	124	46.8	△53.2	-
	60～69歳	198	60.6	38.9	0.5
	70～79歳	260	51.9	43.5	4.6
小学校区別	山田	303	54.8	42.6	2.6
	楠目	114	53.5	45.6	0.9
	片地(佐岡含む)	67	59.7	40.3	-
	舟入	72	61.1	38.9	-
	香長(繁藤含む)	37	59.5	40.5	-
	大宮	169	58.0	40.8	1.2
大栃	47	53.2	42.6	4.3	

■問23-1（問23で「1. はい」と答えた方に）あなたが教育に協力できること・したいことは次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

地域教育に協力できること・したいことについては、「通学の見守り」が54.1%で最も高く、次いで「学校の環境整備（花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等）への支援」が32.0%、「学校行事・授業への参加（本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力）」が30.7%となっています。

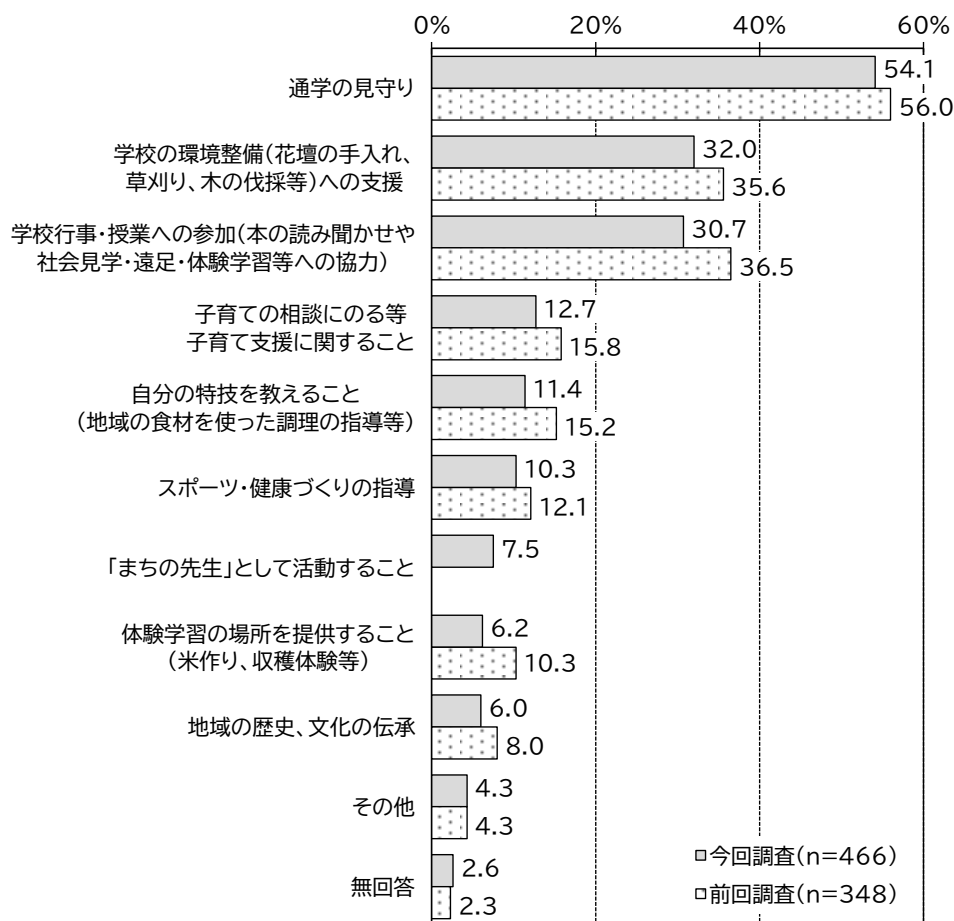
前回調査と比べると、「学校行事・授業への参加（本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力）」は今回調査の方が前回調査を5.8ポイント下回っています。

【属性ごと】

性別でみると、「スポーツ・健康づくりの指導」は男性の方が女性を14.7ポイント上回っています。

年齢別でみると、39歳以下では「学校行事・授業への参加（本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力）」、40～79歳では「通学の見守り」が最も高くなっています。

小学校区別でみると、「通学の見守り」の他では「学校の環境整備（花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等）への支援」は片地（佐岡含む）と舟入で特に高く、「学校行事・授業への参加（本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力）」は香長（繁藤含む）で特に高くなっています。



II 住民調査の結果

単位:%

		回答者数 (n)	通学の見守り	学校の環境整備(花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等)への支援	学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)	子育ての相談にのる等子育て支援に関すること	自分の特技を教えること(地域の食材を使った調理の指導等)	スポーツ・健康づくりの指導	「まちの先生」として活動すること	体験学習の場所を提供すること(米作り、収穫体験等)	地域の歴史、文化の伝承
全体		466	54.1	32.0	30.7	12.7	11.4	10.3	7.5	6.2	6.0
性別	男性	191	52.9	36.1	22.5	6.8	12.0	18.8	9.9	6.3	7.9
	女性	270	55.6	29.6	36.3	16.3	10.4	4.1	5.9	6.3	4.8
	どちらでもない/答えたくない	3	▼33.3	▼-	33.3	△33.3	△66.7	▼-	-	-	-
年齢別	29歳以下	29	▼27.6	34.5	△58.6	10.3	13.8	17.2	6.9	6.9	6.9
	30~39歳	51	47.1	31.4	△52.9	15.7	13.7	17.6	3.9	7.8	3.9
	40~49歳	69	56.5	33.3	△47.8	8.7	14.5	8.7	7.2	4.3	8.7
	50~59歳	58	51.7	34.5	27.6	13.8	13.8	6.9	6.9	6.9	-
	60~69歳	120	56.7	28.3	23.3	11.7	9.2	11.7	8.3	5.0	5.8
	70~79歳	135	60.7	33.3	▼15.6	13.3	9.6	6.7	8.1	7.4	8.1
小学校区別	山田	166	53.0	26.5	25.9	12.7	11.4	12.7	9.0	5.4	7.8
	楠目	61	59.0	34.4	32.8	16.4	4.9	8.2	-	3.3	1.6
	片地(佐岡含む)	40	47.5	△45.0	30.0	7.5	10.0	2.5	5.0	10.0	2.5
	舟入	44	56.8	△43.2	29.5	13.6	13.6	6.8	9.1	9.1	9.1
	香長(繁藤含む)	22	54.5	36.4	△45.5	4.5	4.5	13.6	9.1	-	9.1
	大宮	98	56.1	29.6	36.7	14.3	13.3	11.2	12.2	5.1	5.1
	大栃	25	48.0	36.0	28.0	8.0	20.0	12.0	-	12.0	8.0

		回答者数 (n)	その他	無回答
全体		466	4.3	2.6
性別	男性	191	3.7	2.1
	女性	270	4.4	3.0
	どちらでもない/答えたくない	3	△33.3	-
年齢別	29歳以下	29	3.4	3.4
	30~39歳	51	5.9	2.0
	40~49歳	69	1.4	1.4
	50~59歳	58	3.4	5.2
	60~69歳	120	5.0	2.5
	70~79歳	135	5.2	2.2
小学校区別	山田	166	6.0	2.4
	楠目	61	3.3	1.6
	片地(佐岡含む)	40	2.5	7.5
	舟入	44	2.3	4.5
	香長(繁藤含む)	22	9.1	-
	大宮	98	2.0	1.0
	大栃	25	4.0	4.0

■問23-2（問23で「2. いいえ」と答えた方に）協力したいと思わない理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

【全体】

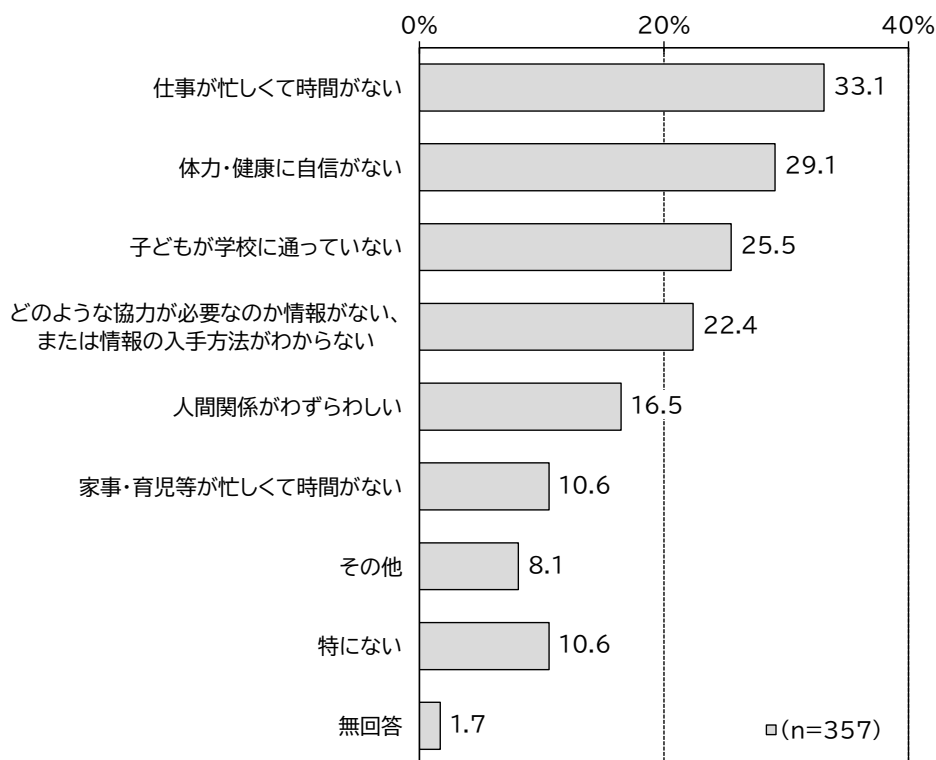
地域教育に協力したいと思わない理由については、「仕事が忙しくて時間がない」が33.1%で最も高く、次いで「体力・健康に自信がない」が29.1%、「子どもが学校に通っていない」が25.5%、「どのような協力が必要なのか情報がない、または情報の入手方法がわからない」が22.4%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「体力・健康に自信がない」は女性の方が男性を13.5ポイント上回っています。

年齢別で見ると、59歳以下では「仕事が忙しくて時間がない」、60～79歳では「体力・健康に自信がない」が最も高くなっています。また、29歳以下で「どのような協力が必要なのか情報がない、または情報の入手方法がわからない」が4割、30～49歳で「人間関係がわずらわしい」が3割近くと、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、山田、楠目、舟入は「仕事が忙しくて時間がない」、片地（佐岡含む）は「体力・健康に自信がない」と「どのような協力が必要なのか情報がない、または情報の入手方法がわからない」、香長（繁藤含む）と大宮は「子どもが学校に通っていない」、大栃は「どのような協力が必要なのか情報がない、または情報の入手方法がわからない」が最も高くなっています。



Ⅱ 住民調査の結果

単位:%

	回答者数 (n)	仕事が忙しくて時間がない	体力・健康に自信がない	子どもが学校に通っていない	情報がわからない、または情報は情報入手方法がわからない	人間関係がわずらわしい	家事・育児等が忙しくて時間がない	その他	特にない	無回答	
全体	357	33.1	29.1	25.5	22.4	16.5	10.6	8.1	10.6	1.7	
性別	男性	132	37.1	21.2	27.3	26.5	17.4	6.8	6.8	12.1	1.5
	女性	216	31.0	34.7	25.5	20.4	15.7	13.0	8.8	8.8	1.9
	どちらでもない/答えたくない	6	33.3	▼16.7	▼ -	16.7	△33.3	16.7	16.7	▼ -	-
年齢別	29歳以下	20	△55.0	▼15.0	▼15.0	△40.0	20.0	5.0	15.0	15.0	-
	30~39歳	26	△50.0	▼ 7.7	▼11.5	▼ 7.7	△30.8	△26.9	15.4	7.7	3.8
	40~49歳	51	△54.9	▼ 3.9	23.5	15.7	△27.5	△21.6	3.9	17.6	-
	50~59歳	66	△53.0	▼15.2	25.8	27.3	13.6	16.7	10.6	9.1	-
	60~69歳	77	27.3	37.7	35.1	28.6	14.3	6.5	6.5	9.1	1.3
	70~79歳	113	▼ 8.0	△50.4	25.7	19.5	9.7	2.7	7.1	8.0	3.5
小学校区別	山田	129	34.9	27.1	▼15.5	21.7	13.2	16.3	10.1	12.4	2.3
	楠目	52	40.4	34.6	23.1	23.1	17.3	15.4	1.9	5.8	1.9
	片地(佐岡含む)	27	▼22.2	29.6	25.9	29.6	18.5	3.7	3.7	7.4	-
	舟入	28	42.9	32.1	△35.7	21.4	21.4	7.1	14.3	3.6	-
	香長(繁藤含む)	15	▼20.0	26.7	△53.3	20.0	△33.3	▼ -	6.7	▼ -	-
	大宮	69	30.4	29.0	△36.2	20.3	14.5	7.2	8.7	13.0	1.4
	大栃	20	▼20.0	25.0	30.0	△35.0	10.0	5.0	10.0	15.0	-

■問24 香美市の教育や生涯学習についての情報を、ふだんどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

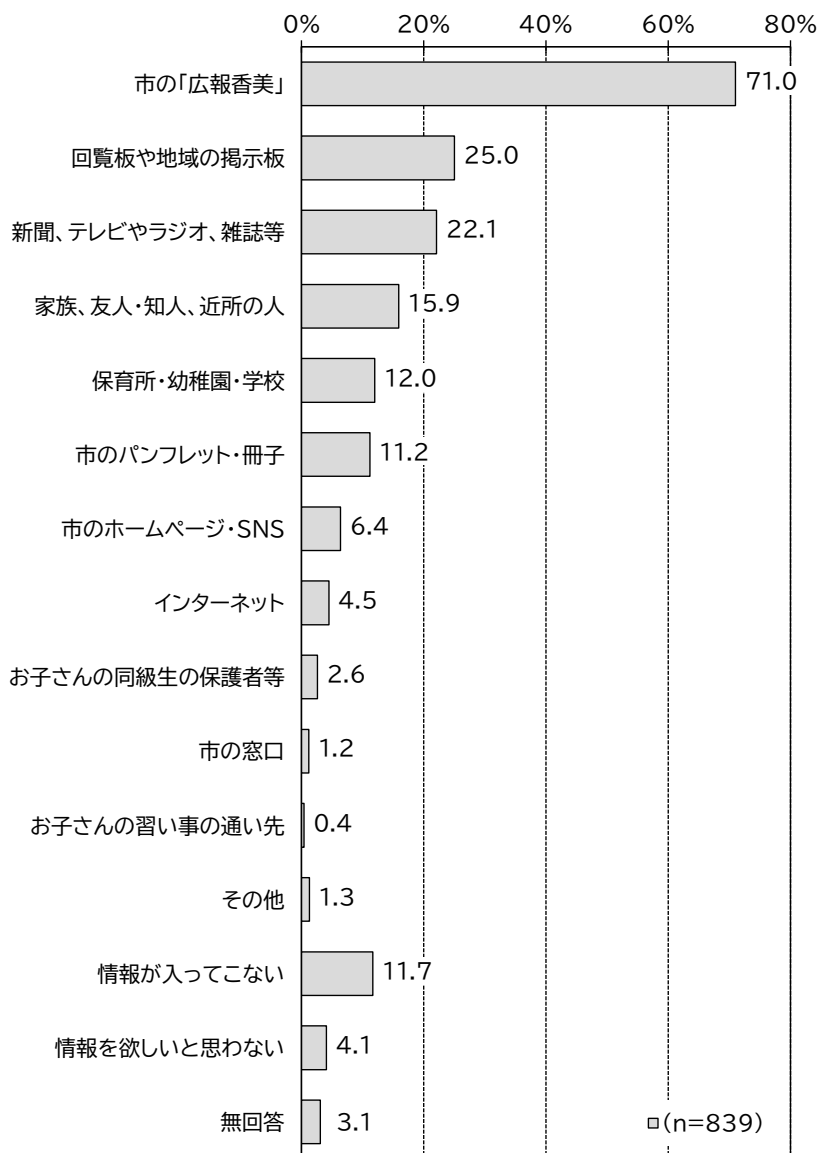
香美市の教育や生涯学習についての情報の取得経路については、「市の『広報香美』」が71.0%で最も高く、次いで「回覧板や地域の掲示板」が25.0%、「新聞、テレビやラジオ、雑誌等」が22.1%となっています。

【属性ごと】

性別で見ると、「市の『広報香美』」は女性の方が男性を8.1ポイント上回っています。

年齢別で見ると、いずれの年齢層も「市の『広報香美』」が最も高く、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあります。また、30～49歳で「保育所・幼稚園・学校」が3割台、60～79歳で「回覧板や地域の掲示板」が3割台と、他の年齢層と比べて高くなっています。

小学校区別で見ると、「市の『広報香美』」は舟入、香長(繁藤含む)大宮で約8割と高く、「回覧板や地域の掲示板」は舟入と香長(繁藤含む)で高くなっています。



II 住民調査の結果

単位:%

	回答者数 (n)	市の「広報香美」	回覧板や地域の掲示板	新聞、テレビやラジオ、雑誌等	家族、友人・知人、近所の	保育所・幼稚園・学校	市のパンフレット・冊子	市のホームページ・SNS	インターネット	お子さんの同級生の保護者等	
全体	839	71.0	25.0	22.1	15.9	12.0	11.2	6.4	4.5	2.6	
性別	男性	329	66.6	22.8	21.0	15.5	8.2	13.7	8.5	7.6	1.5
	女性	495	74.7	27.1	23.0	16.2	14.7	9.5	4.8	2.6	3.0
	どちらでもない/答えたくない	9	▼44.4	▼ -	▼11.1	11.1	▼ -	△22.2	△22.2	-	11.1
年齢別	29歳以下	50	▼42.0	▼10.0	18.0	20.0	10.0	14.0	△18.0	△18.0	4.0
	30~39歳	78	▼50.0	▼ 6.4	▼ 7.7	16.7	△37.2	7.7	3.8	9.0	9.0
	40~49歳	121	62.0	▼ 9.9	14.0	18.2	△33.1	7.4	9.9	5.8	8.3
	50~59歳	124	76.6	20.2	19.4	15.3	5.6	7.3	5.6	3.2	0.8
	60~69歳	198	80.8	34.8	24.2	11.1	4.0	10.1	6.6	4.0	-
	70~79歳	260	76.9	△35.4	30.8	16.9	4.2	15.8	3.5	1.2	0.4
小学校区別	山田	303	64.7	▼14.9	22.8	16.2	11.6	12.5	7.9	6.6	1.7
	楠目	114	75.4	28.9	26.3	7.0	17.5	7.9	6.1	3.5	2.6
	片地(佐岡含む)	67	70.1	31.3	13.4	13.4	7.5	7.5	6.0	1.5	3.0
	舟入	72	79.2	△43.1	22.2	19.4	9.7	15.3	8.3	2.8	2.8
	香長(繁藤含む)	37	78.4	△35.1	△32.4	21.6	10.8	10.8	2.7	8.1	5.4
	大宮	169	79.3	31.4	21.9	17.8	12.4	10.7	5.3	2.4	3.6
	大栃	47	66.0	23.4	19.1	△29.8	14.9	12.8	4.3	8.5	2.1

	回答者数 (n)	市の窓口	お子さんの習い事の通い先	その他	情報が入ってこない	情報を欲しいと思わない	無回答	
全体	839	1.2	0.4	1.3	11.7	4.1	3.1	
性別	男性	329	1.5	-	0.9	14.0	6.1	3.0
	女性	495	0.6	0.6	1.6	10.1	2.2	3.2
	どちらでもない/答えたくない	9	11.1	-	-	△22.2	△22.2	-
年齢別	29歳以下	50	6.0	-	2.0	△30.0	6.0	2.0
	30~39歳	78	1.3	1.3	2.6	14.1	9.0	1.3
	40~49歳	121	0.8	0.8	-	14.0	6.6	1.7
	50~59歳	124	0.8	-	0.8	11.3	2.4	1.6
	60~69歳	198	1.0	-	1.0	11.6	4.0	1.5
	70~79歳	260	0.8	0.4	1.9	6.9	1.9	6.5
小学校区別	山田	303	2.6	-	2.0	13.5	5.3	3.0
	楠目	114	-	1.8	2.6	11.4	3.5	2.6
	片地(佐岡含む)	67	1.5	-	1.5	11.9	9.0	1.5
	舟入	72	-	-	-	8.3	2.8	1.4
	香長(繁藤含む)	37	-	-	-	8.1	-	-
	大宮	169	-	-	0.6	11.8	1.8	3.0
	大栃	47	-	2.1	-	8.5	4.3	2.1

9. 自由記述

■ 香美市の教育や生涯学習についてのご意見やご要望を自由にお書きください。

香美市の教育や生涯学習についてのご意見やご要望については、108人から130件のご意見ご要望がありました。

内容	件数
教育施策・環境等について	80件
教育施策について	23件
インターネットだけでなく本や自ら体験する方が身につけやすいので、本などによる学習の機会も保てるようにしてほしい。	
香美市は、教育や生涯学習に対して力を入れている市だと感じる。地域の格差なしにどこの地域に住んでいても気軽に参加できる場であるようさらに充実してほしい。	
教育や生涯学習の必要性はあると思うが、どういった事をするのか、なぜするのかをはっきりさせて協力を求める事が重要である。	
香美市では小学校ごとに特色や方針があり、その学校ならではの取り組みや地域交流を感じられる。もっと色々な体験を取り入れ、香美市ならではの教育が出来れば良い。	
不登校の子供が増えていると聞くので、義務教育課程では全ての子供が楽しく学校に通え、意欲的、主体的に学習に臨むことができるよう支援体制の充実をお願いする。	
国際バカロレア教育が時には子どもにとって負担になっているのではないかと感じることもある。就学前の教育を正しく理解しおこなうこと、人権を大切にすることでバカロレア教育への段差も少なくなるのではないかと。	
子供の個性を伸ばせる教育。	
市内の各学校では、特色のある取り組みをしていると聞き、とてもすばらしい事だと思う。	
テレビ番組で人権侵害ではないかと思う場面を度々見かけ、児童生徒への影響が心配だ。学校で折に触れて「いじめはいけない、友人と仲良くしよう」と心に響く話を繰り返し子供の心に届けてほしい。	
不登校児童には、学校へ行きたくない理由があるだろうと思うので対策が必要だ。	
子供たちの将来に希望がもてるような、明るく思いやりのある世の中になるよう願う。そのためには心の教育に力を入れていただきたい。	
子どもたちと地域の方々との交流機会は減ってきている。お祭りのほか史跡などの学習機会、町の歴史などを仲間と一緒に楽しく学べる機会を作ってほしい。	
詰め込み型教育の限界が見えてきている中、探求型学習を全ての小学校に広げて欲しい。	
ITなどの学習を大学とコラボしてやって欲しい。	
多様な学習方法を取り入れていると感じる。	
1人1人の個性や人格を大切にしながら自由に学習できる環境を創っていくことが大事。	
学力をあげるための指導を頑張ってもらいたい。国外でも活躍できるような学習の見直しに努めてもらいたい。	
子供が土曜日はゲームばかりなので、半日でも学校があるとよい。	
教科書の重いことへの解決に取り組んで欲しい。学校に置くのではなく紙質や必要ない言葉のつめ込み、子供の安全を考えるなら第1に考えて欲しい。	
高知県では中学から私立受験が多いと聞いた。公立中学校の学力レベルが上がるとよい。	
中学校の点数が同じでも前回との差が大きい方の成績を良くするという制度を廃止すべき。	
道徳	
不登校の生徒がでない、行きやすい学校を作りしてほしい。	

情報・広報について	14件
広報に、ボランティアなどの募集コーナーがあれば、チェックしたい。	
地域の行事に子供を参加させたいので情報発信をお願いしたい。	
先進的な取り組みなど、教育について高い意識と関係者の方々の尽力を感じる一方、情報発信が十分でなく、せっかくの取り組みも知らない人も多い。	
YouTubeで情報発信してもらいたい。	
これからも積極的に情報の発信をお願いする。広報でチェックして、大好きな香美市の伝統と文化をもっと学びたい。	
コロナ禍で、低下した機運を盛り上げるためには厚かましいくらいの支援やPRが必要と考える。生涯教育の充実は人生の豊かさに直結する。より一層のアピールをお願いしたい。	
情報が入ってこない。説明会があれば参加したい。一度中学校、小学校と訪問したが、担当者が退職したため、それきりとなり、引継ぎや継続性が見えないし分からない。	
古墳や遺跡の案内板は往時のイメージ図などをのせてもらえるとその貴重さやすごさがわかりやすくなると思う。	
香美市在住の漫画家のマンガに龍河洞の空気とか自然に元気をもらったというストーリーを入れてもらったら宣伝になると思う。カラー照明と大音響で自然を破壊するのは止めて欲しい。	
香美市に住んで10年になるが、知らない所ばかりである。地域を回る移動図書は知っているが図書館を知らない。	
夜中にサイレンが鳴って火事と思ったが、情報入って来ない。マイク放送はあったが聞き取れなかった。	
転入して半年だが、情報が入って来ない。市役所内で目に付く機会が増えればよい。	
どこに行けば情報があるのか分からない。ワンストップで分かる場所を設けて欲しい。	
広報に常設コラム・お知らせコーナーを設けてほしい。	
生涯学習について	12件
人数が少なくても地域へ出張して定期的に学習機会をつくってほしい。	
仕事をしており、生涯学習に取り組む余裕がないが、余裕ができれば参加したい。	
生涯学習等に参加するには、いろいろな人からの誘いが一番参加しやすい。いろいろな催し事を通じて交流が広がれば良い。	
生涯学習に参加するための交通手段がない。	
新しい図書館を利用し、学習を深めていきたい。	
生涯学習は高齢者の見守りの目的も含めオンラインでの学習環境の充実を目指してほしい。	
多面的な生涯学習講座。	
生涯学習の講座やイベントなど以前に比べると格段に増えていると思うが、日々の暮らしや仕事が忙しく参加できる時間的余裕がない。文化的な生活は生活に余裕がないと送れない。	
生涯学習という言葉になじみがなく堅苦しいイメージがある。	
文化財については「今さら聞けない」「ちょっと知りたい」人でも学べるようにしてもらいたい。40代でも学べるようなサークルがあると良い。	
2～10km程のミニマラソン大会があれば参加したい。	
いつでも誰でも学ぶ機会が保障されること。	
地域活動・活性化について	11件
退職後はボランティアに参加したいと思うが、まだ情報を得る活動はしていない。	
ボランティアに積極的に参加していきたい。	
託児付きのイベントや、未就学児が参加できるものが増えればよい。	
香美市へ転入したばかりで知らないことが多い。これからまちを知りながら、香美市の取り組みへも参加していきたい。	
様々な取組に感謝する。香美市の発展のため私自身も何ができるのか考えていきたい。	

県外へ単身赴任して香美市には不在だったので、市の情報や地域のことも疎くなっている。今後、アンケートにあるような事柄について、少しずつ取り組んでいきたい。	
コロナ禍で行事、地域活動が少なくなっている。以前は地区ごとに集団登校をしていたが、児童が少なくなって親と一緒に登校しています。登下校の見守りを気を付けてあげたい。	
田舎には田舎の良さがある。その良い面をのばしてあげれば良いのではと思う。	
子どもの見守りが少ない。	
孫が喜ぶ顔を見て、年を重ねても香美市のよってたかって教育に関わりたい。みんなでいっぱい幸せになりたい。	
信号の無い横断歩道で安全指導を試みたいと考えているが、どのように誰に言ったら始められるのか、事故があった時の責任は、などを考えて今一歩ふみきれない。	
子どもについて	8件
中学生に自転車の乗り方のルールを守るよう教えてほしい。	
公園などで小学生が小さい子供に配慮している姿は素晴らしいと思うが、話している言葉や内容に下品さを感じ驚くことがある。	
大人に対しての口のきき方、尊敬の仕方等が不足していると思う。もう少し外で活動する子供の教育が必要。	
小学生がたまに挨拶してくれるのが嬉しい。	
子供はもっとのびのび育てるべきではないか。最近の子供は基礎が出来ていないのではないか。子供自身が必要と思わなければ何をしても無意味ではないか。	
コロナ禍で小学生と接する機会がなくなり、徐々に接すると子供達に落ち着きが無く、更に忍耐力が無くなっている様感じた。登下校のマナーも悪く、小学生の挨拶が無い。中学生は元気良く、朝晩挨拶してくれる。	
子供は地域の宝なので、地域の高齢者などの話も素直に聞く子に育ててほしい。親のしつけも大事。	
郷土の偉人を学ぶなど香美市の郷土に誇りをもってほしい。日本の国を愛する人に育ててほしい。国旗、国歌に敬意を払う大人になってほしい。そういう人材こそが、世界の中で日本にも世界にも貢献できると考える。	
教職員について	7件
教育、保育現場では先生達の人数が足りないと感じる。	
先生方には、心あたたまる教育をお願いしたい。コロナ下の苦しみが子供達に及んでいる今こそ、1人1人を大切に、子供の可能性を伸ばしてほしい。	
学校によると交通安全の日に街頭指導に協力する地域の方に挨拶をしない先生が増加している。子供達に挨拶するよう言う前に先生方が自ら姿勢を示してほしい。	
先生方や教育に関わる仕事の方々は大変苦労されていると思うが頑張してほしい。	
子供たちの未来を決めるのは先生方々なので、心の勉強を先生方も自ら学んで、学生に伝えてもらいたい。	
より細やかな支援ができるように支援員等を増員してほしい。	
先生を取り巻く環境がよくない、残業などが多く負担が大きい。	
保護者・大人について	3件
香美市に生まれ育った。自分の安全、学校の安全第一に考えている者が多く、子供たちが大人の犠牲になっていることが目に見える。親が子の躰をしっかりとっていないところも昔とは違うと感じる。大人の教育から正さないと子の教育は変えれないと思う。	
昔は子供の頃から親を尊敬し困ったら助け合うが当たり前だったが、今の大人は道徳が欠けていると思う。	
子供の教育の前に現在の大人の一般常識的な欠如が多くなっている。未婚者が多くなるなどで横のつながりがなくなって他人に関心を持たなくなっている。	
保育について	2件
保育園のアンケートに書いた要望には決まって”出来ません”の返答が多い。香美市の教育には一市民の感覚として将	

来性を感じられない。	
未来を担う子どもの教育・保育にさらに力を入れてほしい	
市の施策について	24件
小グループで参加できる催しもあれば大勢が苦手な人も参加しやすい。	
子供が大きくなったら習字や硬筆の教室に通わせたい。	
工科大学と言う宝があるのに現在各関係機関がバラバラにアプローチしていて市民参加の効果が得られていないように思う。市の活性化の為に子供から老人までが関与できるような民活のプロジェクトを始動させて活気ある市になるよう行政は後押ししてもらいたい。	
近隣市と同様に2人目以降の保育料無償の検討をお願いしたい。	
新図書館には、とても興味、関心がありますし、様々な世代の方が利用し、訪れることのできる行事やイベントにも期待している。行政と市民の協働の仕組みとアプローチを構築してほしい。	
不登校の子どもの支援を大切にする事を希望する。子どもたちは居心地の良い場所を求めている。学びたいと思った時に学べる環境を整える事が市には求められていると思う。	
子どもの登校の道の整備をお願いしたい。せめて歩道は完全確保してほしい。	
香北や物部でもっと施設を利用してのコミュニティができればいい。香美市は文化、芸術が弱い。	
<ul style="list-style-type: none"> ・工科大学に入学する学生が香美市に住む場合の生活補助。 ・小中学校のICT環境整備(タブレット、PC、ネット環境など)。 ・廃校をイベント広場、常設の店舗、博物館、宿泊施設などに有効活用する。 ・不登校生徒の支援、外に出る機会づくりをしてはどうか。 ・子供が勉強したい分野への情報提供をする。 	
もっと明確なコンセプトを打ち出して、香美市の未来のために活動に励んでいただきたい。	
転入したばかりで、あまり取り組みについては分からないが、自然豊かな地域なので、地域性や自然と触れる機会をたくさんつくっていただきたい。	
高齢者の活動拠点は地域であるため、高齢者に重点をおき日々を楽しめる方向にしてもらいたい。	
地域格差の是正。	
被害者、加害者になるのは必ずローカル出身者、行政も何もしない。	
校区によって学童の人数差が大きく、入学者の少ない学校は存続が大変である。学園都市を考えれば、子供の住める地域作り、住宅が建てられるように調整区域から外して人口増をしてほしい。	
学校に行きづらくなっている子どもが校区内で地域の人に見守ってもらえるような場があればよいのではないかな。	
コロナで子ども達は、いろんな行事等が制限されていると思うが、指導者は今まで通りにできないから中止ではなく、発想を豊かにして、知恵を出し合い、子ども達を楽しませてもらいたい。	
よってたかって教育のよってたかってという名称の意味が分からない。特に県外の人、子供もわからない。	
お互いに頼りあえ、精神的に豊かであるためにカウンセリング、コーチングのようなものが身近にあってほしい。	
緊急連絡が非通知でかかってくるがあると連絡事項で読んだが、非通知の電話はなるべく出ないようにしているので他に方法はないか。	
税金の無駄遣いや使途不明金をゼロにしてもらいたい。	
IT活用の推進とそのための人員の雇い入れ。条件によっては私とその役目を負う事が可能である。	
もっと見える化を推進してほしい。	
市職員の町づくりに対してレベルアップを図ること。	
生活環境・施設等について	17件
障害や疾病がある人でも参加しやすい環境作りもしていただきたい。	

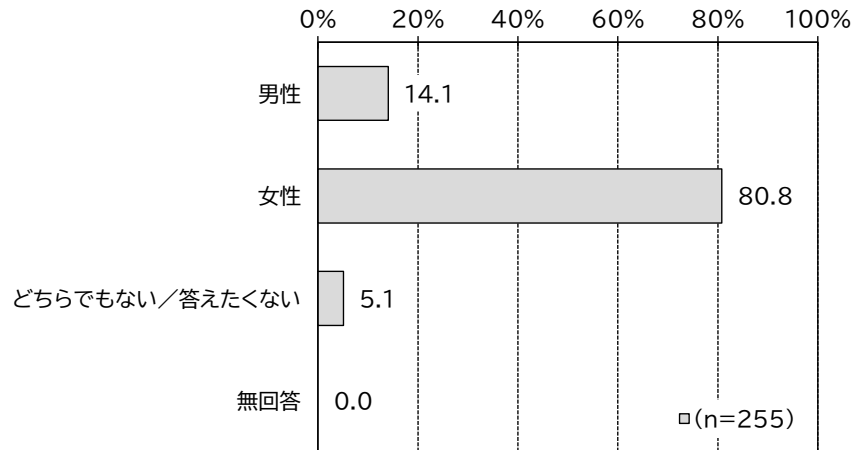
小学生のランドセルが重いのを、もう少し軽くできないか。	
他市の小学校のように学校内に売店を作ってほしい。子どもが自分で必要な物を購入する経験や売店の手伝いなどを経験できるし、保護者の負担が軽減される。	
公共施設(文化、スポーツなど)を誰でも気軽に利用できる環境にすること(交通も含めて)。	
図書館が町の中心から離れた場所に移転したので、利用する機会が減った。	
自主的に運動をしている。健康センターの温水プールの水温は高齢者には冷たすぎる。ジェットスパも修理して暖かくしてほしい。	
歩きスマホが老若男女多過ぎる。都会の一部では条例で禁止されている。	
新図書館の計画段階の要望に色々書かせてもらったがほとんど叶ってない。現公民館に代わるような設備を求めたが中途半端な大きさに講演会やコンサートなどができず残念に思った。学生達を使うのには座席数も少ない。平日の土佐山田スタジアムの活用、全く使用されていない様子でもったいない。じんぎん公園も平日は子供だけで行かせたくない。	
児童館が無理なら「児童室」を作ってマンガの貸し出しや遊具の貸し出しが出来るようになるとよい。体を使って子供達が遊べる場所を子供達の意見で作ってほしい。	
学校の図書に置く本は良い本を置いてほしい。	
自分の住む地域には、生活に必要な施設がそろっていて便利である。	
無料でグラウンドの周りを歩くだけの設備が出来れば毎日のように歩きに行きたい。アスリート等に重点を置きすぎる施設建設はやめてほしい。	
香美市には体育施設や市有地がたくさんあって管理費用もかかっている。有効活用できればよいと思う。	
コンサート、大きなイベント等が行える施設がほしい。	
もっとコンピュータ関係の本を図書館に置いてほしい。プログラミング等はオーテピアまで行かないと無い。	
図書館がきれいになってうれしい。ただ、入り口や返却のところがわかりにくい、大きなアナログの時計があればなおいよい。	
体育館を借りることが好きで、いつもお世話になっている。	
アンケートについて	5件
就学前の教育に関する設問は、就学前に就学後の教育の前倒し的な教育が大切であると誤解を生むのではないかと、保護者に対し威圧感を与えるように感じた。	
定年したばかりで、まだ地域との関わりが乏しく、孫との関わりのアンケート回答になった。	
意見に対して回答発表もして欲しい。日頃のご苦勞には感謝している。	
「答えたくない」という選択もあるべきだ。	
本人は知的障害者の為、父親記入です。	
その他	4件
転入したばかりであり香美市のことが分かっていない。早朝からの仕事で、休みの日でも体力的な余力が残っていないのが現実である。	
教育、生涯学習の情報がないので、意見も要望もない。一部の関わりのある人のことで無くても困らない。	
今の時代、個人の自由に任せておいたら良いと思う。	
ベトナム語の通訳が必要な時は連絡してほしい。	

Ⅲ 保護者調査の結果

1. 回答者について

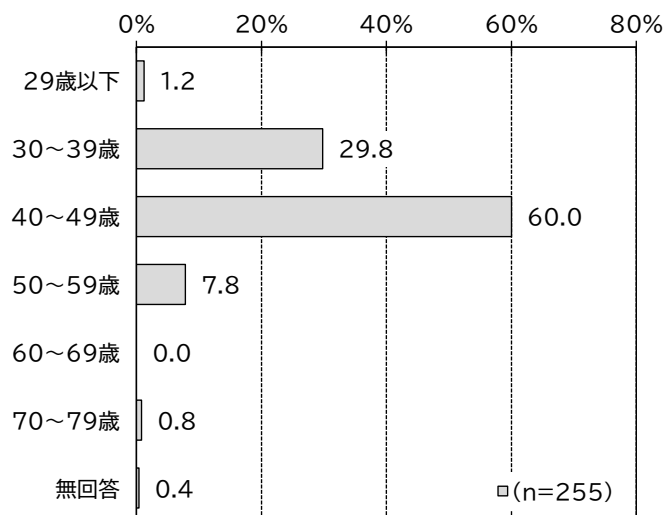
■性別

性別については、「男性」が14.1%、「女性」が80.8%、「どちらでもない／答えたくない」が5.1%となっています。



■年齢

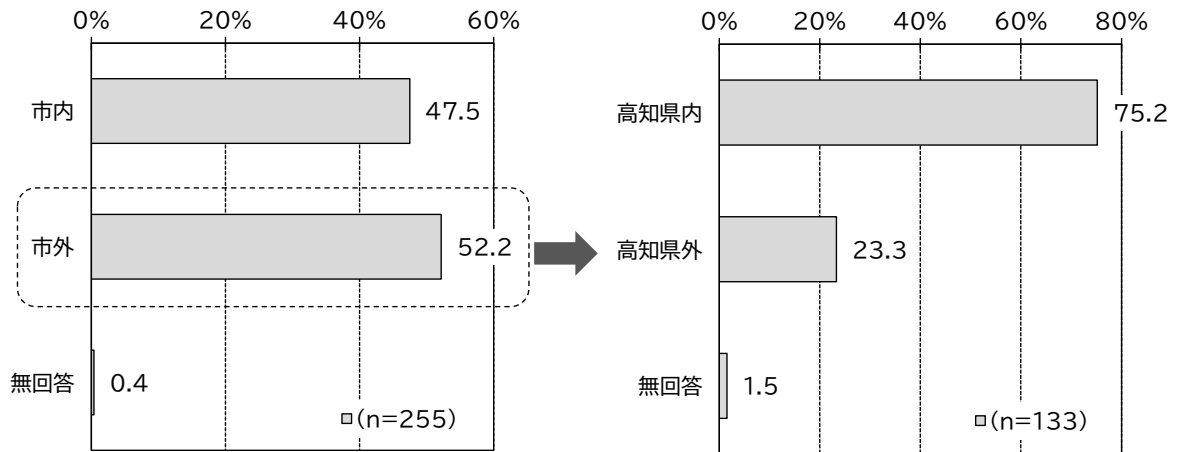
年齢については、「40～49歳」が60.0%で最も高く、次いで「30～39歳」が29.8%、「50～59歳」が7.8%となっています。



■出身地

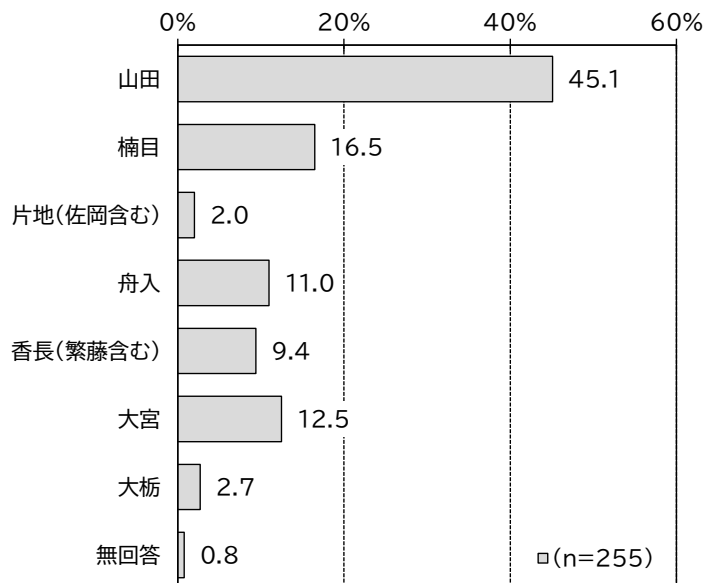
出身地については、「市内」が47.5%、「市外」が52.2%となっています。

また、「市外」と回答した人の内訳については、「高知県内」が75.2%、「高知県外」が23.3%となっています。



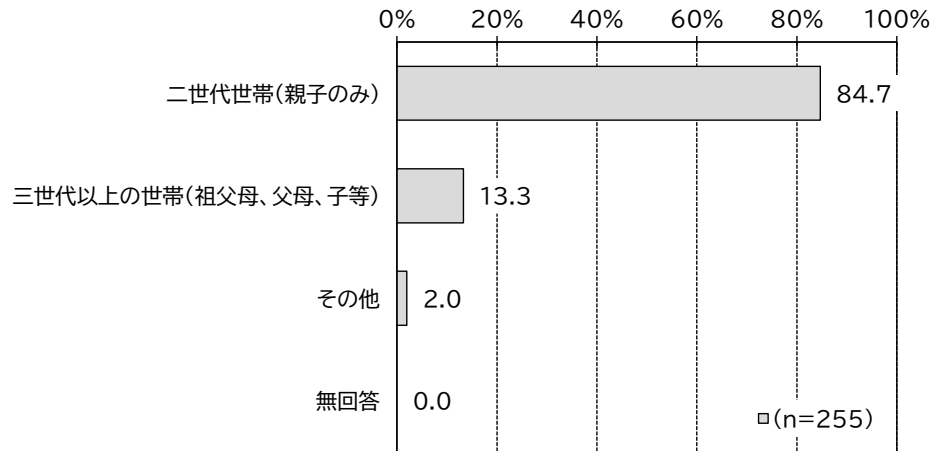
■住んでいる小学校区

住んでいる小学校区については、「山田」が45.1%で最も高く、次いで「楠目」が16.5%、「大宮」が12.5%、「舟入」が11.0%、「香長(繁藤含む)」が9.4%となっています。



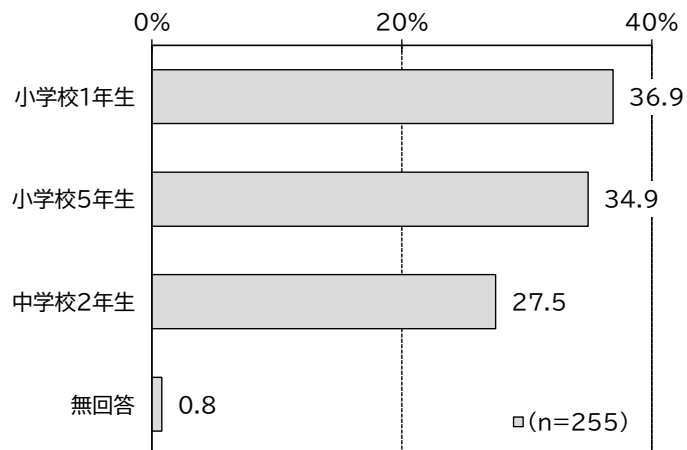
■ 家族構成

家族構成については、「二世世代世帯(親子のみ)」が84.7%、「三世代以上の世帯(祖父母、父母、子等)」が13.3%となっています。



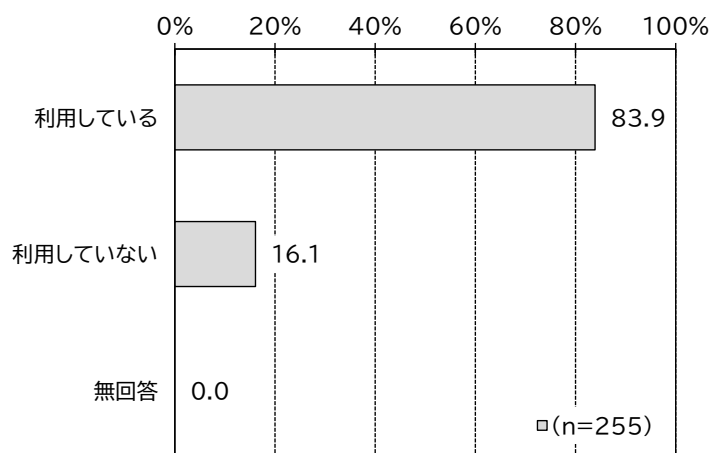
■ アンケート対象の子どもの年齢

アンケート対象の子どもの年齢については、「小学校1年生」が36.9%で最も高く、次いで「小学校5年生」が34.9%、「中学校2年生」が27.5%となっています。



■オンラインミーティングツール、YouTube、SNSの利用の有無

オンラインミーティングツール、YouTube、SNSの利用の有無については、「利用している」が83.9%、「利用していない」が16.1%となっています。

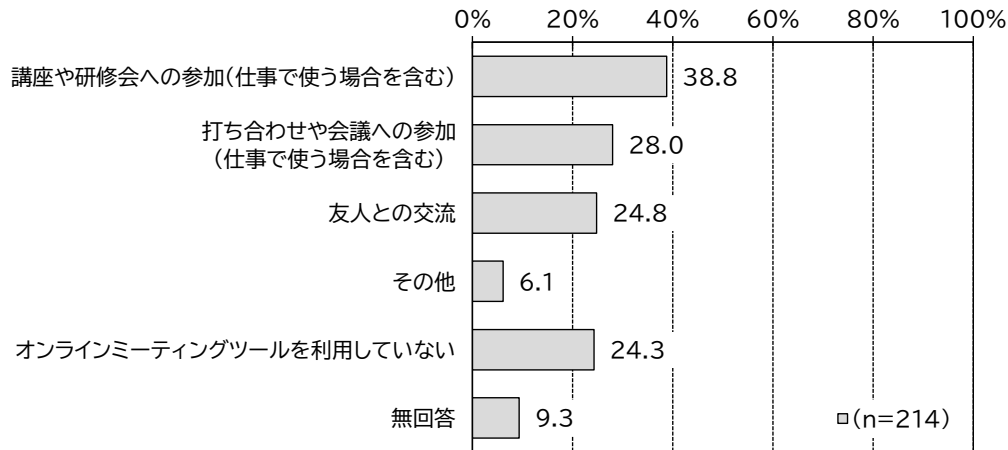


■オンラインミーティングツール、YouTube、SNSの利用形態

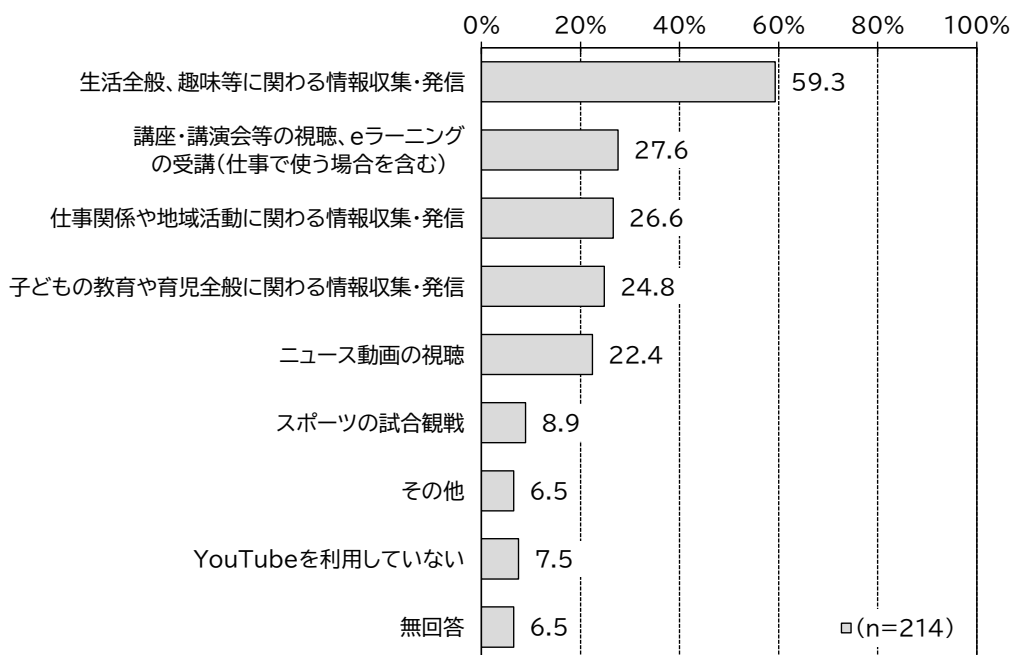
オンラインミーティングツールの利用形態については、「講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)」が38.8%で最も高く、次いで「打ち合わせや会議への参加(仕事で使う場合を含む)」が28.0%、「友人との交流」が24.8%となっています。

その他のツールの利用形態については、YouTubeでは「生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信」、SNS(LINE)とSNS(Facebook、Instagram、Twitter等)では「家族や友人、仕事関係での連絡・交流」が、それぞれ最も高くなっています。

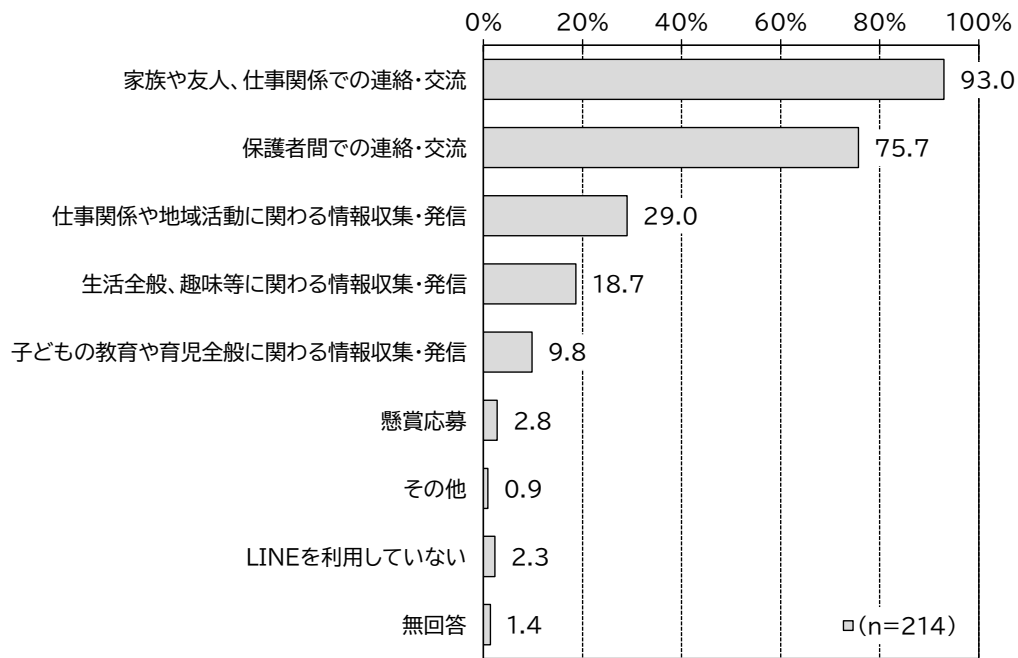
【オンラインミーティングツール(Zoom、Google Meet、Skype等)】



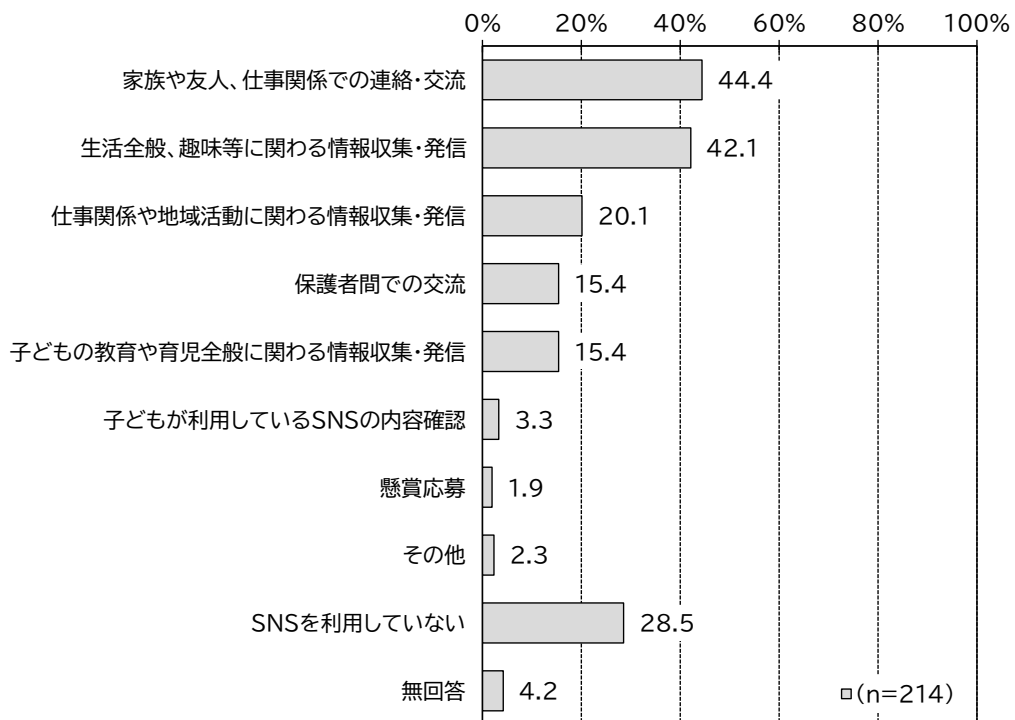
【YouTube】



【SNS(LINE)】

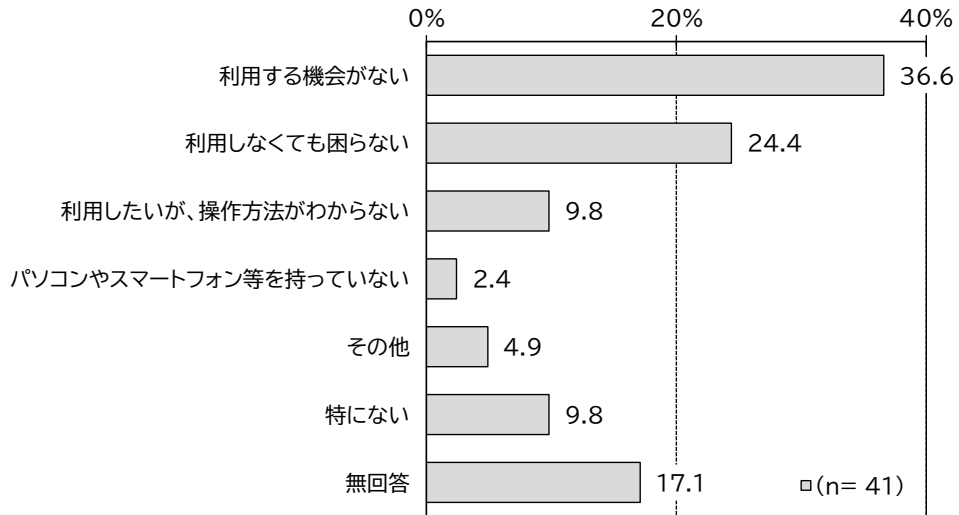


【SNS(Facebook、Instagram、Twitter等)】



■オンラインミーティングツール、YouTube、SNSを利用していない理由

オンラインミーティングツール、YouTube、SNSを利用していない理由については、「利用する機会がない」が36.6%で最も高く、次いで「利用しなくても困らない」が24.4%、「利用したいが、操作方法がわからない」と「特にない」がともに9.8%となっています。

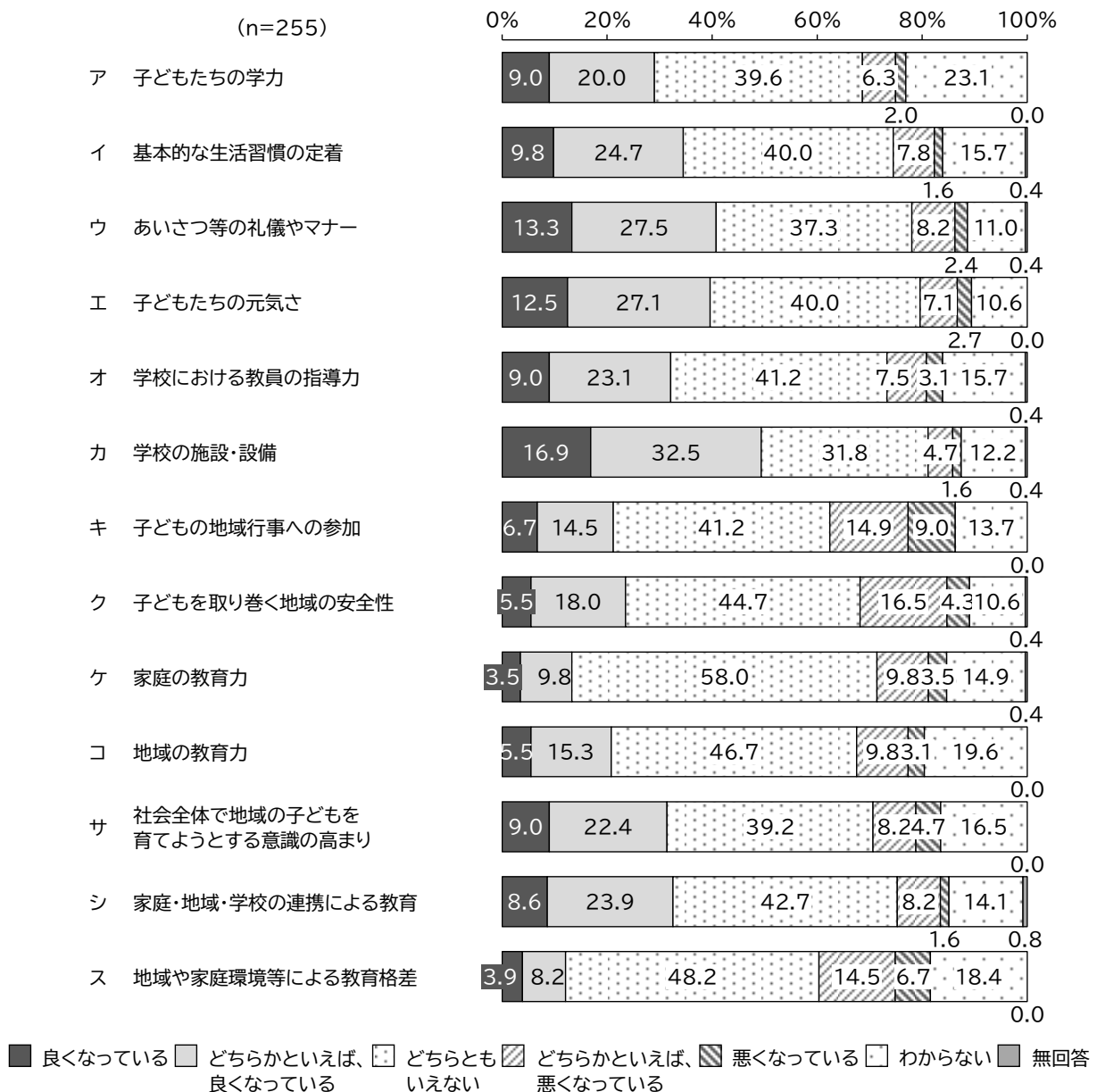


2. 香美市の教育施策について

■問1 香美市の子どもたちを見て、ここ5年くらいの間に香美市の教育や子どもを取り巻く環境はどのようになってきていると感じますか。
(ア～スのそれぞれの項目について、1つに○)

香美市の教育や子どもを取り巻く環境については、「カ 学校の施設・設備」を除くすべての項目で「どちらともいえない」が最も高くなっています。また、「良くなっている」と「どちらかといえば、良くなっている」を合わせた『良くなっている』は「カ 学校の施設・設備」、「ウ あいさつ等の礼儀やマナー」、「エ 子どもたちの元気さ」の順に高くなっています。

前回調査と比べると、「イ 基本的な生活習慣の定着」と「カ 学校の施設・設備」で『良くなっている』は、今回調査の方が前回調査をそれぞれ5ポイント以上上回っています。また、「キ 子どもの地域行事への参加」で『良くなっている』は、今回調査の方が前回調査を13.2ポイント下回っています。



【前回調査との比較】



良くなっている
 どちらかといえば良くなっている
 どちらともいえない
 どちらかといえば悪くなっている
 悪くなっている
 わからない
 無回答

■問2 香美市の子どもへの教育に関連して、現在、特に関心があることを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

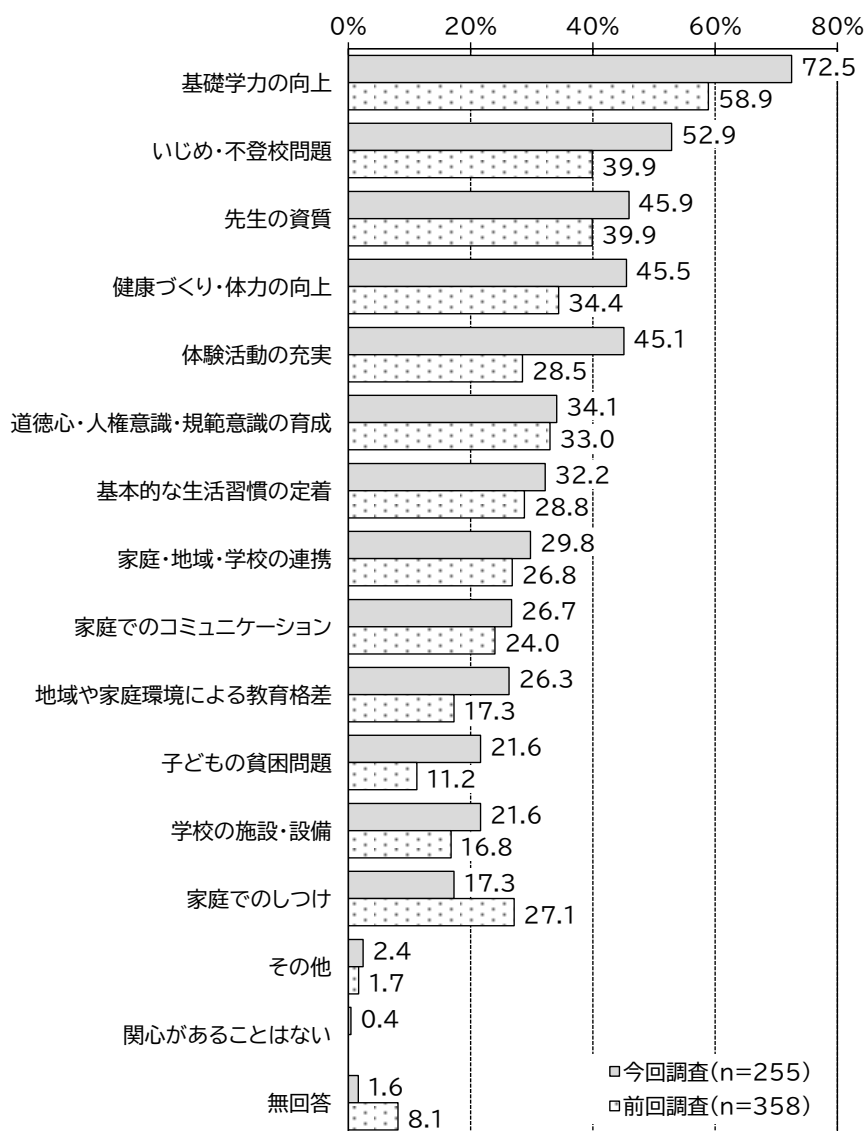
子どもへの教育に関連して、特に関心があることについては、「基礎学力の向上」が72.5%で最も高く、次いで「いじめ・不登校問題」が52.9%、「先生の資質」が45.9%、「健康づくり・体力の向上」が45.5%、「体験活動の充実」が45.1%となっています。

前回調査と比べると、「体験活動の充実」は今回調査の方が前回調査を16.6ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、いずれの学年も「基礎学力の向上」が最も高く、次いで、小学校1年生は「先生の資質」、小学校5年生と中学校2年生は「いじめ・不登校問題」が高くなっています。また、中学校2年生で「先生の資質」が34.3%で、他の学年と比べて特に低くなっています。

小学校区別で見ると、舟入と大宮を除くすべての小学校区は「基礎学力の向上」、舟入は「いじめ・不登校問題」、大宮は「先生の資質」が最も高くなっています。



単位:%

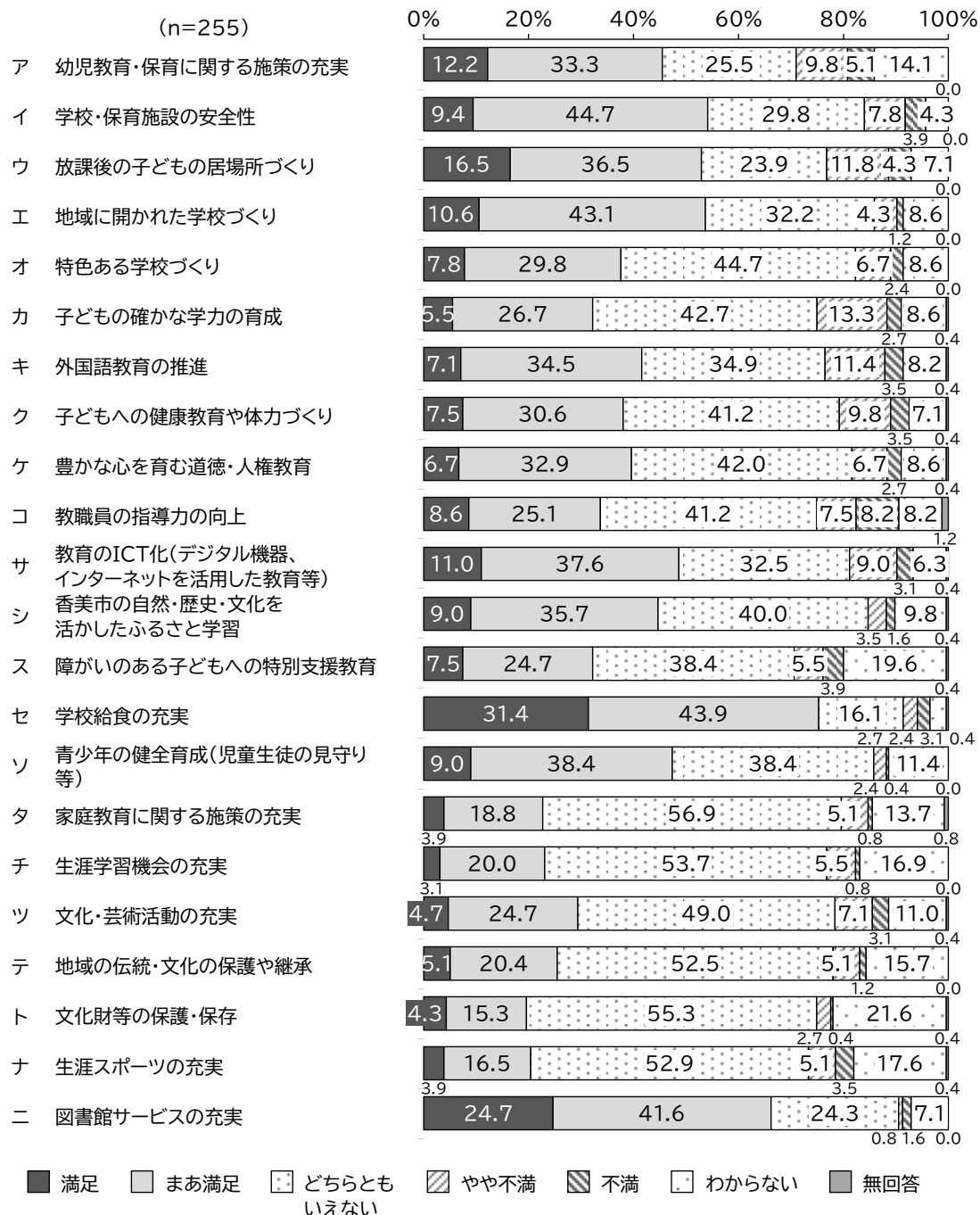
		回答者数 (n)	基礎学力の向上	いじめ・不登校問題	先生の資質	健康づくり・体力の向上	体験活動の充実	道徳心・人権意識・規範意識の育成	基本的な生活習慣の定着	家庭・地域・学校の連携	家庭でのコミュニケーション
全体		255	72.5	52.9	45.9	45.5	45.1	34.1	32.2	29.8	26.7
学年別	小学校1年生	94	70.2	47.9	54.3	45.7	46.8	35.1	35.1	35.1	27.7
	小学校5年生	89	74.2	56.2	46.1	47.2	47.2	36.0	31.5	24.7	29.2
	中学校2年生	70	75.7	55.7	▼34.3	44.3	41.4	31.4	30.0	28.6	22.9
小学校区別	山田	115	79.1	57.4	41.7	49.6	44.3	33.9	34.8	27.8	29.6
	楠目	42	76.2	45.2	47.6	38.1	50.0	42.9	31.0	▼19.0	21.4
	片地(佐岡含む)	5	△100.0	▼40.0	△60.0	△80.0	△80.0	△80.0	▼20.0	△40.0	△40.0
	舟入	28	▼60.7	△67.9	42.9	▼32.1	▼32.1	▼21.4	28.6	21.4	21.4
	香長(繁藤含む)	24	79.2	▼41.7	37.5	45.8	50.0	25.0	25.0	29.2	25.0
	大宮	32	▼43.8	43.8	△56.3	46.9	40.6	31.3	31.3	△50.0	18.8
	大栃	7	△85.7	57.1	△71.4	△57.1	△57.1	42.9	△42.9	△42.9	△57.1

		回答者数 (n)	格差地域や家庭環境による教育	子どもの貧困問題	学校の施設・設備	家庭でのしつけ	その他	関心があることはない	無回答
全体		255	26.3	21.6	21.6	17.3	2.4	0.4	1.6
学年別	小学校1年生	94	21.3	17.0	25.5	16.0	4.3	1.1	-
	小学校5年生	89	30.3	24.7	21.3	20.2	2.2	-	1.1
	中学校2年生	70	28.6	24.3	17.1	14.3	-	-	4.3
小学校区別	山田	115	25.2	20.9	18.3	20.9	0.9	-	-
	楠目	42	26.2	23.8	21.4	11.9	-	-	-
	片地(佐岡含む)	5	△60.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-
	舟入	28	▼14.3	14.3	△32.1	21.4	-	-	3.6
	香長(繁藤含む)	24	25.0	25.0	25.0	▼4.2	8.3	-	4.2
	大宮	32	25.0	21.9	25.0	15.6	9.4	3.1	6.3
	大栃	7	△71.4	28.6	14.3	14.3	-	-	-

■問3 香美市における教育施策の満足度と重要度について、どうお考えでしょうか。
(満足度・重要度について、ア～ニそれぞれの項目に1つずつ〇)

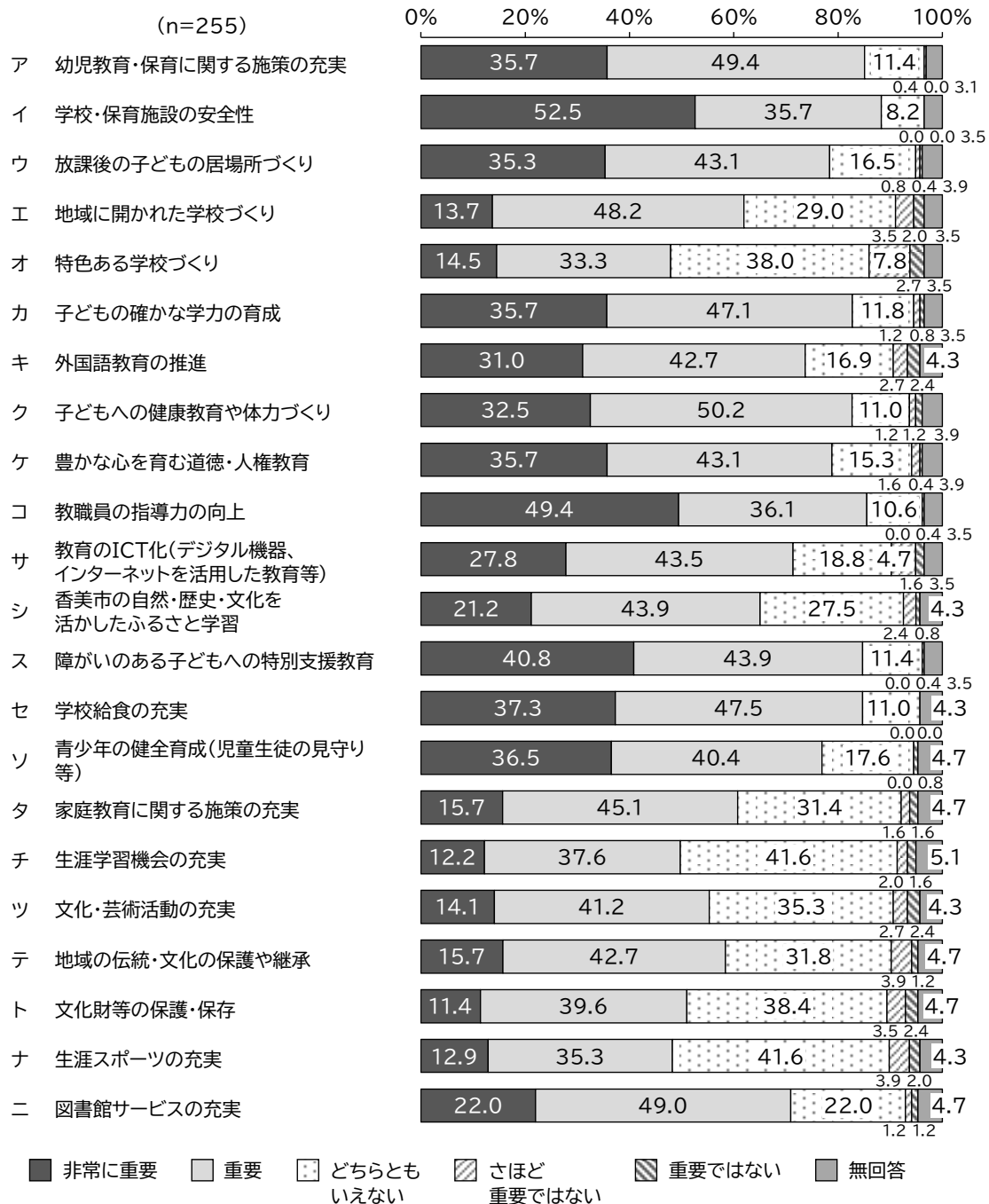
香美市の教育施策の満足度と重要度については、満足度でみると、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は「セ 学校給食の充実」で75.3%、「ニ 図書館サービスの充実」で66.3%、「イ 学校・保育施設の安全性」で54.1%の順に高くなっています。また、「どちらともいえない」は「タ 家庭教育に関する施策の充実」で56.9%と最も高くなっています。

【満足度】



重要度でみると、「非常に重要」は「イ 学校・保育施設の安全性」と「コ 教職員の指導力の向上」がそれぞれ5割前後で、他の項目に比べて高くなっています。また、「どちらともいえない」は「チ 生涯学習機会の充実」と「ナ 生涯スポーツの充実」でそれぞれ41.6%と最も高くなっています。

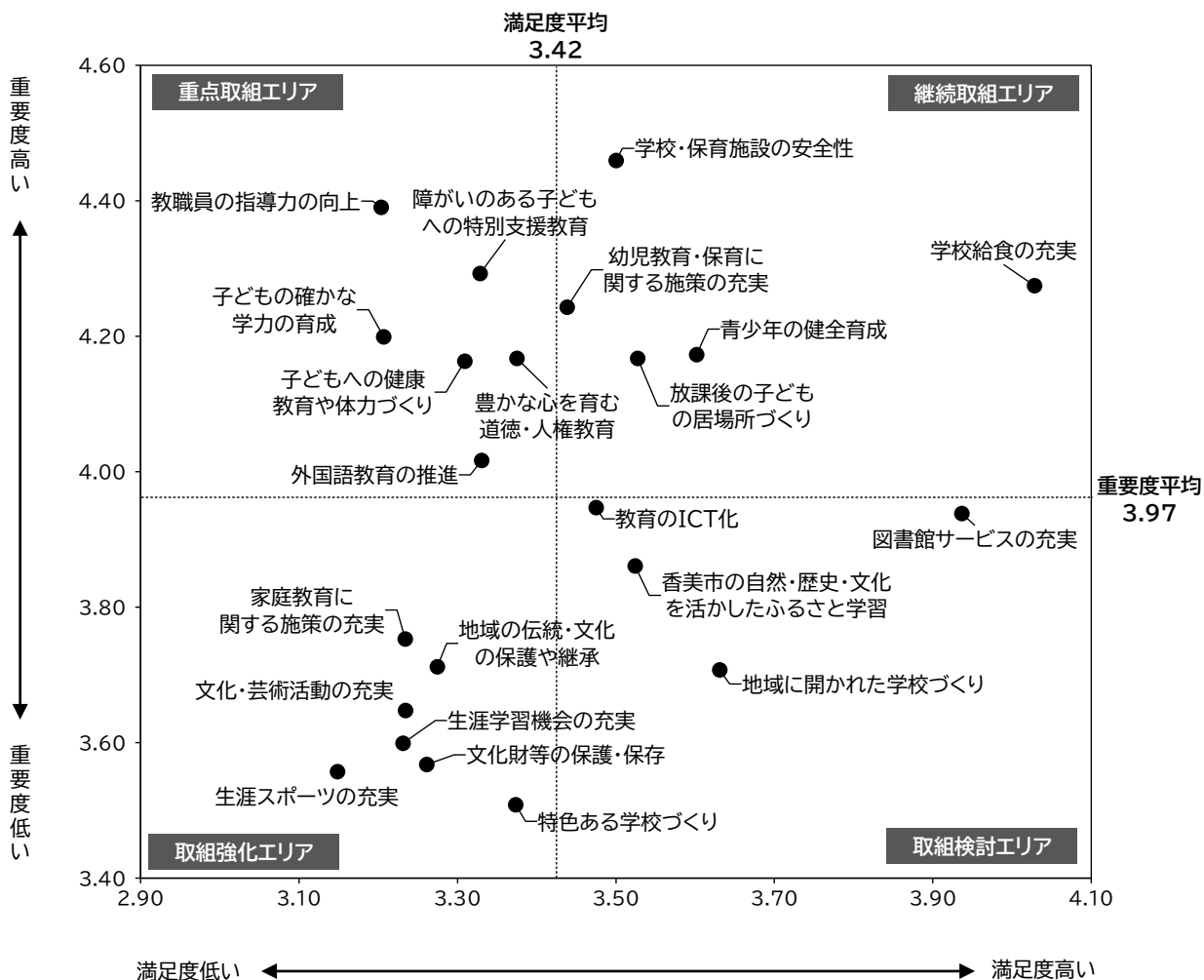
【重要度】



満足度と重要度について、それぞれの回答選択肢を「満足」「非常に重要」=5点、「まあ満足」「重要」=4点、「どちらともいえない」=3点、「やや不満」「さほど重要ではない」=2点、「不満」「重要ではない」=1点として点数化し、「わからない」と不明・無回答を除く件数で除して算出し、4つのエリアに分類したポートフォリオ図を作成しました。

ポートフォリオ分析でみると、優先して充実が求められている「重点項目エリア」には、「コ 教職員の指導力の向上」を含む6項目が該当します。

【ポートフォリオ分析】

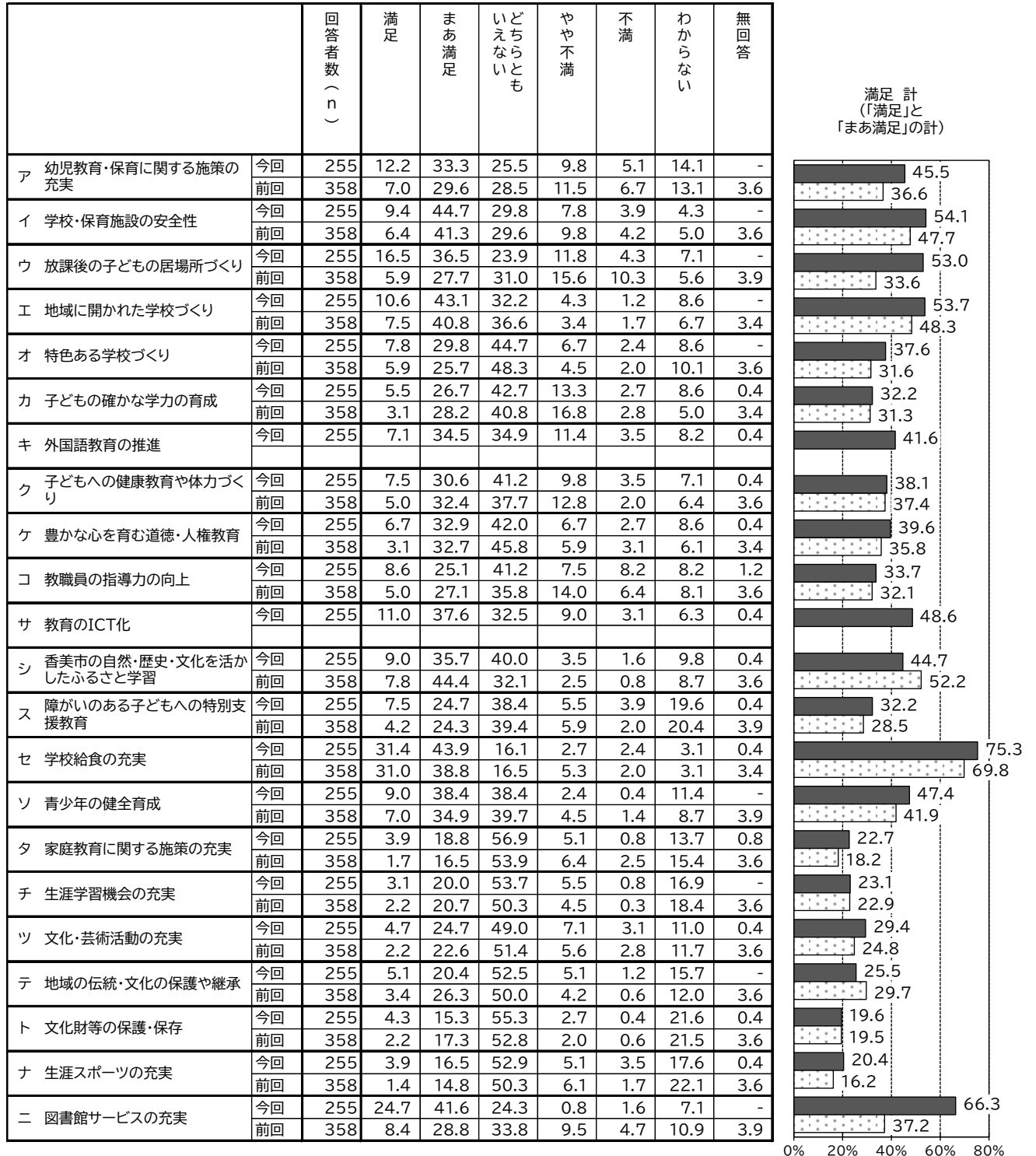


エリア	説明
重点取組エリア	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
継続取組エリア	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
取組強化エリア	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
取組検討エリア	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

前回調査との満足度を比べると、『満足』は今回調査の方が前回調査を「ニ 図書館サービスの充実」で29.1ポイント、「ウ 放課後の子どもの居場所づくり」で19.4ポイント上回っています。一方で「シ 香美市の自然・歴史・文化を活かしたふるさと学習」は、今回調査の方が前回調査を7.5ポイント下回っています。

【前回調査との満足度の比較】

単位:%



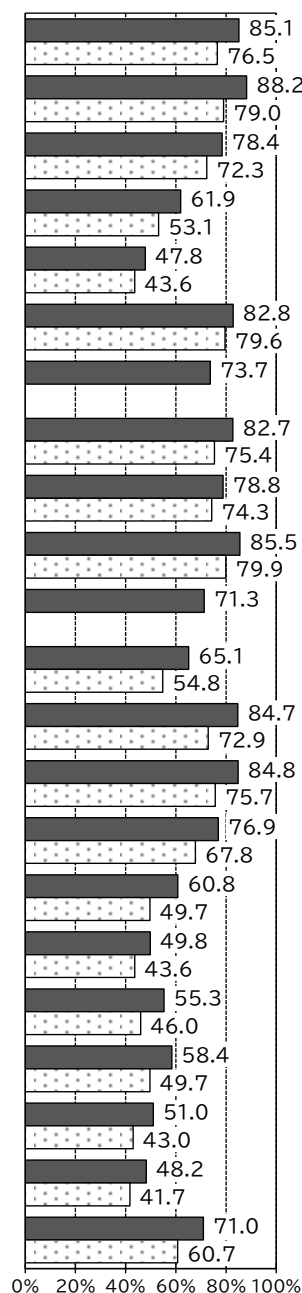
前回調査との重要度を比べると、「非常に重要」と「重要」を合わせた『重要』は、すべての項目で今回調査の方が前回調査を上回っており、「シ 香美市の自然・歴史・文化を活かしたふるさと学習」、「ス 障がいのある子どもへの特別支援教育」、「タ 家庭教育に関する施策の充実」、「ニ 図書館サービスの充実」でそれぞれ10ポイント以上上回っています。

【前回調査との重要度の比較】

単位:%

		回答者数 (n)	非常に重要	重要	いどちらともいえない	いさほど重要ではない	重要ではない	無回答
ア 幼児教育・保育に関する施策の充実	今回	255	35.7	49.4	11.4	0.4	-	3.1
	前回	358	27.9	48.6	10.9	0.6	-	12.0
イ 学校・保育施設の安全性	今回	255	52.5	35.7	8.2	-	-	3.5
	前回	358	36.0	43.0	9.2	0.3	0.6	10.9
ウ 放課後の子どもの居場所づくり	今回	255	35.3	43.1	16.5	0.8	0.4	3.9
	前回	358	27.9	44.4	14.8	1.7	0.3	10.9
エ 地域に開かれた学校づくり	今回	255	13.7	48.2	29.0	3.5	2.0	3.5
	前回	358	10.9	42.2	31.8	3.4	0.3	11.5
オ 特色ある学校づくり	今回	255	14.5	33.3	38.0	7.8	2.7	3.5
	前回	358	9.5	34.1	37.7	5.0	2.8	10.9
カ 子どもの確かな学力の育成	今回	255	35.7	47.1	11.8	1.2	0.8	3.5
	前回	358	35.2	44.4	8.4	0.6	0.3	11.2
キ 外国語教育の推進	今回	255	31.0	42.7	16.9	2.7	2.4	4.3
	前回	358	27.9	44.4	14.8	1.7	0.3	10.9
ク 子どもへの健康教育や体力づくり	今回	255	32.5	50.2	11.0	1.2	1.2	3.9
	前回	358	24.6	50.8	12.6	0.3	-	11.7
ケ 豊かな心を育む道徳・人権教育	今回	255	35.7	43.1	15.3	1.6	0.4	3.9
	前回	358	30.4	43.9	14.0	0.3	-	11.5
コ 教職員の指導力の向上	今回	255	49.4	36.1	10.6	-	0.4	3.5
	前回	358	39.1	40.8	8.9	-	0.3	10.9
サ 教育のICT化	今回	255	27.8	43.5	18.8	4.7	1.6	3.5
	前回	358	27.9	44.4	14.8	1.7	0.3	10.9
シ 香美市の自然・歴史・文化を活かしたふるさと学習	今回	255	21.2	43.9	27.5	2.4	0.8	4.3
	前回	358	11.2	43.6	29.9	2.2	1.4	11.7
ス 障がいのある子どもへの特別支援教育	今回	255	40.8	43.9	11.4	-	0.4	3.5
	前回	358	29.3	43.6	15.1	0.6	0.3	11.2
セ 学校給食の充実	今回	255	37.3	47.5	11.0	-	-	4.3
	前回	358	26.5	49.2	11.5	2.0	-	10.9
ソ 青少年の健全育成	今回	255	36.5	40.4	17.6	-	0.8	4.7
	前回	358	21.2	46.6	19.6	0.3	1.1	11.2
タ 家庭教育に関する施策の充実	今回	255	15.7	45.1	31.4	1.6	1.6	4.7
	前回	358	9.2	40.5	37.2	0.8	1.4	10.9
チ 生涯学習機会の充実	今回	255	12.2	37.6	41.6	2.0	1.6	5.1
	前回	358	5.6	38.0	42.7	1.4	0.6	11.7
ツ 文化・芸術活動の充実	今回	255	14.1	41.2	35.3	2.7	2.4	4.3
	前回	358	6.1	39.9	39.7	3.4	-	10.9
テ 地域の伝統・文化の保護や継承	今回	255	15.7	42.7	31.8	3.9	1.2	4.7
	前回	358	9.8	39.9	35.8	2.2	1.4	10.9
ト 文化財等の保護・保存	今回	255	11.4	39.6	38.4	3.5	2.4	4.7
	前回	358	8.1	34.9	41.6	2.5	1.4	11.5
ナ 生涯スポーツの充実	今回	255	12.9	35.3	41.6	3.9	2.0	4.3
	前回	358	5.9	35.8	41.6	3.4	1.7	11.7
ニ 図書館サービスの充実	今回	255	22.0	49.0	22.0	1.2	1.2	4.7
	前回	358	15.4	45.3	24.9	2.5	0.8	11.2

重要計
 (「非常に重要」と
 「重要」の計)



■問4 あなたは、次のような香美市の教育の取組について知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

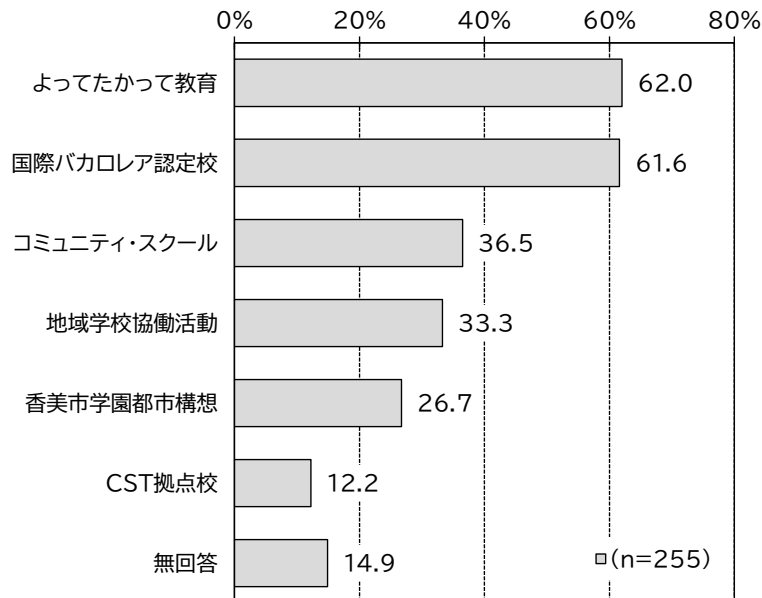
【全体】

香美市の教育の取組の認知度については、「よってたかって教育」が62.0%で最も高く、次いで「国際バカロレア認定校」が61.6%、「コミュニティ・スクール」が36.5%、「地域学校協働活動」が33.3%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、小学校1年生と小学校5年生は「国際バカロレア認定校」、中学校2年生は「よってたかって教育」が最も高くなっています。

小学校区別でみると、楠目と大栃で「よってたかって教育」がそれぞれ8割以上、大宮で「国際バカロレア認定校」が9割以上、香長(繁藤含む)で「コミュニティ・スクール」が8割近くで、他の小学校区と比べて特に高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	よってたかって教育	国際バカロレア認定校	コミュニティ・スクール	地域学校協働活動	香美市学園都市構想	CST拠点校	無回答	
全体	255	62.0	61.6	36.5	33.3	26.7	12.2	14.9	
学年別	小学校1年生	94	57.4	58.5	29.8	28.7	31.9	16.0	17.0
	小学校5年生	89	58.4	59.6	32.6	29.2	22.5	7.9	18.0
	中学校2年生	70	△72.9	68.6	△51.4	△45.7	25.7	12.9	7.1
小学校区別	山田	115	▼49.6	▼49.6	31.3	30.4	27.8	8.7	22.6
	楠目	42	△81.0	△76.2	▼21.4	26.2	19.0	14.3	7.1
	片地(佐岡含む)	5	60.0	60.0	△60.0	▼20.0	20.0	△40.0	▼ -
	舟入	28	▼50.0	▼46.4	▼25.0	35.7	21.4	10.7	14.3
	香長(繁藤含む)	24	70.8	66.7	△79.2	△50.0	25.0	△29.2	8.3
	大宮	32	△81.3	△96.9	43.8	34.4	△37.5	6.3	▼ 3.1
	大栃	7	△85.7	57.1	△71.4	△71.4	△42.9	14.3	14.3

3. 回答者の子どもについて

■問5 お子さんは、どのように育ててほしいと思いますか。(3つまで○)

【全体】

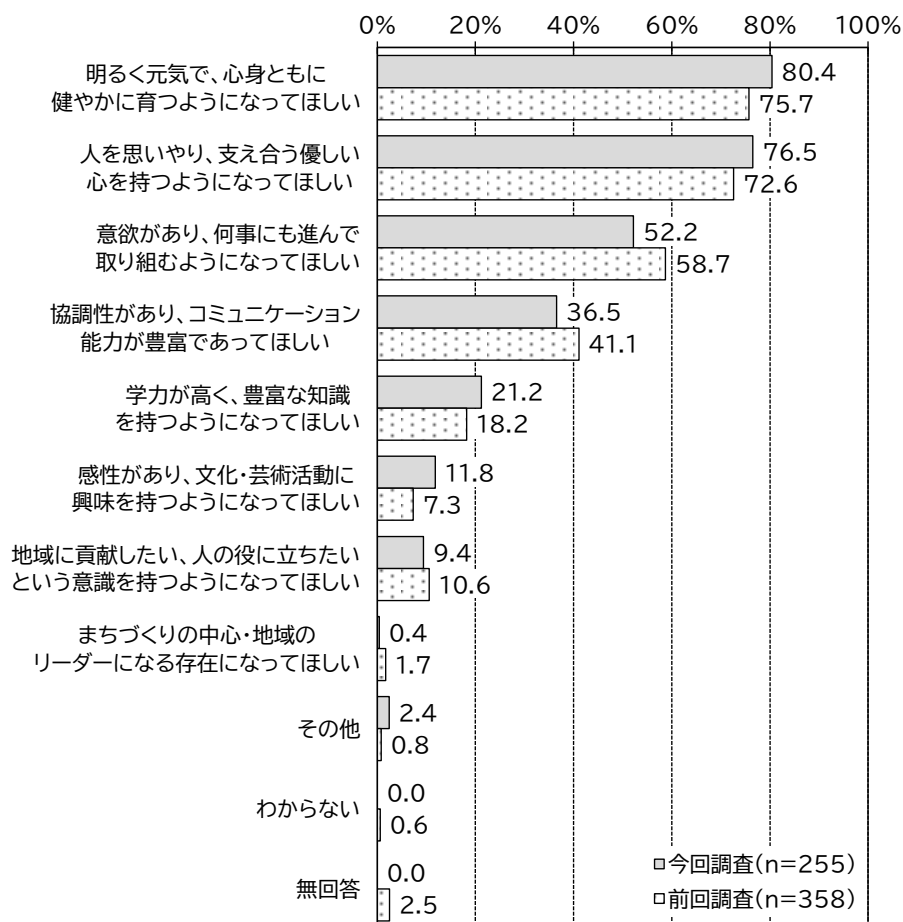
子どもにどのように育ててほしいかについては、「明るく元気で、心身ともに健やかに育つようになってほしい」が80.4%で最も高く、次いで「人を思いやり、支え合う優しい心を持つようになってほしい」が76.5%、「意欲があり、何事にも進んで取り組むようになってほしい」が52.2%となっています。

前回調査と比べると、「意欲があり、何事にも進んで取り組むようになってほしい」は今回調査の方が前回調査を6.5ポイント下回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生は「明るく元気で、心身ともに健やかに育つようになってほしい」と「人を思いやり、支え合う優しい心を持つようになってほしい」、小学校5年生と中学校2年生は「明るく元気で、心身ともに健やかに育つようになってほしい」が最も高くなっています。

小学校区別で見ると、香長(繁藤含む)と大栃を除くすべての小学校区は「明るく元気で、心身ともに健やかに育つようになってほしい」、香長(繁藤含む)は「人を思いやり、支え合う優しい心を持つようになってほしい」、大栃は「人を思いやり、支え合う優しい心を持つようになってほしい」と「意欲があり、何事にも進んで取り組むようになってほしい」が最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	明るく元気 に育つよう になつてほ しい健康	人を思いや り、支え合 う優しい	意欲があり 、何事にも 進んで取 組むよう	コミュニケーション 能力が豊富 であつてほ しい	学力が高く 、豊富な知 識を持つ	感性があり 、文化・芸 術活動に	地域に貢献 したいとい う意識を持 つように立	まちづくり の中心・地 域のリーダー になつてほ しい	その他	
全体	255	80.4	76.5	52.2	36.5	21.2	11.8	9.4	0.4	2.4	
学年別	小学校1年生	94	76.6	76.6	52.1	39.4	19.1	10.6	7.4	-	5.3
	小学校5年生	89	84.3	73.0	56.2	29.2	24.7	14.6	10.1	-	1.1
	中学校2年生	70	81.4	80.0	48.6	41.4	18.6	10.0	11.4	1.4	-
小学校区別	山田	115	82.6	80.0	47.8	36.5	30.4	8.7	6.1	-	0.9
	楠目	42	△90.5	76.2	45.2	31.0	▼9.5	19.0	16.7	-	-
	片地(佐岡含む)	5	△100.0	80.0	△80.0	40.0	▼-	▼-	-	-	-
	舟入	28	85.7	78.6	△67.9	32.1	17.9	7.1	3.6	-	-
	香長(繁藤含む)	24	▼62.5	70.8	50.0	△50.0	16.7	20.8	△20.8	4.2	-
	大宮	32	▼68.8	▼65.6	56.3	37.5	▼9.4	15.6	12.5	-	△12.5
	大栃	7	▼57.1	71.4	△71.4	42.9	△42.9	▼-	-	-	△14.3

	回答者数 (n)	わからない	無回答
全体	255	-	-
学年別	小学校1年生	94	-
	小学校5年生	89	-
	中学校2年生	70	-
小学校区別	山田	115	-
	楠目	42	-
	片地(佐岡含む)	5	-
	舟入	28	-
	香長(繁藤含む)	24	-
	大宮	32	-
	大栃	7	-

■問6 あなたのお子さんは、習い事をしていますか。(1つに○)

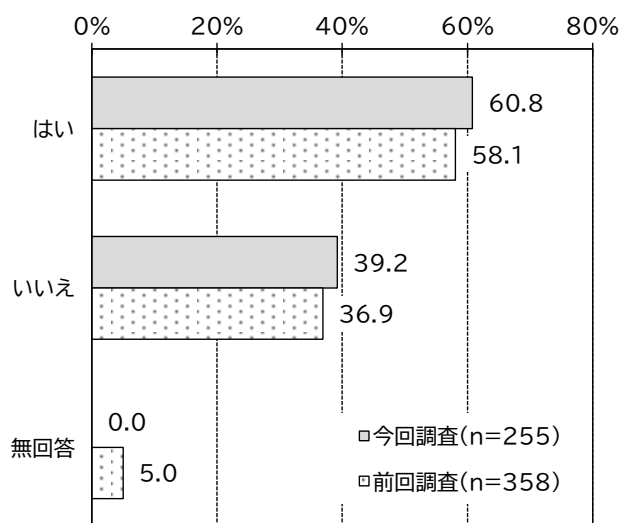
【全体】

子どもの習い事の状況については、「はい」が60.8%、「いいえ」が39.2%となっています。
 前回調査と比べると、今回調査と前回調査で大きな差はありません。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、小学校1年生と小学校5年生は「はい」、中学校2年生は「いいえ」が高くなっています。

小学校区別でみると、大栃は「はい」が7割を超えて特に高くなっています。



単位:%

		回答者数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		255	60.8	39.2	-
学年別	小学校1年生	94	63.8	36.2	-
	小学校5年生	89	69.7	30.3	-
	中学校2年生	70	▼47.1	△52.9	-
	小学校区別				
	山田	115	59.1	40.9	-
	楠目	42	66.7	33.3	-
	片地(佐岡含む)	5	60.0	40.0	-
	舟入	28	57.1	42.9	-
	香長(繁藤含む)	24	62.5	37.5	-
	大宮	32	59.4	40.6	-
	大栃	7	△71.4	▼28.6	-

■問6-1 (問6で「1. はい」と答えた方に)それはどのような習い事ですか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

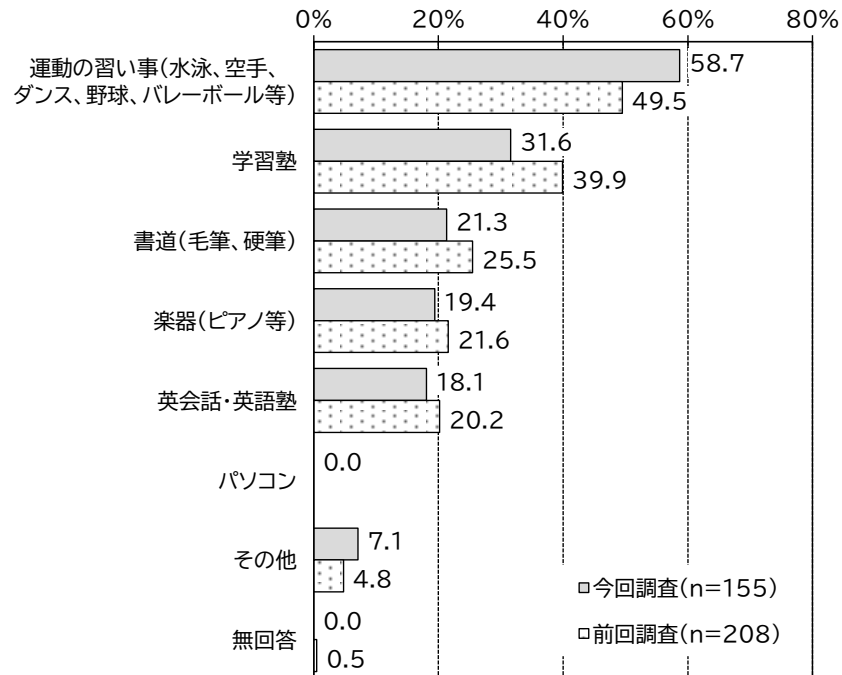
子どもが行っている習い事については、「運動の習い事(水泳、空手、ダンス、野球、バレーボール等)」が58.7%で最も高く、次いで「学習塾」が31.6%、「書道(毛筆、硬筆)」が21.3%、「楽器(ピアノ等)」が19.4%、「英会話・英語塾」が18.1%となっています。

前回調査と比べると、「運動の習い事(水泳、空手、ダンス、野球、バレーボール等)」は今回調査の方が前回調査を9.2ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生と小学校5年生は「運動の習い事(水泳、空手、ダンス、野球、バレーボール等)」、中学校2年生は「学習塾」が最も高くなっています。

小学校区別で見ると、「運動の習い事(水泳、空手、ダンス、野球、バレーボール等)」は舟入と大宮で7割前後と高くなっています、「学習塾」は片地(佐岡含む)と舟入では6割を超えています。



単位:%

	回答者数 (n)	運動の習い事(水泳、空手、ダンス、野球、バレー等)	学習塾	書道(毛筆、硬筆)	楽器(ピアノ等)	英会話・英語塾	パソコン	その他	無回答	
全体	155	58.7	31.6	21.3	19.4	18.1	-	7.1	-	
学年別	小学校1年生	60	60.0	▼15.0	18.3	26.7	21.7	-	8.3	-
	小学校5年生	62	△69.4	△41.9	29.0	16.1	17.7	-	8.1	-
	中学校2年生	33	▼36.4	△42.4	12.1	12.1	12.1	-	3.0	-
小学校区別	山田	68	54.4	33.8	14.7	△29.4	14.7	-	5.9	-
	楠目	28	57.1	△42.9	△35.7	25.0	14.3	-	3.6	-
	片地(佐岡含む)	3	66.7	△66.7	△33.3	▼ -	▼ -	-	-	-
	舟入	16	△68.8	△62.5	18.8	▼ -	▼ 6.3	-	-	-
	香長(繁藤含む)	15	66.7	▼ 6.7	△33.3	▼ 6.7	△33.3	-	13.3	-
	大宮	19	△73.7	▼ -	21.1	▼ 5.3	15.8	-	△21.1	-
	大栃	5	▼20.0	▼ -	▼ -	20.0	△100.0	-	-	-

■問6-2 (問6で「1. はい」と答えた方に)お子さんに習い事をさせる理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

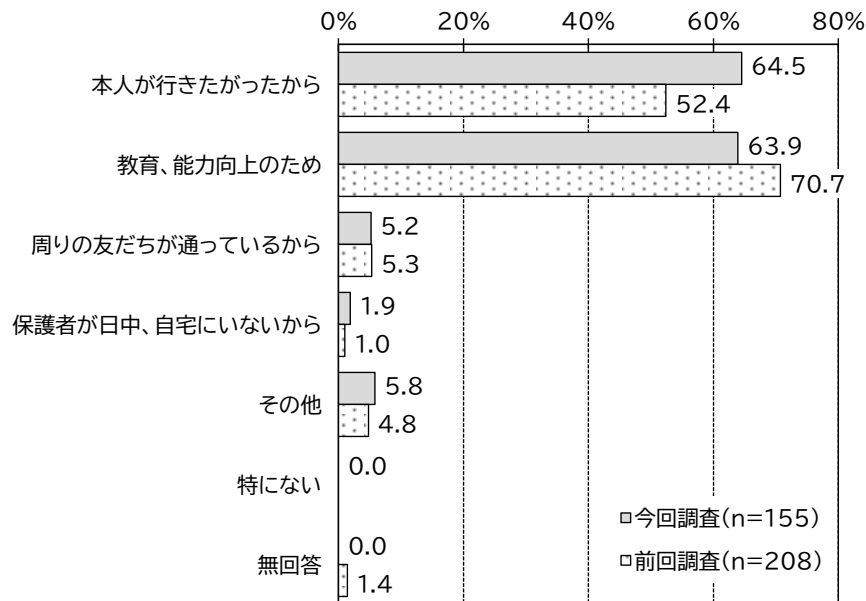
子どもに習い事をさせる理由については、「本人が行きたがったから」が64.5%で最も高く、次いで「教育、能力向上のため」が63.9%、「その他」が5.8%、「周りの友だちが通っているから」が5.2%、「保護者が日中、自宅にいないから」が1.9%となっています。

前回調査と比べると、「本人が行きたがったから」は今回調査の方が前回調査を12.1ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生は「教育、能力向上のため」と「本人が行きたがったから」、小学校5年生は「本人が行きたがったから」、中学校2年生は「教育、能力向上のため」が最も高くなっています。

小学校区別で見ると、山田は「教育、能力向上のため」と「本人が行きたがったから」、楠目、片地(佐岡含む)、舟入、大栃は「教育、能力向上のため」、香長(繁藤含む)と大宮は「本人が行きたがったから」が最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	本人が行きたがったから	教育、能力向上のため	周りの友だちが通っているから	保護者が日中、自宅にいないから	その他	特にな	無回答	
全体	155	64.5	63.9	5.2	1.9	5.8	-	-	
学年別	小学校1年生	60	65.0	65.0	8.3	3.3	8.3	-	-
	小学校5年生	62	71.0	64.5	4.8	1.6	4.8	-	-
	中学校2年生	33	▼51.5	60.6	-	-	3.0	-	-
小学校区別	山田	68	63.2	63.2	5.9	1.5	5.9	-	-
	楠目	28	57.1	71.4	3.6	-	-	-	-
	片地(佐岡含む)	3	66.7	△100.0	-	-	-	-	-
	舟入	16	56.3	△75.0	6.3	6.3	-	-	-
	香長(繁藤含む)	15	△80.0	66.7	-	-	6.7	-	-
	大宮	19	△78.9	▼31.6	10.5	5.3	△21.1	-	-
	大栃	5	60.0	△80.0	-	-	-	-	-

■問7 お子さんに携帯電話やスマートフォンを持たせていますか。また、携帯電話やスマートフォンを持たせている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

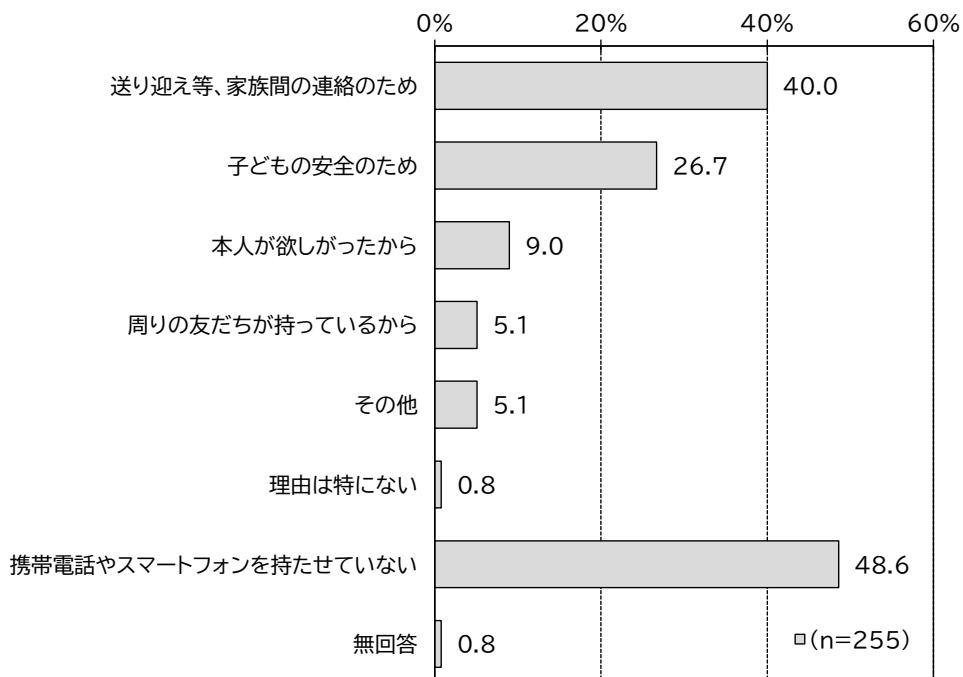
【全体】

子どもの携帯電話やスマートフォンの所有状況と、所有させている理由については、「携帯電話やスマートフォンを持たせていない」が48.6%で、約半数は持たせていることが分かります。その理由では「送り迎え等、家族間の連絡のため」が40.0%、「子どもの安全のため」が26.7%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生は「携帯電話やスマートフォンを持たせていない」、小学校5年生と中学校2年生は「送り迎え等、家族間の連絡のため」が最も高くなっています。また、中学校2年生で「本人が欲しかったから」が25.7%、「周りの友だちが持っているから」が17.1%で、他の学年と比べて特に高くなっています。

小学校区別で見ると、片地(佐岡含む)と大宮で「携帯電話やスマートフォンを持たせていない」割合が高く、一方、舟入は持たせている割合が高く、その理由では「送り迎え等、家族間の連絡のため」が6割近くとなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	の送り迎え等、家族間の連絡のため	子どもの安全のため	本人が欲しかったから	周りの友だちが持っているから	その他	理由は特にない	携帯電話やスマートフォンを持たせていない	無回答	
全体	255	40.0	26.7	9.0	5.1	5.1	0.8	48.6	0.8	
学年別	小学校1年生	94	▼13.8	▼ 8.5	1.1	-	4.3	-	△81.9	-
	小学校5年生	89	△50.6	△38.2	4.5	1.1	2.2	1.1	▼33.7	1.1
	中学校2年生	70	△62.9	△37.1	△25.7	△17.1	10.0	1.4	▼22.9	-
小学校区別	山田	115	40.9	29.6	11.3	7.0	7.0	1.7	42.6	0.9
	楠目	42	38.1	21.4	9.5	4.8	7.1	-	52.4	-
	片地(佐岡含む)	5	40.0	▼ -	-	-	-	-	△60.0	-
	舟入	28	△57.1	△39.3	7.1	-	-	-	▼35.7	-
	香長(繁藤含む)	24	45.8	25.0	8.3	8.3	4.2	-	50.0	-
	大宮	32	▼18.8	▼15.6	6.3	3.1	3.1	-	△75.0	-
	大栃	7	42.9	28.6	-	-	-	-	57.1	-

■問8 お子さんは、家でインターネットを利用していますか。(1つに○)

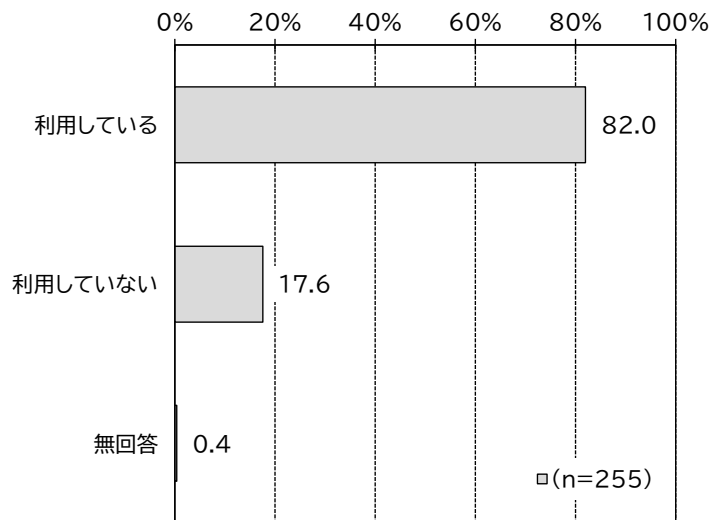
【全体】

子どものインターネットの利用状況については、「利用している」が82.0%、「利用していない」が17.6%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、いずれの学年も「利用している」が高くなっており、中学校2年生では98.6%と大多数を占めています。「利用している」の割合は、学年が上がるほど高くなっています。

小学校区別で見ると、「利用している」割合は、香長(繁藤含む)で9割以上である一方、楠目と舟入は7割台となっています。



単位:%

		回答者数 (n)	利用している	利用していない	無回答
全体		255	82.0	17.6	0.4
学年別の	小学校1年生	94	▼71.3	△28.7	-
	小学校5年生	89	82.0	18.0	-
	中学校2年生	70	△98.6	▼1.4	-
小学校区別の	山田	115	84.3	15.7	-
	楠目	42	76.2	23.8	-
	片地(佐岡含む)	5	80.0	20.0	-
	舟入	28	75.0	25.0	-
	香長(繁藤含む)	24	91.7	8.3	-
	大宮	32	81.3	18.8	-
	大栃	7	85.7	14.3	-

■問8-1 (問8で「1. 利用している」と答えた方に)インターネットを利用して何をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

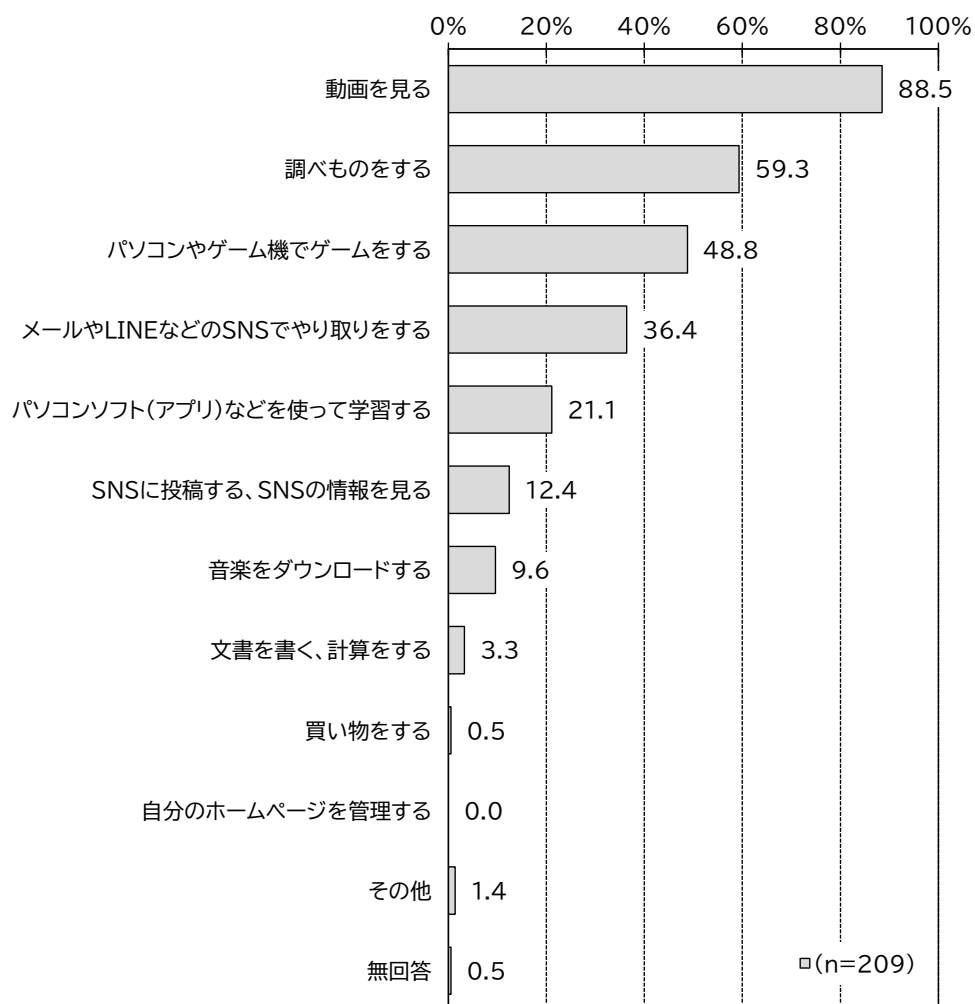
【全体】

子どものインターネットの利用形態については、「動画を見る」が88.5%で最も高く、次いで「調べものをする」が59.3%、「パソコンやゲーム機でゲームをする」が48.8%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、いずれの学年も「動画を見る」が最も高く、次いで、小学校1年生は「パソコンやゲーム機でゲームをする」、小学校5年生と中学校2年生は「調べものをする」が高くなっています。また、中学校2年生で「メールやLINEなどのSNSでやり取りをする」が71.0%で、他の学年と比べて特に高くなっています。

小学校区別で見ると、いずれの小学校区も「動画を見る」が最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	動画を見る	調べものをする	パソコンやゲーム機でゲームをする	SメールやLINEなどのSNSでやり取りをする	パソコンソフト(アプリ)などを使って学習する	SNSに投稿する、SNSの情報を見る	音楽をダウンロードする	文書を書く、計算をする	買い物をする	
全体	209	88.5	59.3	48.8	36.4	21.1	12.4	9.6	3.3	0.5	
学年別の	小学校1年生	67	94.0	▼28.4	43.3	▼7.5	19.4	3.0	-	1.5	-
	小学校5年生	73	79.5	67.1	52.1	30.1	23.3	6.8	1.4	4.1	-
	中学校2年生	69	92.8	△81.2	50.7	△71.0	20.3	△27.5	△27.5	4.3	1.4
小学校区別の	山田	97	92.8	58.8	47.4	37.1	21.6	13.4	12.4	5.2	1.0
	楠目	32	87.5	68.8	40.6	34.4	△31.3	12.5	6.3	3.1	-
	片地(佐岡含む)	4	△100.0	△75.0	△75.0	▼25.0	▼-	▼-	-	-	-
	舟入	21	85.7	52.4	52.4	△47.6	▼4.8	9.5	9.5	-	-
	香長(繁藤含む)	22	81.8	68.2	△59.1	45.5	13.6	9.1	4.5	-	-
	大宮	26	84.6	▼46.2	42.3	▼19.2	26.9	11.5	3.8	3.8	-
大栃	6	83.3	66.7	△66.7	△50.0	△33.3	16.7	△33.3	-	-	

	回答者数 (n)	自分のホームページを管理する	その他	無回答	
全体	209	-	1.4	0.5	
学年別の	小学校1年生	67	-	1.5	-
	小学校5年生	73	-	1.4	1.4
	中学校2年生	69	-	1.4	-
小学校区別の	山田	97	-	-	-
	楠目	32	-	-	-
	片地(佐岡含む)	4	-	-	-
	舟入	21	-	4.8	-
	香長(繁藤含む)	22	-	-	-
	大宮	26	-	7.7	-
大栃	6	-	-	△16.7	

■問8-2（問8で「1. 利用している」と答えた方）お子さんがメールや情報機器の通信機能を使用したことにより、トラブルが起きたことはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

【全体】

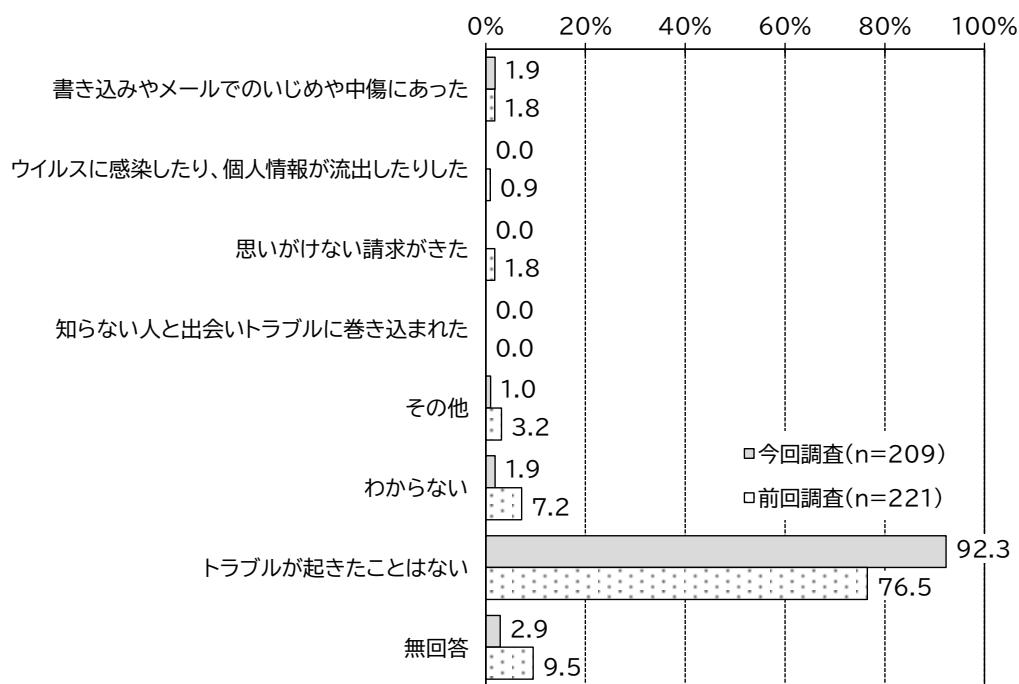
子どもがメールや情報機器の通信機能を使用したことによって起きたトラブルの有無については、「トラブルが起きたことはない」が92.3%でほとんどを占めていますが、「書き込みやメールでのいじめや中傷にあった」、「その他」が少数ながら存在しています。

前回調査と比べると、「トラブルが起きたことはない」は今回調査の方が前回調査を15.8ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、小学校1年生ではトラブルが起きたことはありませんが、小学校5年生、中学校2年生ではトラブルが起きています。

小学校区別でみると、山田と大宮ではトラブルが起きています。



単位:%

		回答者数 (n)	書き込みやメールでのいじめや中傷にあった	ウイルスに感染したり、個人情報が出たりした	思いがけない請求がきた	知らない人と出会いトラブルに巻き込まれた	その他	わからない	トラブルが起きたことはない	無回答
全体		209	1.9	-	-	-	1.0	1.9	92.3	2.9
学年別	小学校1年生	67	-	-	-	-	-	-	98.5	1.5
	小学校5年生	73	1.4	-	-	-	-	-	91.8	6.8
	中学校2年生	69	4.3	-	-	-	2.9	5.8	87.0	-
小学校区別	山田	97	2.1	-	-	-	1.0	3.1	92.8	1.0
	楠目	32	-	-	-	-	-	3.1	93.8	3.1
	片地(佐岡含む)	4	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	舟入	21	-	-	-	-	-	-	95.2	4.8
	香長(繁藤含む)	22	-	-	-	-	-	-	90.9	9.1
	大宮	26	7.7	-	-	-	3.8	-	88.5	-
大栃	6	-	-	-	-	-	-	83.3	△16.7	

■問8-3（問8で「1. 利用している」と答えた方に）家の中での携帯電話やスマートフォンの使い方について、お子さんと決めている約束ごと等がありますか。
（あてはまるものすべてに○）

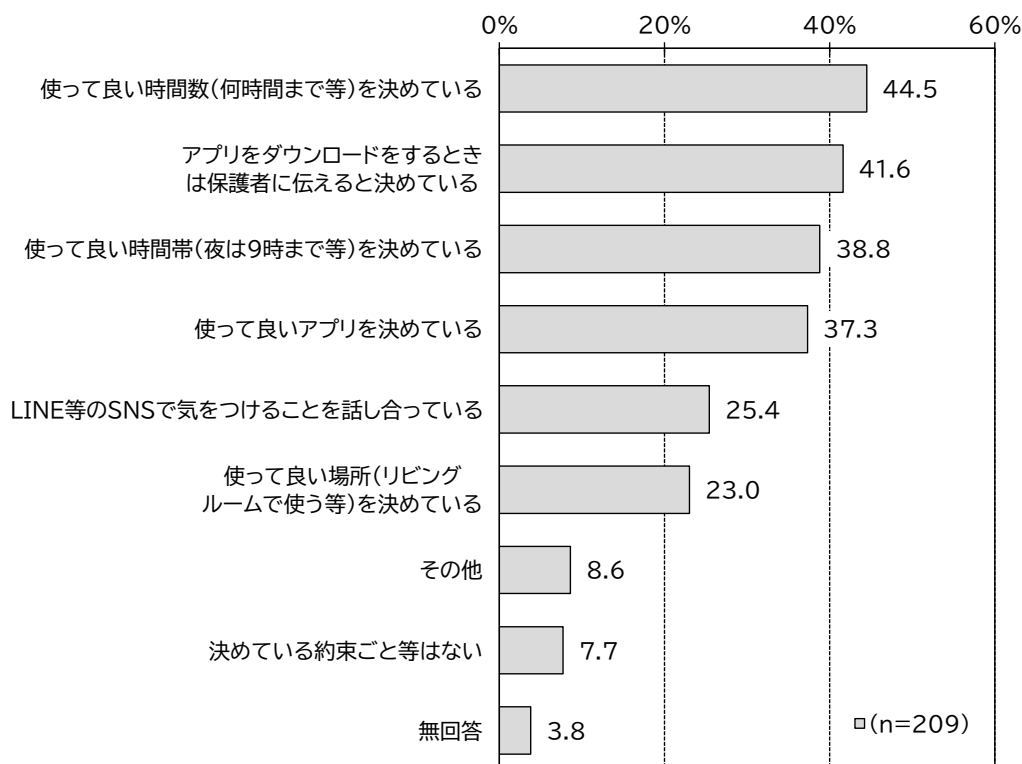
【全体】

家の中での携帯電話やスマートフォンの使い方については、子どもと決めている約束ごと等については、「使って良い時間数(何時間まで等)を決めている」が44.5%で最も高く、次いで「アプリをダウンロードをするときは保護者に伝えると決めている」が41.6%、「使って良い時間帯(夜は9時まで等)を決めている」が38.8%、「使って良いアプリを決めている」が37.3%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生は「使って良い時間数(何時間まで等)を決めている」、小学校5年生と中学校2年生は「アプリをダウンロードをするときは保護者に伝えると決めている」が最も高くなっています。中学校2年生で「LINE等のSNSで気をつけることを話し合っている」が43.5%で、他の学年と比べて特に高くなっています。

小学校区別で見ると、舟入では「使って良い時間帯(夜は9時まで等)を決めている」が他の小学校区と比べて低くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	使って良い時間数(何時間まで等)を決めている	アプリをダウンロードするときには保護者に伝えると決めていている	使って良い時間帯(夜は9時まで等)を決めている	使って良いアプリを決めている	LINE等のSNSで気をつけることを話し合っている	使って良い場所(リビングルームで使う等)を決めている	その他	決めている約束ごと等はな	無回答	
全体	209	44.5	41.6	38.8	37.3	25.4	23.0	8.6	7.7	3.8	
学年別	小学校1年生	67	△55.2	▼29.9	44.8	44.8	▼11.9	32.8	11.9	4.5	6.0
	小学校5年生	73	45.2	47.9	39.7	34.2	20.5	23.3	5.5	8.2	4.1
	中学校2年生	69	▼33.3	46.4	31.9	33.3	△43.5	▼13.0	8.7	10.1	1.4
小学校区別	山田	97	44.3	46.4	40.2	41.2	23.7	23.7	6.2	6.2	5.2
	楠目	32	53.1	34.4	34.4	28.1	25.0	21.9	9.4	-	3.1
	片地(佐岡含む)	4	50.0	50.0	△50.0	△50.0	△50.0	25.0	-	-	-
	舟入	21	▼19.0	38.1	▼23.8	38.1	33.3	14.3	14.3	△28.6	-
	香長(繁藤含む)	22	45.5	31.8	36.4	▼22.7	22.7	13.6	13.6	9.1	4.5
	大宮	26	53.8	38.5	42.3	△50.0	19.2	30.8	11.5	7.7	3.8
	大栃	6	▼33.3	△66.7	△66.7	▼16.7	△50.0	△50.0	-	-	-

■問9 インターネットは、使い方によっては危険なこともあるということを、ご家庭でお子さんに教えていますか。(1つに○)

【全体】

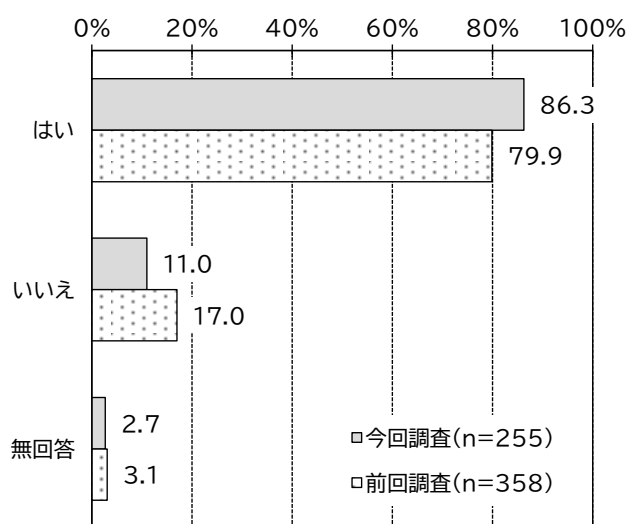
子どもにインターネットは、使い方によっては危険なこともあるということを教えていることの有無については、「はい」が86.3%、「いいえ」が11.0%となっています。

前回調査と比べると、「はい」は今回調査の方が前回調査を6.4ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、いずれの学年も「はい」が高くなっており、小学校5年生と中学校2年生で9割以上を占めています。

小学校区別で見ると、「はい」は香長(繁藤含む)では95.8%で9割以上を占めています。



単位: %

		回答者数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		255	86.3	11.0	2.7
学年別	小学校1年生	94	▼74.5	△21.3	4.3
	小学校5年生	89	93.3	5.6	1.1
	中学校2年生	70	95.7	4.3	-
小学校区別	山田	115	88.7	9.6	1.7
	楠目	42	81.0	14.3	4.8
	片地(佐岡含む)	5	80.0	20.0	-
	舟入	28	85.7	10.7	3.6
	香長(繁藤含む)	24	95.8	4.2	-
	大宮	32	81.3	15.6	3.1
	大栃	7	85.7	14.3	-

4. 子育てについて

■問10 子どもの成長や学習、家庭や学校での生活等、子育ての中で不安や心配事はありますか。(1つに○)

【全体】

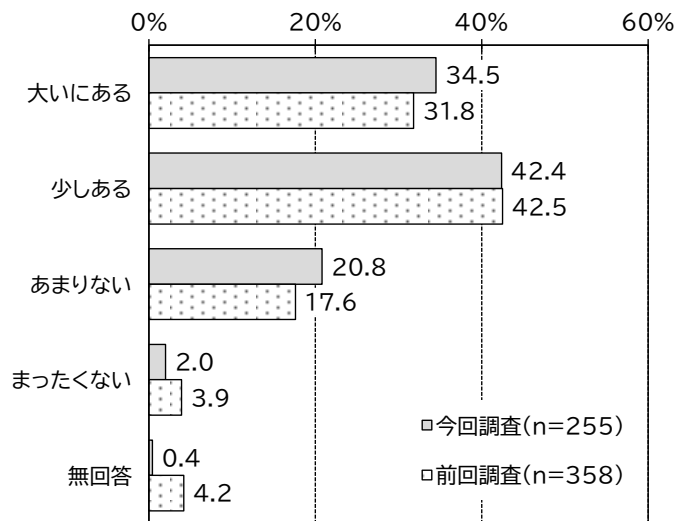
子育ての中での不安や心配事については、「少しある」が42.4%で最も高く、次いで「大いにある」が34.5%、「あまりない」が20.8%となっています。「大いにある」と「少しある」を合わせた『ある』が76.9%となっています。

前回調査と比べると、『ある』は今回調査の方が前回調査を2.6ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校5年生で『ある』が8割を超えておりやや高くなっています。

小学校区別で見ると、片地(佐岡含む)では全員が、山田、香長(繁藤含む)、大栃では8割以上が『ある』と回答しています。



単位:%

		回答者数(n)	大いにある	少しある	あまりない	まったくない	無回答
全体		255	34.5	42.4	20.8	2.0	0.4
学年別の	小学校1年生	94	37.2	38.3	23.4	1.1	-
	小学校5年生	89	34.8	46.1	15.7	3.4	-
	中学校2年生	70	30.0	44.3	24.3	1.4	-
小学校区別の	山田	115	35.7	44.3	19.1	0.9	-
	楠目	42	31.0	45.2	19.0	4.8	-
	片地(佐岡含む)	5	▼20.0	△80.0	▼	-	-
	舟入	28	39.3	▼28.6	25.0	7.1	-
	香長(繁藤含む)	24	29.2	△54.2	16.7	-	-
	大宮	32	37.5	▼28.1	△34.4	-	-
大栃	7	28.6	△57.1	14.3	-	-	

■問10-1 (問10で「1. 大いにある」と「2. 少しある」に回答した方に)子育てのどのようなことに対して不安を感じたり、心配したりすることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

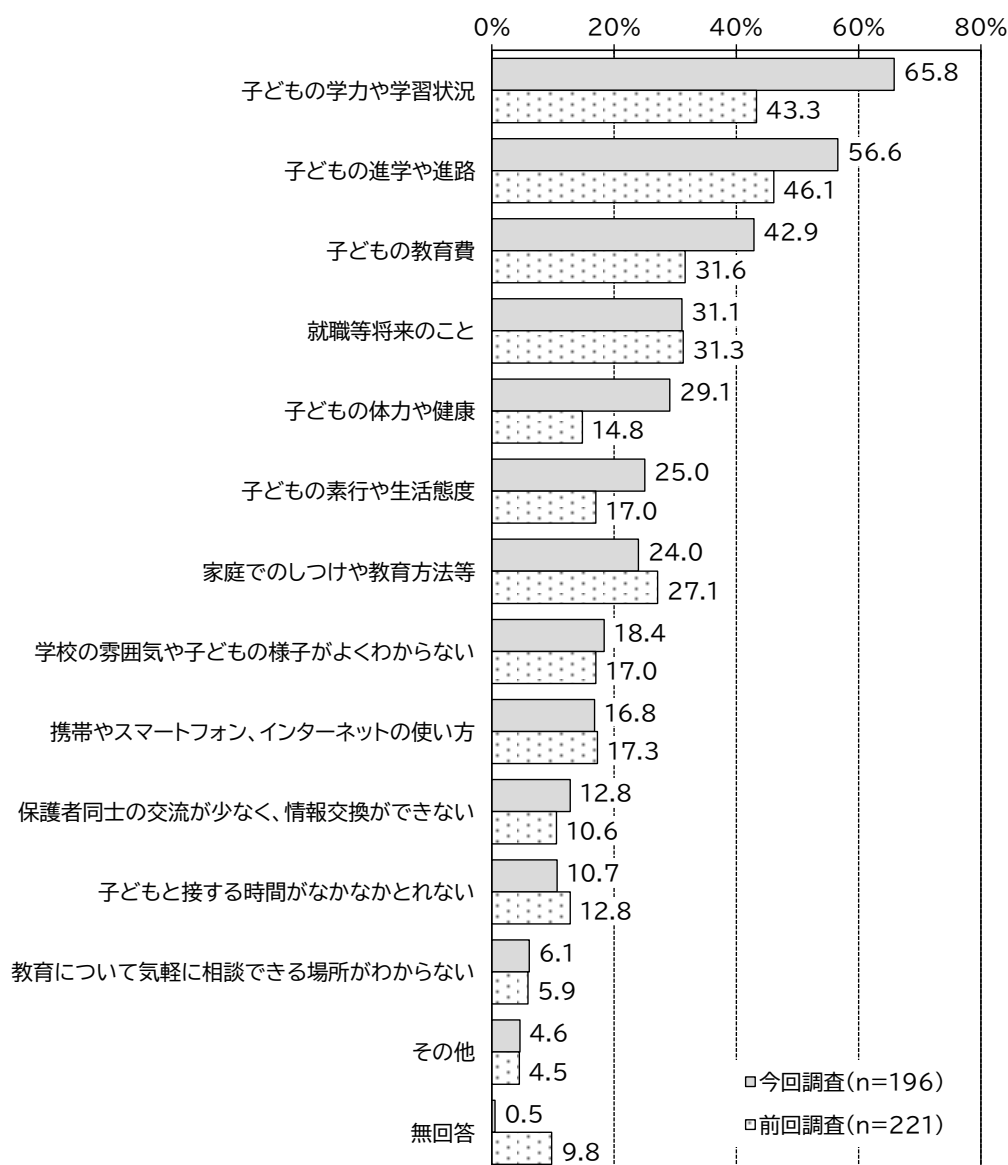
子育てへの不安や心配については、「子どもの学力や学習状況」が65.8%で最も高く、次いで「子どもの進学や進路」が56.6%、「子どもの教育費」が42.9%となっています。

前回調査と比べると、「子どもの学力や学習状況」は今回調査の方が前回調査を20ポイント以上上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、小学校1年生と小学校5年生は「子どもの学力や学習状況」、中学校2年生は「子どもの進学や進路」が最も高くなっています。

小学校区別でみると、片地(佐岡含む)で「子どもの進学や進路」と「子どもの教育費」、「家庭でのしつけや教育方法等」がそれぞれ6割、舟入で「子どもの学力や学習状況」が8割弱、大栃で「子どもの教育費」と「子どもの学力や学習状況」が全員となっています。



単位:%

	回答者数 (n)	子どもの学力や学習状況	子どもの進学や進路	子どもの教育費	就職等将来のこと	子どもの体力や健康	子どもの素行や生活態度	家庭でのしつけや教育方法	学校の雰囲気や子どもの様子がよくわからない	携帯やスマートフォン、インターネットの使い方	
全体	196	65.8	56.6	42.9	31.1	29.1	25.0	24.0	18.4	16.8	
学年別	小学校1年生	71	60.6	▼38.0	47.9	23.9	29.6	△35.2	△35.2	26.8	14.1
	小学校5年生	72	68.1	62.5	41.7	30.6	27.8	20.8	19.4	15.3	18.1
	中学校2年生	52	69.2	△75.0	38.5	△42.3	30.8	17.3	▼13.5	11.5	19.2
小学校区別	山田	92	66.3	59.8	44.6	33.7	32.6	25.0	27.2	21.7	15.2
	楠目	32	68.8	56.3	40.6	34.4	▼18.8	15.6	▼9.4	15.6	9.4
	片地(佐岡含む)	5	▼20.0	60.0	△60.0	▼20.0	20.0	20.0	△60.0	▼-	20.0
	舟入	19	△78.9	52.6	47.4	▼15.8	△42.1	△36.8	26.3	15.8	26.3
	香長(繁藤含む)	20	70.0	65.0	▼30.0	30.0	30.0	▼15.0	▼10.0	▼-	10.0
	大宮	21	▼42.9	▼33.3	▼28.6	23.8	▼14.3	33.3	28.6	△33.3	△28.6
	大栃	6	△100.0	△66.7	△100.0	△50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	△33.3

	回答者数 (n)	保護者同士の交流が少ない	子どもと接する時間が少ない	教育場について気軽に相談できにくい	その他	無回答	
全体	196	12.8	10.7	6.1	4.6	0.5	
学年別	小学校1年生	71	9.9	19.7	5.6	4.2	1.4
	小学校5年生	72	12.5	8.3	8.3	5.6	-
	中学校2年生	52	15.4	1.9	3.8	3.8	-
小学校区別	山田	92	13.0	15.2	7.6	5.4	-
	楠目	32	18.8	6.3	6.3	6.3	-
	片地(佐岡含む)	5	▼-	▼-	-	-	-
	舟入	19	10.5	10.5	5.3	-	-
	香長(繁藤含む)	20	5.0	▼-	-	-	-
	大宮	21	14.3	4.8	9.5	9.5	4.8
	大栃	6	16.7	△33.3	-	-	-

■問11 子どもの成長や学習、家庭や学校での生活等、子育てについての相談は、どのようなところ(人)にしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

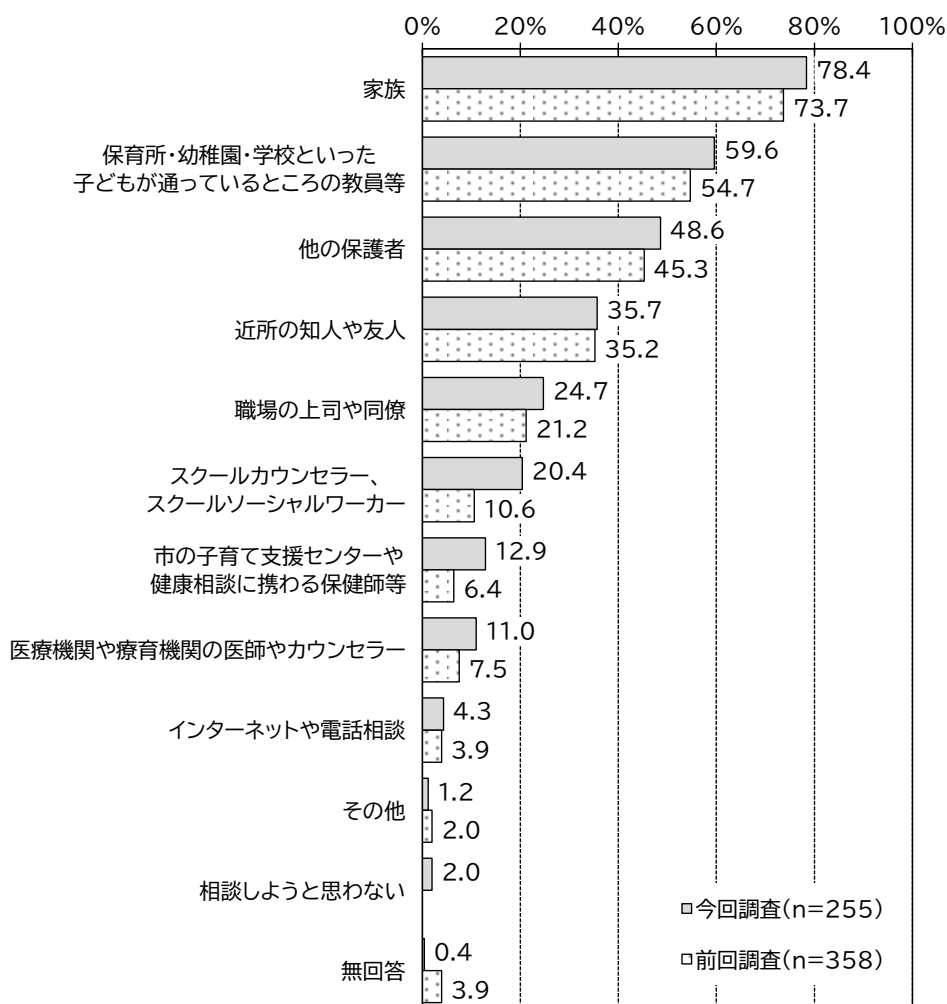
子育てについての相談先については、「家族」が78.4%で最も高く、次いで「保育所・幼稚園・学校といった子どもが通っているところの教員等」が59.6%、「他の保護者」が48.6%となっています。

前回調査と比べると、「スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」は今回調査の方が前回調査を9.8ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、「家族」の割合に大きな差はありませんが、「保育所・幼稚園・学校といった子どもが通っているところの教員等」は学年が下がるほど回答割合が高くなっています。

小学校区別でみると、香長(繁藤含む)では「保育所・幼稚園・学校といった子どもが通っているところの教員等」が8割を超えており、片地(佐岡含む)は「近所の知人や友人」が8割となっています。



単位:%

	回答者数 (n)	家族	保育所・幼稚園・学校と いった子どもが通っている ところの教員等	他の保護者	近所の知人や友人	職場の上司や同僚	スクールソーシャルワーカー、 スクールカウンセラー、 カーサ	市の子育て支援センターや 健康相談に携わる保健師等	医療機関や療育機関の医師 やカウンセラー	インターネットや電話相談	
全体	255	78.4	59.6	48.6	35.7	24.7	20.4	12.9	11.0	4.3	
学年別	小学校1年生	94	78.7	64.9	47.9	39.4	22.3	14.9	9.6	1.1	
	小学校5年生	89	79.8	61.8	51.7	34.8	23.6	11.2	11.2	3.4	
	中学校2年生	70	78.6	51.4	47.1	32.9	30.0	20.0	12.9	8.6	
小学校区別	山田	115	73.9	59.1	45.2	32.2	20.9	21.7	13.0	12.2	5.2
	楠目	42	81.0	59.5	▼38.1	40.5	31.0	16.7	11.9	4.8	-
	片地(佐岡含む)	5	▼60.0	▼20.0	△60.0	△80.0	20.0	20.0	▼-	20.0	△20.0
	舟入	28	82.1	▼46.4	50.0	△46.4	▼14.3	14.3	10.7	7.1	-
	香長(繁藤含む)	24	87.5	△83.3	△66.7	▼16.7	29.2	20.8	20.8	16.7	4.2
	大宮	32	81.3	59.4	△59.4	37.5	34.4	21.9	12.5	12.5	9.4
	大栃	7	△100.0	△71.4	57.1	△57.1	△42.9	△42.9	14.3	▼-	-

	回答者数 (n)	その他	相談しようと思わない	無回答	
全体	255	1.2	2.0	0.4	
学年別	小学校1年生	94	3.2	1.1	-
	小学校5年生	89	-	1.1	1.1
	中学校2年生	70	-	2.9	-
小学校区別	山田	115	-	-	0.9
	楠目	42	2.4	-	-
	片地(佐岡含む)	5	-	△20.0	-
	舟入	28	-	7.1	-
	香長(繁藤含む)	24	-	-	-
	大宮	32	6.3	3.1	-
	大栃	7	-	-	-

5. 教育について

■問12 これからの社会を生きるために、子どもに特に必要と思う資質・能力は何だと思いますか。(3つまで○)

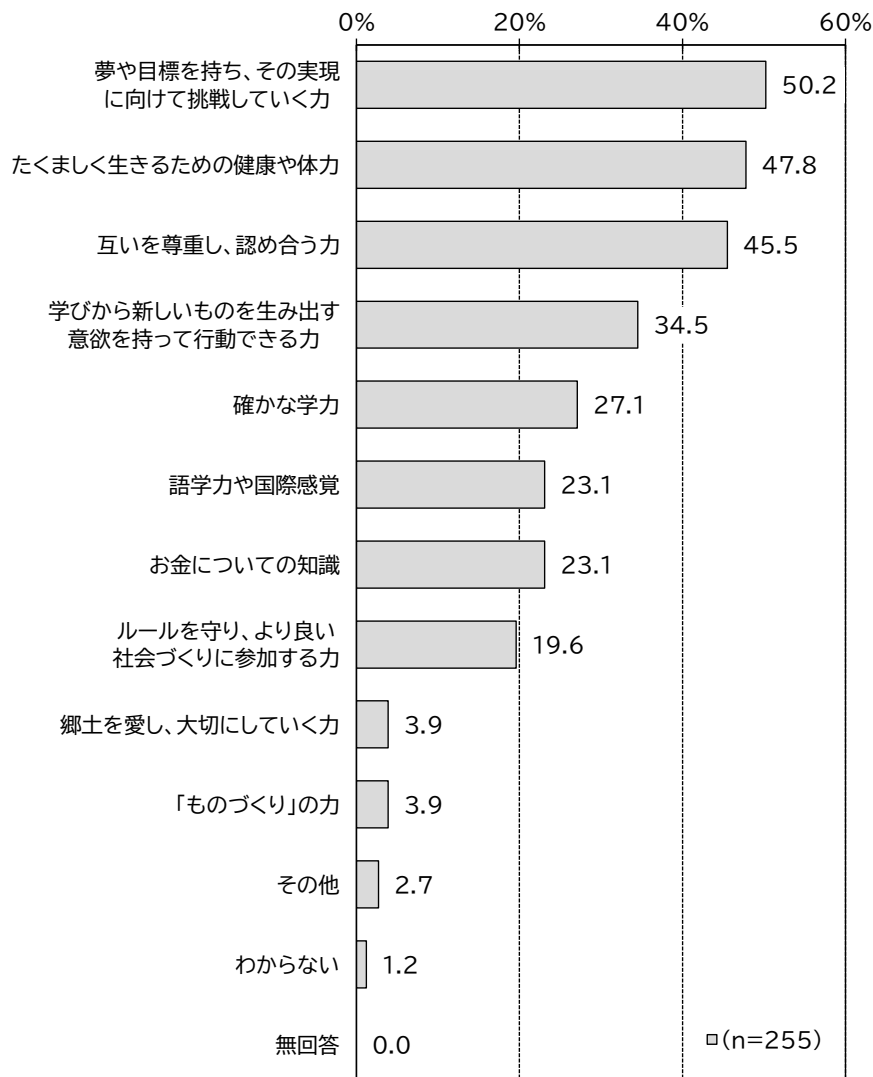
【全体】

子どもに特に将来的に必要と思う資質・能力については、「夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦していく力」が50.2%で最も高く、次いで「たくましく生きるための健康や体力」が47.8%、「互いを尊重し、認め合う力」が45.5%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生は「たくましく生きるための健康や体力」、小学校5年生は「夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦していく力」、中学校2年生は「互いを尊重し、認め合う力」が最も高くなっています。

小学校区別で見ると、片地(佐岡含む)で「夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦していく力」と「たくましく生きるための健康や体力」、「互いを尊重し、認め合う力」がそれぞれ6割(5人中3人)、舟入で「互いを尊重し、認め合う力」が6割弱、大栃で「夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦していく力」が7割以上で、他の小学校区と比べて特に高くなっています。一方、大宮では全体で上位の2項目が3割台で低くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	夢や目標を持って挑戦していく力	たくましく生きるための健康や体力	互いを尊重し、認め合う力	学びから新しいものを出す意欲を持つて行動できる力	確かな学力	語学力や国際感覚	お金についての知識	ルールを守り、より良い社会づくりに参加する力	く郷土を愛し、大切にしてい	
全体	255	50.2	47.8	45.5	34.5	27.1	23.1	23.1	19.6	3.9	
学年別	小学校1年生	94	48.9	52.1	46.8	34.0	26.6	20.2	19.1	2.1	
	小学校5年生	89	51.7	47.2	40.4	38.2	30.3	24.7	22.5	5.6	
	中学校2年生	70	50.0	44.3	51.4	31.4	22.9	25.7	30.0	21.4	4.3
小学校区別	山田	115	50.4	50.4	46.1	33.0	29.6	22.6	25.2	20.9	1.7
	楠目	42	59.5	45.2	35.7	28.6	△38.1	21.4	23.8	23.8	7.1
	片地(佐岡含む)	5	60.0	△60.0	△60.0	40.0	20.0	▼ -	20.0	20.0	-
	舟入	28	42.9	53.6	△57.1	42.9	25.0	28.6	▼10.7	17.9	-
	香長(繁藤含む)	24	45.8	50.0	41.7	41.7	▼16.7	△33.3	25.0	12.5	12.5
	大宮	32	▼37.5	▼31.3	50.0	34.4	18.8	15.6	21.9	21.9	6.3
大栃	7	△71.4	57.1	42.9	42.9	▼14.3	△42.9	28.6	▼ -	-	

	回答者数 (n)	「ものづくり」の力	その他	わからない	無回答	
全体	255	3.9	2.7	1.2	-	
学年別	小学校1年生	94	6.4	3.2	2.1	-
	小学校5年生	89	2.2	-	1.1	-
	中学校2年生	70	2.9	5.7	-	-
小学校区別	山田	115	0.9	1.7	1.7	-
	楠目	42	9.5	-	-	-
	片地(佐岡含む)	5	-	-	-	-
	舟入	28	3.6	3.6	-	-
	香長(繁藤含む)	24	-	4.2	-	-
	大宮	32	12.5	9.4	3.1	-
大栃	7	-	-	-	-	

■問13 幼児教育(小学校入学前までの教育)において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

【全体】

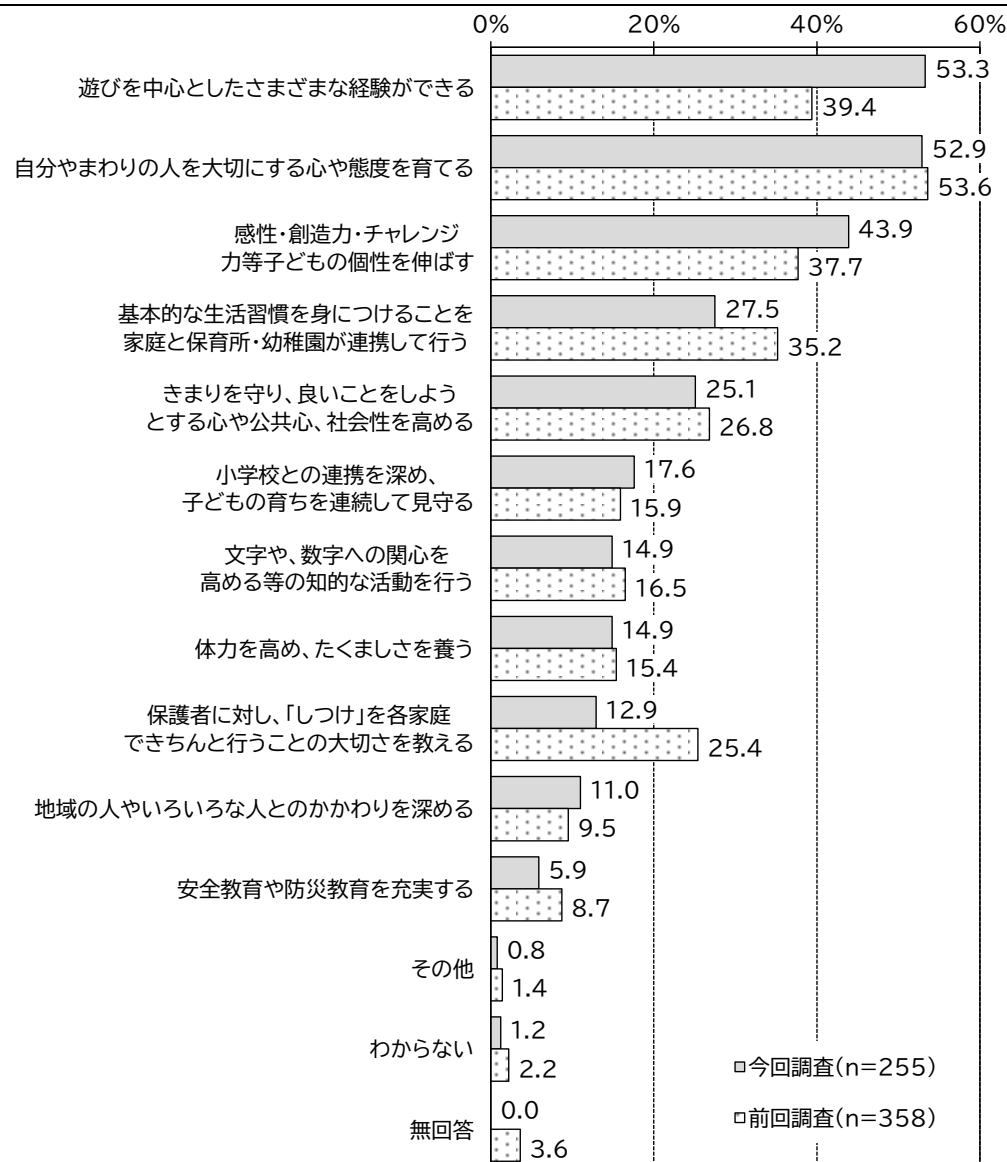
幼児教育において、これから力を入れてほしいことについては、「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」が53.3%で最も高く、次いで「自分やまわりの人を大切にできる心や態度を育てる」が52.9%、「感性・創造力・チャレンジ力等子どもの個性を伸ばす」が43.9%となっています。

前回調査と比べると、「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」は今回調査の方が前回調査を13.9ポイント上回っています。また、「保護者に対し、「しつけ」を各家庭できちんと行うことの大切さを教える」は今回調査の方が前回調査を12.5ポイント下回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生と小学校5年生は「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」、中学校2年生は「自分やまわりの人を大切にできる心や態度を育てる」が最も高くなっています。

小学校区別で見ると、香長(繁藤含む)で「遊びを中心としたさまざまな経験ができる」が7割以上、大栃で「自分やまわりの人を大切にできる心や態度を育てる」が7割以上で、他の小学校区と比べて特に高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	遊びを中心としたさまざまな経験ができる	自分やまわりの人を大切にすることや態度を育てる	感性・創造力・チャレンジ力等子どもの個性を伸ばす	基本的な生活習慣を身につけることを家庭と保育所・幼稚園が連携して行う	高まる	きまりを守り、良いことをしようとする心や公共心、社会性を高める	小学校との連携を深め、子どもの育ちを継続して見守る	文字や、数字への関心を高める等の知的な活動を行う	体力を高め、たくましさを養う	保護者に対し、「しつけ」の大切さを教える
全体	255	53.3	52.9	43.9	27.5	25.1	17.6	14.9	14.9	12.9	
学年別の	小学校1年生	94	53.2	50.0	45.7	29.8	28.7	19.1	18.1	17.0	7.4
	小学校5年生	89	55.1	53.9	44.9	22.5	23.6	18.0	12.4	12.4	15.7
	中学校2年生	70	51.4	55.7	41.4	31.4	22.9	14.3	14.3	15.7	17.1
小学校区別の	山田	115	47.0	58.3	39.1	26.1	26.1	17.4	20.0	17.4	14.8
	楠目	42	47.6	47.6	42.9	33.3	28.6	11.9	14.3	19.0	16.7
	片地(佐岡含む)	5	60.0	60.0	△60.0	20.0	△40.0	20.0	20.0	▼ -	▼ -
	舟入	28	△64.3	57.1	46.4	25.0	△35.7	10.7	14.3	14.3	7.1
	香長(繁藤含む)	24	△70.8	▼33.3	△62.5	25.0	16.7	12.5	▼4.2	16.7	8.3
	大宮	32	62.5	46.9	46.9	28.1	▼9.4	△37.5	9.4	▼3.1	9.4
大栃	7	57.1	△71.4	42.9	△42.9	28.6	14.3	▼ -	14.3	14.3	

	回答者数 (n)	地域の人やいろいろな人とのかわりを深める	安全教育や防災教育を充実する	その他	わからない	無回答
全体	255	11.0	5.9	0.8	1.2	-
学年別の	小学校1年生	94	9.6	4.3	1.1	-
	小学校5年生	89	12.4	7.9	1.1	-
	中学校2年生	70	11.4	5.7	-	2.9
小学校区別の	山田	115	7.8	7.0	-	1.7
	楠目	42	11.9	4.8	2.4	-
	片地(佐岡含む)	5	▼ -	-	-	-
	舟入	28	14.3	-	-	-
	香長(繁藤含む)	24	12.5	12.5	-	-
	大宮	32	△21.9	6.3	3.1	-
大栃	7	▼ -	-	-	-	

■問14 小学校・中学校の教育において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

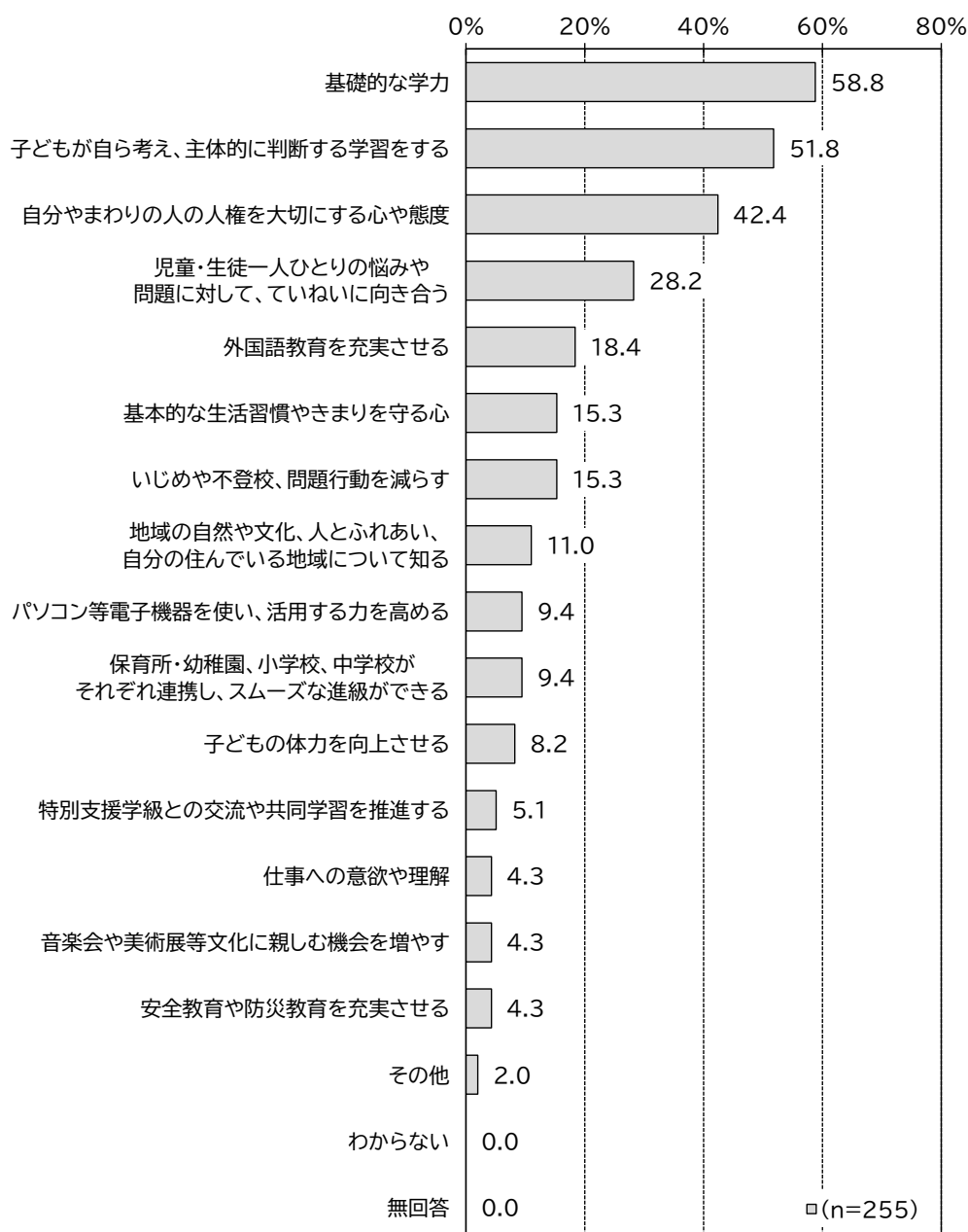
【全体】

小学校・中学校の教育において、これから力を入れてほしいことについては、「基礎的な学力」が58.8%で最も高く、次いで「子どもが自ら考え、主体的に判断する学習をする」が51.8%、「自分やまわりの人の人権を大切にすることや態度」が42.4%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生は「基礎的な学力」と「子どもが自ら考え、主体的に判断する学習をする」が同率で、小学校5年生と中学校2年生は「基礎的な学力」が最も高くなっています。

小学校区別で見ると、大栃は「基礎的な学力」、大宮は「子どもが自ら考え、主体的に判断する学習をする」が特に高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	基礎的な学力	子どもが自ら考え、主体的に判断する学習をする	自分やまわりの人の人権を大切に する心や態度	児童・生徒一人ひとりの悩みや 問題に対して、ていねいに向き 合う	外国語教育を充実させる	基本的な生活習慣やきまりを守 る心	いじめや不登校、問題行動を減 らす	地域の自然や文化、人とふれあ い、自分の住んでいる地域につ いて知る	パソコン等電子機器を使い、活 用する力を高める	
全体	255	58.8	51.8	42.4	28.2	18.4	15.3	15.3	11.0	9.4	
学年別	小学校1年生	94	56.4	56.4	42.6	34.0	18.1	13.8	10.6	7.4	
	小学校5年生	89	57.3	52.8	41.6	27.0	23.6	16.9	20.2	3.4	
	中学校2年生	70	64.3	44.3	42.9	21.4	12.9	15.7	14.3	△20.0	
小学校区別	山田	115	64.3	46.1	44.3	33.0	17.4	18.3	17.4	6.1	8.7
	楠目	42	64.3	52.4	△52.4	▼14.3	23.8	16.7	11.9	14.3	11.9
	片地(佐岡含む)	5	60.0	▼40.0	△60.0	△40.0	▼ -	▼ -	20.0	20.0	-
	舟入	28	57.1	60.7	△53.6	25.0	21.4	14.3	21.4	10.7	10.7
	香長(繁藤含む)	24	62.5	54.2	▼25.0	▼12.5	20.8	12.5	8.3	12.5	8.3
	大宮	32	▼25.0	△65.6	▼25.0	37.5	15.6	9.4	12.5	△21.9	12.5
	大栃	7	△85.7	57.1	▼28.6	△42.9	14.3	▼ -	14.3	14.3	-

	回答者数 (n)	保育所・幼稚園、小学校、中学 校がそれぞれ連携し、スムーズ な進級ができる	子どもの体力を向上させる	特別支援学級との交流や共同学 習を推進する	仕事への意欲や理解	音楽会や美術展等文化に親しむ 機会を増やす	安全教育や防災教育を充実させ る	その他	わからない	無回答
全体	255	9.4	8.2	5.1	4.3	4.3	4.3	2.0	-	-
学年別	小学校1年生	94	10.6	6.4	5.3	4.3	5.3	1.1	2.1	-
	小学校5年生	89	6.7	9.0	4.5	4.5	5.6	7.9	3.4	-
	中学校2年生	70	11.4	10.0	5.7	4.3	1.4	4.3	-	-
小学校区別	山田	115	8.7	6.1	3.5	7.0	0.9	4.3	1.7	-
	楠目	42	7.1	4.8	7.1	4.8	4.8	4.8	-	-
	片地(佐岡含む)	5	△20.0	△20.0	-	-	-	-	-	-
	舟入	28	7.1	7.1	-	-	-	-	-	-
	香長(繁藤含む)	24	16.7	16.7	8.3	4.2	12.5	8.3	4.2	-
	大宮	32	9.4	12.5	12.5	-	12.5	6.3	6.3	-
	大栃	7	14.3	14.3	-	-	△14.3	-	-	-

■問15 特別支援学校の教育において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

【全体】

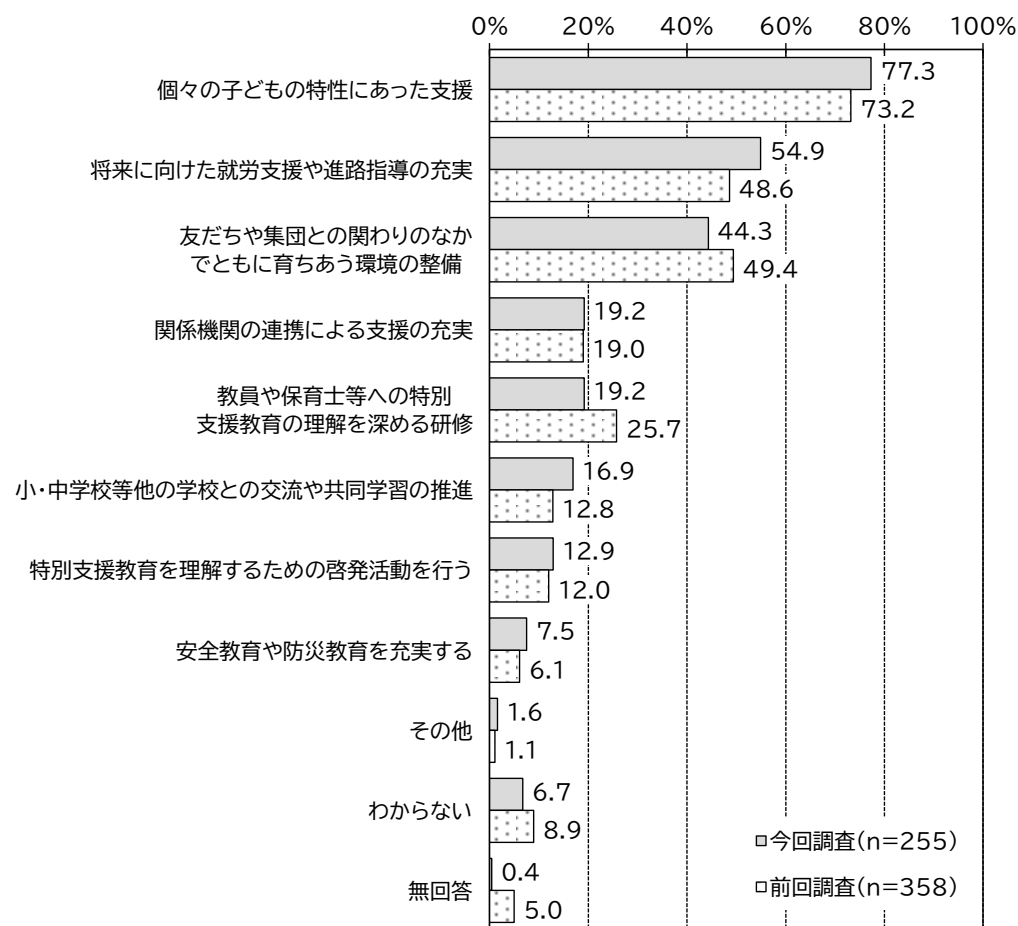
特別支援学校の教育において、これから力を入れてほしいことについては、「個々の子どもの特性にあった支援」が77.3%で最も高く、次いで「将来に向けた就労支援や進路指導の充実」が54.9%、「友だちや集団との関わりのなかでともに育ちあう環境の整備」が44.3%となっています。

前回調査と比べると、「将来に向けた就労支援や進路指導の充実」は今回調査の方が前回調査を6.3ポイント上回っています。また、「教員や保育士等への特別支援教育の理解を深める研修」は今回調査の方が前回調査を6.5ポイント下回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、いずれの学年も「個々の子どもの特性にあった支援」が最も高く、次いで、小学校1年生は「友だちや集団との関わりのなかでともに育ちあう環境の整備」、小学校5年生と中学校2年生は「将来に向けた就労支援や進路指導の充実」が高くなっています。また、「将来に向けた就労支援や進路指導の充実」は学年が上がるほど高くなっており、「友だちや集団との関わりのなかでともに育ちあう環境の整備」は学年が下がるほど高くなっています。

小学校区別で見ると、いずれの小学校区も「個々の子どもの特性にあった支援」が最も高いのは同様の傾向です。また、片地(佐岡含む)で「将来に向けた就労支援や進路指導の充実」、片地(佐岡含む)と大栃で「友だちや集団との関わりのなかでともに育ちあう環境の整備」も、同率で最も高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	た個々の子どもの特性にあった支援	将来に向けた就労支援や進路指導の充実	友だちや集団との関わり環境の整備	関係機関の連携による支援の充実	教員や保育士等への特別支援教育の理解を深めるための研修	小・中学校等他の学校との交流や共同学習の推進	特別支援教育を理解するための啓発活動を行う	安全教育や防災教育を充実させる	その他
全体	255	77.3	54.9	44.3	19.2	19.2	16.9	12.9	7.5	1.6
学年別の	小学校1年生	94	76.6	46.8	52.1	16.0	17.0	17.0	6.4	2.1
	小学校5年生	89	80.9	52.8	43.8	23.6	16.9	15.7	9.0	1.1
	中学校2年生	70	74.3	△68.6	35.7	18.6	24.3	18.6	7.1	1.4
小学校区別の	山田	115	79.1	54.8	47.8	20.0	15.7	18.3	7.8	1.7
	楠目	42	76.2	△69.0	40.5	11.9	23.8	19.0	7.1	2.4
	片地(佐岡含む)	5	80.0	△80.0	△80.0	20.0	20.0	▼ -	▼ -	-
	舟入	28	75.0	46.4	▼25.0	10.7	▼ 7.1	21.4	7.1	3.6
	香長(繁藤含む)	24	79.2	△66.7	37.5	△37.5	12.5	8.3	4.2	-
	大宮	32	75.0	▼40.6	46.9	25.0	△40.6	12.5	9.4	-
	大栃	7	71.4	▼28.6	△71.4	▼ -	28.6	14.3	14.3	-

	回答者数 (n)	わからない	無回答
全体	255	6.7	0.4
学年別の	小学校1年生	94	6.4
	小学校5年生	89	5.6
	中学校2年生	70	7.1
小学校区別の	山田	115	4.3
	楠目	42	4.8
	片地(佐岡含む)	5	-
	舟入	28	△17.9
	香長(繁藤含む)	24	8.3
	大宮	32	3.1
	大栃	7	14.3

■問16 県立山田特別支援学校の行事や取組(七夕祭り、運動会、学習発表会、土佐山田まつりや刃物まつり等への出展・販売等)について知っていますか。(1つに○)

【全体】

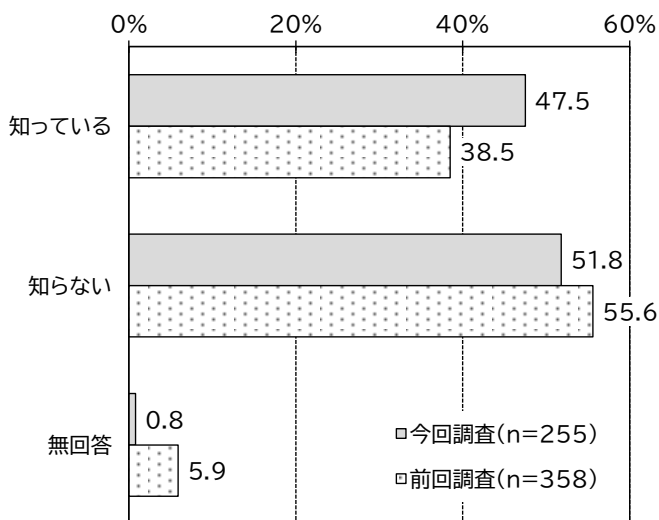
県立山田特別支援学校の行事や取組の認知度については、「知っている」が47.5%、「知らない」が51.8%となっています。

前回調査と比べると、「知っている」は今回調査の方が前回調査を9.0ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、小学校1年生と小学校5年生は「知らない」、中学校2年生は「知っている」が高くなっています。

小学校区別でみると、山田、舟入、香長(繁藤含む)で「知っている」割合が5割以上、その他の小学校区では5割未満となっています。



単位:%

		回答者数(n)	知っている	知らない	無回答
全体		255	47.5	51.8	0.8
学年別の	小学校1年生	94	44.7	54.3	1.1
	小学校5年生	89	44.9	53.9	1.1
	中学校2年生	70	54.3	45.7	-
小学校区別の	山田	115	51.3	48.7	-
	楠目	42	42.9	54.8	2.4
	片地(佐岡含む)	5	▼ -	△100.0	-
	舟入	28	△60.7	▼35.7	3.6
	香長(繁藤含む)	24	50.0	50.0	-
	大宮	32	40.6	59.4	-
	大栃	7	▼28.6	△71.4	-

■問17 ここ1年間で、あなたが出席・参加した学校の行事や活動は何がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

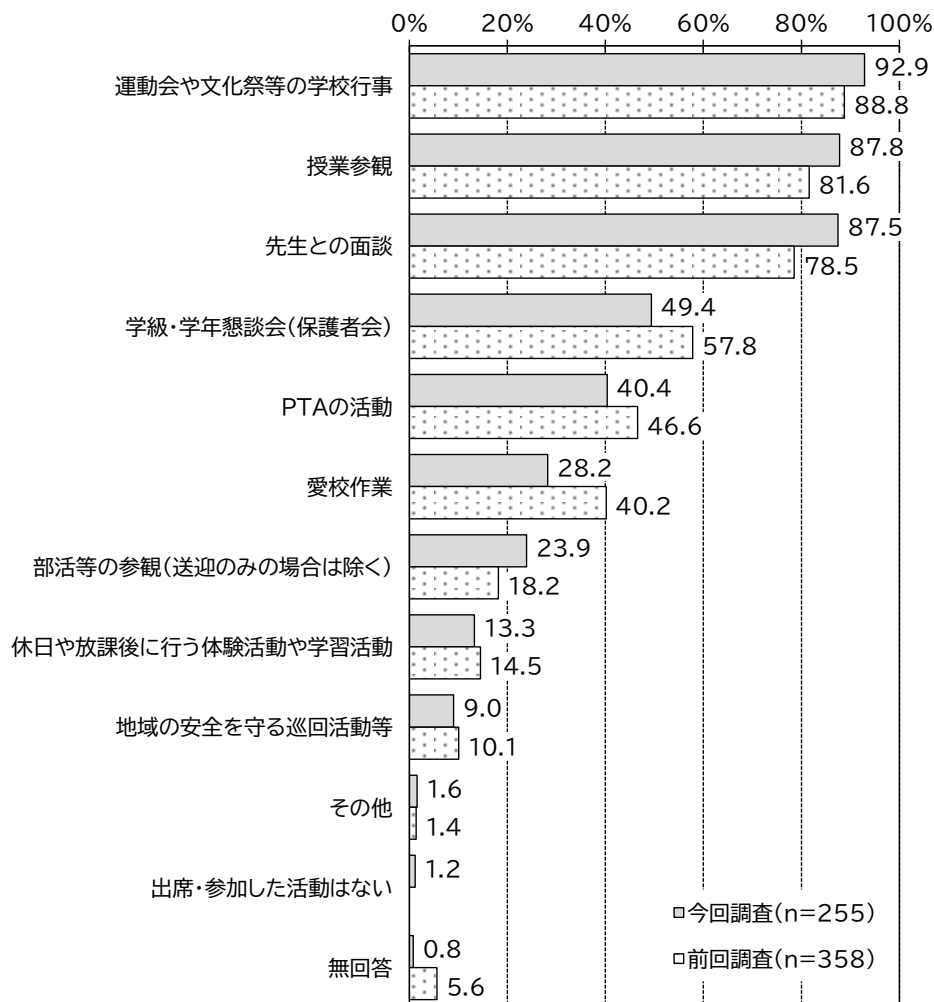
出席・参加した学校の行事や活動については、「運動会や文化祭等の学校行事」が92.9%で最も高く、次いで「授業参観」が87.8%、「先生との面談」が87.5%となっています。

前回調査と比べると、「愛校作業」は今回調査の方が前回調査を12.0ポイント下回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生と中学校2年生は「運動会や文化祭等の学校行事」、小学校5年生は「授業参観」が最も高くなっています。また、小学校1年生で「学級・学年懇談会(保護者会)」が61.7%で、他の学年と比べて特に高くなっています。

小学校区別で見ると、「授業参観」は楠目、大宮、大栃で、「先生との面談」は香長(繁藤含む)、大宮、大栃で9割を超えています。



単位:%

	回答者数 (n)	運動会や文化祭等の学校行事	授業参観	先生との面談	学級・学年懇談会(保護者会)	P T Aの活動	愛校作業	部活等の参観(送迎のみの場合を除く)	休日や放課後に行う体験活動や学習活動	地域の安全を守る巡回活動等	
全体	255	92.9	87.8	87.5	49.4	40.4	28.2	23.9	13.3	9.0	
学年別	小学校1年生	94	95.7	92.6	85.1	△61.7	42.6	29.8	▼ 8.5	14.9	6.4
	小学校5年生	89	92.1	93.3	92.1	55.1	40.4	25.8	▼13.5	16.9	13.5
	中学校2年生	70	92.9	▼74.3	85.7	▼25.7	38.6	30.0	△58.6	7.1	7.1
小学校区別	山田	115	94.8	84.3	87.0	▼34.8	▼27.8	▼ 7.8	20.9	8.7	2.6
	楠目	42	90.5	90.5	83.3	40.5	40.5	△47.6	26.2	7.1	△19.0
	片地(佐岡含む)	5	100.0	80.0	80.0	△60.0	△80.0	△80.0	20.0	△40.0	△40.0
	舟入	28	85.7	85.7	82.1	△64.3	46.4	△71.4	17.9	7.1	3.6
	香長(繁藤含む)	24	95.8	87.5	95.8	△66.7	△66.7	▼16.7	△45.8	△29.2	△20.8
	大宮	32	93.8	96.9	90.6	△75.0	50.0	25.0	15.6	15.6	6.3
	大栃	7	100.0	△100.0	△100.0	△85.7	△57.1	△85.7	△57.1	△57.1	14.3

	回答者数 (n)	その他	出席・参加した活動はない	無回答	
全体	255	1.6	1.2	0.8	
学年別	小学校1年生	94	2.1	-	1.1
	小学校5年生	89	2.2	3.4	-
	中学校2年生	70	-	-	1.4
小学校区別	山田	115	2.6	0.9	-
	楠目	42	2.4	2.4	2.4
	片地(佐岡含む)	5	-	-	-
	舟入	28	-	3.6	3.6
	香長(繁藤含む)	24	-	-	-
	大宮	32	-	-	-
	大栃	7	-	-	-

6. 家庭でのお子さんとのかかわりについて

■問18 あなたが、家庭生活においてお子さんに身につけてほしいことは何ですか。
(3つまで○)

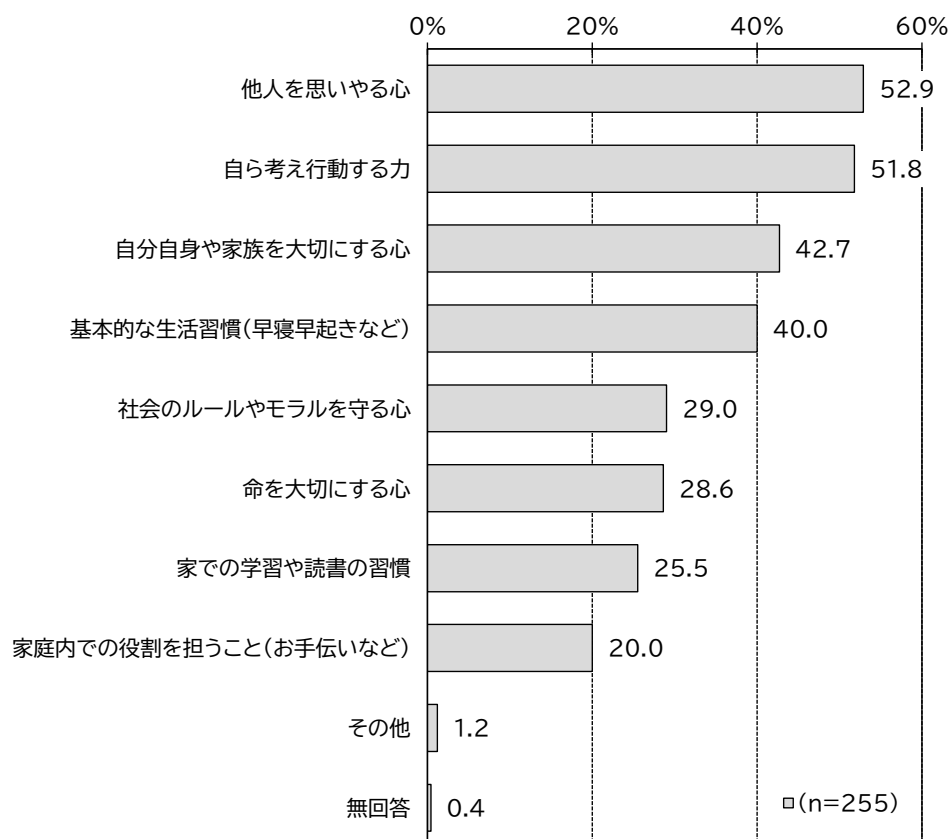
【全体】

家庭生活において子どもに身につけてほしいことについては、「他人を思いやる心」が52.9%で最も高く、次いで「自ら考え行動する力」が51.8%、「自分自身や家族を大切にする心」が42.7%、「基本的な生活習慣(早寝早起きなど)」が40.0%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、小学校1年生と小学校5年生は「他人を思いやる心」、中学校2年生は「自ら考え行動する力」が最も高くなっています。

小学校区別で見ると、片地(佐岡含む)は「基本的な生活習慣(早寝早起きなど)」、香長(繁藤含む)は「命を大切にする心」、大宮は「自分自身や家族を大切にする心」の割合が高く、他の小学校区とは異なる傾向となっています。



単位:%

	回答者数 (n)	他人を思いやる心	自ら考え行動する力	自分自身や家族を大切に する心	基本的な生活習慣 (早寝早 起きなど)	社会のルールやモラルを守 る心	命を大切に する心	家での学習や読書の習慣	家庭内での役割を担うこと (お手伝いなど)	その他	無回答	
全体	255	52.9	51.8	42.7	40.0	29.0	28.6	25.5	20.0	1.2	0.4	
学 子 の 年 別	小学校1年生	94	58.5	51.1	44.7	40.4	29.8	26.6	22.3	10.6	2.1	1.1
	小学校5年生	89	51.7	47.2	42.7	39.3	30.3	28.1	28.1	24.7	1.1	-
	中学校2年生	70	47.1	58.6	40.0	41.4	25.7	30.0	27.1	27.1	-	-
小 学 校 区 別	山田	115	57.4	51.3	42.6	45.2	27.0	22.6	26.1	20.9	-	-
	楠目	42	52.4	45.2	40.5	40.5	21.4	28.6	33.3	21.4	-	2.4
	片地(佐岡含む)	5	60.0	▼40.0	40.0	△60.0	△40.0	△40.0	▼ -	20.0	-	-
	舟入	28	53.6	57.1	35.7	39.3	△46.4	▼17.9	28.6	▼ 7.1	-	-
	香長(繁藤含む)	24	▼29.2	50.0	▼29.2	37.5	33.3	△58.3	△37.5	25.0	-	-
	大宮	32	50.0	△62.5	△59.4	▼25.0	25.0	34.4	▼ 6.3	21.9	9.4	-
	大柁	7	57.1	57.1	42.9	▼28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	-	-

■問19 お子さんとどれくらい会話していますか。(1つに○)

【全体】

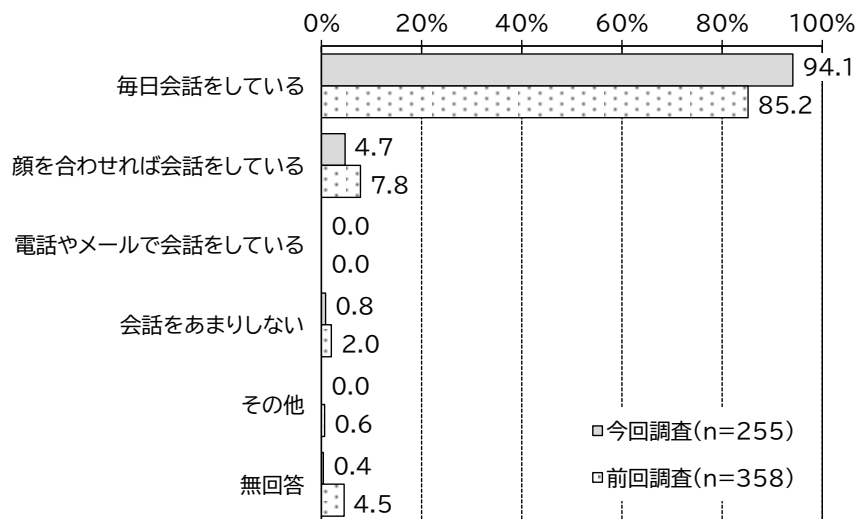
子どもとの会話の頻度については、「毎日会話をしている」が94.1%で最も高く、次いで「顔を合わせれば会話をしている」が4.7%、「会話をあまりしない」が0.8%となっています。

前回調査と比べると、「毎日会話をしている」は今回調査の方が前回調査を8.9ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、「毎日会話をしている」の割合は、学年が上がるほど低くなっています。

小学校区別でみると、山田と舟入は「毎日会話をしている」が他の小学校区と比べてやや低い傾向です。



単位:%

	回答者数(n)	毎日会話をしている	顔を合わせれば会話をしている	電話やメールで会話をしている	会話をあまりしない	その他	無回答
全体	255	94.1	4.7	-	0.8	-	0.4
学年別	小学校1年生	94	95.7	3.2	-	-	1.1
	小学校5年生	89	95.5	3.4	-	1.1	-
	中学校2年生	70	90.0	8.6	-	1.4	-
	小学校区別						
山田	115	90.4	8.7	-	0.9	-	-
楠目	42	97.6	-	-	-	-	2.4
片地(佐岡含む)	5	100.0	-	-	-	-	-
舟入	28	92.9	7.1	-	-	-	-
香長(繁藤含む)	24	100.0	-	-	-	-	-
大宮	32	96.9	-	-	3.1	-	-
大栃	7	100.0	-	-	-	-	-

■問20 お子さんとのどのような話をしていますか。(3つまで○)

【全体】

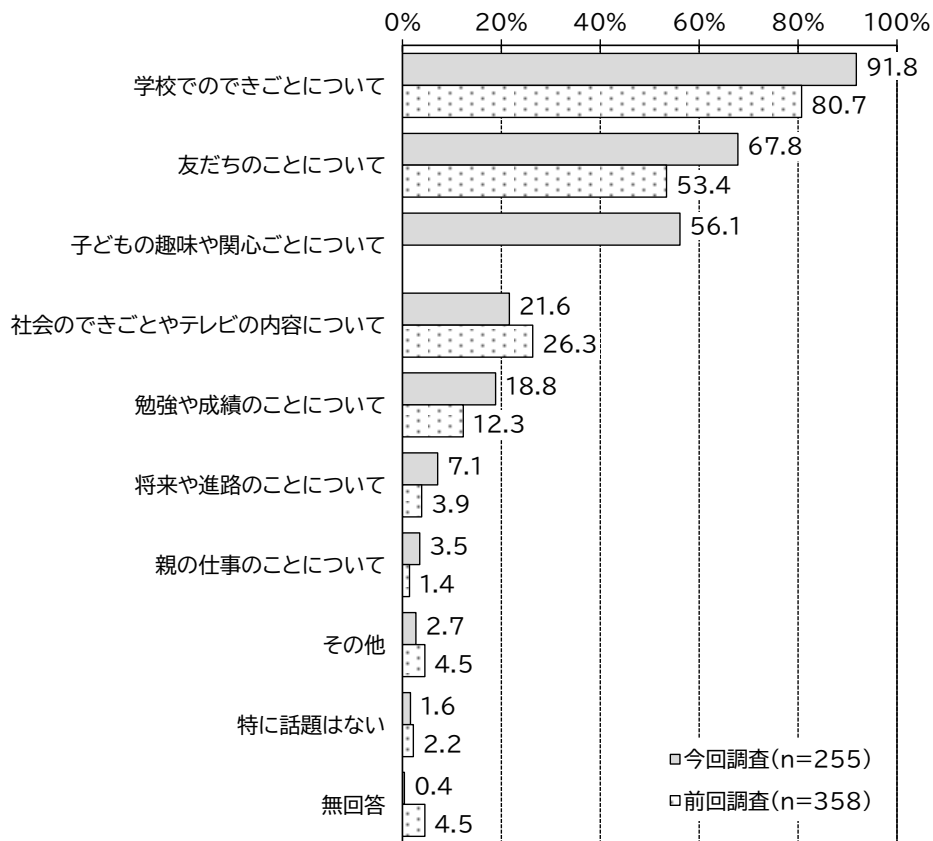
子どもとの会話については、「学校でのできごとについて」が91.8%で最も高く、次いで「友だちのすることについて」が67.8%、「子どもの趣味や関心ごとについて」が56.1%となっています。

前回調査と比べると、「学校でのできごとについて」と「友だちのすることについて」は今回調査の方が前回調査をそれぞれ10ポイント以上上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、いずれの学年も「学校でのできごとについて」が最も高く、次いで、小学校1年生と小学校5年生は「友だちのすることについて」、中学校2年生は「子どもの趣味や関心ごとについて」が高くなっています。また、中学校2年生で「将来や進路のことについて」が17.1%で、他の学年と比べて特に高くなっています。

小学校区別で見ると、舟入では「友だちのすることについて」と「子どもの趣味や関心ごとについて」が他の小学校区と比べて高くなっています。



単位:%

		回答者数 (n)	学校でのできごとについて	友だちのことについて	子どもの趣味や関心ごとについて	社会のできごとやテレビの内容について	勉強や成績のことについて	将来や進路のことについて	親の仕事のことについて	その他	特に話題はない	無回答
全体		255	91.8	67.8	56.1	21.6	18.8	7.1	3.5	2.7	1.6	0.4
学年別	小学校1年生	94	91.5	73.4	61.7	23.4	12.8	1.1	3.2	3.2	-	1.1
	小学校5年生	89	98.9	76.4	52.8	16.9	22.5	5.6	4.5	2.2	1.1	-
	中学校2年生	70	84.3	▼51.4	54.3	25.7	22.9	△17.1	2.9	1.4	4.3	-
小学校区別	山田	115	92.2	67.8	57.4	20.9	20.0	10.4	1.7	0.9	1.7	-
	楠目	42	88.1	61.9	59.5	26.2	△31.0	4.8	4.8	-	-	2.4
	片地(佐岡含む)	5	▼80.0	60.0	▼20.0	△60.0	20.0	-	-	-	-	-
	舟入	28	92.9	△85.7	△67.9	▼7.1	▼3.6	-	7.1	3.6	3.6	-
	香長(繁藤含む)	24	100.0	70.8	▼45.8	16.7	20.8	8.3	8.3	4.2	-	-
	大宮	32	93.8	65.6	53.1	21.9	12.5	3.1	3.1	6.3	3.1	-
	大栃	7	85.7	▼57.1	▼42.9	△57.1	14.3	14.3	-	△14.3	-	-

7. 教育と地域のかかわりについて

■問21 県立山田高等学校について、地域の高等学校として愛着はありますか。(1つに○)

【全体】

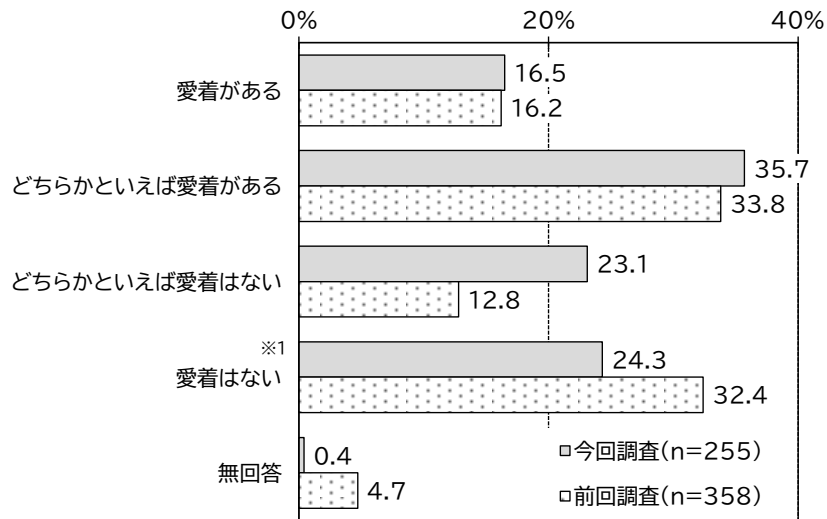
県立山田高等学校への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が35.7%で最も高く、次いで「愛着はない」が24.3%、「どちらかといえば愛着はない」が23.1%となっています。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が52.2%となっています。

前回調査と比べると、『愛着がある』は今回調査の方が前回調査を2.2ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、『愛着がある』は、小学校1年生で51.0%、5年生で47.2%、中学校2年生で60.0%となっています。

小学校区別でみると、『愛着がある』は楠目(35.7%)と大宮(46.9%)では半数を下回っています。



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

単位:%

		回答者数 (n)	愛着 がある	ど ち ら か と い え ば 愛 着 が あ る	ど ち ら か と い え ば 愛 着 は な い	愛 着 は な い	無 回 答
全体		255	16.5	35.7	23.1	24.3	0.4
学 子 の 学 年 別	小学校1年生	94	19.1	31.9	22.3	25.5	1.1
	小学校5年生	89	13.5	33.7	27.0	25.8	-
	中学校2年生	70	17.1	42.9	20.0	20.0	-
小 学 校 区 別	山田	115	20.9	34.8	22.6	21.7	-
	楠目	42	9.5	26.2	△40.5	21.4	2.4
	片地(佐岡含む)	5	20.0	△60.0	20.0	▼ -	-
	舟入	28	17.9	39.3	14.3	28.6	-
	香長(繁藤含む)	24	8.3	△45.8	20.8	25.0	-
	大宮	32	18.8	28.1	18.8	△34.4	-
大栃	7	▼ -	△71.4	▼ -	28.6	-	

■問22 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

【全体】

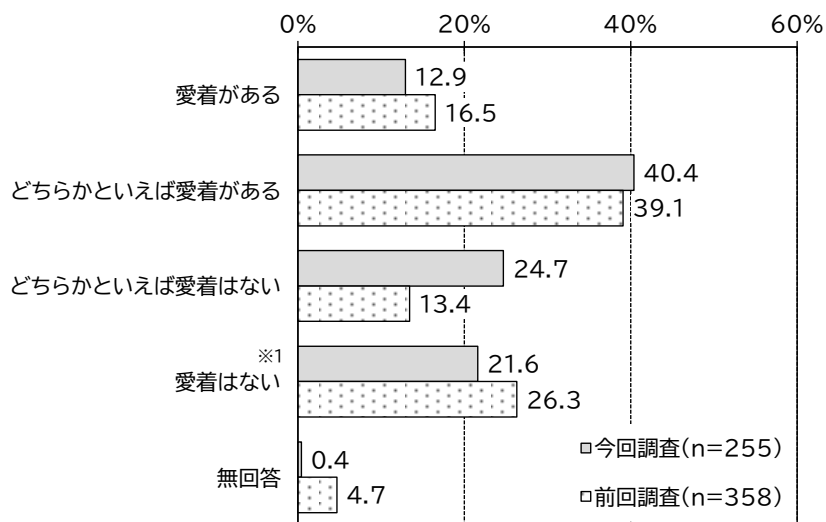
高知工科大学への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が40.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば愛着はない」が24.7%、「愛着はない」が21.6%となっています。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が53.3%となっています。

前回調査と比べると、「愛着はない」と「どちらかといえば愛着はない」を合わせた『愛着はない』は今回調査の方が前回調査を6.6ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、『愛着がある』は小学校1年生で50.0%、5年生で57.3%、中学校2年生で54.3%となっています。

小学校区別でみると、『愛着がある』は楠目(40.4%)、大栃(42.9%)では半数を下回っています。



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

単位:%

		回答者数 (n)	愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらかといえば愛着はない	愛着はない	無回答
全体		255	12.9	40.4	24.7	21.6	0.4
学年別	小学校1年生	94	12.8	37.2	21.3	27.7	1.1
	小学校5年生	89	15.7	41.6	27.0	15.7	-
	中学校2年生	70	10.0	44.3	25.7	20.0	-
小学校区別	山田	115	17.4	36.5	23.5	22.6	-
	楠目	42	7.1	33.3	△38.1	19.0	2.4
	片地(佐岡含む)	5	△40.0	△60.0	▼ -	▼ -	-
	舟入	28	17.9	39.3	17.9	25.0	-
	香長(繁藤含む)	24	▼ -	△54.2	29.2	16.7	-
	大宮	32	9.4	50.0	18.8	21.9	-
大栃	7	▼ -	42.9	28.6	28.6	-	

■問23 高知工科大学の特性を活かし、香美市の教育と連携していくためには、高知工科大学に対し、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

【全体】

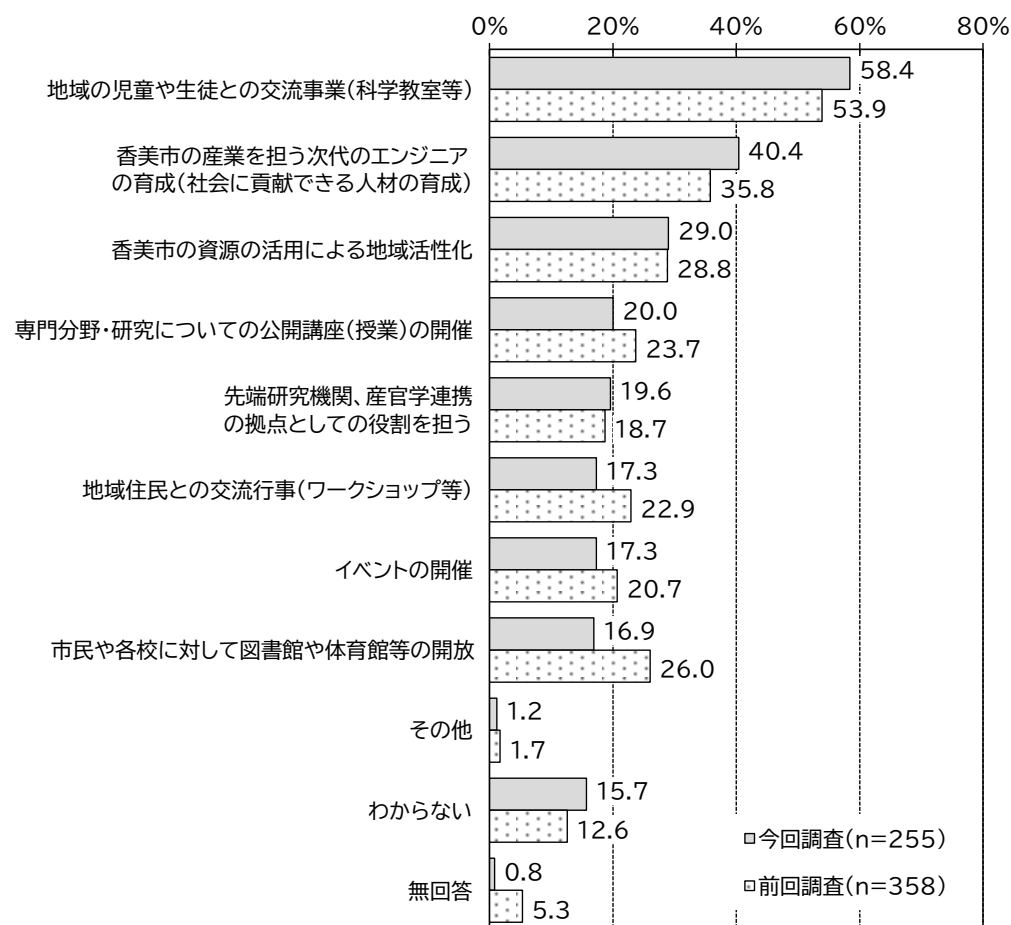
高知工科大学に対して力を入れてほしいことについては、「地域の児童や生徒との交流事業(科学教室等)」が58.4%で最も高く、次いで「香美市の産業を担う次代のエンジニアの育成(社会に貢献できる人材の育成)」が40.4%、「香美市の資源の活用による地域活性化」が29.0%となっています。

前回調査と比べると、「市民や各校に対して図書館や体育館等の開放」は今回調査の方が前回調査を9.1ポイント下回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、「地域の児童や生徒との交流事業(科学教室等)」は小学校5年生がやや高く、「香美市の資源の活用による地域活性化」は中学校2年生がやや高くなっています。

小学校区別で見ると、「地域の児童や生徒との交流事業(科学教室等)」は舟入では5割を下回っています。片地(佐岡含む)、舟入、大柘は「香美市の産業を担う次代のエンジニアの育成(社会に貢献できる人材の育成)」が2割台となっています。



単位:%

		回答者数 (n)	地域の児童や生徒との交流事業 (科学教室等)	香美市の産業を担う次代のエンジニアの育成)	香美市の資源の活用による地域活性化	専門分野・研究についての公開講座(授業)の開催	先端研究機関、産官学連携の拠点としての役割を担う	地域住民との交流行事(ワークショップ等)	イベントの開催	市民や各校に対して図書館や体育館等の開放	その他
全体		255	58.4	40.4	29.0	20.0	19.6	17.3	17.3	16.9	1.2
学年別の	小学校1年生	94	57.4	40.4	28.7	17.0	24.5	16.0	22.3	19.1	2.1
	小学校5年生	89	60.7	40.4	27.0	22.5	15.7	18.0	18.0	13.5	1.1
	中学校2年生	70	57.1	40.0	32.9	21.4	18.6	18.6	10.0	18.6	-
小学校区別の	山田	115	60.0	42.6	27.8	19.1	21.7	15.7	18.3	14.8	-
	楠目	42	61.9	42.9	35.7	14.3	23.8	16.7	14.3	23.8	2.4
	片地(佐岡含む)	5	60.0	▼20.0	△40.0	△40.0	20.0	△60.0	▼ -	20.0	-
	舟入	28	▼42.9	▼28.6	21.4	14.3	10.7	17.9	21.4	21.4	-
	香長(繁藤含む)	24	54.2	50.0	33.3	25.0	16.7	16.7	8.3	8.3	-
	大宮	32	65.6	40.6	28.1	25.0	15.6	18.8	21.9	15.6	3.1
	大栃	7	△71.4	▼28.6	28.6	△42.9	14.3	14.3	△28.6	14.3	△14.3

		回答者数 (n)	わからない	無回答
全体		255	15.7	0.8
学年別の	小学校1年生	94	16.0	1.1
	小学校5年生	89	12.4	1.1
	中学校2年生	70	18.6	-
小学校区別の	山田	115	15.7	1.7
	楠目	42	9.5	-
	片地(佐岡含む)	5	▼ -	-
	舟入	28	25.0	-
	香長(繁藤含む)	24	16.7	-
	大宮	32	15.6	-
	大栃	7	14.3	-

■問24 あなたは、地域の子どもたちの教育にかかわることで、協力できる機会があれば協力したいと思いますか。(1つに○)

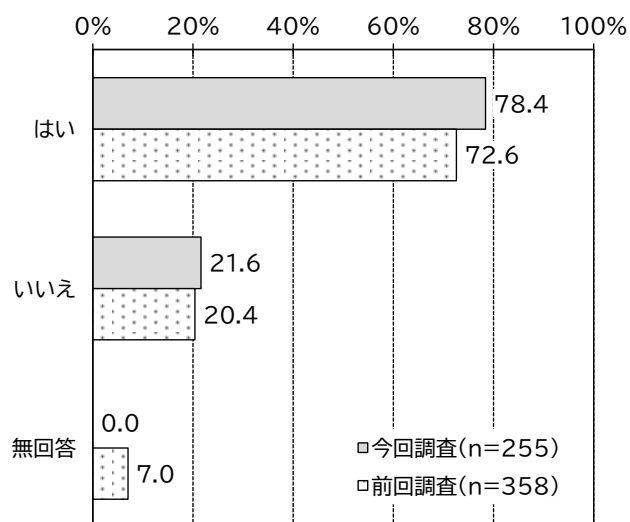
【全体】

地域教育への協力意欲については、「はい」が78.4%、「いいえ」が21.6%となっています。
 前回調査と比べると、「はい」は今回調査の方が前回調査を5.8ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、「はい」の割合に大きな差はありません。

小学校区別でみると、「はい」の割合は「片地(佐岡含む)」は全員、香長(繁藤含む)は9割を超えて高くなっています。



単位: %

		回答者数 (n)	はい	いいえ	無回答
全体		255	78.4	21.6	-
学年別の	小学校1年生	94	79.8	20.2	-
	小学校5年生	89	77.5	22.5	-
	中学校2年生	70	78.6	21.4	-
小学校区別の	山田	115	80.0	20.0	-
	楠目	42	69.0	31.0	-
	片地(佐岡含む)	5	△100.0	▼ -	-
	舟入	28	▼60.7	△39.3	-
	香長(繁藤含む)	24	△91.7	▼ 8.3	-
	大宮	32	87.5	12.5	-
	大栃	7	71.4	28.6	-

■問24-1 (問24で「1. はい」と答えた方に)あなたが教育に協力できること・したいことは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

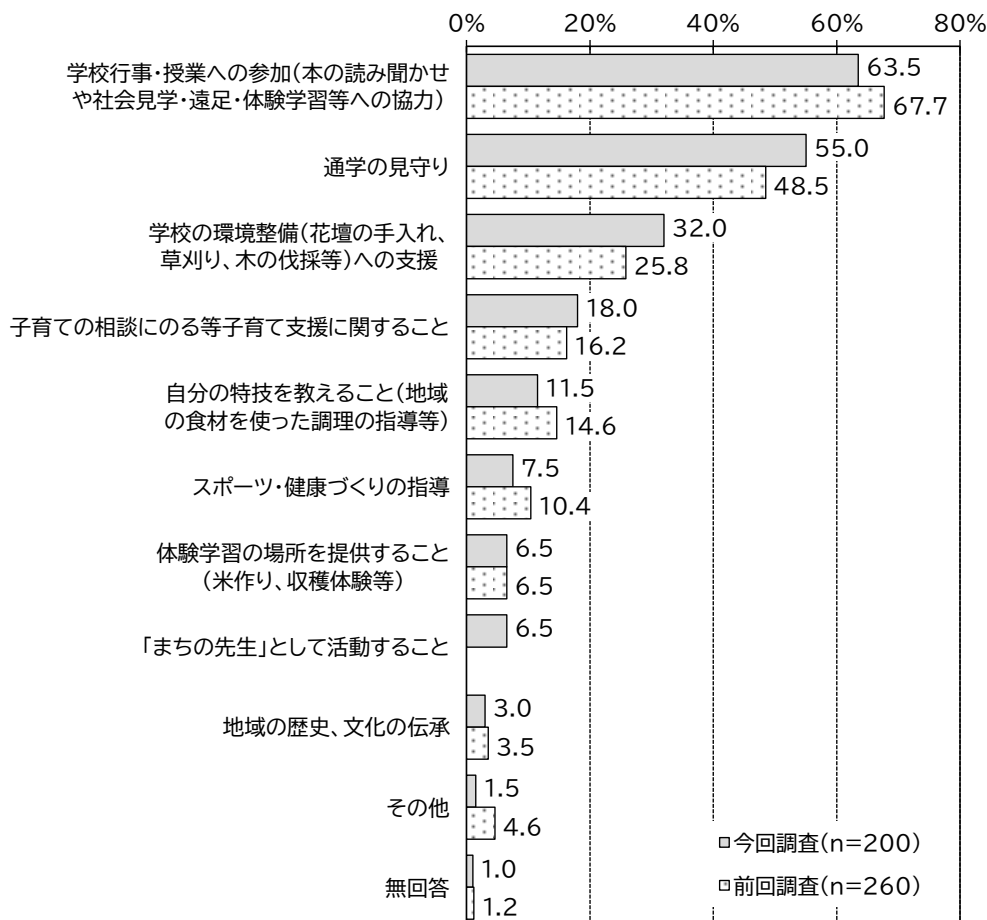
教育に協力できること・したいことについては、「学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)」が63.5%で最も高く、次いで「通学の見守り」が55.0%、「学校の環境整備(花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等)への支援」が32.0%となっています。

前回調査と比べると、「通学の見守り」は今回調査の方が前回調査を6.5ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、「学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)」と「通学の見守り」は学年が下がるほど高くなっています。

小学校区別で見ると、山田と楠目は「学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)」よりも「通学の見守り」の回答割合が高くなっています。大宮では「自分の特技を教えること(地域の食材を使った調理の指導等)」が32.1%で高くなっています。



	回答者数 (n)	学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)	通学の見守り	学校の環境整備(花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等)への支援	子育ての相談にのる等子育て支援に関すること	自分の特技を教えること(地域の食材を使った調理の指導等)	スポーツ・健康づくりの指導	体験学習の場所を提供すること(米作り、収穫体験等)	「まちの先生」として活動すること	地域の歴史、文化の伝承	
全体	200	63.5	55.0	32.0	18.0	11.5	7.5	6.5	6.5	3.0	
学年別	小学校1年生	75	68.0	57.3	30.7	21.3	10.7	10.7	9.3	6.7	4.0
	小学校5年生	69	63.8	56.5	27.5	15.9	13.0	5.8	4.3	7.2	1.4
	中学校2年生	55	58.2	49.1	40.0	16.4	10.9	5.5	5.5	5.5	3.6
小学校区別	山田	92	55.4	56.5	▼21.7	13.0	3.3	7.6	3.3	4.3	3.3
	楠目	29	▼48.3	58.6	37.9	24.1	20.7	13.8	3.4	13.8	6.9
	片地(佐岡含む)	5	△80.0	60.0	△80.0	20.0	▼	-	-	-	-
	舟入	17	△76.5	▼41.2	29.4	△35.3	5.9	11.8	11.8	-	-
	香長(繁藤含む)	22	△81.8	△68.2	36.4	▼4.5	18.2	-	4.5	4.5	-
	大宮	28	△75.0	46.4	△46.4	25.0	△32.1	7.1	△17.9	14.3	3.6
大栃	5	△100.0	▼40.0	△60.0	△40.0	▼	-	△20.0	-	-	

	回答者数 (n)	その他	無回答	
全体	200	1.5	1.0	
学年別	小学校1年生	75	1.3	-
	小学校5年生	69	1.4	-
	中学校2年生	55	1.8	3.6
小学校区別	山田	92	2.2	1.1
	楠目	29	-	-
	片地(佐岡含む)	5	-	-
	舟入	17	-	-
	香長(繁藤含む)	22	-	-
	大宮	28	3.6	3.6
大栃	5	-	-	

■問24-2 (問24で「2. いいえ」と答えた方に)協力したいと思わない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

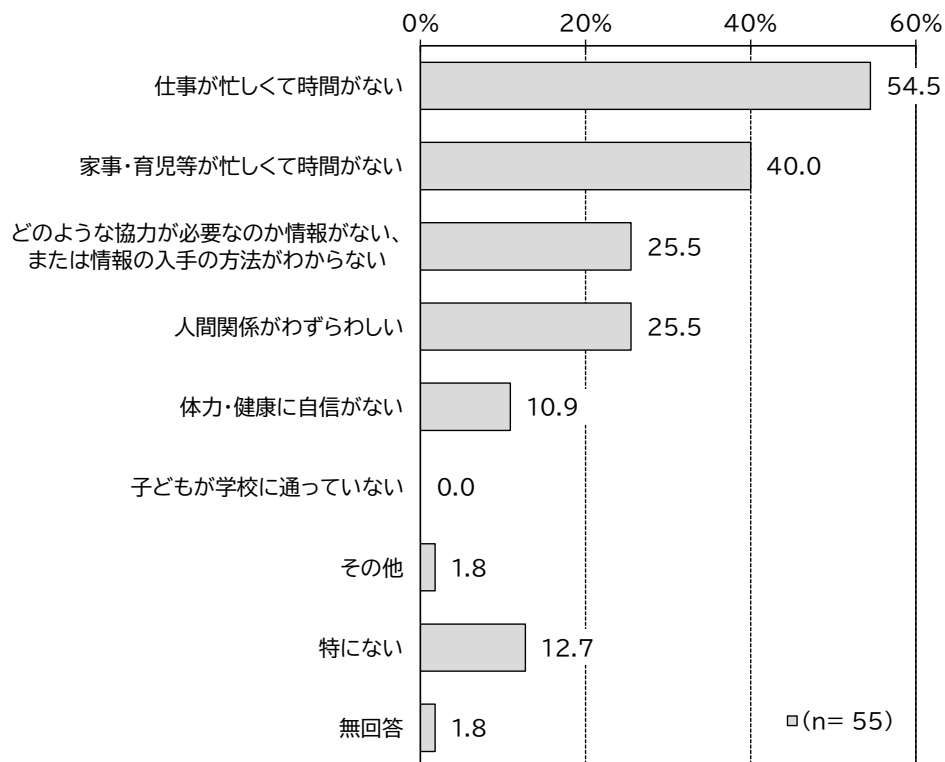
【全体】

教育に協力したいと思わない理由については、「仕事が忙しくて時間がない」が54.5%で最も高く、次いで「家事・育児等が忙しくて時間がない」が40.0%、「どのような協力が必要なのか情報が
ない、または情報の入手の方法がわからない」と「人間関係がわずらわしい」がともに25.5%となっ
ています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、「仕事が忙しくて時間がない」は小学校1年生では7割を超えていま
す。また、小学校1年生と中学校2年生では「人間関係がわずらわしい」が3割を超えています。

小学校区別でみると、大宮で「どのような協力が必要なのか情報が
ない、または情報の入手の方法がわからない」が75.0%となっています。



単位:%

	回答者数(n)	仕事が忙しくて時間がない	家事・育児等が忙しくて時間がない	どのような協力が必要なのか情報がわからない、または情報入手の方法がわからない	人間関係がわずらわしい	体力・健康に自信がない	子どもが学校に通っていない	その他	特になし	無回答	
全体	55	54.5	40.0	25.5	25.5	10.9	-	1.8	12.7	1.8	
学年別の 子の	小学校1年生	19	△73.7	42.1	31.6	31.6	15.8	-	5.3	5.3	-
	小学校5年生	20	45.0	40.0	20.0	▼15.0	▼	-	-	20.0	5.0
	中学校2年生	15	▼40.0	40.0	26.7	33.3	20.0	-	-	13.3	-
小学校区別の	山田	23	52.2	47.8	17.4	26.1	8.7	-	4.3	8.7	4.3
	楠目	13	61.5	38.5	△53.8	23.1	△23.1	-	-	7.7	-
	片地(佐岡含む)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	舟入	11	63.6	36.4	▼	-	18.2	9.1	-	-	△27.3
	香長(繁藤含む)	2	△100.0	△50.0	▼	-	△50.0	▼	-	-	▼
	大宮	4	▼25.0	▼	-	△75.0	△50.0	▼	-	-	▼
大栃	2	▼	-	△50.0	▼	-	▼	-	-	△50.0	

■問25 子どもにとって、地域の中でどのような活動があれば良いと思いますか。
(3つまで○)

【全体】

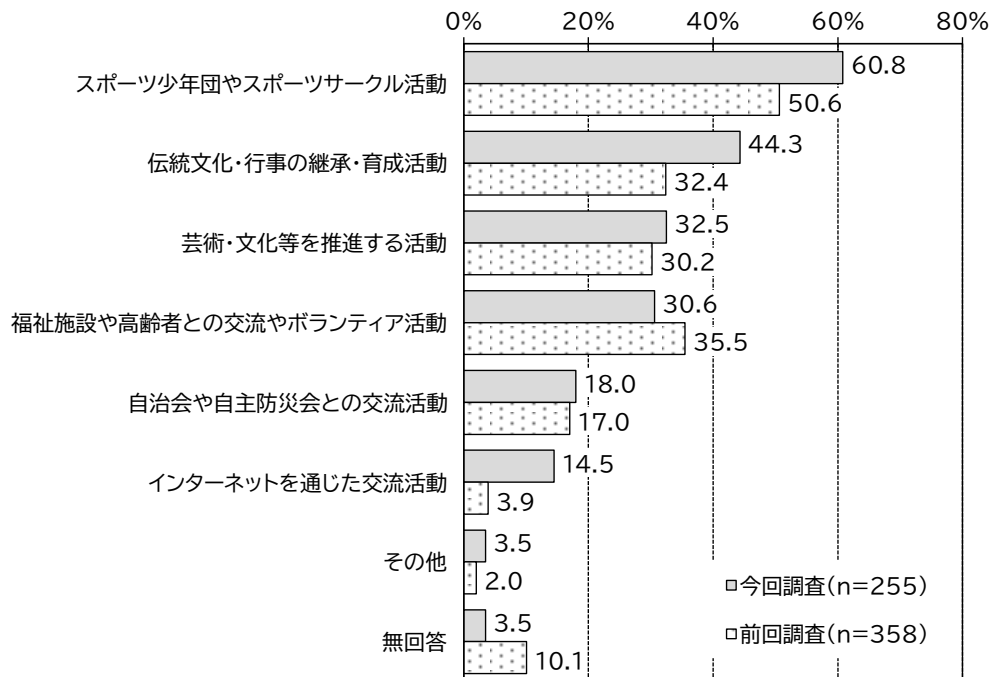
地域の中にあれば良い活動については、「スポーツ少年団やスポーツサークル活動」が60.8%で最も高く、次いで「伝統文化・行事の継承・育成活動」が44.3%、「芸術・文化等を推進する活動」が32.5%、「福祉施設や高齢者との交流やボランティア活動」が30.6%となっています。

前回調査と比べると、「伝統文化・行事の継承・育成活動」は今回調査の方が前回調査を11.9ポイント上回っています。

【属性ごと】

子どもの学年別で見ると、「スポーツ少年団やスポーツサークル活動」は学年が下がるほど高くなり、「伝統文化・行事の継承・育成活動」は学年が上がるほど高くなっています。

小学校区別で見ると、「スポーツ少年団やスポーツサークル活動」が片地(佐岡含む)、舟入、大栃で特に高く、「伝統文化・行事の継承・育成活動」は香長(繁藤含む)、大宮で高くなっています。



単位:%

	回答者数 (n)	スポーツ少年団やスポーツサークル活動	伝統文化・行事の継承・育成活動	芸術・文化等を推進する活動	福祉施設や高齢者との交流やボランティア活動	自治会や自主防災会との交流活動	インターネットを通じた交流活動	その他	無回答	
全体	255	60.8	44.3	32.5	30.6	18.0	14.5	3.5	3.5	
学年別	小学校1年生	94	68.1	38.3	35.1	26.6	14.9	12.8	7.4	5.3
	小学校5年生	89	58.4	48.3	32.6	29.2	18.0	12.4	-	1.1
	中学校2年生	70	54.3	48.6	30.0	37.1	22.9	20.0	1.4	4.3
小学校区別	山田	115	56.5	41.7	23.5	36.5	20.0	17.4	1.7	4.3
	楠目	42	59.5	50.0	40.5	26.2	19.0	7.1	7.1	2.4
	片地(佐岡含む)	5	△80.0	40.0	40.0	▼20.0	20.0	▼ -	-	-
	舟入	28	△78.6	▼28.6	35.7	21.4	▼ 7.1	14.3	-	3.6
	香長(繁藤含む)	24	58.3	54.2	37.5	33.3	12.5	20.8	-	-
	大宮	32	59.4	△56.3	△43.8	25.0	△28.1	6.3	9.4	6.3
	大栃	7	△85.7	42.9	△42.9	28.6	▼ -	△42.9	-	-

■問26 香美市の教育や生涯学習についての情報を、ふだんどこから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

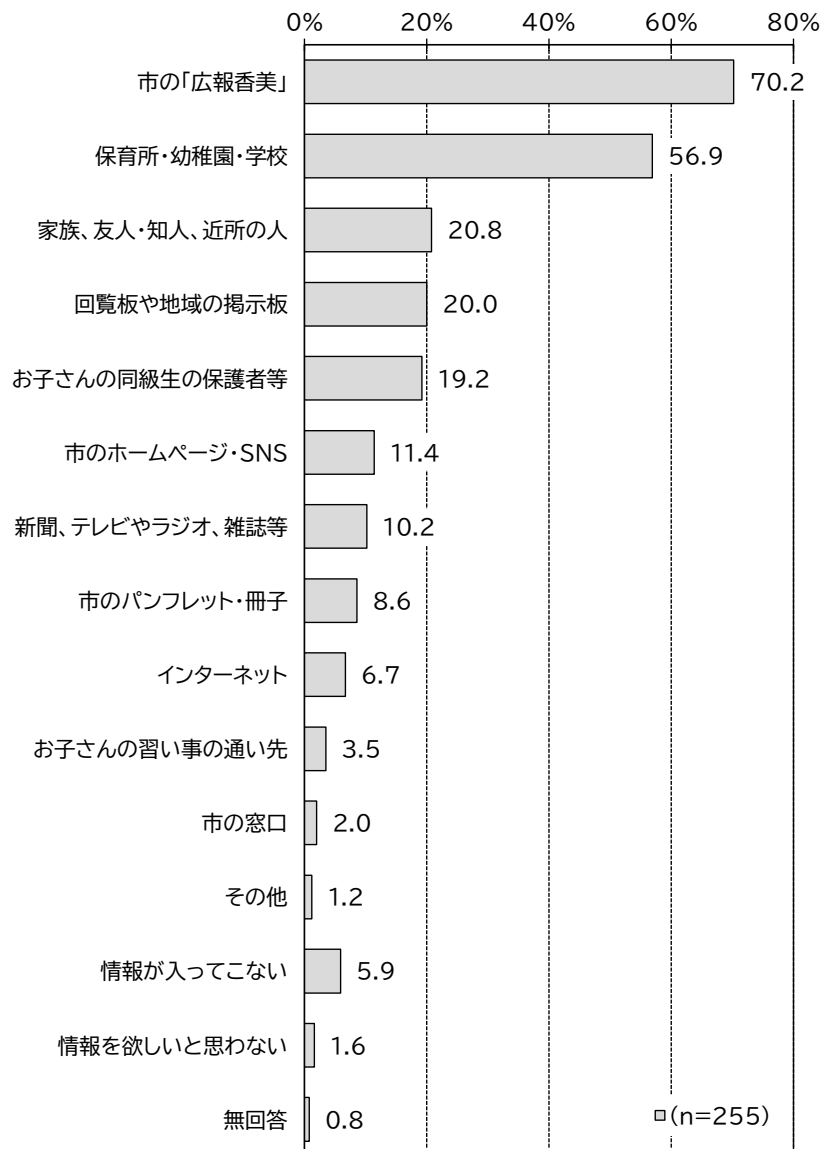
【全体】

香美市の教育や生涯学習についての情報の取得経路については、「市の『広報香美』」が70.2%で最も高く、次いで「保育所・幼稚園・学校」が56.9%、「家族、友人・知人、近所の人」が20.8%、「回覧板や地域の掲示板」が20.0%、「お子さんの同級生の保護者等」が19.2%となっています。

【属性ごと】

子どもの学年別でみると、「市の『広報香美』」は学年が上がるほど高くなり、「保育所・幼稚園・学校」は学年が下がるほど高くなっています。

小学校区別でみると、「市の『広報香美』」は片地(佐岡含む)、大宮、大栃では8割を超えており、「保育所・幼稚園・学校」は香長(繁藤含む)が他の小学校区に比べて高くなっています。



		回答者数 (n)	市の「広報香美」	保育所・幼稚園・学校	家族、友人・知人、近所の	掲示板や地域の掲示板	お子さんの同級生の保護者等	市のホームページ・SNS	新聞、テレビやラジオ、雑誌等	市のパンフレット・冊子	インターネット
全体		255	70.2	56.9	20.8	20.0	19.2	11.4	10.2	8.6	6.7
学年別の	小学校1年生	94	69.1	△69.1	21.3	18.1	20.2	9.6	5.3	11.7	6.4
	小学校5年生	89	67.4	51.7	24.7	19.1	19.1	9.0	13.5	6.7	6.7
	中学校2年生	70	75.7	48.6	15.7	24.3	17.1	17.1	12.9	7.1	7.1
小学校区別の	山田	115	67.8	58.3	24.3	13.0	21.7	11.3	9.6	7.8	4.3
	楠目	42	66.7	57.1	11.9	19.0	16.7	11.9	16.7	9.5	14.3
	片地(佐岡含む)	5	△100.0	60.0	▼ -	20.0	20.0	20.0	▼ -	-	-
	舟入	28	▼57.1	▼46.4	14.3	28.6	25.0	14.3	14.3	7.1	7.1
	香長(繁藤含む)	24	79.2	66.7	20.8	△33.3	▼ 8.3	12.5	8.3	8.3	4.2
	大宮	32	△84.4	56.3	25.0	28.1	12.5	6.3	6.3	15.6	9.4
	大栃	7	△85.7	57.1	△42.9	28.6	28.6	14.3	▼ -	-	-

		回答者数 (n)	お子さんの習い事の通い先	市の窓口	その他	情報が入ってこない	情報を欲しいと思わない	無回答
全体		255	3.5	2.0	1.2	5.9	1.6	0.8
学年別の	小学校1年生	94	6.4	2.1	1.1	4.3	2.1	1.1
	小学校5年生	89	1.1	2.2	1.1	9.0	1.1	-
	中学校2年生	70	2.9	1.4	1.4	4.3	1.4	1.4
小学校区別の	山田	115	3.5	0.9	1.7	4.3	0.9	0.9
	楠目	42	2.4	2.4	2.4	9.5	2.4	2.4
	片地(佐岡含む)	5	-	-	-	-	-	-
	舟入	28	7.1	7.1	-	7.1	3.6	-
	香長(繁藤含む)	24	4.2	-	-	4.2	-	-
	大宮	32	3.1	3.1	-	6.3	3.1	-
	大栃	7	-	-	-	-	-	-

8. 自由記述

- 香美市の教育を盛り上げていくため、ご意見やご要望がございましたら自由にお書きください。

香美市の教育を盛り上げていくための意見・要望については、48人から53件のご意見ご要望がありました。

内容	件数
教育施策・環境について	31件
<p>幼保⇄小⇄中⇄高⇄大でも交流を活発にしてもらいたい。</p>	
<p>様々な状況の家庭がある中、交流の場作りや情報の共有を増やすことが課題だと思う。時間がない中どう解決するかだと思う。</p>	
<p>学校について見聞きすることから、学校の取組に不信感を持つことが年々増えている。</p> <p>学校に行くと、子どもが誰も挨拶しないことが気になる。基本的な学力をつけてくださっていることはありがたいが、自ら目当てを持って学ぶ姿勢や意欲は少ないように思えるので、そういう子どもを育てる指導や教材の研究をしていただきたい。</p> <p>参観日では、毎年同じような教科・内容の授業でなく、色々な教科や取組を公開してもらいたい。学習発表会として、他の小学校では総合的な学習発表の場や色々な文化芸術活動の取組も公開してもらいたい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生以外の人をいっぱい授業に呼んでワクワクすることを増やす。 ・ランドセルを廃止し好きなカバンで登校することをOKにする。 ・給食の時間を長くする。黙食を止める。 ・市長や議員、市の職員が授業をする。 ・出来ていない事より出来たことを伝える。 	
<p>ボランティア等で学校に出入りしていて、先生方の仕事の負担が大き過ぎるのではないかと心配になる。香美市の教育の取り組みが、結局先生方の負担になっているものもあるのではないかと。先生方には、じっくりと子どもと話す時間を持ってもらい、子供達のことをしっかり見て頂ければ親として十分に思う。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士比べなくて良いように通知表をなくして欲しい。一人一人の個性や良い所を誉めて、伸ばして、自信を付けて、楽しく元気に育てて欲しい。もっと自分のやりたい事に学びを深めて欲しい。 ・豊かな自然にはぐくまれた地域の食材を活用した「和食」を中心に、学校給食を日本の農業や食文化を改めて学ぶ機会と考え、オーガニック給食の実現をめざして欲しい。 ・副担任先生の充実。先生の数が足りていない為に子供の心や様子がケアされていない。子供が安心して楽しく過ごせる環境を作れるように先生、学校、家庭が相談して子供の成長を見守っていける環境であって欲しい。 ・マスクについて、強制ではなくお互いの尊重、多様性を認め合える環境に感謝している。 	
<p>子供だけでなく先生も早く帰れて休みの日もしっかり休める環境になると良い。</p> <p>もし、いじめが分かった時には警察にすぐ相談できる体制にして欲しい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・香美市内の小学校間の交流の回数を増やしてはどうか。 ・食育に力を入れてほしい。学期毎に1回程度で自分のお弁当作りやって欲しい。 ・給食のラーメン取りやめ。全く美味しくないのに何回も出るのでやめてほしい。 	
<p>生きていくにあたり困った時に使える制度や知らないといけない税に関する知識を学校で教えてほしい。</p> <p>子ども自身が虐待に気づいたり、相談できる情報を教えてほしい。</p> <p>自分の経験から幼い頃に性教育を行うことは子供の将来を守ることに繋がるため、どのようなことが性的な暴力にあたり、どこに相談するのかを教えることは必要だと考える。</p>	

不登校や発達特性のある児童生徒が、それぞれが所属している保育園や学校で、イキイキと活動できるような環境を作って欲しい。障害のあるなしに関わらず、それぞれに適切な教育を受け、一緒に成長することで、互いを知り、付き合い方を学び、大人なっても支え合い、素敵な街になると確信している。
コロナで子供たちの活動場所が減った。学校と家庭が連携して子供たちの活動の場所が増えれば豊かな学校生活になると思う。
ドキュメンタリー映画「夢見る小学校」を多くの教育関係の方に見て頂きたい。これからの時代、子供の力を信じ、本当に伸ばしてあげられる教育が変わっていくことを願っている。
地域と学校の連携、協働が必要であるが、学校に外部から接触するのは難しく、学校から地域にもっと来てもらえたら提案できることもあるのではないかと。共働きが増えているにもかかわらず、協力したくても仕事を休まないといけない現状である。子供が学校に通っていない世帯は学校のことを何も知らないと思う。
家庭での基本的な生活習慣やしつけの問題を保育園や学校に任せ過ぎている。家庭教育を保育園や学校が担うのではなく、各家庭でできるような促しや、支援が必要だと思う。
小学校ではタブレット端末を有効活用しているが、中学校に入ると使用頻度が減り、活用できていないように思えて残念だ。
小学校で病気で欠席してもタブレット端末を利用して授業に参加できるが、中学校は対応していないので欠席時の勉強が心配である。
コロナ下でも行事の参加人数を家族の人数にしてもらいたい。子どもにも将来子どもに関心をもって子育てする人間になってもらいたい。
防災学習についての取組が、とても薄いように感じる。小中学校でも引渡し訓練をしたり、保護者も巻き込んだ防災教育をしたり新しい取組をぜひお願いしたい。 連絡手段が学校からの一斉メール配信か電話である現状は改良の余地がある。災害時などに備えて、アプリを導入するなど連絡手段を複数確保しておくような手立てを早急にとっていただきたい。
子どもたちがもっと自由に考えて表現できるよう大人が言いすぎないことを大切にしていきたい。 宿題など課題に対してももっと自由度があればよい。 食は大切なのでより安全なものへシフトするよう希望する。
子どもが通う小学校では、今までの総合授業では子どもたちのやりたい気持ちを尊重して話し合いで決めていたが、今年度からは学年ごとにすることが決められてしまい、親子ともに不満である。
他県に負けない教育レベルと、子供たちが将来県内や地元で仕事をしていけるようにして行ってほしい。
アンガーマネジメントなどで言われている、なぜ自分がその気持ちになるか、自分の内面を深掘りする教育をした方がよい。それにより相手の気持ちを想像する力も養え、捉え方を変えることもできる。
授業参観以外にWeb配信してほしい。 外部の社会人による勉強が仕事にどう役立つといった講習機会をつくり、勉強する意義を子どもに意識させてほしい。
都会と地方の学力差がなくなるといい。
農業を取り巻く環境は、後継者不足や耕作放棄地等々の問題が山積みで、今後更に離農が加速する事は明白である。人々の食を支える農業の大切さや大変さ、楽しさ、やりがいを知ってもらう教育を取り入れて行くべきだ。
教育にお金をかけて、国や県の定めた数より教員を増やして欲しい。
子どもにとって「忘れられない体験」を作り、承認体験や能動的体験の数を増やす機会を作る。
部活動廃止を当事者に寄り添い深く考えてほしい。部活動は教育の一環であり裕福でない家庭にもありがたい活動だと思う。
スポーツ活動に熱心になってほしい。
朝のマラソン(ウォーキングを含む)をして欲しい。
いじめっ子へのカウンセリング。

市の施策等について	10件
<p>コロナに振り回されず、子供の”今”を大事にして、子供たちの楽しむ行事、輝ける場を奪わないで欲しい。行政は”縁の下の力持ち”となって支えて欲しい。</p> <p>子供たちをいつも見ている現場の先生が働きやすい職場を作ってあげて欲しい。</p>	
<p>地域の良きをもっとたくさんの人に知ってもらって、山間部にも子供たちが増えてくれるように発信してもらいたい。子育てにはとても良い環境である。</p>	
<p>各地域の保護者が集まり、情報交換などできる座談会のようなものがあればいい。</p>	
<p>まず大人がしらげず、過ごすことが大切。市民、一人一つ趣味宣言とか、文化スポーツ振興の指導者も後継者も育てないようにみえる。</p> <p>地域のリーダーが、盛り上げるスタートダッシュが必要。</p>	
<p>図書館は市民が自ら学ぶことを支える場所で、とても重要な場所だと考えている。図書館は、その地域における「市民の知」に対する認識を測る施設で、そこで働く図書館司書は市民の知、知る権利を守る人であると思っている。</p> <p>市内の図書館に、現在行われている感染症対策に異議を唱える専門家の本を置いてほしいとお願いして断られた。市民が多様な専門家などの多方面から学ぶことは、非常に重要だと考えている。市民ひとりひとりが調べ、情報にふれ、考える場として図書館は重要なのではないかと思う。</p>	
<p>広報香美を全世帯に配布してほしい。</p>	
<p>バカロレアを勧めたい行政、それを目的に移住してきた住民と地元民との間に大きな温度差がある。</p>	
<p>今取り組まれている学園都市構想は全くハリボテだと感じる。</p> <p>教員の数、資質、子供と家庭への負担など問題点は山積みで、子供がのびのび、大人がしっかり向き合える環境を整える事が先決ではないか。</p>	
<p>小学校の保護者ですが、コミュニティスクールの存在を初めて知った。活動内容や役員名簿、役員選出方法等の公表を要望する。</p>	
<p>PDCAを回してほしい。</p>	
教職員について	5件
<p>指導力のある先生が全体的に少なく、年々減っていると感じる。また、全教職員が一体となって子どもを育てるという姿勢が感じられず、各学級、学年のしていることが全体(管理職)で共有されていないことがよくある。教育委員会の方々にも、視察や聞き取りなどのリサーチをもっとしていただきたい。</p> <p>先生方もご苦労されていることは重々わかっている。私たち保護者もできることはするので、お互いの要望など出し合いながら協力していけたらいいと思う。</p>	
<p>子どもにも人権があるということを先生にも知って欲しい。暴力的な口調で従わせようとするのは、止めてもらいたい。</p>	
<p>一部の教師が子どもを叱りつけて従わせようとする姿勢が目にする。それを問題視し改善しようという中学校としての取り組み、あるいは香美市教育委員会なども具体的な取り組みがなされているのか疑問だ。教員の指導力向上、適切な教育者の人選に力を注いで頂きたい。一個人の意見でも公の場でも公開して頂き、当人の先生に気付いて頂くことはもちろん、香美市教育に携わる方々からの客観的なご意見や具体的な取り組みも示してもらいたい。</p>	
<p>先生の質を上げて欲しい。子供のことをきちんと聞いてくれる先生が良い。頭ごなしに怒ったりするのをやめて欲しい。</p>	
<p>先生の児童に対する言葉使いが気になる。「お前ら」など日頃家庭では子どもに使用しない言葉を安易に使用している。大人らしい言葉を心掛けてほしい。</p>	
生活環境について	2件
<p>小児科を作ってほしい。</p>	
<p>横断歩道を渡らない、歩道前で停止しないなどの交通マナーの悪さが気になる。交通マナーも大人が見本となるべきではないか。</p>	

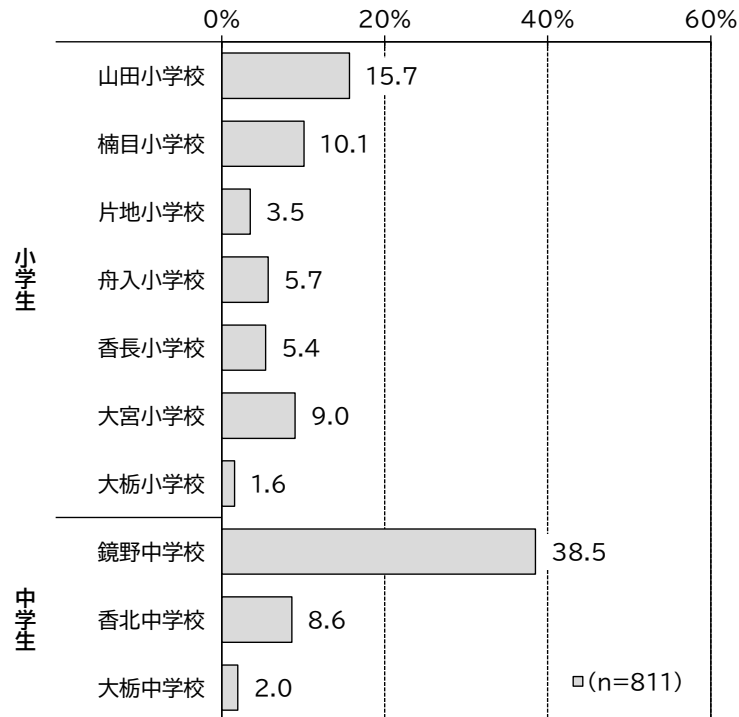
アンケートについて	2件
アンケートで問われた取組の中で実際の活動のイメージが湧きにくいものがある(例:コミュニティスクール)。動画で紹介するものがあれば、より理解が深まるので検討いただきたい。	
アンケート表紙の番号で個人が特定されるのでと不安がある。	
その他	3件
市内に保育園から大学までであるという強みを生かすのならば、学力、進路、特色等含めて、その高校・大学に行きたいと思える学校になって欲しい。	
友人から、市内の小学校の校舎が古くて危険を感じると聞いた。	
教育委員会で考えてほしい。	

IV 小中学生調査の結果

1. 回答者について

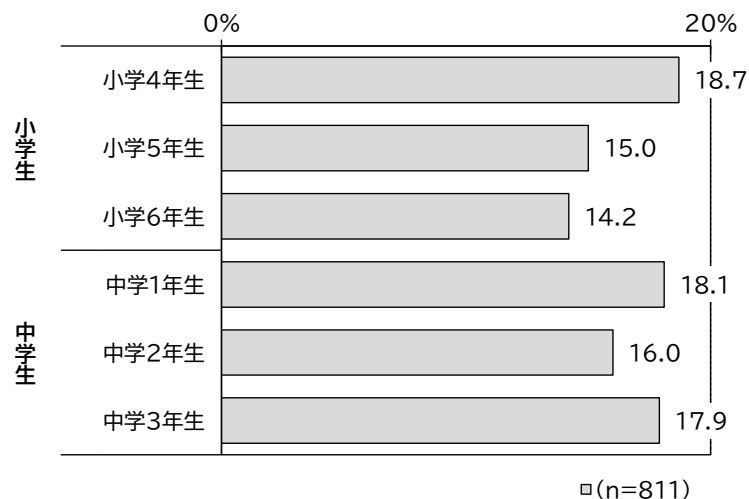
■通学している学校

通学している学校については、「鏡野中学校」が38.5%で最も高く、次いで「山田小学校」が15.7%、「楠目小学校」が10.1%、「大宮小学校」が9.0%、「香北中学校」が8.6%となっています。



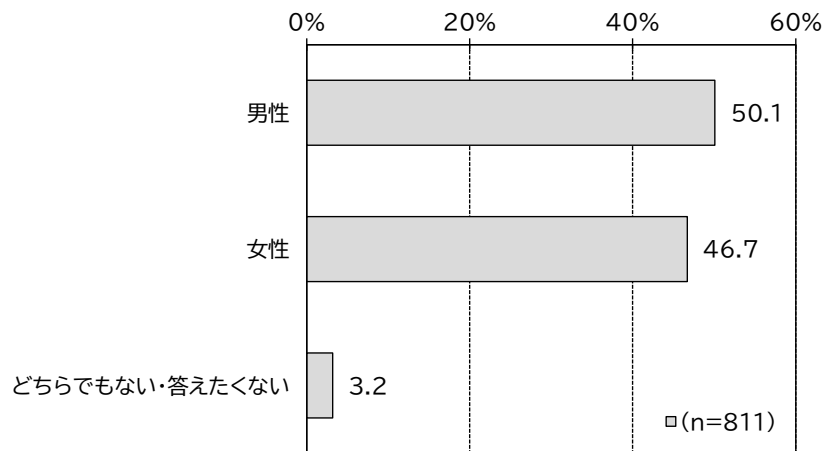
■学年

学年については、「小学4年生」が18.7%で最も高く、次いで「中学1年生」が18.1%、「中学3年生」が17.9%、「中学2年生」が16.0%、「小学5年生」が15.0%、「小学6年生」が14.2%となっています。



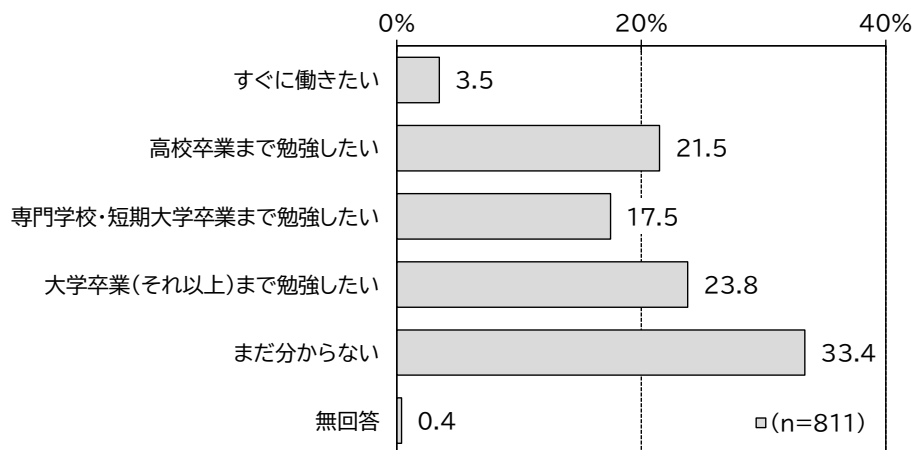
■性別

性別については、「男性」が50.1%、「女性」が46.7%、「どちらでもない・答えたくない」が3.2%となっています。



■中学校卒業後の進路について

中学校卒業後の進路については、「まだ分からない」が33.4%で最も高く、次いで「大学卒業(それ以上)まで勉強したい」が23.8%、「高校卒業まで勉強したい」が21.5%、「専門学校・短期大学卒業まで勉強したい」が17.5%となっています。



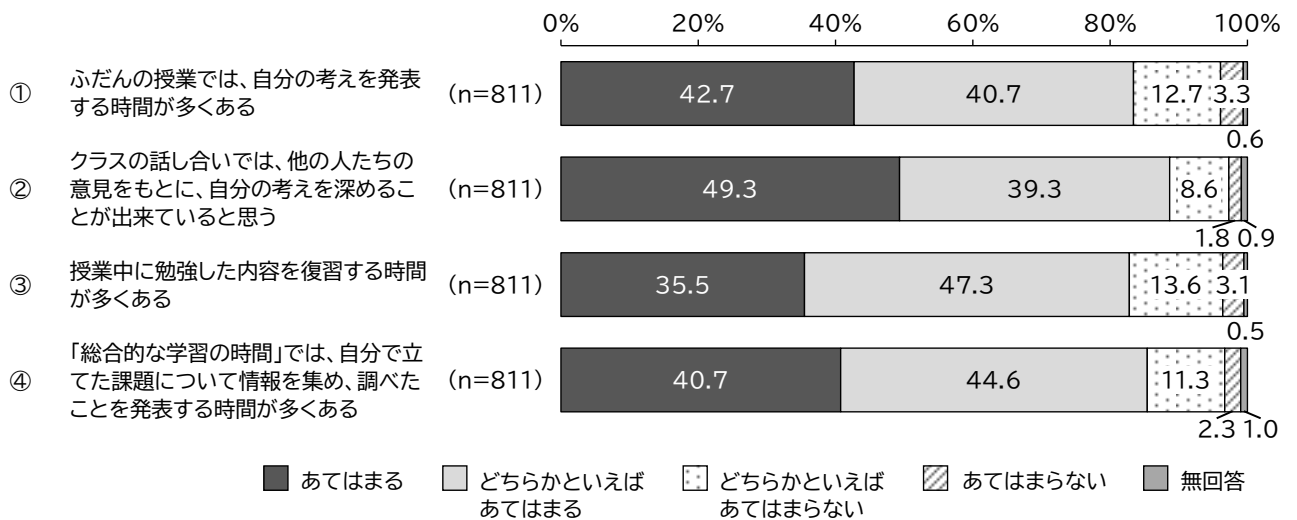
2. 学校生活について

■問1 学校での取り組みについて、どう思いますか。

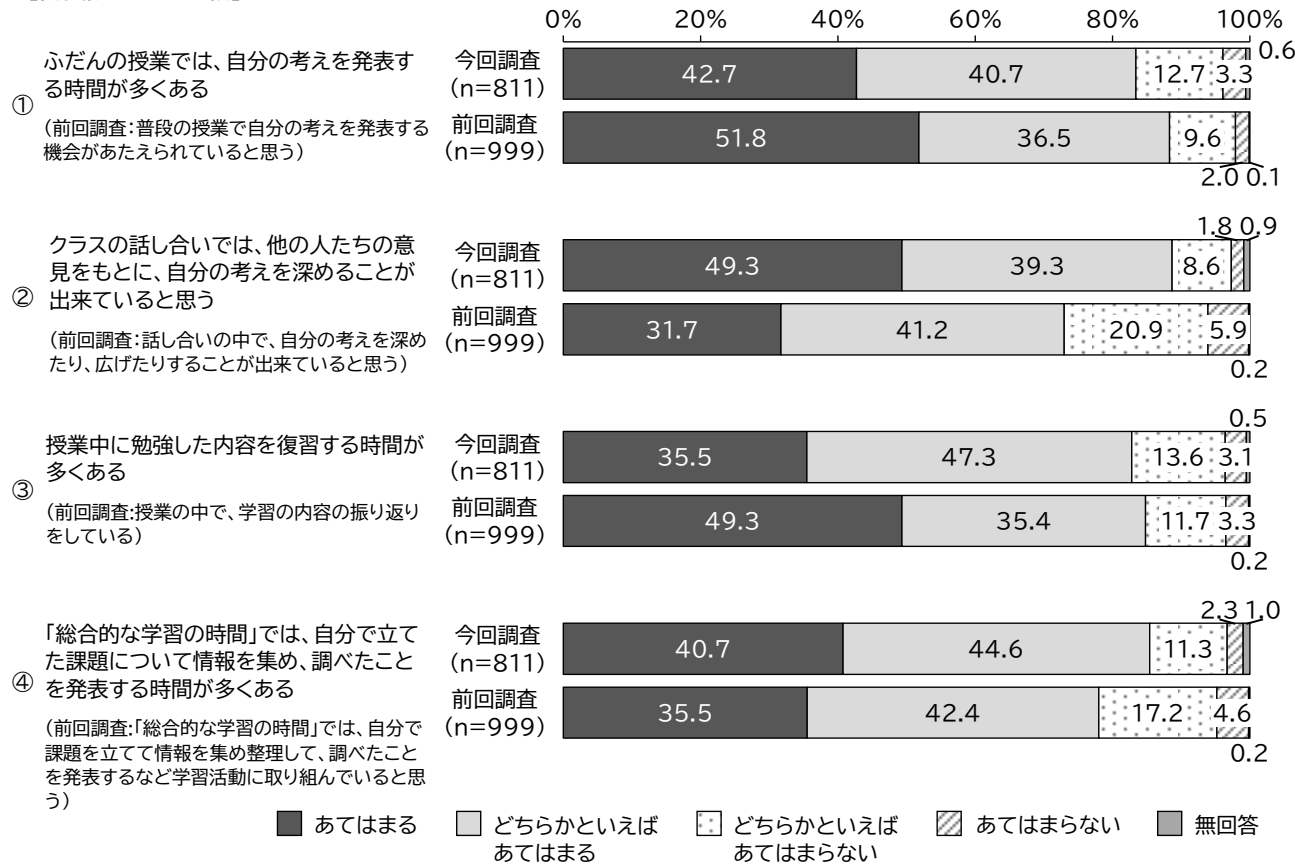
【全体】

学校での取り組みについては、すべての項目で「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』が8割以上を占めており、「② クラスの話し合いでは、他の人たちの意見をもとに、自分の考えを深めることが出来ていると思う」で88.6%となっています。

前回調査と比べると、「② クラスの話し合いでは、他の人たちの意見をもとに、自分の考えを深めることが出来ていると思う」で『あてはまる』は今回調査の方が前回調査を15.7ポイント上回っています。

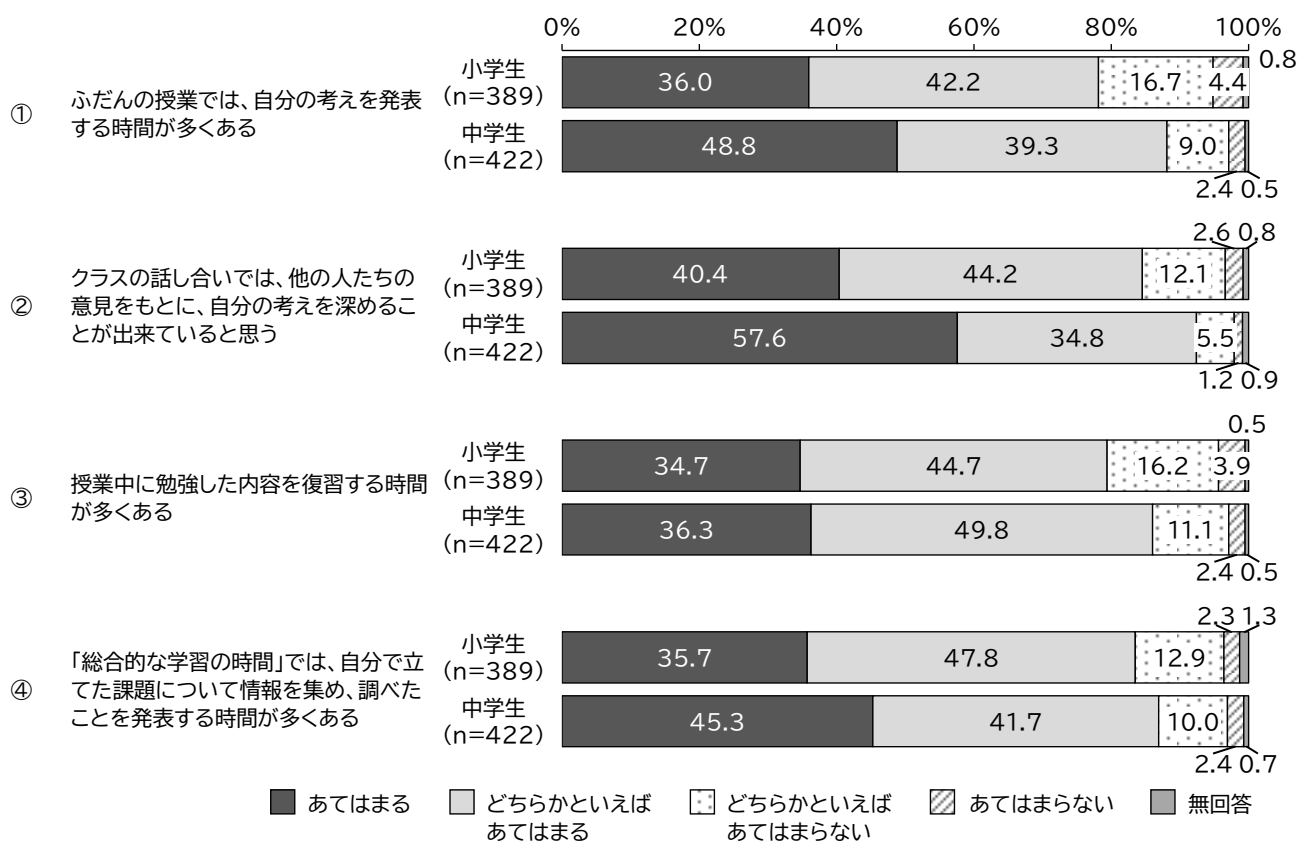


【前回調査との比較】



【属性ごと】

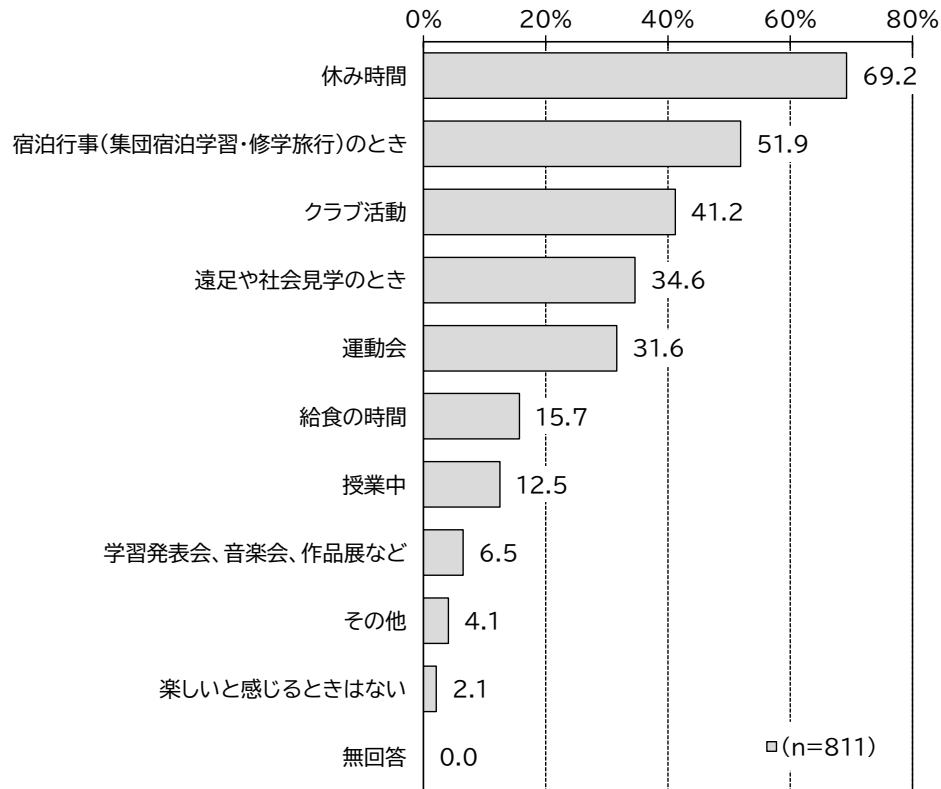
学年別でみると、すべての項目で『あてはまる』は中学生の方が小学生を上回っており、「① ふだんの授業では、自分の考えを発表する時間が多くある」で9.9ポイント上回っています。



■問2 あなたは、学校でどんなときに楽しいと感じますか。
(特にあてはまるもの3つまで○)

【全体】

学校での楽しいことについては、「休み時間」が69.2%で最も高く、次いで「宿泊行事(集団宿泊学習・修学旅行)のとき」が51.9%、「クラブ活動」が41.2%となっています。



【属性ごと】

学年別でみると、「遠足や社会見学するとき」は小学生の方が中学生を30ポイント以上上回っています。また、「休み時間」は中学生の方が小学生を10ポイント以上上回っています。

単位:%

		全体 (n)	休み時間	宿泊行事(集団宿泊学習・修学旅行)のとき	クラブ活動	遠足や社会見学のとき	運動会	給食の時間	授業中	学習発表会、音楽会、作品展など	その他
全体		811	69.2	51.9	41.2	34.6	31.6	15.7	12.5	6.5	4.1
学年別	小学生	389	61.4	50.9	48.1	△50.6	26.7	14.1	11.1	6.4	4.1
	中学生	422	76.3	52.8	34.8	▼19.9	36.0	17.1	13.7	6.6	4.0

		全体 (n)	楽しいと感じるときはない	無回答
全体		811	2.1	-
学年別	小学生	389	1.8	-
	中学生	422	2.4	-

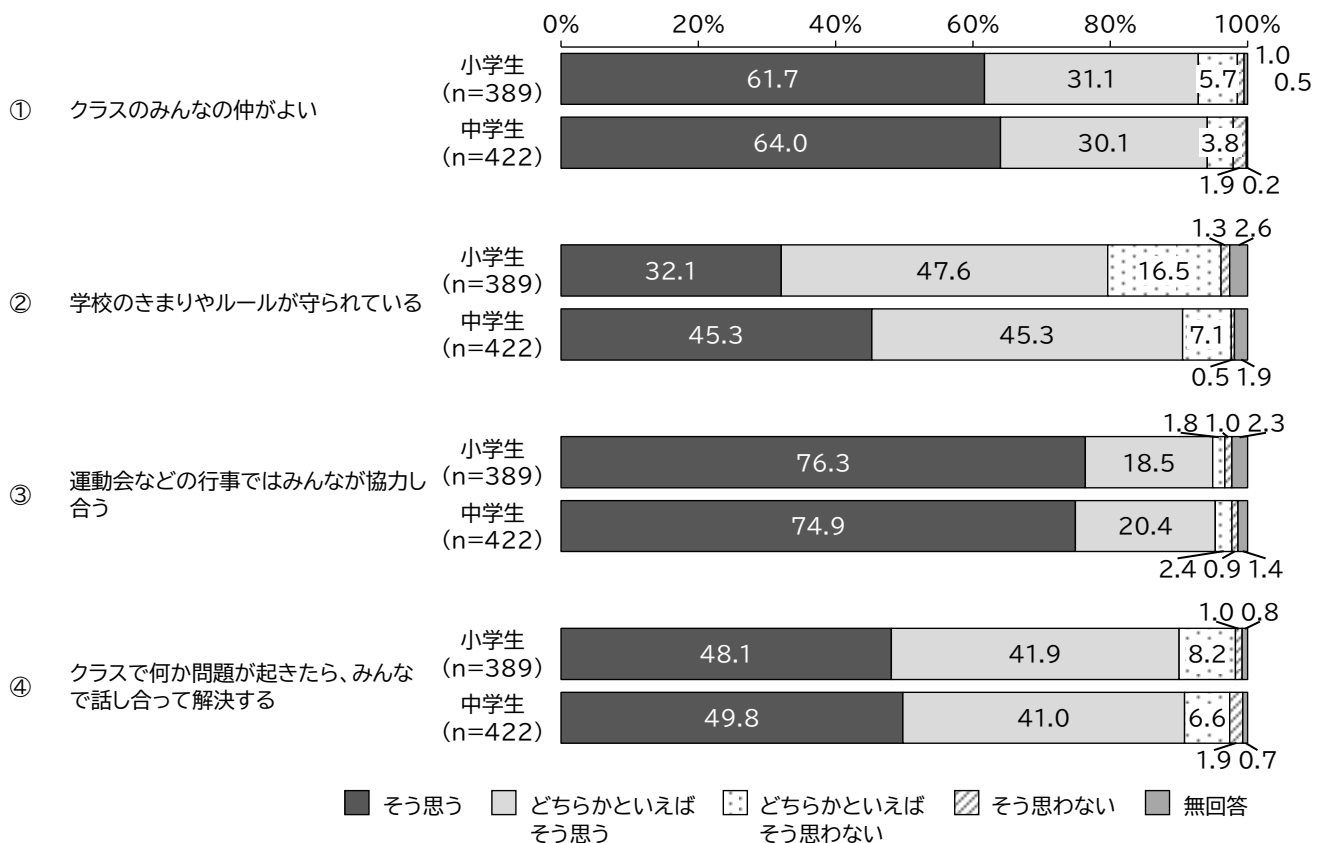
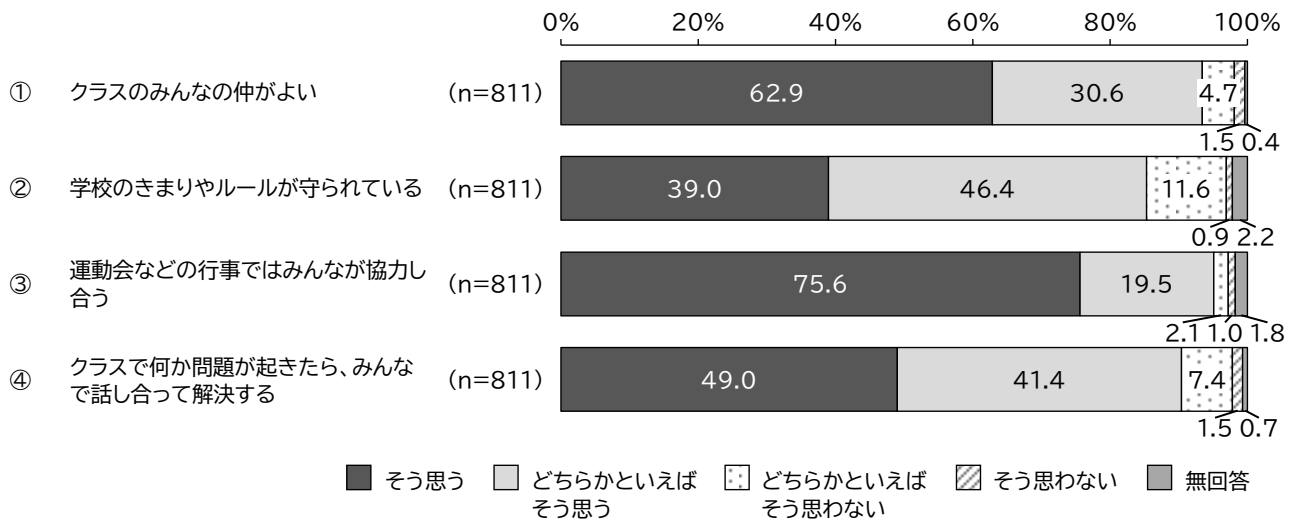
■問3 あなたのクラスは、どんなクラスだと思いますか。

【全体】

クラスについては、すべての項目で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が8割以上を占めており、「③ 運動会などの行事ではみんなが協力し合う」で95.1%となっています。

【属性ごと】

学年別で見ると、「② 学校のきまりやルールが守られている」で中学生の方が小学生を『そう思う』が10ポイント以上上回っています。



3. 家庭での生活について

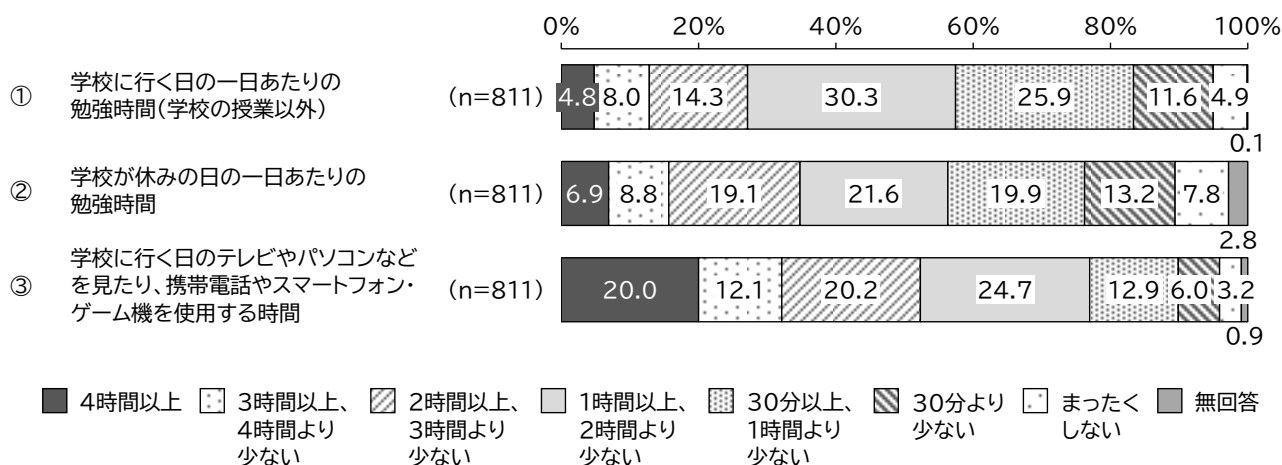
■問4 ふだん勉強したり遊んだりしている時間は、どのくらいですか。

【全体】

勉強や遊びの時間については、「① 学校に行く日の一日あたりの勉強時間(学校の授業以外)」では、「1時間以上、2時間より少ない」が30.3%で最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が25.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が14.3%となっています。

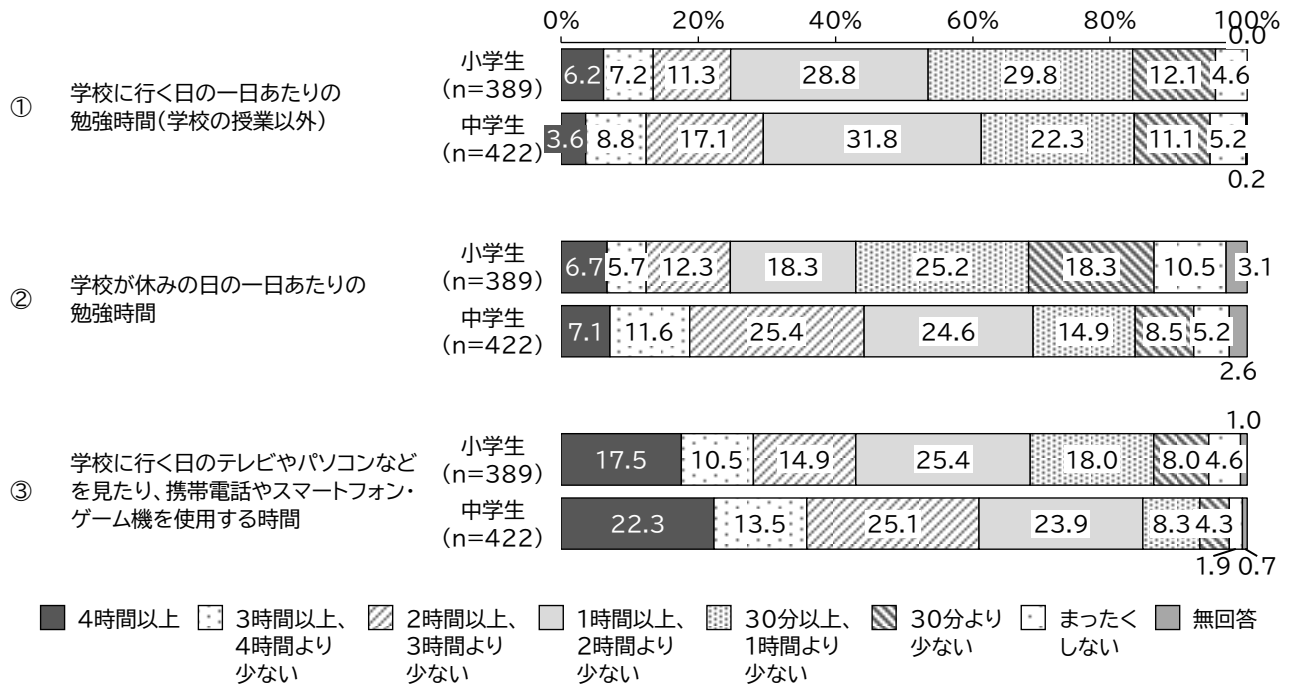
「② 学校が休みの日の一日あたりの勉強時間」では、「1時間以上、2時間より少ない」が21.6%で最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が19.9%、「2時間以上、3時間より少ない」が19.1%となっています。

「③ 学校に行く日のテレビやパソコンなどを見たり、携帯電話やスマートフォン・ゲーム機を使用する時間」では、「1時間以上、2時間より少ない」が24.7%で最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」が20.2%、「4時間以上」が20.0%となっています。



【属性ごと】

学年別でみると、「② 学校が休みの日の一日あたりの勉強時間」と「③ 学校に行く日のテレビやパソコンなどを見たり、携帯電話やスマートフォン・ゲーム機を使用する時間」で、全体的に取組時間が、中学生の方が小学生を上回っています。

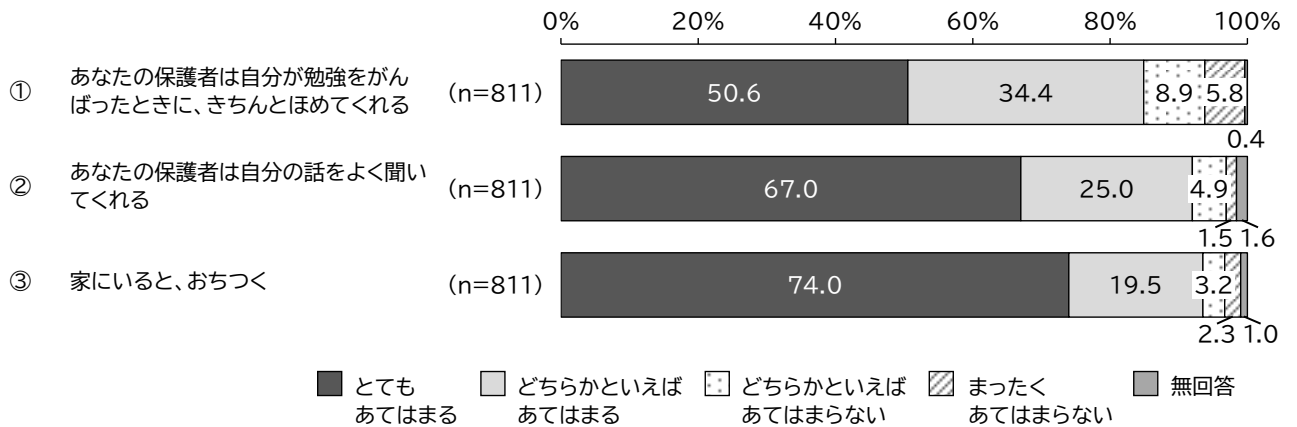


■問5 以下のことについて、あなたにはどのくらいあてはまりますか。

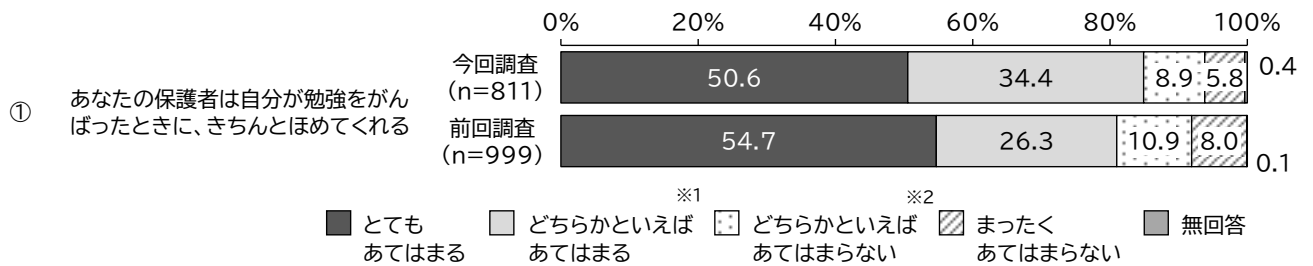
【全体】

保護者や家のことについては、「とてもあてはまる」が「③ 家にいると、おちつく」で74.0%、「② あなたの保護者は自分の話をよく聞いてくれる」で67.0%となっています。一方で、「① あなたの保護者は自分が勉強をがんばったときに、きちんとほめてくれる」は「どちらかといえばあてはまらない」が8.9%、「まったくあてはまらない」が5.8%で、他の項目と比べてやや高くなっています。

前回調査と比べると、「① あなたの保護者は自分が勉強をがんばったときに、きちんとほめてくれる」で、「とてもあてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は、今回調査の方が前回調査を4.0ポイント上回っています。



【前回調査との比較】

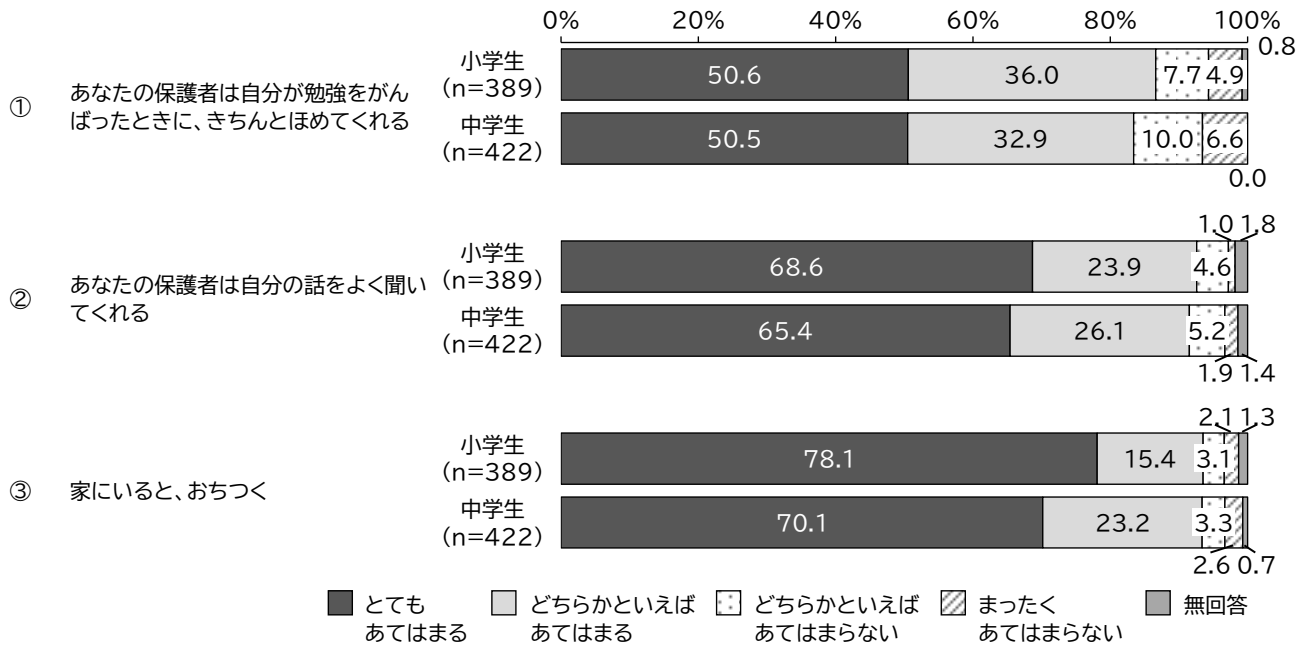


※1 前回調査の選択肢は「ややあてはまる」

※2 前回調査の選択肢は「あまりあてはまらない」

【属性ごと】

学年別でみると、すべての項目で「とてもあてはまる」は小学生の方が中学生を上回っており、「③ 家にいると、おちつく」で8.0ポイント上回っています。



■問6 家にある携帯電話やスマートフォン、タブレット、パソコンなどの電子通信機器などのなかで自由に使えるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

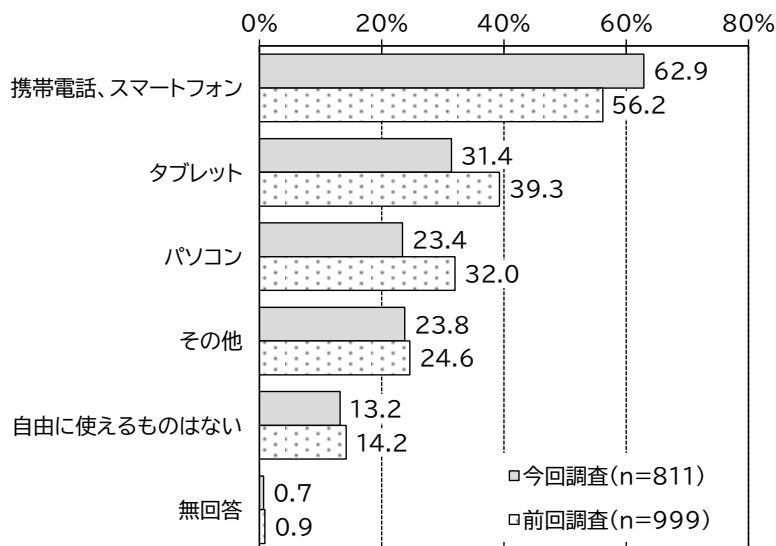
【全体】

自由に使える電子通信機器については、「携帯電話、スマートフォン」が62.9%で最も高く、次いで「タブレット」が31.4%、「その他」が23.8%、「パソコン」が23.4%となっています。

前回調査と比べると、「携帯電話、スマートフォン」は今回調査の方が前回調査を6.7ポイント上回っています。また、「パソコン」は今回調査の方が前回調査を8.6ポイント下回っています。

【属性ごと】

学年別で見ると、「携帯電話、スマートフォン」は中学生の方が小学生を30ポイント以上上回っています。また、「その他」と「自由に使えるものはない」は小学生の方が中学生をそれぞれ10ポイント以上上回っています。



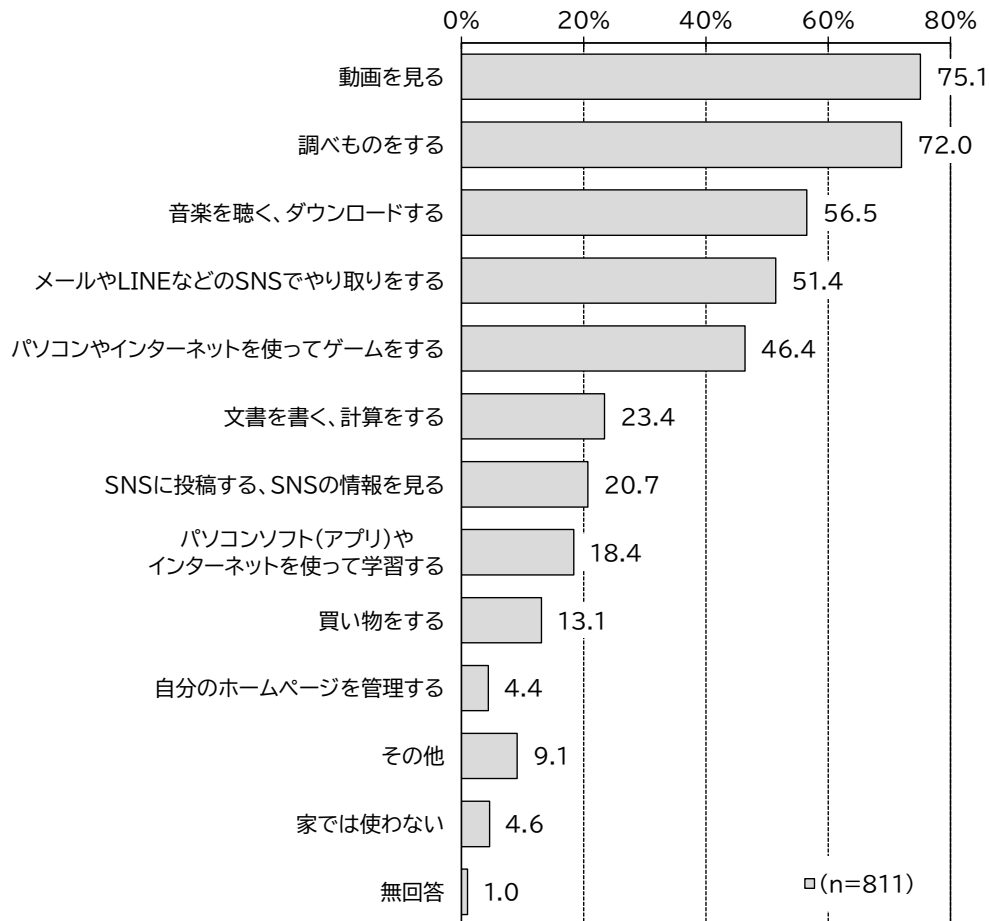
単位: %

		全体 (n)	携帯電話、スマートフォン	タブレット	パソコン	その他	自由に使えるものはない	無回答
全体		811	62.9	31.4	23.4	23.8	13.2	0.7
学年別	小学生	389	▼44.0	30.8	23.4	30.6	19.5	1.0
	中学生	422	△80.3	32.0	23.5	17.5	7.3	0.5

■問7 家にある携帯電話やスマートフォンやタブレット、パソコンなどを使って何をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

電子通信機器の用途については、「動画を見る」が75.1%で最も高く、次いで「調べものをする」が72.0%、「音楽を聴く、ダウンロードする」が56.5%となっています。



【属性ごと】

学年別でみると、中学生の方が小学生を、「メールやLINEなどのSNSでやり取りをする」で49.4ポイント、「音楽を聴く、ダウンロードする」で33.9ポイント、「SNSに投稿する、SNSの情報を見る」で28.9ポイント上回っています。

単位:%

		全体 (n)	動画を見る	調べものをする	音楽を聴く、ダウンロードする	メールやLINEなどのSNSでやり取りをする	パソコンやインターネットを使ってゲームをする	文書を書く、計算をする	SNSに投稿する、SNSの情報を見る	パソコンソフト(アプリ)を使う	買い物をする
全体		811	75.1	72.0	56.5	51.4	46.4	23.4	20.7	18.4	13.1
学年別	小学生	389	65.8	▼59.6	▼38.8	▼25.7	42.2	18.3	▼5.7	16.5	4.4
	中学生	422	83.6	△83.4	△72.7	△75.1	50.2	28.2	△34.6	20.1	21.1

		全体 (n)	自分のホームページを管理する	その他	家では使わない	無回答
全体		811	4.4	9.1	4.6	1.0
学年別	小学生	389	3.3	11.8	6.9	1.5
	中学生	422	5.5	6.6	2.4	0.5

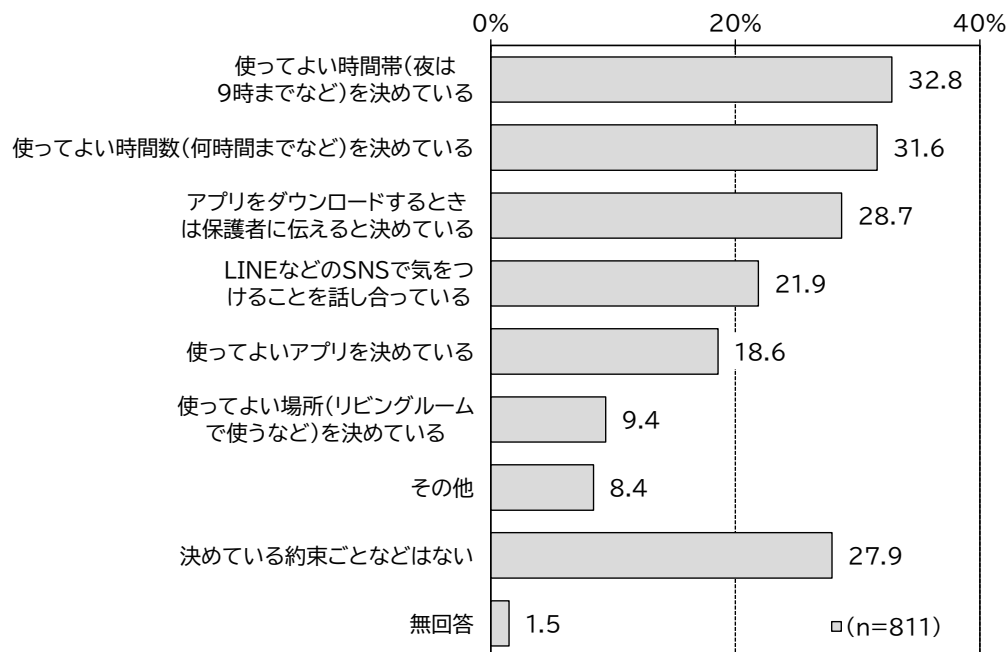
■問8 家の中での携帯電話やスマートフォンの使い方について、保護者と決めている約束ごとなどがありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

電子通信機器を使う際の約束ごとについては、「使ってよい時間帯(夜は9時までなど)を決めている」が32.8%で最も高く、次いで「使ってよい時間数(何時間までなど)を決めている」が31.6%、「アプリをダウンロードするときは保護者に伝えると決めている」が28.7%、「決めている約束ごとなどはない」が27.9%となっています。

【属性ごと】

学年別で見ると、「使ってよい時間数(何時間までなど)を決めている」は小学生の方が中学生を10ポイント以上上回っています。また、「LINEなどのSNSで気をつけることを話し合っている」と「決めている約束ごとなどはない」は中学生の方が小学生をそれぞれ10ポイント以上上回っています。



単位:%

		全体 (n)	使ってよい時間帯(夜は9時までなど)を決めている	使ってよい時間数(何時間までなど)を決めている	アプリをダウンロードするときは保護者に伝えると決めている	LINEなどのSNSで気をつけることを話し合っている	使ってよいアプリを決めている	使ってよい場所(リビングルームで使うなど)を決めている	その他	決めている約束ごとなどはない	無回答
全体		811	32.8	31.6	28.7	21.9	18.6	9.4	8.4	27.9	1.5
学年別	小学生	389	36.0	40.6	30.6	16.5	20.8	12.3	11.1	20.8	2.3
	中学生	422	29.9	23.2	27.0	27.0	16.6	6.6	5.9	34.4	0.7

4. 地域について

■問9 山田高等学校について、地域の高校として愛着はありますか。(1つに○)

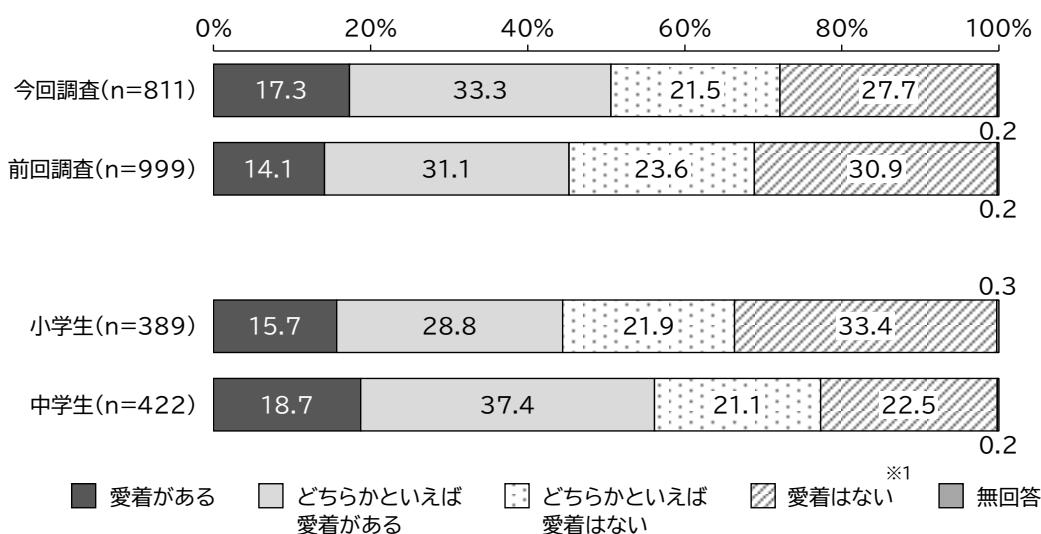
【全体】

山田高等学校への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が33.3%で最も高く、次いで「愛着はない」が27.7%、「どちらかといえば愛着はない」が21.5%となっています。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が50.6%となっています。

前回調査と比べると、『愛着がある』は今回調査の方が前回調査を5.4ポイント上回っています。

【属性ごと】

学年別で見ると、『愛着がある』は中学生の方が小学生を10ポイント以上上回っています。



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

■問10 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

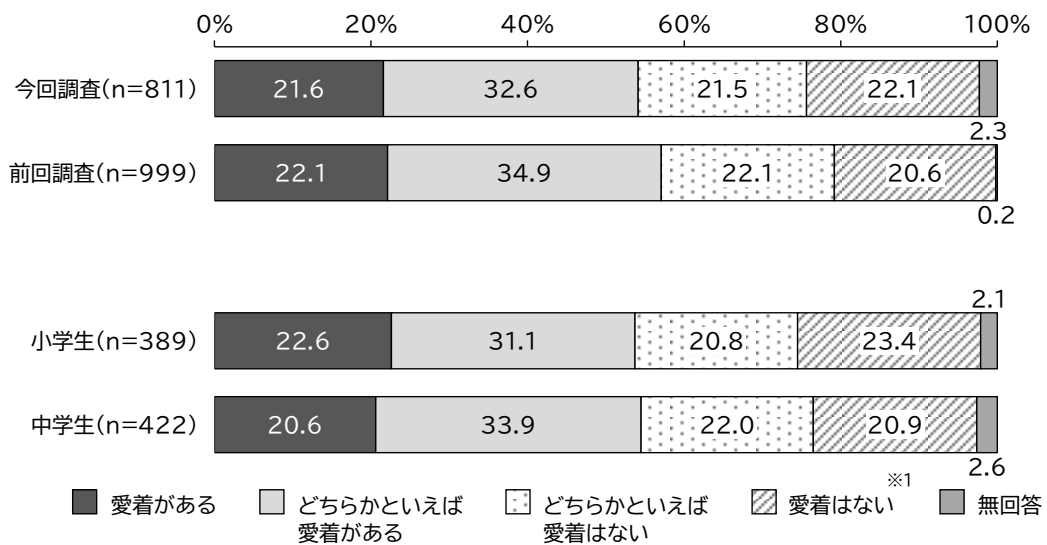
【全体】

高知工科大学への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が32.6%で最も高く、次いで「愛着はない」が22.1%、「愛着がある」が21.6%となっています。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある』が54.2%となっています。

前回調査と比べると、『愛着がある』は今回調査の方が前回調査を2.8ポイント下回っています。

【属性ごと】

学年別でみると、小学生と中学生で大きな差はありません。



※1 前回調査の選択肢は「あまり愛着はない」

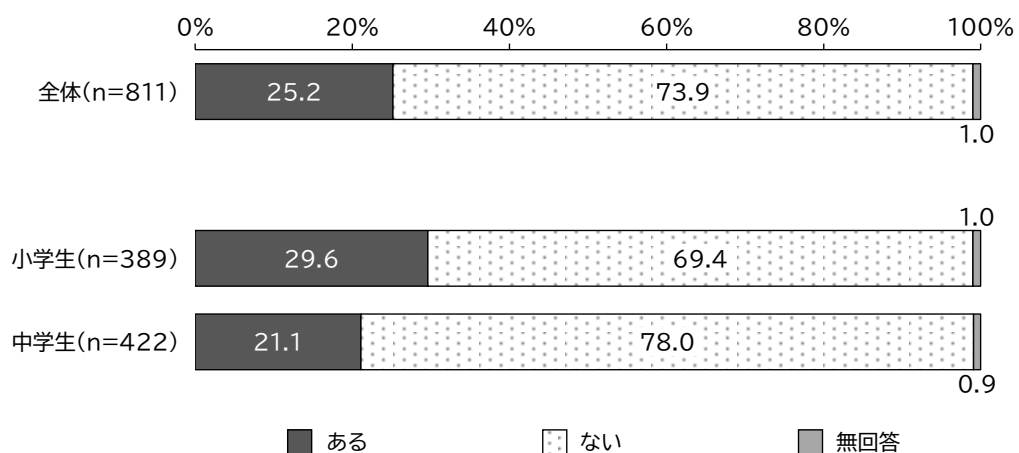
■問11 あなたは、地域の高校生や大学生と一緒にやってみたいことはありますか。
(1つに○)

【全体】

地域の高校生や大学生と一緒にやってみたいことについては、「ある」が25.2%、「ない」が73.9%となっています。

【属性ごと】

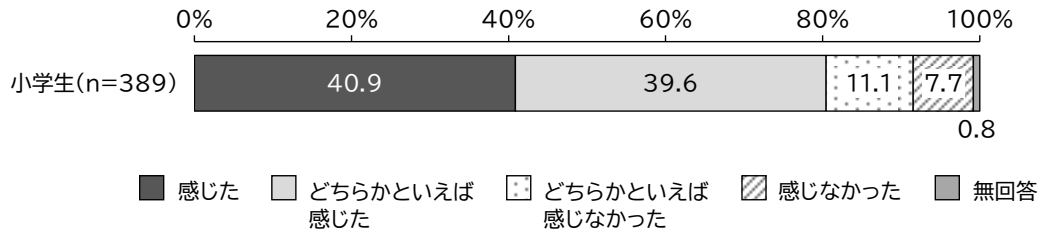
学年別でみると、「ある」は小学生の方が中学生を8.5ポイント上回っています。



■問12 (小学生の人にお聞きします)あなたは、キッズチャレンジデイでの活動を通して、地域の大人を身近に感じたり、地域の良さを感じたりしましたか。(1つに○)

【全体】

キッズチャレンジデイでの活動を通して、地域の大人を身近に感じたり、地域の良さを感じたりしたことについては、「感じた」が40.9%で最も高く、次いで「どちらかといえば感じた」が39.6%、「どちらかといえば感じなかった」が11.1%となっています。「感じた」と「どちらかといえば感じた」を合わせた『感じた』が80.5%となっています。



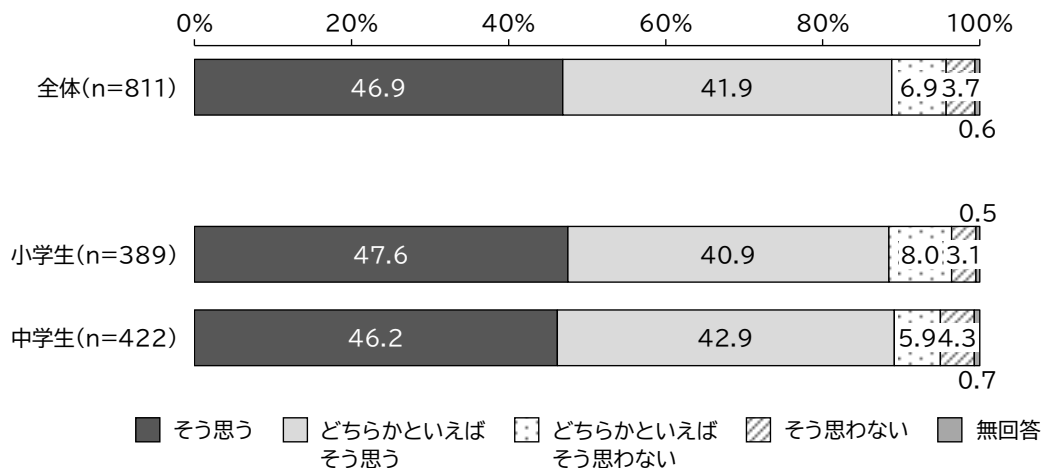
■問13 あなたは、大人になったら地域や社会のために役に立ちたいと思いますか。(1つに○)

【全体】

大人になったら地域や社会のために役に立ちたいかについては、「そう思う」が46.9%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が41.9%、「どちらかといえばそう思わない」が6.9%となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が88.8%となっています。

【属性ごと】

学年別で見ると、小学生と中学生で大きな差はありません。



5. 学校が休みの日の過ごし方の希望について

■問14 あなたは、学校が休みの日にどんなことをしたいですか。(自由に書いてください)

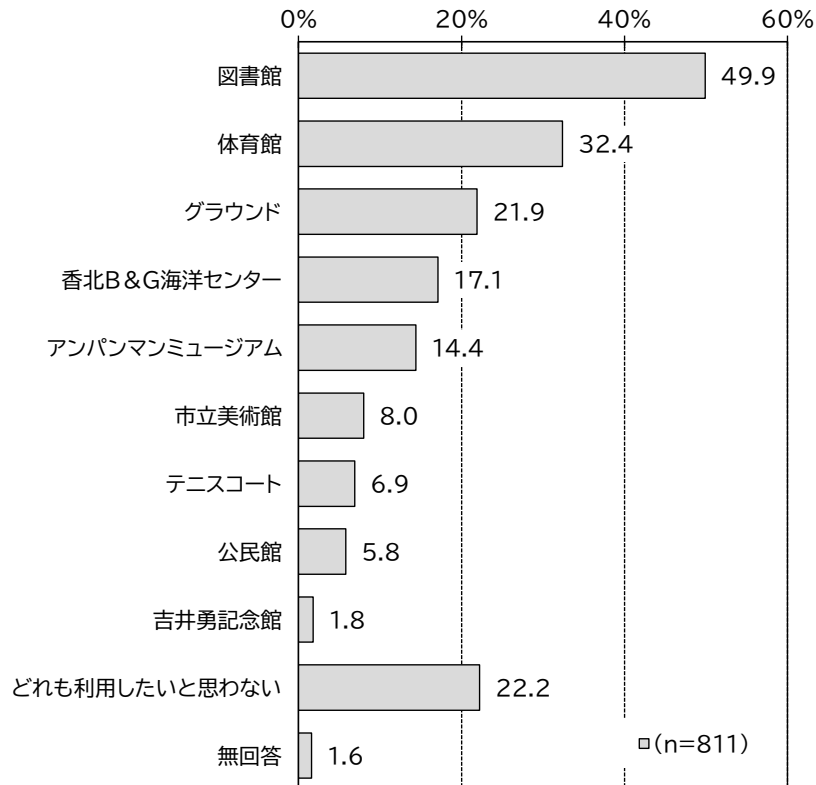
学校が休みの日にしたいことについて自由記述形式でたずねたところ、773人から延べ1,333件の回答がありました。分類別にみると、「友達や家族と遊ぶ」が253件で最も高く、次いで「ゲーム」が240件、「ゆっくりしたい、寝たい」が137件、「スポーツ・アウトドア、体を動かす」が134件、「テレビ、動画、音楽鑑賞」が101件などとなっています。

分類	件数
友達や家族と遊ぶ	253件
ゲーム	240件
ゆっくりしたい、寝たい	137件
スポーツ・アウトドア、体を動かす	134件
テレビ、動画、音楽鑑賞	101件
友達や家族と出かける、旅行する	93件
勉強	88件
趣味、好きなこと、楽しいこと	67件
本を読む	63件
買い物	53件
部活動、習い事	21件
食べる	15件
スマートフォン、タブレット、パソコン	14件
インターネット、SNSをする	10件
家事、お手伝い	8件
その他	9件
特にない	27件
合計	延べ1,333件 (773人)

■問15 あなたは、学校が休みの日に香美市にある次のような施設を利用したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

【全体】

休みの日に利用したい施設については、「図書館」が49.9%で最も高く、次いで「体育館」が32.4%、「どれも利用したいと思わない」が22.2%、「グラウンド」が21.9%、「香北B&G海洋センター」が17.1%、「アンパンマンミュージアム」が14.4%となっています。



【属性ごと】

学年別でみると、「図書館」は小学生の方が中学生を10ポイント以上上回っています。また、「どれも利用したいと思わない」は中学生の方が小学生を10ポイント以上上回っています。

単位:%

		全体 (n)	図書館	体育館	グラウンド	香北B & G 海洋センター	アンパンマンミュージアム	市立美術館	テニスコート	公民館	吉井勇記念館
全体		811	49.9	32.4	21.9	17.1	14.4	8.0	6.9	5.8	1.8
学年別	小学生	389	59.6	31.6	22.1	17.0	19.3	12.1	5.4	9.8	2.3
	中学生	422	41.0	33.2	21.8	17.3	10.0	4.3	8.3	2.1	1.4

		全体 (n)	いどれも利用したいと思わない	無回答
全体		811	22.2	1.6
学年別	小学生	389	15.9	1.3
	中学生	422	28.0	1.9

■問16 あなたは、学校が休みの日に香美市にある問15のような施設でどんなことをしたいですか。(自由に書いてください)

香美市内の施設でしたいことについて自由記述形式でたずねたところ、692人から延べ808件の回答がありました。分類別にみると、「スポーツ、体を動かしたい」が230件で最も高く、次いで「本を読みたい、借りたい」が213件、「友達や家族と遊ぶ」が124件、「勉強」が63件などとなっています。

分類	件数
スポーツ、体を動かしたい	230件
本を読みたい、借りたい	213件
友達や家族と遊ぶ	124件
勉強	63件
美術、作品鑑賞、見学	16件
ゆっくりしたい、寝たい	13件
スポーツや楽器などの練習	12件
イベント参加	8件
趣味、好きなこと、楽しいこと	6件
友達や家族と出かける、旅行する	3件
ゲーム	3件
利用したくない、わからない	7件
その他	16件
特にない	94件
合計	延べ808件 (692人)

00001

香美市のよってたかってアンケート!

～第2期香美市教育振興基本計画の策定に向けて～ <住民用>

● ご協力をお願い

皆さまには日ごろから香美市の教育行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、香美市では、多くの市民参画を得て展開する「香美市よってたかって教育」を推進して、地域の教育力の向上、生涯学習が続ける「まちづくり」に取り組んできました。

このたび、香美市における教育の基本的な方針と取組の方向性を示す「香美市教育振興基本計画」が令和5年度に終了するため、令和6年度よりスタートする「第2期香美市教育振興基本計画」を策定することとなりました。このアンケート調査は、香美市にお住まいの方から無作為に抽出した2,000人の方々を対象として、ご意見をお聞きし、計画を策定するための基礎資料とするために実施します。

アンケートの集計結果は、統計的に処理して、目的以外には使用しません。ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。

大変お忙しいところ、お手数をかけ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

香美市教育委員会

このアンケートは、Webによる回答もできます。

● 調査票には、あて名の本人がお答えください。本人の記入が難しい場合は、家族の方等が本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。

● 回答は、あてはまる番号に○を付けてください。また、記入欄には、その内容をご記入ください。

● ①郵送、または②Web回答のどちらからでもご回答ください。両方に回答されたら、片方が無効になります。

①郵送の場合は、アンケート用紙に記入して、返信用封筒(切手は不要です)に入れて、ご返送ください。

②Web回答の場合は、下記のURLを入力するか、右のQRコードを読み取ってアンケート回答ページにアクセスしてください。

<https://zflb.f.msigs.jp/webapp/wish/org/showEnquete.do?enqueteid=1&clientid=25167&databaseid=zflb>

③最初に、右上の5桁の番号を入力し、【次へ】を押しください。

※この番号は、個人を特定するためのものではなく、重複回答のチェックに使用します。

④Webでの回答は1回限りで、回答の送信後に修正はできません。最後に表示される確認画面で回答内容を確認し、修正がある場合は、【修正】を押し、修正を行ってください。

○お問い合わせ先



〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町 1-2-1

香美市教育委員会 教育振興課 学校教育班

TEL : 0887-53-1081 FAX : 0887-57-0123

V 調査票

1. 住民調査

生涯学習※（自主的な学習活動）について、おたずねします。

※生涯学習とは、生涯にわたり、自らの意思で自発的に行う学習活動のことで、文化活動、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動、職場内教育、趣味等も含まれます。

問1 あなたは、この1年間くらいの間に、どのような方法で学習したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 講座や教室への参加(公民館や図書館、美術館、博物館等)
2. 講座や教室への参加(民間のカルチャーセンターやスポーツクラブ等)
3. 講座や教室への参加(高等学校、大学、大学院、専門学校等)
4. 職場の教育、研修への参加
5. 自主的な集まり、サークル活動への参加
6. 図書館の利用
7. 美術館、博物館の利用
8. テレビやラジオの視聴
9. インターネット(YouTube等を含む)の利用
10. 通信教育
11. 図書・雑誌の購入
12. その他()
13. 学習したことがない

問1-1 (問1で、1～12と答えた方に)学習した理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事で必要性を感じたため
2. 新しく就職・転職するために必要性を感じたため
3. 勤務先等から勧められたため
4. 地域や社会における活動に生かすため
5. 家庭や日常生活に生かすため
6. 健康の維持・増進のため
7. 他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため
8. 人生を豊かにするため
9. 教養を深めるため
10. その他()
11. 特にない

問1-2 (問1で、「13. 学習したことがない」と答えた方に)
 学習したことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事が多すぎて時間が足りない
2. 家事・育児・介護等が多すぎて時間が足りない
3. 学習より優先したいことがある
4. 講座や施設の開設の開始時間が希望に合わない
5. 一緒に学習する仲間が少ない
6. 身近なところに学習する場がない
7. 学習するための費用がかかると
8. 学習したい内容に合った講座・施設がない
9. 学習しても職場等から評価されない
10. 学習するのに必要な情報(内容・時間・場所・費用等)が入り手でない
11. きっかけがない
12. 必要がない
13. その他()
14. 特になし

問2 あなたが今後やってみたい学習はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学等)
2. 趣味・文化・芸術に関するもの(音楽、美術、茶道、華道、舞踊、書道等)
3. スポーツに関するもの(球技、水泳、ランニング等)
4. 健康に関するもの(健康法、食事・栄養等)
5. 仕事や就職・転職で必要な知識・技能に関するもの(資格取得等)
6. 家庭での生活に役立つもの(料理、ガーデニング、日曜大工等)
7. 子育てや教育に関するもの
8. 情報通信技術(ICT)に関するもの(スマートフォン、パソコンやインターネット等)
9. ボランティア・地域づくり活動に関するもの(環境、福祉、防災等)
10. 自然体験や生活体験等の体験活動
11. その他()
12. 特になし

問3 香美市における生涯学習環境の満足度と重要度について、どうお考えでしょうか。
 (満足度・重要度について、ア～カのそれぞれの項目に1つずつ○)

	満足度					重要度					
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	非常に重要	重要	どちらともいえない	重要ではない	重要ではない
ア 生涯学習機会の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
イ 文化・芸術活動の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ウ 地域の伝統・文化の保護や継承	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
エ 文化財等の保護・保存	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
オ 生涯スポーツの充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
カ 図書館サービスの充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

インターネットの利用について、おたずねします。

問4 あなたは、オンラインミーティングツール*(Zoom、Google Meet、Skype等)、YouTube**、SNS**を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない

*オンラインミーティングツール: インターネットを使って互いの顔を見ながら話ができるソフトウェア。
 **YouTube: インターネット上に動画データを投稿したり、閲覧したりできる。
 **SNS: ソーシャル・ネットワーク・サービスの略称。インターネットを介して利用者同士が交流できるサービスのこと。

問4-1 (問4で「1. 利用している」と答えた方に)それぞれのツールをどのように使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

【オンラインミーティングツール】(Zoom, Google Meet, Skype等)

1. 講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)
2. 打ち合わせや会議への参加(仕事で使う場合を含む)
3. 友人との交流
4. その他()
5. オンラインミーティングツールを利用していない

【YouTube等の動画】

1. 講座・講演会等の視聴、eラーニングの受講(仕事で使う場合を含む)
2. 仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信
3. 生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信
4. 子どもの教育や育児全般に関わる情報収集・発信
5. ニュース動画の視聴
6. スポーツの試合観戦
7. その他()
8. YouTube等の動画を利用していない

【SNS】(LINE)

1. 家族や友人、仕事関係での連絡・交流
2. 保護者間での連絡・交流
3. 仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信
4. 生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信
5. 子どもの教育や育児全般に関わる情報収集・発信
6. 懸賞応募
7. その他()
8. LINEを利用していない

【SNS】(Facebook, Instagram, Twitter等)

1. 家族や友人、仕事関係での連絡・交流
2. 保護者間での交流
3. 仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信
4. 生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信
5. 子どもの教育や育児全般に関わる情報収集・発信
6. 懸賞応募
7. その他()
8. SNSを利用していない

問4-2 (問4で「2. 利用していない」と答えた方に)その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. パソコンやスマートフォン等を持っていない
2. 利用したいが、操作方法がわからない
3. 利用しなくても困らない
4. 利用する機会がない
5. その他()
6. 特になし

問5 あなたは、オンラインミーティングツール(Zoom, Google Meet, Skype等)、

YouTube, SNSの操作・活用についての講座が開催されたら参加したいと思いませんか。(1つに○)

1. 参加してみたい
2. 関心がないので参加しない
3. 参加する必要がない

問6 市内には、中央公民館と地区公民館(コミュニティセンターを含む)を併せて13の公民館がありますが、あなたはいずれかの公民館を利用したことがありますか。(1つに○)

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない

問6-1 (市立公民館を「1. 利用したことがある」と答えた方に)どのようなことで利用されましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 施設で行われる講演会、講座等への参加
2. ホールでのイベント(演奏会、習い事の発表会等)への参加・見学
3. 自主的なサークル活動、団体活動での利用
4. 会合、会議等のために、部屋を一時的に利用
5. 待ち合わせ場所や時間調節等の休息場所を利用
6. その他()

問6-2 (市立公民館を「1. 利用したことがある」と答えた方に)どのくらいの頻度で利用されますか(されましたか)。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週1回程度
3. 月1回程度
4. 数か月に1回程度
5. 半年に1回程度
6. 年に1回程度
7. 数年に1回程度

問6-3 (市立公民館を「2. 利用したことがない」と答えた方に)利用しない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 利用する時間がないから
2. 利用する機会がないから
3. 開館日や開館時間が合わないから
4. 興味のある講座やイベントがないから
5. どこにあるか知らないから
6. 何をすところか知らないから
7. 一緒に利用する人がいないから
8. 自宅から遠いから
9. その他()
10. 特になし

問7 あなたは次の施設を知っていたり、利用したりしたことがありますか。
(ア～ウのそれぞれの項目について、1つに○)

施設名称	利用したことがある	知っているか利用したことがない	知らない
ア. 市立美術館	1	2	3
イ. 吉井勇記念館	1	2	3
ウ. アンパンマンミュージアム	1	2	3

問7-1 (問7で「2. 知っているか利用したことがない」と答えた方に)施設を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	市立美術館	吉井勇記念館	アンパンマンミュージアム
1. 利用する時間がないから	1	1	1
2. 利用する機会がないから	2	2	2
3. 開館日や開館時間が合わないから	3	3	3
4. 興味のある展示やイベントがないから	4	4	4
5. どこにあるか知らないから	5	5	5
6. 何をすところか知らないから	6	6	6
7. 一緒に利用する人がいないから	7	7	7
8. 自宅から遠いから	8	8	8
9. 入場料が高いから	9	9	9
10. その他()	10	10	10
11. 特になし	11	11	11

問8 香美市にある次の体育施設を知っていたり、利用したりしたことがありますか。
(ア～タのそれぞれの項目について、1つに○)

	過去5年間に利用したことがある	知っているが、利用したことがない	利用できることを知らない	施設があることを知らない
ア 市民グラウンド	1	2	3	4
イ 市民グラウンドテニスコート	1	2	3	4
ウ 土佐山田(旧宝町)グラウンド	1	2	3	4
エ 土佐山田(旧宝町)テニスコート	1	2	3	4
オ 土佐山田(旧宝町)体育館	1	2	3	4
カ 佐岡体育館	1	2	3	4
キ 土佐山田スタジアム	1	2	3	4
ク 香北グラウンド(土のグラウンド)	1	2	3	4
ケ 香北総合型競技施設(ベタソク場他)	1	2	3	4
コ 農村広場(芝のグラウンド)	1	2	3	4
サ 香北体育センター(体育館)	1	2	3	4
シ 香北B&G海洋センター(プール)	1	2	3	4
ス 物部グラウンド	1	2	3	4
セ 市立小中学校グラウンド・体育館	1	2	3	4
ソ 武道場等(鏡野中・香北武道館、之善館弓道場)	1	2	3	4
タ 県立学校体育館・グラウンド(山田高等学校、山田特別支援学校)	1	2	3	4

問9 あなたは1回30分以上の「軽く汗をかく運動」をどの程度していますか。(1つに○)

1. 週2回以上
2. 週1回程度
3. 月1回程度
4. 年2・3回程度
5. ほとんど運動する習慣がない
6. 全く運動しない

問9-1 (問9で1～4と答えた方に)1回30分以上の「軽く汗をかく運動」をどのくらい前からしていますか。(1つに○)

1. 1年以上前から
2. ここ1年以内

問9-2 (問9で5～6と答えた方に)運動する習慣がない、または運動しない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 特に運動をしなくても健康(生活習慣病等)に問題はない
2. 近くに運動・スポーツができる場所や施設がない
3. 運動したいが時間的余裕がない
4. 運動自体に興味はあるがきつかけがない(何をすれば良いかわからない)
5. 運動が好きではない
6. 一緒に運動する仲間が少ない
7. 身体的理由等により運動ができない
8. その他()
9. 特になし

問9-3 (問9で5～6と答えた方に)今後運動を始めるならどういった運動に興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サッカー、野球、バレーボール、テニス等複数人で行う比較的刺激しい運動
2. グラウンドゴルフ、ラージボール卓球等の複数人で行う軽い運動
3. マラソンやジョギング
4. ウォーキング
5. 簡単な体操(ストレッチ・軽体操・ラジオ体操・ヨガ等)
6. スポーツジム等で行う運動(器具を使用した筋トレ等)
7. その他()
8. 特になし

問10 あなたは、香美市におけるスポーツの振興のために市がどのような支援をすると良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の誰もが気軽にスポーツができる場所(施設等)を提供すること
2. スポーツ教室やスポーツイベントを開催すること
3. スポーツ教室や行事の情報を提供すること
4. スポーツ教室やスポーツ大会への参加を勧めること
5. スポーツを通じて住民同士の交流を推進すること
6. その他()
7. わからない

文化財について、おたずねします。

問11 香美市の文化財(建造物・史跡・天然記念物・無形民俗)について、知っていたり、行った
りしたことがありますか。(それぞれの文化財について、1つに○)

地域	(指定区分)	文化財名称	行ったこと (見たこと)がある	行ったこと が知らない	知らない
土佐山田町	(国)	龍河洞	1	2	3
	(国)	谷重遠(谷秦山)墓所	1	2	3
	(県)	山田堰	1	2	3
	(県)	津野親忠の墓	1	2	3
	(市)	野中神社(お城堂)	1	2	3
	(市)	公蔵の井戸	1	2	3
	(市)	新政古墳	1	2	3
	(市)	神母神社楠の大木	1	2	3
	(市)	八王子宮	1	2	3
	(県)	大川上美良布神社(社殿)	1	2	3
香北町	(県)	轟の滝(日本の滝百選)	1	2	3
	(県)	大川上美良布神社の御神幸 (おなばれ)	1	2	3
	(県)	袈裟禪文銅鐸二基 (おなばれ)	1	2	3
	(市)	高照寺地藏堂	1	2	3
	(市)	大川上美良布神社通夜殿	1	2	3
	(市)	大荒の滝	1	2	3
	(国)	三嶺・天狗塚のミヤマクマザサ 及びコメツツジ群落	1	2	3
物部町	(国)	土佐の神楽 (いざなぎ流御祈禱)	1	2	3
	(県)	大板のムクノキ	1	2	3
	(市)	小松神社	1	2	3
	(市)	塩の道	1	2	3
	(市)	神池の柳	1	2	3
	(市)	太刀踊り	1	2	3

問12 あなたが香美市のシンボルとして保存活用したら良いと思うものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 龍河や轟の滝に代表される名勝天然記念物
2. いざなぎ流舞神楽や大川上美良布神社の御神幸に代表される無形民俗文化財
3. ひびのき遺跡や伏原大塚古墳に代表される埋蔵文化財
4. フラフ(五月の節句に飾られる色とりどりの旗)
5. 土佐打刃物の伝統と技術
6. 大川上美良布神社や百年舎(国登録文化財)に代表される建造物
7. 田舎寿司や手打ちそば、鹿肉料理(ジビエ)等の食文化
8. 野中兼山、谷素山等近世の偉人と史跡(山田堰、谷重遠墓所)
9. その他()

問13 文化財を活用するための香美市の取組の中で、参加したい、見てみたいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 文化財についてのシンポジウム、講演会等
2. フィールドワーク(まちあるき、史跡めぐり、古道を歩くウォーキング等)
3. 遺跡の発掘体験
4. 博物館等文化財を展示する文化施設の新設
5. わかりやすく文化財を紹介するメディア(アニメや漫画等)
6. 季節等に合わせた「文化財お出かけ情報」のSNS発信や動画配信
7. 文化財に関する看板設置(説明板、道順の案内板)
8. 伝統芸能(踊りや神楽、おなほれ等)の公開
9. 文化財総合プラットフォーム「香美市文化財まちあるきマップ」のバージョンアップ
10. ワークショップ(いざなぎ流の御幣切り体験、舞神楽体験、火起こし体験等)
11. 古文書調査と保管に関する講座
12. その他()
13. 特になし

問14 あなたは文化財を地域の宝として次世代に伝えていくことは重要だと思いますか。(1つに○)

1. 非常に重要だと思う
2. どちらかといえば重要だと思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば重要ではない
5. まったく重要だと思わない

図書館についておたずねします。

※2022年11月、人・文化・世代・地域をつなぐ図書館として、香美市立図書館かみーる(土佐山田町楠目)が開館しました。

問15 あなたの市立図書館(かみーる・香北分館・物部分館)の利用頻度はどのくらいですか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週1回程度
3. 月1回程度
4. 数か月に1回程度
5. 半年に1回程度
6. 年に1回程度
7. 数年に1回程度
8. これまで利用したことがない

問16 あなたは図書館にどのような役割を望まれますか。(あてはまるものすべてに○)

1. さまざまな図書・雑誌・新聞の提供 (貸出し・閲覧)
2. レファレンスサービス (調べものに関する支援)
3. 子どもの読書活動の推進
4. 子育て支援
5. 高齢者・障害者への読書支援
6. ビジネス・就労情報の提供
7. 健康・医療情報の提供
8. 講演会・鑑賞会等文化的活動の場の提供
9. 市民の自己実現の場
10. 地域の人の交流の場
11. まちづくり活動の支援
12. 地域の情報発信拠点 (まちのイベントや観光情報等)
13. データベースや電子書籍の提供
14. その他()

問17 今後、図書館で充実すべきと考えられる機能・サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 来館せずに利用できるサービス(Web申請等)
2. 複写サービスの拡充(資料のメール送信サービス)
3. 予約資料の有料宅配サービス
4. 他市町村との共同保存書庫(デジタルライブラリー機能)
5. イベント(おはなし会、映画会、マルシェ等)の充実
6. メール配信サービス(新着本、おすすめの本等)の充実
7. その他()

香美市の教育についておたずねします。

問18 香美市の子どもたちを見て、こ5年くらいの間に香美市の教育や子どもを取り巻く環境はどのようになっていると感じますか。
(ア～キのそれぞれの項目について、1つに○)

	良くなっている	いよほらかたなっている	いよほらかたなっている	いよほらかたなっている	いよほらかたなっている	悪くなっている	わからない
ア あいさつ等の礼儀やマナー	1	2	3	4	5	6	6
イ 子どもたちの元気さ	1	2	3	4	5	6	6
ウ 子どもたちの地域行事への参加	1	2	3	4	5	6	6
エ 子どもを取り巻く地域の安全性	1	2	3	4	5	6	6
オ 地域の教育力	1	2	3	4	5	6	6
カ 社会全体で地域の子どもを育てようとする意識の高まり	1	2	3	4	5	6	6
キ 家庭・地域・学校の連携による教育	1	2	3	4	5	6	6

問19 あなたは、次のような香美市の教育の取組について知っていますか。
(ア～エはまるものすべてに○)

	香美市における主な教育の取組
1	市内に保育所から大学までの教育機関がそろうという教育環境の強みを活かして、各教育施設が共同で取組をすすめる「 <u>香美市学園都市構想</u> 」を掲げている。
2	香美市の教育資源(人・もの・こと)を活用しながら、世代を超えて多くの市民が参画し、子どもたち自身も主体的に地域を元気にする活動を進める等、互いに学びあい、教えあひながら地域とともに「 <u>よつて教育</u> 」を推進している。
3	保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参加して「 <u>地域とともにある学校づくり</u> 」を進める制度。香美市では、市内全域で小中一貫型 <u>コミュニティ・スクール</u> を推進して、より多くの住民参加を期待している。
4	香美市では、地域住民が学校支援ボランティアとして「 <u>学校を核とした地域づくり</u> 」を進める <u>地域学校協働活動</u> を推進している。

	CST拠点校	香美市における主な教育の取組
5	片地小学校は、コアサイエンスティーチャー(CST)養成プログラムを実施し、地域の理科教育を推進する拠点となるCST拠点校である。	
6	大宮小学校は、グローバル化に対応できるスキルと態度を身につけた人材を育成するための国際的な教育プログラム(国際バカロレア)を実施している。	

問20 県立山田高等学校について、地域の高等学校として愛着はありますか。(1つに○)

1. 愛着がある
2. どちらかといえば愛着がある
3. どちらかといえば愛着はない
4. 愛着はない

問21 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

1. 愛着がある
2. どちらかといえば愛着がある
3. どちらかといえば愛着はない
4. 愛着はない

問22 幼児教育(小学校入学前までの教育)において、これからのどのようなことかを入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

1. 遊びを中心としたさまざまな経験ができる
2. 基本的な生活習慣を身につけることを家庭と保育所や幼稚園が連携して行う
3. 文字や、数字への関心を高める等の知的な活動を行う
4. 保護者に対し、「しつけ」を各家庭できちんと行うことの大切さを教える
5. 自分やまわりの人を大切にすることを心や態度を育てる
6. 感性・創造力・チャレンジ力等子どもの個性を伸ばす
7. きまわりを守り、良いことをしようとする心や公共心、社会性を高める
8. 体力を高め、たくましさを養う
9. 地域の人やいろいろな人とのかかわりを深める
10. 小学校との連携を深め、子どもの育ちを連続して見守る
11. 安全教育や防災教育を充実する
12. その他()
13. わからない

問23 あなたは、地域の子どもたちの教育にかかわることで、協力できる機会があれば協力したいと思いますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

問23-1 (問23で「1. はい」と答えた方に)あなたが教育に協力できること・したいことは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通学の見守り
2. 学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)
3. 学校の環境整備(花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等)への支援
4. 自分の特技を教えること(地域の食材を使った調理の指導等)
5. 地域の歴史、文化の伝承
6. スポーツ・健康づくりの指導
7. 子育ての相談にのる等子育て支援に関すること
8. 体験学習の場を提供すること(米作り、収穫体験等)
9. 「まちの先生[※]」として活動すること
10. その他()

※「まちの先生」ってどんなことをしているの？

「まちの先生」はご自身の趣味や特技、経験等を活かし、主に学校や公民館等で活動しています。学校のボランティアと異なり、活動時間や場所、費用等を、習いたい希望者と話し合っ決めて決めることができます。「先生」となっていますが、資格の有無に関係なく活動できますので、読み聞かせや日曜大工が得意な方等「まちの先生」にご興味のある方は、表紙の連絡先までお問い合わせください。



詳しくは、香美市ホームページ まちの先生関連情報QRコード →

問23-2 (問23で「2. いいえ」と答えた方に)協力したいと思わない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事が忙しくて時間がない
2. 家事・育児等が忙しくて時間がない
3. 子どもが学校に通っていない
4. 人間関係がわずらわしい
5. 体力・健康に自信がない
6. どのような協力が必要なのか情報がない、または情報の入手方法がわからない
7. その他()
8. 特になし

問24 香美市の教育や生涯学習についての情報を、ふだんどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の「広報香美」
2. 市の窓口
3. 市のパンフレット・冊子
4. 市のホームページ・SNS
5. 回覧板や地域の掲示版
6. 保育所・幼稚園・学校
7. お子さんの同級生の保護者等
8. 新聞、テレビやラジオ、雑誌等
9. インターネット
10. 家族、友人・知人、近所の人
11. お子さんの習い事の通い先
12. その他()
13. 情報が入ってこない
14. 情報を欲しいと思わない

■ 香美市の教育や生涯学習についてのご意見やご要望を自由にお書きください。

最後に、あなたご自身のことについて、おたずねします。これまでお聞きしたことを統計的に分析するために、ご協力をお願いします。

F1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1. 男性
2. 女性
3. どちらでもない/答えたくない

F2 あなたの年齢についておたずねします。(1つに○)

1. 29歳以下
2. 30～39歳
3. 40～49歳
4. 50～59歳
5. 60～69歳
6. 70～79歳

F3 あなたの出身地は香美市内・香美市外のどちらですか。(1つに○)

「2. 市外」を選ばれた方は、()内もどちらかに○をつけてください。

1. 市内
2. 市外 → (① 高知県内 ② 高知県外)

F4 あなたが住んでいる小学校区は次のどちらですか。(1つに○)

1. 山田
2. 楠目
3. 片地(左岡含む)
4. 舟入
5. 香長(繁藤含む)
6. 大宮
7. 大桁

F5 同居している家族構成についておたずねします。(1つに○)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦のみ
3. 二世帯(親子のみ)
4. 三世代以上(祖父母、父母、子等)
5. その他()

F6 あなたのご家庭にはお子さんがいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 小学校入学前の子がいる
2. 小学生の子がいる
3. 中学生の子がいる
4. 高校生の子がいる
5. 学生(大学生等)の子がいる
6. その他()
7. 子どもはいない

以上でアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

2. 保護者調査

香美市のよってたかってアンケート!

～第2期香美市教育振興基本計画の策定に向けて～ <保護者用>

● ご協力をお願い

皆さまには日ごろから香美市の教育行政にご協力をいただき、ありがとうございます。さて、香美市では、多くの市民参画を得て展開する「香美市よってたかって教育」を推進して、地域の教育力の向上、生涯学び続ける「まちづくり」に取り組んでまいりました。

このたび、香美市における教育の基本的な方針と取組の方向性を示す「香美市教育振興基本計画」が令和5年度に終了するため、令和6年度からスタートする「第2期香美市教育振興基本計画」を策定することとなりました。このアンケート調査は、小学校1・5年生、中学校2年生のお子様を抽出し、その保護者の方を対象として、ご意見を伺い、計画を策定するための基礎資料とするために実施します。

アンケートの集計結果は、統計的に処理して、目的以外には使用しません。ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。

大変お忙しいところ、お手数をかけ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

香美市教育委員会

このアンケートは、Webによる回答もできます。

● 調査票には、あて名の本人がご答えください。本人の記入が難しい場合は、家族の方等が本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。

● 回答は、あてはまる番号に○を付けてください。また、記入欄には、その内容をご記入ください。

● ①郵送、または②Web回答のどちらからでもご回答ください。両方に回答されたら、片方が無効になります。

①郵送の場合は、アンケート用紙に記入して、返信用封筒(切手は不要です)に入れて、ご返送ください。

②Web回答の場合は、下記のURLを入力するか、右のQRコードを読み取ってアンケート回答ページにアクセスしてください。

<https://zfb.f.msgr.jp/webapp/wish/org/showInquete.do?enqueteid=2&clientid=25167&databaseid=zffb>

◎最初に、右上の5桁の番号を入力し、【次へ】を押しください。

※この番号は、個人を特定するためのものではなく、重複回答のチェックに使用します。

◎Webでの回答は1回限りで、回答の送信後に修正はできません。最後に表示される確認画面で回答内容を確認し、修正がある場合は、【修正】を押し、修正を行ってください。

アンケートには、無記名で11月28日(月)までにご回答くださるようお願いいたします。

○お問い合わせ先



〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町 1-2-1

香美市教育委員会 教育振興課 学校教育部

TEL : 0887-53-1081 FAX : 0887-57-0123

市の教育施策について、おたずねします。

問1 香美市の子どもたちを見て、ここ5年くらいの間に香美市の教育や子どもを取り巻く環境はどのようになっていますか、と感じますか。

(ア～スのそれぞれの項目について、1つに○)

	良くなっている	良くなつている	どちらかといえは、良くなつている	どちらともいえない	悪くなつている	悪くなっている	わからない
ア 子どもたちの学力	1	2	3	4	5	6	6
イ 基本的な生活習慣の定着	1	2	3	4	5	6	6
ウ あいさつ等の礼儀やマナー	1	2	3	4	5	6	6
エ 子どもたちの元気さ	1	2	3	4	5	6	6
オ 学校における教員の指導力	1	2	3	4	5	6	6
カ 学校の施設・設備	1	2	3	4	5	6	6
キ 子ども地域行事への参加	1	2	3	4	5	6	6
ク 子どもを取り巻く地域の安全性	1	2	3	4	5	6	6
ケ 家庭の教育力	1	2	3	4	5	6	6
コ 地域の教育力	1	2	3	4	5	6	6
サ 社会全体で地域の子どもを育てようとする意識の高まり	1	2	3	4	5	6	6
シ 家庭・地域・学校の連携による教育	1	2	3	4	5	6	6
ス 地域や家庭環境等による教育格差	1	2	3	4	5	6	6

問2 香美市子どもへの教育に関連して、現在、特に関心があることを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. 基礎学力の向上
- 2. 体験活動の充実
- 3. 健康づくり・体力の向上
- 4. 基本的な生活習慣の定着
- 5. 道徳心・人権意識・規範意識の育成
- 6. いじめ・不登校問題
- 7. 子どもへの貧困問題
- 8. 地域や家庭環境による教育格差
- 9. 学校の施設・設備
- 10. 先生の資質
- 11. 家庭でのしつけ
- 12. 家庭でのコミュニケーション
- 13. 家庭・地域・学校の連携
- 14. その他()
- 15. 関心があることはない

問3 香美市における教育施策の満足度と重要度について、どうお考えでしょうか。
(満足度・重要度について、A～Eそれぞれの項目に1つずつ○)

	満足度					重要度					
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	非常に重要	重要	どちらともいえない	さほど重要ではない	重要ではない
A 幼児教育・保育に関する施策の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
E 学校・保育施設の安全性	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
U 放課後の子どもの居場所づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
I 地域に開かれた学校づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
オ 特色ある学校づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
カ 子どもへの豊かな学力の育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
キ 外国語教育の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ク 子どもへの健康教育や体力づくり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ケ 豊かな心を育む道徳・人権教育	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
コ 教職員の指導力の向上	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
サ 教育のICT化(デジタル機器、インターネットを活用した教育等)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
シ 香美市の自然・歴史・文化を活かしたふるさと学習	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ス 障がいのある子どもへの特別支援教育	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

	満足度					重要度					
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	非常に重要	重要	どちらともいえない	さほど重要ではない	重要ではない
エ 学校給食の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ソ 青少年の健全育成(児童生徒の見守り等)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
タ 家庭教育に関する施策の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
チ 生涯学習機会の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ツ 文化・芸術活動の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
テ 地域の伝統・文化の保護や継承	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ト 文化財等の保護・保存	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ナ 生涯スポーツの充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
ニ 図書館サービスの充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

問4 あなたは、次のような香美市の教育の取組について知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

	香美市における主な教育の取組	
1	香美市学園都市構想	市内に保育所から大学までの教育機関がそろうという教育環境の強みを活かして、各教育施設が共同で取組をすすめる「香美市学園都市構想」を掲げている。
2	よつてたかっで教育	香美市の教育資源(人・もの・こと)を活用しながら、世代を超えて多くの市民が参画し、子どもたち自身も主体的に地域を元気にする活動を進める等、互いに学びあい、教えあいがながら地域とともに「よつてたかっで教育」を推進している。
3	コミュニティ・スクール	保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参加して「地域とともにある学校づくり」を進める制度。香美市では、市内全域で小中一貫型コミュニティ・スクールの推進を推進して、より多くの住民参加を期待している。
4	地域学校協働活動	香美市では、地域住民が学校支援ボランティアとして「学校を核とした地域づくり」を進める地域学校協働活動を推進している。

香美市における主な教育の取組	
5	CST拠点校 片地小学校は、コアサイエンスティーチャー(CST)養成プログラムを 実施し、地域の理科教育を推進する拠点となるCST拠点校である。
6	国際バカロ リア認定校 大宮小学校は、グローバル化に対応できるスキルと態度を身につけた 人材を育成するための国際的な教育プログラム(国際バカロリア)を実 施している。

あなたのお子さんについて、おたずねします。

問5 お子さんは、どのように育ててほしいと思いますか。(3つまで○)

1. 学力が高く、豊富な知識を持つようになってほしい
2. 明るく元気で、心身ともに健やかに育つようになってほしい
3. 感性があり、文化・芸術活動に興味を持つようになってほしい
4. 意欲があり、何事にも進んで取り組むようになってほしい
5. 人を思いやり、支え合う優しい心を持つようになってほしい
6. 地域に貢献したい、人の役に立ちたいという意識を持つようになってほしい
7. 協調性があり、コミュニケーション能力が豊富であってほしい
8. まちづくりの中心・地域のリーダーになる存在になってほしい
9. その他()
10. わからない

問6 あなたのお子さんは、習い事をしていますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ
3. その他()
4. 楽器(ピアノ等)
5. パソコン
6. 運動の習い事(水泳、空手、ダンス、野球、バレーボール等)
7. その他()

問6-1 (問6で「1. はい」と答えた方に)それはどのような習い事ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 学習塾
2. 英会話・英語塾
3. 書道(毛筆、硬筆)
4. 楽器(ピアノ等)
5. パソコン
6. 運動の習い事(水泳、空手、ダンス、野球、バレーボール等)
7. その他()

問6-2 (問6で「1. はい」と答えた方に)お子さんに習い事をさせる理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 教育、能力向上のため
2. 本人が行きたがったから
3. 周りの友だちが通っているから
4. 保護者が日中、自宅にいないから
5. その他()
6. 特にない

問7 お子さんに携帯電話やスマートフォンを持たせていますか。また、携帯電話やスマートフ
オンを持たせている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 送り迎え等、家族間の連絡のため
2. 本人が欲しがったから
3. 周りの友だちが持っているから
4. 子どもの安全のため
5. その他()
6. 理由は特にない
7. 携帯電話やスマートフォンを持たせていない

問8 お子さんは、家でインターネットを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない

問8-1 (問8で「1. 利用している」と答えた方に)インターネットを利用して何をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 調べものをする
2. 買い物をする
3. メールやLINEなどのSNSでやり取りをする
4. パソコンソフト(アプリ)などを使って学習する
5. 文書を書く、計算をする
6. 自分のホームページを管理する
7. パソコンやゲーム機でゲームをする
8. 動画を見る
9. 音楽をダウンロードする
10. SNSに投稿する、SNSの情報を見る
11. その他()

問8-2 (問8で「1. 利用している」と答えた方に)お子さんがメールや情報機器の通信機能を使
用したことにより、トラブルが起きたことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 書き込みやメールでのいじめや中傷にあった
2. ウイルスに感染したり、個人情報流出したりした
3. 思いがけない請求がきた
4. 知らない人と出会い、出会いトラブルに巻き込まれた
5. その他()
6. わからない
7. トラブルが起きたことはない

問8-3 (問8で「1. 利用している」と答えている)と答えた方に)家の中の携帯電話やスマートフォンの方について、お子さんと決めている約束ごと等はありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 使って良い時間帯(夜は9時まで等)を決めている
2. 使って良い時間数(何時間まで等)を決めている
3. 使って良い場所(リビングルームで使う等)を決めている
4. 使って良いアプリを決めている
5. アプリをダウンロードをするときは保護者に伝えると決めている
6. LINE等のSNSで気をつけることを話し合っている
7. その他()
8. 決めている約束ごと等はない

問9 インターネットは、使い方によっては危険なこともあるということをご家庭でお子さんに教えていますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

子育てについて、おたずねします。

問10 子どもの成長や学習、家庭や学校での生活等、子育ての中で不安や心配事はありますか。(1つに○)

1. 大いにある
2. 少しある
3. あまりない
4. まったくない

問10-1 (問10で「1. 大いにある」と「2. 少しある」に回答した方に)子育てのどのようなことに対して不安を感じたり、心配したりすることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育費
2. 子どもの進学や進路
3. 子どもの学力や学習状況
4. 子どもの体力や健康
5. 子どもの業行や生活態度
6. 家庭でのしつけや教育方法等
7. 就職等将来のこと
8. 子どもと接する時間がなかなかとれない()
9. 教育について気軽に相談できる場所がわからない
10. 保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない
11. 学校の雰囲気や子どもの様子がよくわからない
12. 携帯やスマートフォン、インターネットの使い方
13. その他()

問11 子どもの成長や学習、家庭や学校での生活等、子育てについての相談は、どのようなところ(人)にしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 保育所・幼稚園・学校といった子どもが通っているところの教員等
2. 市の子育て支援センターや健康相談に携わる保健師等
3. 家族
4. 他の保護者
5. 近所の知人や友人
6. 職場の上司や同僚
7. インターネットや電話相談
8. 医療機関や療育機関の医師やカウンセラー
9. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
10. その他()
11. 相談しようと思わない

教育について、おたずねします。

問12 これからの社会を生きるために、子どもに特に必要と思う資質・能力は何だと思えますか。(3つまで○)

1. 確かな学力
2. たくましく生きるための健康や体力
3. 語学力や国際感覚
4. 夢や目標を持ち、その実現に向けて挑戦していく力
5. 学びから新しいものを生み出す意欲を持って行動できる力
6. 互いを尊重し、認め合う力
7. ルールを守り、より良い社会づくりに参加する力
8. 郷土を愛し、大切にしていく力
9. お金についての知識
10. 「ものづくり」の力
11. その他()
12. わからない

問13 幼児教育(小学校入学前までの教育)において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

1. 遊びを中心としたさまざまな経験ができる
2. 基本的な生活習慣を身につけることを家庭と保育所・幼稚園が連携して行う
3. 文字や、数字への関心を高める等の知的な活動を行う
4. 保護者に対し、「しつけ」を各家庭できちんと行うことの大切さを教える
5. 自分やまわりの人を大切にすることを心や態度を育てる
6. 感性・創造力・チャレンジ力等子どもの個性を伸ばす
7. きまりを守り、良いことをしようとする心や公共心、社会性を高める
8. 体力を高め、たくましさを養う
9. 地域の人やいろいろな人とのかかわりを深める
10. 小学校との連携を深め、子どもの育ちを連続して見守る
11. 安全教育や防災教育を充実する
12. その他()
13. わからない

問14 小学校・中学校の教育において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

1. 基礎的な学力
2. 基本的な生活習慣やきまりを守る心
3. 自分やまわりの人の人権を大切にすることの心や態度
4. 仕事への意欲や理解
5. 子どもが自ら考え、主体的に判断する学習をする
6. いじめや不登校、問題行動を減らす
7. 特別支援学校との交流や共同学習を推進する
8. パソコン等電子機器を使い、活用する力を高める
9. 音楽会や美術展等文化に親しむ機会を増やす
10. 地域の自然や文化、人とふれあひ、自分の住んでいる地域について知る
11. 安全教育や防災教育を充実させる
12. 外国語教育を充実させる
13. 子どもの体力を向上させる
14. 保育所・幼稚園、小学校、中学校がそれぞれ連携し、スムーズな進級ができる
15. 児童・生徒一人ひとりの悩みや問題に対して、ていねいに向き合う
16. その他()
17. わからない

問15 特別支援学校の教育において、これからどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

1. 個々の子どもの特性にあった支援
2. 友だちや集団との関わりのおかげでともに育ちあう環境の整備
3. 小・中学校等他の学校との交流や共同学習の推進
4. 将来に向けた就労支援や進路指導の充実
5. 特別支援教育を理解するための啓発活動を行う
6. 関係機関の連携による支援の充実
7. 安全教育や防災教育を充実する
8. 教員や保育士等への特別支援教育の理解を深める研修
9. その他()
10. わからない

問16 県立山田特別支援学校の行事や取組(七夕祭り、運動会、学習発表会、土佐山田まつりや刃物まつり等)への出展・販売等)について知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問17 ここ1年間で、あなたが出席・参加した学校の行事や活動は何がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 運動会や文化祭等の学校行事 | 7. 部活等の参観(送迎のみの場合は除く) |
| 2. 授業参観 | 8. 休日や放課後に行う体験活動や学習活動 |
| 3. 先生との面談 | 9. 地域の安全を守る巡回活動等 |
| 4. 学級・学年懇談会(保護者会) | 10. その他() |
| 5. PTAの活動 | 11. 出席・参加した活動はない |
| 6. 愛校作業 | |

家庭でのお子さんとのかわりについて、おたずねします。

問18 あなたが、家庭生活においてお子さんに身につけてほしいことは何ですか。(3つまで○)

1. 基本的な生活習慣(早寝早起きなど)
2. 家での学習や読書の習慣
3. 家庭内での役割を担うこと(お手伝いなど)
4. 社会のルールやモラルを守る心
5. 他人を思いやる心
6. 命を大切にすること
7. 自分自身や家族を大切にすること
8. 自ら考え行動する力
9. その他()

問19 お子さんとはどれくらい会話していますか。(1つに○)

1. 毎日会話をしている
2. 顔を合わせれば会話をしている
3. 電話やメールで会話をしている
4. 会話をあまりしない
5. その他()

問20 お子さんとはどのような話をしていますか。(3つまで○)

1. 学校のできごとについて
2. 勉強や成績のことについて
3. 将来や進路のことについて
4. 友だちのことについて
5. 社会のできごとやテレビの内容について
6. 子どもの趣味や関心ごとについて
7. 親の仕事のことについて
8. その他()
9. 特に話題はない

教育と地域のかかわりについて、おたずねします。

問21 県立山田高等学校について、地域の高等学校として愛着はありますか。(1つに○)

1. 愛着がある
2. どちらかといえば愛着がある
3. どちらかといえば愛着はない
4. 愛着はない

問22 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

1. 愛着がある
2. どちらかといえば愛着がある
3. どちらかといえば愛着はない
4. 愛着はない

問23 高知工科大学の特性を活かし、香美市の教育と連携していくためには、高知工科大学に対し、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまで○)

1. 香美市の資源の活用による地域活性化
2. 地域の児童や生徒との交流事業(科学教室等)
3. 地域住民との交流行事(ワークショップ等)
4. 先端研究機関、産官学連携の拠点としての役割を担う
5. 専門分野・研究についての公開講座(授業)の開催
6. 香美市の産業を担う次代のエンジニアの育成(社会に貢献できる人材の育成)
7. 市民や各校に対して図書館や体育館等の開放
8. イベントの開催
9. その他()
10. わからない

問24 あなたは、地域の子ともたちの教育にかかわることで、協力できる機会があれば協力したいと思いますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

問24-1 (問24で「1. はい」と答えた方)あなたが教育に協力できること・したいことは次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通学の見守り
2. 学校行事・授業への参加(本の読み聞かせや社会見学・遠足・体験学習等への協力)
3. 学校の環境整備(花壇の手入れ、草刈り、木の伐採等)への支援
4. 自分の特技を教えること(地域の食材を使った調理の指導等)
5. 地域の歴史、文化の伝承
6. スポーツ・健康づくりの指導
7. 子育ての相談にのる等子育て支援に関すること
8. 体験学習の場を提供すること(米作り、収穫体験等)
9. 「まちの先生^{*}」として活動すること
10. その他()

※「まちの先生」ってどんなことをしているの？

「まちの先生」は、ご自身の趣味や特技、経験等を活かし、主に学校や公民館等で活動しています。学校のボランティアと異なり、活動時間や場所、費用等を、習いたい希望者と話し合って決めることができます。「先生」となっていますが、資格の有無に関係なく活動できますので、読み聞かせや日曜大工が得意な方等「まちの先生」にご興味のある方は、表紙の連絡先までお問い合わせください。



詳しくは 香美市ホームページ まちの先生関連情報 QRコード ⇒

問24-2 (問24で「2. いいえ」と答えた方に)協力したいと思わない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事が忙しくて時間がない
2. 家事・育児等が忙しくて時間がない
3. 子どもが学校に通っていない
4. どのような協力が必要なのか情報がない、または情報の入手の方法がわからない
5. 人間関係がわずらわしい
6. 体力・健康に自信がない
7. その他()
8. 特になし

問25 子どもにとって、地域の中でどのような活動があれば良いと思いますか。(3つまで○)

1. スポーツ少年団やスポーツサークル活動
2. 自治会や自主防災会との交流活動
3. 福祉施設や高齢者との交流やボランティア活動
4. 伝統文化・行事の継承・育成活動
5. 芸術・文化等を推進する活動
6. インターネットを通じた交流活動
7. その他()

問26 香美市の教育や生涯学習についての情報を、ふだんどころから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市の「広報香美」
2. 市の窓口
3. 市のパンフレット・冊子
4. 市のホームページ・SNS
5. 回覧板や地域の掲示板
6. 保育所・幼稚園・学校
7. お子さんの同級生の保護者等
8. 新聞、テレビやラジオ、雑誌等
9. インターネット
10. 家族、友人・知人、近所の人
11. お子さんの習い事の通い先
12. その他()
13. 情報が入ってこない
14. 情報を欲しいと思わない

■ 香美市の教育を盛り上げていくため、ご意見やご要望がございましたら自由にお書きください。

あなたご自身について、おたずねします。

F1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1. 男性
2. 女性
3. どちらでもない／答えたくない

F2 あなたの年齢についておたずねします。(1つに○)

1. 29歳以下
2. 30～39歳
3. 40～49歳
4. 50～59歳
5. 60～69歳
6. 70～79歳

F3 あなたの出身地は香美市内・香美市外のどちらですか。(1つに○)
「2. 市外」を選ばれた方は、()内もどちらかに○をつけてください。

1. 市内
2. 市外 → (① 高知県内 ② 高知県外)

F4 あなたが住んでいる小学校区は次のどちらですか。(1つに○)

- 1. 山田
- 2. 楠目
- 3. 片地(佐岡含む)
- 4. 舟入
- 5. 香長(繁藤含む)
- 6. 大宮
- 7. 大橋

F5 世帯構成についておたずねします。(1つに○)

- 1. 二世帯世帯(親子のみ)
- 2. 三世帯以上の世帯(祖父母、父母、子等)
- 3. その他()

F6 このアンケートの対象となられた、あなたのお子さんは何年生ですか。(1つに○)

- 1. 小学校1年生
- 2. 小学校5年生
- 3. 中学校2年生

F7 あなたは、オンラインミーティングツール(Zoom、Google Meet、Skype 等)、YouTube、SNS を利用していますか。(1つに○)

- 1. 利用している
- 2. 利用していない

F7-1 (F7で「1. 利用している」と答えた方に)それぞれのツールをどのように利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

【オンラインミーティングツール】(Zoom、Google Meet、Skype 等)

- 1. 講座や研修会への参加(仕事で使う場合を含む)
- 2. 打ち合わせや会議への参加(仕事で使う場合を含む)
- 3. 友人との交流
- 4. その他()
- 5. オンラインミーティングツールを利用していない

【YouTube】

- 1. 講座、講演会等の視聴、eラーニングの受講(仕事で使う場合を含む)
- 2. 仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信
- 3. 生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信
- 4. 子どもの教育や育児全般に関わる情報収集・発信
- 5. ニュース動画の視聴
- 6. スポーツの試合観戦
- 7. その他()
- 8. YouTubeを利用していない

【SNS】(LINE)

- 1. 家族や友人、仕事関係での連絡・交流
- 2. 保護者間での連絡・交流
- 3. 仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信
- 4. 生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信
- 5. 子どもの教育や育児全般に関わる情報収集・発信
- 6. 懸賞応募
- 7. その他()
- 8. LINEを利用していない

【SNS】(Facebook、Instagram、Twitter 等)

- 1. 家族や友人、仕事関係での連絡・交流
- 2. 保護者間での交流
- 3. 子どもが利用しているSNSの内容確認
- 4. 仕事関係や地域活動に関わる情報収集・発信
- 5. 生活全般、趣味等に関わる情報収集・発信
- 6. 子どもの教育や育児全般に関わる情報収集・発信
- 7. 懸賞応募
- 8. その他()
- 9. SNSを利用していない

F7-2 (F7で「2. 利用していない」と答えた方に)その理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1. パソコンやスマートフォン等を持っていない
- 2. 利用したいが、操作方法がわからない
- 3. 利用しなくても困らない
- 4. 利用する機会がない
- 5. その他()
- 6. 特にない

以上でアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

3. 小中学生調査

【学校生活について】

問 1 学校での取り組みについて、どう思いますか。

問 1① ふだんの授業では、自分の考えを発表する時間が多くある。(1つに○)

1. あてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない

問 1② クラスの話し合いでは、他の人たちの意見をもとに、自分の考えを深めることが出来ていると思う。(1つに○)

1. あてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない

問 1③ 授業中に勉強した内容を復習する時間が多くある。(1つに○)

1. あてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない

問 1④ 「総合的な学習の時間」では、自分で立てた課題について情報を集め、調べたことを発表する時間が多くある。(1つに○)

1. あてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. あてはまらない

問2 あなたは、学校でどんなときに楽しいと感じますか。

(特にあてはまるもの3つまで○)

1. 授業中
2. 休み時間
3. 給食の時間
4. 遠足や社会見学するとき
5. 宿泊(しゅくはく)行事(集団宿泊学習・修学旅行)のとき
6. 学習発表会、音楽会、作品展など
7. 運動会
8. クラブ活動
9. その他
10. 楽しいと感じるときはない

問3 あなたのクラスは、どんなクラスだと思いますか。

問3①クラスのみんなの仲がよい。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問3②学校のきまりやルールが守られている。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問3③運動会などの行事ではみんなが協力し合う。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問3④クラスで何か問題が起きたら、みんなで話し合っ解決する。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

【家庭での生活について】

問 4 ふだん勉強したり遊んだりしている時間は、どのくらいですか。

問 4① 学校に行く日は、学校の授業以外で、一日にどのくらい勉強をしますか。(1つに○)

1. 4 時間以上
2. 3 時間以上、4 時間より少ない
3. 2 時間以上、3 時間より少ない
4. 1 時間以上、2 時間より少ない
5. 30 分以上、1 時間より少ない
6. 30 分より少ない
7. まったくしない

問 4② 土曜日や日曜日などの学校が休みの日は、一日にどのくらい勉強をしますか。
(1つに○)

1. 4 時間以上
2. 3 時間以上、4 時間より少ない
3. 2 時間以上、3 時間より少ない
4. 1 時間以上、2 時間より少ない
5. 30 分以上、1 時間より少ない
6. 30 分より少ない
7. まったくしない

問 4③ 学校に行く日は、一日にどのくらい、テレビやパソコンなどを見たり、携帯(けいたい)電話やスマートフォン・ゲーム機などを使いますか。(勉強での利用時間を除く。)(1つに○)

1. 4 時間以上
2. 3 時間以上、4 時間より少ない
3. 2 時間以上、3 時間より少ない
4. 1 時間以上、2 時間より少ない
5. 30 分以上、1 時間より少ない
6. 30 分より少ない
7. まったくしない

問 5 以下のことについて、あなたにはどのくらいあてはまりますか。

問 5① あなたの保護者は自分が勉強をがんばったときに、きちんとほめてくれる。(1つに○)

1. とてもあてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. まったくあてはまらない

問 5② あなたの保護者は自分の話をよく聞いてくれる。(1つに○)

1. とてもあてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. まったくあてはまらない

問 5③ 家にいると、おちつく。(1つに○)

1. とてもあてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. まったくあてはまらない

問 6 家にある携帯(けいたい)電話やスマートフォン、タブレット、パソコンなどの電子通信機器などのなかで自由に使えるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 携帯電話、スマートフォン
2. タブレット
3. パソコン
4. その他
5. 自由に使えるものはない

問 7 家にある携帯(けいたい)電話やスマートフォンやタブレット、パソコンなどを使って何をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 調べものをする
2. 買い物をする
3. メールやLINEなどのSNSでやり取りをする
4. パソコンソフト(アプリ)やインターネットを使って学習する
5. 文書を書く、計算をする
6. 自分のホームページを管理する
7. パソコンやインターネットを使ってゲームをする
8. 動画を見る
9. 音楽を聴く、ダウンロードする
10. SNSに投稿する、SNSの情報を見る
11. その他
12. 家では使わない

問 8 家の中での携帯(けいたい)電話やスマートフォンの使い方について、保護者と決めている約束ごとなどはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 使ってよい時間帯(夜は9時までなど)を決めている
2. 使ってよい時間数(何時間までなど)を決めている
3. 使ってよい場所(リビングルームで使うなど)を決めている
4. 使ってよいアプリを決めている
5. アプリをダウンロードするときは保護者に伝えると決めている
6. LINEなどのSNSで気をつけることを話し合っている
7. その他
8. 決めている約束ごとなどはない

【地域について】

問 9 山田高等学校について、地域の高校として愛着はありますか。(1つに○)

1. 愛着がある
2. どちらかといえば愛着がある
3. どちらかといえば愛着はない
4. 愛着はない

問 10 高知工科大学について、地域の大学として愛着はありますか。(1つに○)

1. 愛着がある
2. どちらかといえば愛着がある
3. どちらかといえば愛着はない
4. 愛着はない

問 11 あなたは、地域の高校生や大学生と一緒に(いっしょ)にやってみたいことはありますか。(1つに○)

1. ある → どんなことをやってみたいですか()
2. ない

問 12 (小学生の人にお聞きします)あなたは、キッズチャレンジデーでの活動を通して、地域の大人を身近に感じたり、地域の良さを感じたりしましたか。(1つに○)

1. 感じた
どちらかといえば感じた
2. どちらかといえば感じなかった
3. 感じなかった

問 13 あなたは、大人になったら地域や社会のために役に立ちたいと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 そう思わない

【学校が休みの日の過ごし方の希望】

問 14 あなたは、学校が休みの日にどんなことをしたいですか。(自由に書いてください)

()

問 15 あなたは、学校が休みの日に香美市にある次のような施設(しせつ)を利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 図書館
2. 公民館
3. 市立美術館(美術作品の展示や子ども対象のイベントが行われる)
4. 吉井勇記念館(香美市にゆかりのある歌人の作品などが展示されている)
5. アンパンマンミュージアム(アンパンマンの作者の作品展示や子ども対象のイベントが行われる)
6. グラウンド(野球・ソフトボール・サッカーなどができる)
7. テニスコート
8. 体育館(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球などができる)
9. 香北 B&G 海洋センター(プール)
10. どれも利用したいと思わない

問 16 あなたは、学校が休みの日に香美市にある問 15 のような施設(しせつ)でどんなことをしたいですか。(自由に書いてください)

()

【あなたについて】回答に協力をお願いします。

Q1 通学している学校(1つに○)

1. 山田小学校
2. 楠目小学校
3. 片地小学校
4. 舟入小学校
5. 香長小学校
6. 大宮小学校
7. 大栃小学校
8. 鏡野中学校
9. 香北中学校
10. 大栃中学校

Q2 学年(1つに○)

1. 小学4年生
2. 小学5年生
3. 小学6年生
4. 中学1年生
5. 中学2年生
6. 中学3年生

Q3 性別(1つに○)

1. 男性
2. 女性
3. どちらでもない・答えたくない

Q4 中学校卒業後の進路について、どう考えていますか。(1つに○)

1. すぐに働きたい
2. 高校卒業まで勉強したい
3. 専門学校・短期大学卒業まで勉強したい
4. 大学卒業(それ以上)まで勉強したい
5. まだ分からない

香美市のよってたかってアンケート
～第2期香美市教育振興基本計画の策定に向けて～
調査結果報告書

令和5年3月
香美市 教育委員会
〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町1-2-1
電話0887-53-1081 FAX0887-57-0123
